

令和 2 年度

群馬大学大学教育・学生支援機構
報告書



群馬大学大学教育・学生支援機構

「令和2年度群馬大学大学教育・学生支援機構」報告書 発刊にあたって

大学教育・学生支援機構

副機構長 渡 辺 秀 司

群馬大学大学教育・学生支援機構は平成18年度に発足し、主に大学教育の企画・運営・改善・評価を担当する大学教育センター、学生の大学生活・就職活動を支援する学生支援センター、入学者選抜と学生募集に係る広報を担当する学生受入センター、学生及び大学教職員の心身の健康保持増進を図る健康支援総合センター、大学教育全体の改革を推進する教育改革推進室の4センター・1室で構成されています。令和2年度には新たに、教育の内部質保証を推進し、教育内容・教育方法改善・成績評価等の組織的チェックを強化するために教育アセスメント委員会を設置しました。さらに、総合情報メディアセンターと学内共同教育研究施設である国際センターも、学生の修学に必須の組織として本機構と連携して活動しております。これら全ての組織は、群馬大学の教育業務を基幹的に担う重要な組織です。

令和2年度は第三期中期目標の5年目の年であり、令和4年度に実施される機関別認証評価の受審に向けた対応が必要となります。令和2年度では、大学教育、人材育成の充実に向けた教学マネジメント体制の構築に向けて、改定したDP、CP、APの3つのポリシーを基にした、大学教育の内部質保証のPDCAサイクルの構築に向けた取組みを引き続いて実施しました。さらに、教育の内部質保証体制の整備とその手順を明文化した規定を制定しました。この規定に基づいて、令和3年度に自己点検を実施し、その改善計画を策定することになります。他方、大学全体においても、群馬大学教育学部と宇都宮大学教育学部の両学部の緊密な連携・協力に基づいた共同教育学部を令和2年度に設置しました。また、これからの社会に欠かせないデータサイエンスを担う人材育成を目指した文理融合型の情報学部の設置申請を行い、令和3年度の設置が決定しました。

本学の教育・研究の質を更に一層高め、本学が地域に根ざした知的な創造を通じて世界の最先端へとチャレンジし、社会と連携して21世紀を切り開いていく大学であることを示す必要があります。そのため、令和2年度における取組みをここにまとめ、その総括と課題の摘出を進めていくために本報告書を作成することには大きな意義があります。報告書を纏め、評価と企画の基礎となるデータの系統的整理を行っていくことは、教学のPDCAサイクルを実行していく上でも基本となる作業です。

最後になりますが、本報告書の作成に当たり、編集にご協力を戴いた教職員の方々、また執筆して戴いた方々に深く感謝申し上げます。

目 次

巻頭言

1 大学教育・学生支援機構の組織	1
1.1 大学教育・学生支援機構の組織図	1
1.2 大学教育・学生支援機構の構成員	2
1.3 教員による地域貢献事業	8
2 大学教育センター	11
2.1 教養教育部会	11
2.1.1 はじめに	11
2.1.2 令和2年度活動概要	11
2.1.3 令和2年度活動内容	11
2.1.4 教養教育部会資料集	13
2.2 外国語教育部会	13
2.2.1 はじめに	13
2.2.2 英語習熟度別クラス編成及び英語アチーブメントテスト	14
2.2.3 TOEIC-IP	14
2.2.4 TOEFL-ITP.....	14
2.2.5 TOEIC・TOEFL説明会	15
2.2.6 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験	15
2.2.7 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト	15
2.2.8 理工学部の英語教育カリキュラムについて	16
2.2.9 共同教育学部の英語教育カリキュラムについて	16
3 学生支援センター	76
3.1 入学料免除及び徴収猶予	76
3.1.1 免除申請者数, 免除者数	76
3.1.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数	76
3.2 授業料免除及び徴収猶予	76
3.2.1 免除申請者数, 免除者数	76
3.2.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数	77
3.3 寄宿料免除	77
3.3.1 免除申請者数, 免除者数	77
3.4 奨学金	77

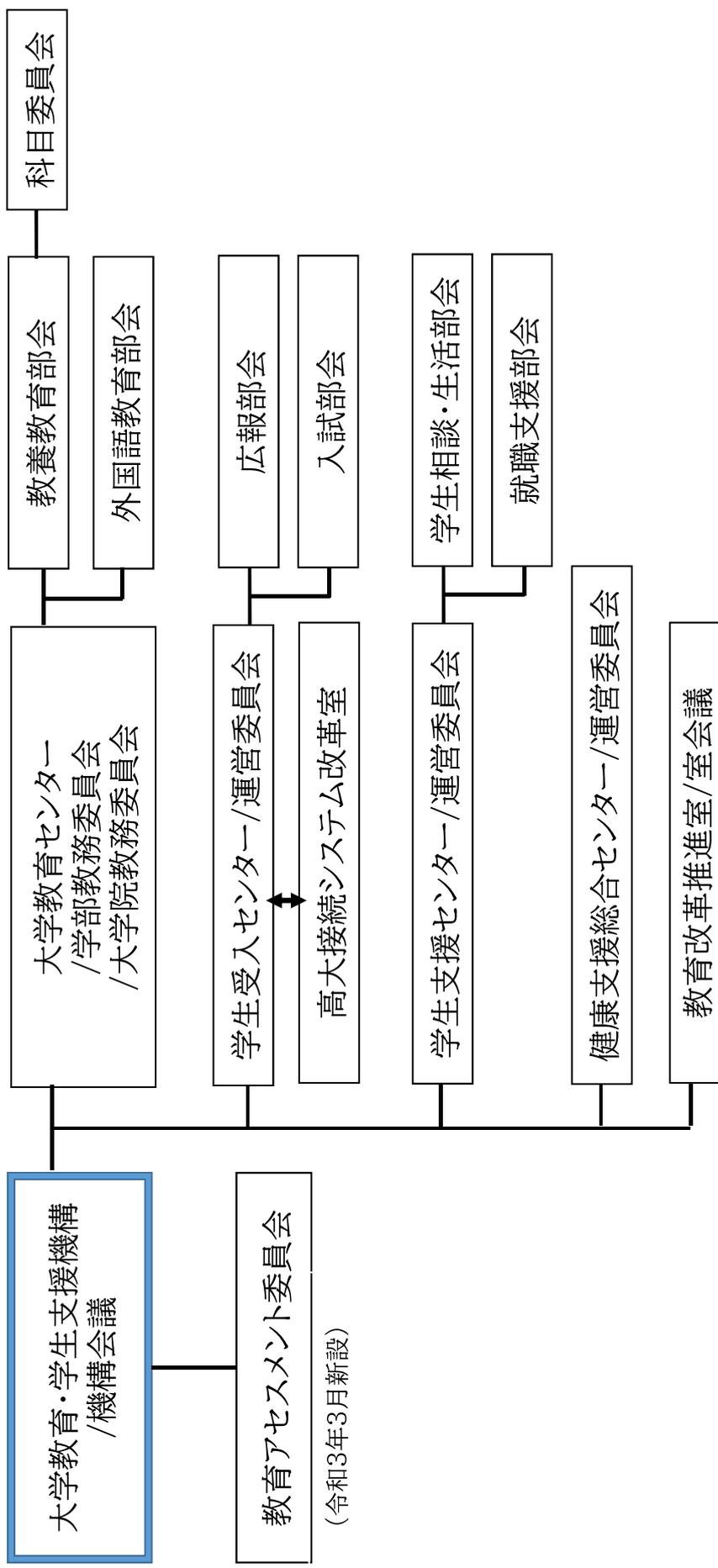
3.4.1 日本学生支援機構奨学生数（令和2年10月1日現在）	77
3.5 学生相談体制及び学生相談	77
3.5.1 学生相談体制	77
3.5.2 主な相談事項	77
3.5.3 学生相談実態調査アンケートの実施及び活用	77
3.6 授業欠席状況調査	78
3.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由	78
3.6.2 実施方法，時期	78
3.7 障害学生への支援	79
3.7.1 支援内容	79
3.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険	79
3.8.1 加入者数	79
3.8.2 請求種別保険金請求件数	79
3.9 通学証明書，旅客運賃割引証	79
3.9.1 発行枚数及び主な発行理由	80
3.10 学生寮	80
3.10.1 養心寮入寮者数	80
3.10.2 啓真寮入寮者数	80
3.11 生活支援施設	80
3.11.1 食堂	80
3.11.2 売店	80
3.12 課外活動施設	81
3.12.1 体育施設	81
3.12.2 文化施設	83
3.12.3 課外活動共用施設	83
3.12.4 合宿所	83
3.13 学生団体及び主な活動	83
3.13.1 学生団体	84
3.13.2 大学祭	84
3.13.3 関東甲信越大学体育大会	84
3.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会	84
3.14 研修施設	84
3.14.1 北軽井沢研修所	84
3.14.2 草津セミナーハウス	85

3.15	学生の就職支援	85
3.15.1	進路状況及び主な就職先	85
3.15.2	全学就職ガイダンス・セミナーの開催	85
3.15.3	キャリアカウンセリングの充実	85
3.15.4	キャリアサポート室における情報収集環境の充実	86
3.15.5	就職支援の体制強化の充実	86
3.15.6	就職支援BOOKの作成・配布	86
3.16	就業力育成支援	86
3.17	学生生活実態調査	87
3.18	キャンパスニュース群の発行	87
3.19	事件・事故	87
3.20	学生支援センター資料集	87
4	学生受入センター	104
4.1	学生受入センター広報部会と広報本部学生受入部門との関係	104
4.2	大学入学共通テストへの対応と新型コロナウイルス感染症に対する入試対応	104
4.3	入学者の選抜方法改善と追跡調査	105
4.4	オープンキャンパス等	105
4.4.1	群馬大学Webオープンキャンパス「GU'DAY2020」【Web配信】	106
4.4.2	学部別オープンキャンパス	106
4.4.3	学生広報大使トークライブ（第二弾）	106
4.5	学生募集に係わる広報活動	107
4.5.1	高等学校等の教員を対象とした説明会	107
4.5.2	群馬県高等学校長協会との意見交換会	107
4.5.3	大学説明会・進学相談会	107
4.5.4	夢ナビライブ	107
4.5.5	出張模擬授業	107
4.5.6	高校訪問	108
4.5.7	大学見学受入	108
4.5.8	大学案内等のダイレクトメール，郵送など	108
4.5.9	ウェブサイト等による広報	108
4.5.10	学生広報大使による広報	108
4.6	広報戦略の立案	108
4.7	その他	108

5 健康支援総合センター	114
5.1 はじめに	114
5.2 令和2年度実施事業	115
5.2.1 学生定期健康診断の実施	115
5.2.2 精神保健調査の実施	115
5.2.3 学校生活に関する困りごとの調査実施	115
5.2.4 学生特殊健康診断の実施	115
5.2.5 外国人留学生健康診断の実施	115
5.2.6 自殺予防対策ワーキンググループの発足	115
5.3 健康支援総合センター利用状況	116
5.3.1 利用人数及び件数	116
5.3.2 健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告	116
5.3.3 疾病領域別利用者数	116
5.3.4 診療科別医療機関紹介件数	116
5.3.5 薬剤別処方日数	116
5.3.6 桐生地区・保健室利用状況	116
5.3.7 昭和地区・学生健康相談室利用状況	116
5.3.8 キャンパス・ソーシャルケースワーカーによる活動	117
5.4 教育関連活動	117
5.5 健康管理に関する調査研究活動	117
5.6 健康支援総合センター主催の委員会等	117
5.7 健康支援総合センターの全国会議等出席	118
5.8 学内行事実施に伴う救護業務	118
5.9 出版・広報活動	118
5.10 社会貢献活動	118
5.11 産業保健活動	119
5.11.1 安全衛生委員会	119
5.11.2 職員の定期健康診断	119
5.11.3 スタッフカウンセリング	119
5.12 通常業務以外の支援業務	120
5.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性	120
5.14 健康支援総合センター資料集	120
6 教育改革推進室	139
6.1 教育課程・学習成果に関する取り組み	139

6.2	内部質保証に関する取り組み	139
6.3	その他の取り組み	140
6.3.1	ベストティーチャー賞	140
6.3.2	第12回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」	140
6.3.3	教員を対象とした英語授業のための研修について	140
6.4	教育改革推進室資料集	140

1 大学教育・学生支援機構の組織



1.2 大学教育・学生支援機構構成員

機構長	峯 岸 敬	
副機構長	渡 辺 秀 司	
大学教育センター		
センター長	峯 岸 敬	
副センター長	渡 辺 秀 司	
教授	松 元 宏 行	
教授	結 城 恵 美	
教授	飯 島 睦 美	
准教授	飯 田 敦 史	
准教授	コントレラス・ジェフリー	
准教授	フーゲンブーム・レイモンド	
准教授	ベルジュロン・シルバン	
講師	磯 崎 アンナ	
講師	ネウパネ・プラミラ	
学生支援センター		
センター長	峯 岸 敬	
副センター長	山 内 春 光	
副センター長・准教授	五 味 洋 一	
障害学生支援室		
室長	五 味 洋 一	
就業力育成支援室		
室長	松 元 宏 行	
学生受入センター		
センター長	峯 岸 敬	
副センター長	杉 山 学	
健康支援総合センター		
センター長	田 村 遵 一	
副センター長・教授	竹 内 一 夫	
講師	宮 崎 博 子	
教育改革推進室		
室長	峯 岸 敬	
副室長	渡 辺 秀 司	
准教授	二 宮 祐	
委員会等		
大学教育・学生支援機構会議		
委員	峯 岸 敬	理事（教育・企画担当）・副学長
委員	渡 辺 秀 司	理工学府
委員	田 村 遵 一	医学部附属病院
委員	山 内 春 光	社会情報学部

委員	杉	山	学
委員	竹	内	夫
委員	和	田	樹
委員	飯	田	史
委員	二	宮	祐
委員	大	川	司

社会情報学部
 大学教育・学生支援機構
 医学系研究科
 大学教育・学生支援機構
 大学教育・学生支援機構
 学務部

大学教育センター学部教務委員会	委員	峯	岸	敬
委員	渡	辺	秀	司
委員	和	田	直	樹
委員	飯	田	敦	史
委員	中	尾	敏	朗
委員	伊	藤	賢	一
委員	松	崎	利	行
委員	久	田	剛	志
委員	山	延	雄	健
委員	大	川	雄	司
委員	二	宮	祐	祐

理事（教育・企画担当）・副学長
 理工学府
 医学系研究科
 大学教育・学生支援機構
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 学務部
 大学教育・学生支援機構

大学教育センター大学院教務委員会	委員	峯	岸	敬
委員	渡	辺	秀	司
委員	西	薊	大	実
委員	山	口	陽	弘
委員	岩	井	淳	之
委員	鯉	淵	典	隆
委員	筑	田	博	直
委員	齋	尾	征	修
委員	花	泉	雄	司
委員	大	川	直	樹
委員	和	田	敦	史
委員	飯	田	祐	祐
委員	二	宮		

理事（教育・企画担当）・副学長
 理工学府
 共同教育学部
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 学務部
 医学系研究科
 大学教育・学生支援機構
 大学教育・学生支援機構

大学教育センター教養教育部会	部長	和	田	直	樹
部会	員	飯	田	敦	史
部会	員	寺	嶋	容	明
部会	員	北	村	純	男
部会	員	鎌	田	英	志
部会	員	大	庭	男	野
部会	員	本	島	行	健
部会	員	森	谷	之	潮
部会	員	上	宮	英	人
部会	員	山	本	勇	光
部会	員	中	雄	春	徹
部会	員	山	内	秀	司
部会	員	京	免	広	明
部会	員	渡	辺	宏	行
部会	員	尾	崎	瑞	貴
部会	員	松	元	幸	市
部会	員	船	橋		
部会	員	佐	藤		

医学系研究科
 大学教育・学生支援機構
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 社会情報学部
 保健学研究科
 理工学府
 共同教育学部
 社会情報学部
 理工学府
 理工学府
 理工学府
 大学教育センター
 国際センター
 生体調節研究所

部会員	二 宮 祐	大学教育・学生支援機構
科目委員会：学びのリテラシー委員会		
委員長	森 谷 健	社会情報学部
委員	永野 清 仁之	社会情報学部
委員	柴田 孝 之	保健学研究科
委員	小澤 満 津雄	理工学府
委員	小林 正 行	共同教育学部
委員	小谷 英 生	共同教育学部
委員	和田 直 樹	医学系研究科
委員	岩本 伸 司	理工学府
委員	大和 啓 子	国際センター
科目委員会：総合科目委員会		
委員長	上 宮 英 之	保健学研究科
委員	金 澤 貴 之	共同教育学部
委員	大野 富 彦	社会情報学部
委員	松崎 利 行	医学系研究科
委員	山延 健 子	理工学府
委員	小林 陽 子	共同教育学部
委員	小竹 裕 人	社会情報学部
委員	高 橋 浩	理工学府
科目委員会：データ・サイエンス委員会		
委員長	高 橋 俊 樹	理工学府
委員	齋 江 貴 志	共同教育学部
委員	松井 猛 郎	社会情報学部
委員	齋藤 勇 一郎	医学系研究科
委員	寺嶋 容 明	共同教育学部
委員	豊村 暁 明	保健学研究科
委員	中 沢 信 明	理工学府
委員	横 山 重 俊	総合情報メディアセンター
委員	高 橋 啓	数理データ科学教育研究センター
科目委員会：スポーツ・健康委員会		
委員長	中 雄 勇 人	共同教育学部
委員	柿 本 敏 克	社会情報学部
委員	坂 本 雅 昭	保健学研究科
委員	小山 真 司	理工学府
委員	田井 健 太郎	共同教育学部
委員	木 山 慶 子	共同教育学部
科目委員会：人文・社会科学委員会		
委員長	山 内 春 光	社会情報学部
委員	今 井 就 稔	共同教育学部
委員	藤 井 正 希	社会情報学部
委員	山 本 康 次郎	医学系研究科
委員	佐 藤 和 好子	理工学府
委員	山 崎 法 子	共同教育学部
委員	北 村 純 子	社会情報学部
委員	村 田 祥 子	保健学研究科
科目委員会：自然科学委員会		
委員長	京 免 徹	理工学府

※2020年9月まで

委員	青石	木川	悠真	樹一	共同教育学部
委員	鯉	淵	典	之一	社会情報学部
委員	吉澤	伸	亮	一介	医学系研究科
委員	山本	博	尚	之	理工学府
委員	岩崎	村	尚	之	共同教育学部
委員	西柳	奈津	子	之	共同教育学部
委員	高橋	浩			社会情報学部
委員					保健学研究科
委員					理工学府

大学教育センター外国語教育部会					
部長	飯田	敦史			大学教育・学生支援機構
部会員	和田	直樹			医学系研究科
部会員	飯島	睦美			大学教育・学生支援機構
部会員	コントレラス・ジェフリー				大学教育・学生支援機構
部会員	フーゲンブーム・レイモンド				大学教育・学生支援機構
部会員	ベルジュロン・シルバン				大学教育・学生支援機構
部会員	ネウパネ・プラミラ				大学教育・学生支援機構
部会員	磯崎	アンナ			大学教育・学生支援機構
部会員	渡辺	秀司			理工学府
部会員	金田	仁秀			共同教育学部
部会員	井門	亮			社会情報学部
部会員	村上	正巳			医学系研究科
部会員	川島	智幸			保健学研究科
部会員	引原	俊哉			理工学府
部会員	田中	一嘉			共同教育学部
部会員	三原	智子			共同教育学部
部会員	越智	貴子			国際センター

学生支援センター運営委員会					
委員長	峯岸	敬			理事（教育・企画）・副学長
委員	山内	春光			社会情報学部
委員	五味	春洋			大学教育・学生支援機構
委員	任龍	一在			共同教育学部
委員	三國	正樹			共同教育学部
委員	前田	泰樹			社会情報学部
委員	和野	直樹			医学系研究科
委員	菊地	千一郎			保健学研究科
委員	橋本	誠司			理工学府
委員	田村	充			共同教育学部
委員	杉山	充			社会情報学部
委員	鯉淵	典			医学系研究科
委員	近藤	浩			保健学研究科
委員	大川	雄			学務部
委員	竹内	一			大学教育・学生支援機構
委員	牧原	功			国際センター

学生支援センター学生相談・生活部会					
部長	山内	春光			社会情報学部
部会員	五味	春洋			大学教育・学生支援機構
部会員	任龍	一在			共同教育学部

部	三	國	正	樹
部	前	田	直	泰
部	和	田	千	樹
部	菊	地	一	郎
部	橋	本	誠	司
部	渡	辺	秀	司
部	竹	内	一	夫
部	牧	原		功
部	大	川	雄	司
部	宮	崎	博	子

共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 理工学府
 大学教育・学生支援機構
 国際センター
 学務部
 大学教育・学生支援機構

学生支援センター就職支援部会

部	山	内	春	光
部	五	味	洋	一
部	田	村		充
部	杉	山		学
部	鯉	淵	典	之
部	近	藤	浩	子
部	橋	本	誠	司
部	大	川	雄	司
部	松	元	宏	行

社会情報学部
 大学教育・学生支援機構
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 学務部
 大学教育・学生支援機構

学生受入センター運営委員会

委	峯	岸		敬
副	杉	山		学
委	板	橋	英	之
委	木	山	慶	子
委	山	内	春	光
委	富	田	治	芳
委	白	井		滋
委	桂		進	司
委	大	川	雄	司
委	小	林	英	樹
委	西	村	尚	之
委	内	田	陽	子
委	天	谷	賢	児
委	荒	木		徹
委	横	尾	英	俊

理事（教育・企画担当）・副学長
 社会情報学部
 理工学府
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科
 保健学研究科
 理工学府
 学務部
 共同教育学部
 社会情報学部
 保健学研究科
 理工学府
 理工学府
 特別教授

学生受入センター運営委員会広報部会

部	杉	山		学
部	板	橋	英	之
部	小	林	英	樹
部	西	村	尚	之
部	内	田	陽	子
部	天	谷	賢	児
部	大	川	雄	司

社会情報学部
 理工学府
 共同教育学部
 社会情報学部
 保健学研究科
 理工学府
 学務部

学生受入センター入試部会

部	杉	山		学
部	板	橋	英	之
部	木	山	慶	子
部	山	内	春	光
部	富	田	治	芳

社会情報学部
 理工学府
 共同教育学部
 社会情報学部
 医学系研究科

部会員	白井	滋司	保健学研究科
部会員	桂	進司	理工学府
部会員	大川	雄司	学務部

高大接続システム改革室

室長	峯岸	敬之	理事（教育・企画担当）・副学長
室員	板橋	英	理工学府
室員	杉山	慶	社会情報学部
室員	富山	典隆	特別教授
室員	伊藤	芳子	共同教育学部
室員	富田	治陽	医学系研究科
室員	内田		保健学研究科

健康支援総合センター運営委員会

委員長	田村	一夫	理事（病院担当）・附属病院長
委員	竹内	博子	大学教育・学生支援機構
委員	宮崎	正樹	大学教育・学生支援機構
委員	三國	泰	共同教育学部
委員	前田	直樹	社会情報学部
委員	和野	千一郎	医学系研究科
委員	菊地	誠司	保健学研究科
委員	橋本	鉄也	理工学府
委員	大川	雄司	総務部
委員	大川	雄司	学務部

教育改革推進室

室長	峯岸	敬司	理事（教育・企画担当）・副学長
副室長	渡辺	秀祐	理工学府
室員	二宮	淳一	大学教育・学生支援機構
室員	栗原	学	共同教育学部
室員	杉山	美紀子	社会情報学部
室員	岸本	雅昭	医学系研究科
室員	坂本	仁子	保健学研究科
室員	井上	貴	数理データ科学教育研究センター
室員	越智	英	国際センター
室員	幾田	夫	大学教育・学生支援機構

1.3 教員による地域貢献事業

令和2年度活動内容

No.	教員名	活動内容	実施日
1	結城 恵	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育スタートアッププログラム地域日本語教育アドバイザー	
2	結城 恵	前橋市 アーツ前橋運営評議会委員	
3	結城 恵	博報堂教育財団『博報賞』審査委員	
4	結城 恵	公益財団法人全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所（JIAM）教科問題研究会委員	
5	結城 恵	文部科学省「住環境・就職支援等留学生の受入環境充実事業」「グローバル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム委員	
6	結城 恵	留学生就職促進プログラム GHKGカリキュラム部会 部会長 GHKGインターンシップ部会委員 GHKGビジネス日本語部会委員	
7	結城 恵	「ぐんま酒と食の祭典実行委員会」委員	
8	結城 恵	JFNラジオCMコンテスト2020 指導支援（ブロック賞受賞）－社会情報学部「異文化コミュニケーション基礎論」の一環での取組	2020年7月21日
9	結城 恵	群馬県・群馬SAKETSUGU「群馬の地酒PR動画コンテスト」(最優秀賞受賞)－GHKGインターンシップの一環での取組	2020年7月21日
10	飯島 睦美	高崎市立新町第一小学校 英語指導支援訪問	2020年7月26日, 7月31日, 8月21日, 9月23日, 10月1日
11	飯島 睦美	高崎市立玉村高校 英語指導支援訪問	2020年8月21日, 10月6日, 10月15日, 10月22日, 12月18日, 2021年1月8日
12	飯島 睦美	高崎市立箕輪小学校 英語指導支援訪問	2020年8月26日, 9月25日, 10月2日, 10月16日, 10月23日
13	飯島 睦美	埼玉県高等学校英語教育研究会英語劇発表会審査員	2020年11月11日
14	結城 恵	国立大学法人群馬大学と川場村とのグローバル化と持続可能な地域づくりに係る協定に基づく地域貢献活動－かわば・ボタリング実証実験－	2020年11月21日
15	結城 恵	【明日へのことば講演会】 新型コロナウイルスと共生する 新時代の多文化共生社会の在り方 (NHKラジオ深夜便公開収録・NHKラジオ深夜便放送)	2020年11月27日, 12月15日

No.	教員名	活動内容	実施日
16	結城 恵	【公益社団法人経済同友会招待講演】「外国人留学生の定着を地方で促す」ーコロナ禍で進めたオンライン・インターンシップで得た知見ー	2020年12月9日
17	結城 恵	【日立財団シンポジウム】 パネスディスカッション「外国につながる高校生たちの『活躍する力』を拓く～学びと就労の実態が問いかける支援のあり方～」(企画・コーディネート、モデレータ担当)	2020年12月20日
18	飯島 睦美	群馬テレビ「ビジネスジャーナル」コメンテーター「英語学習につまずく子どもの理解から始まる支援」	2021年1月27日
19	飯島 睦美	セミナー(第1回～第3回) 「英語学習につまずく子どもの理解から始まる支援:理論と実践の融合」開催	2021年3月5日, 3月12日, 3月19日
20	磯崎アンナ	群馬地域に住んでいる人のための洋書を用いたブッククラブ開催	2020年8月16日, 9月12日, 11月7日, 2021年1月9日, 3月6日
21	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「ビジネス日本語Ⅰ」「ビジネス日本語Ⅱ」の提供	2020年6月6日～7月25日
22	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け キャリア教育「まちづくりとグローバル・コミュニケーション」の提供	2020年5月2日～7月18日
23	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け キャリア教育「グローバル地域創生と企業」の提供	2020年5月2日～7月19日
24	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「就職活動のための自己分析徹底セミナー」の企画・実施	2020年8月～2021年3月
25	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「就職活動のためのセルフ・ブランディングセミナー」の企画・実施	2020年10月～2021年3月
26	結城 恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「就職活動のための戦略づくりセミナー」の企画・実施	2021年2月1日～2月28日
27	結城 恵	「よそ者・若者・外国人」の視点を活用した地域活性化支援活動ーぐんまの地酒PR動画中国語版の作成	2020年10月～2021年3月
28	結城 恵	【文部科学省科学技術振興調整 群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニットフォロー・アップ事業】 「多文化共生推進士」へのヒアリング調査・フォローアップ研修	2021年2月21・28日, 3月 14・21日

No.	教員名	活動内容	実施日
29	結城 恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室 教材開発プロジェクト	2020年9月～2021年3月
30	結城 恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室フォーラムの開催	2021年2月14・20日 3月14・20日
31	結城 恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室教材開発のための実地調査（川場村）	2020年9月～2021年3月
32	結城 恵	「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト/文部科学省委託事業留学生就職促進プログラム 「オンライン・インターンシップ-実践事例からその可能性を探る-	2021年3月6日～7日
33	結城 恵	【群馬県主催事業への協力】 外国人材採用支援セミナー【動画配信】 「インターンシップを活用した高度外国人材採用～コロナ禍での採用活動に向けて」	2021年3月29日～

2 大学教育センター

2.1 教養教育部会

2.1.1 はじめに

平成23年度に発足した教養教育部会は、教養教育を実施・運営するための調整をはじめとする実務的側面を担う組織である。部会長、副部会長、大学教育センター副センター長、外国語教育部会部会長、科目委員会（学びのリテラシー、総合科目、データ・サイエンス、スポーツ・健康、人文・社会科学、自然科学）の各委員長、就業力育成支援室、国際センター、生体調節研究所、大学教育・学生支援機構から各1名、および、各学部教務委員（共同教育学部、社会情報学部、理工学部からは各1名、医学部からは医学科、保健学科より各1名の計2名）の構成員からなる。令和2年度は兼担者がおり19名のメンバーで活動した。

2.1.2 令和2年度活動概要

教養教育部会は、毎月1回（原則として第3月曜日）に定例部会を開催し、教養教育実施に関する諸問題について討議した。令和2年度は、4月に第1回の部会を開催し、8月の休会を除いて、令和3年3月まで計11回の定例会議及び5回の臨時会議を実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度前期の授業開始日を4月20日に変更すると共にオンラインによる授業に切替え、それらに係る議論をオンライン会議により行った。

2.1.3 令和2年度活動内容

令和2年度教養教育部会の主な業務は下記のとおりであった。

- 1) 次年度教養教育科目開講コマ数の確認
- 2) 次年度教養教育実施体制（担当教員などの確定）についての確認
- 3) 次年度教養教育科目の時間割の確認
- 4) 次年度教養教育等学年暦の確認
- 5) 教養教育部会が主として関わる年度計画の確認
- 6) 非常勤講師の採用及びゲスト講師の委嘱のための審査
- 7) TAの採用に関する確認
- 8) 教養教育科目の授業にかかわる経費などの確認
- 9) 授業評価アンケート項目及び授業改善アンケート項目の確認
- 10) ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
- 11) 教養教育履修手引の確認
- 12) 協定を結ぶ他大学等との単位互換科目の確認
- 13) オンラインによる授業の検討及び実施
- 14) ルーブリックの作成
- 15) 履修取消制度の検討
- 16) 初年次教育にかかる課題と要望の検討
- 17) 障害を有する入学志願者との事前相談に関する報告
- 18) 交換留学生の教養教育科目履修についての報告

これらの主要業務及びそれに関連する事項について、月別に示すと以下のとおりとなる。

- 4月 オンラインによる授業にかかる検討
危機対策本部会議において決定した学事関連の活動制限にかかる対応についての確認

- 教養教育部会が主として関わる年度計画の報告
- 5月 オンラインによる授業にかかる報告及び検討
教養教育関係予算案の確認
- 6月 オンラインによる授業の報告及び期末試験にかかる検討
令和3年度学年暦案の確認
令和3年度学部別担当コマ数の確認
令和2年度前期授業評価アンケート項目の確認
令和2年度前期授業改善アンケート項目の確認
前期修得単位認定の報告
令和元年度後期授業評価アンケート結果の報告
令和元年度教養教育アンケート結果の報告
交換留学生の前期教養教育科目履修届についての報告
- 7月 前期期末試験の実施
教養教育科目ループリックの確認
- 9月 令和3年度教養教育実施体制案の提示
障害等のある入学志願者との事前相談についての報告
- 10月 対面による授業及びオンラインによる授業の検討
令和2年度前期授業評価アンケート結果の報告
令和2年度授業改善アンケート結果の報告
大学教育・学生支援機構報告書（令和元年度版）の確認
- 11月 対面による授業及び期末試験の検討
令和3年度教養教育実施体制案の検討
令和3年度非常勤講師の採用についての審査
令和2年度後期授業評価アンケート項目の確認
令和2年度教養教育アンケート項目の確認
- 12月 危機対策本部会議において決定した学事関連事項の報告
学長と学生との懇談会実施
令和3年度教養教育実施体制および開講科目の確認
令和3年度協定を結ぶ他大学等との単位互換科目の確認
令和2年度教養教育ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
令和3年度教養教育授業案内の確認
後期修得単位認定の報告
令和2年度中期計画カルテ中間調査の報告
- 1月 対面による授業及び期末試験の検討
令和3年度教養教育開講科目の確認
令和3年度協定を結ぶ他大学等との単位互換の開設授業科目及び履修可能授業科目の確認
令和3年度国立大学法人群馬大学年度計画の報告
- 2月 後期期末試験の実施
令和3年度開放専門科目の確認
教養教育科目における履修登録取消願及び履修登録修正の取扱いの確認
令和3年度教養教育履修手引の確認
群馬大学LMSについての報告
教養教育科目ループリックの確認
- 3月 令和3年度教養教育科目の実施にかかる検討
令和3年度新入生オリエンテーション計画の報告
令和3年度TAの採用計画の確認
初年次教育にかかる課題と要望の確認

令和3年度教養教育履修手引の作成
令和3年度教養教育授業案内の作成
その他、具体的な活動の一部を以下に記載する。

1) 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う検討について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン授業への切替えを行い、群馬県の警戒度及び本学の学事関連の活動制限に対応した授業を実施するための検討を行った。なお、文化講演会は中止とした。また、例年4月のオリエンテーションで説明していた教養教育の履修に伴う事項については、オンライン履修相談会を実施し、学生からの質問に対応した。

2) 教養教育科目における履修登録取消し及び履修登録修正の取扱いについて

教養教育科目における履修取消し制度及び履修登録修正の運用について、必要な事項を取りまとめた取扱いを作成した。

3) 教養教育授業評価について

平成25年度より全学で導入された「学びのリテラシー（1）」、「学びのリテラシー（2）」及び「データ・サイエンス」の授業評価アンケートを、全学部1年生を対象として実施した。いずれのアンケートにおいても、ほぼ全ての設問において8割～9割が良好との回答が得られており、講義目的は概ね達成されていると判断された。

2.1.4 教養教育部会資料集

- 資料1. 令和2年度 前期授業評価「学びのリテラシー（1）」集計表
- 資料2. 令和2年度 後期授業評価「学びのリテラシー（2）」集計表
- 資料3. 令和2年度 前期授業評価「データ・サイエンス」集計表
- 資料4. 令和2年度 後期授業評価「データ・サイエンス」集計表

2.2 外国語教育部会

2.2.1 はじめに

令和2年度、外国語教育部会では、前年度同様、全学の外国語教育の改善に取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、新入生を対象に実施してきた英語プレイスメントテスト（クラス編成テスト）を取りやめ、その代替としてセンター試験などの結果を用いて英語習熟度別クラス編成を行った。また、教養英語科目及び第二外国語科目は、Zoomを用いたオンライン（リアルタイム型）による授業を実施した。英語科目に関しては、前年度から引き続き、全学部において1年次のクラスサイズを34名以下とした。また、「外国語教養科目群」に現在7言語を置くいわゆる第二外国語は、「選択ドイツ語」を除くすべてが初級教育であり本来対面授業が望ましいが、英語同様すべての言語がZoomによるオンライン授業になった。しかし、ゼロから始める初級教育におけるオンライン授業の難しさ、および教員、学生双方の不慣れにもかかわらず、非常勤講師を含めた教員全員の尽力と、学生たちの協力により、様々な問題を乗り越えながら、危惧されたほど学習効果を損なわずに（場合によっては予想外の学習効果をもたらしながら）一年間の授業を終えることができ、かつ定期試験も行えた。この経験と知見は、外国語教育全般にとっても大きな糧となったことを申し添えたい。

本学では、例年、英語プレイスメントテスト（4月入学時）と英語アチーブメントテスト（1月後期授業終了時）を対面で実施してきたが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しての実施の難しさ及びオンラインで試験を実施した際の不正行為への対応の難しさ等を総合的に判断し、令和2年度はすべての英語外部試験の実施を見送った。第二外国語科目群も

同様、これまでドイツ語及びフランス語の年度末共通テスト（アチーブメントテスト）を実施し、受講学生の学力向上の度合いを客観的に計測してきたが、今年度はコロナ禍により対面での試験ができなかったため、やむを得ず中止した。また、地域貢献活動の一環として例年行っている、両言語の技能検定試験も、コロナ禍により本学施設の民間組織への貸し出しが認められなかったため、見送らざるをえなかった。

コロナ禍における授業運営に加えて、今年度の外国語教育部会では、これまでの教養英語教育の改善への取り組みを広げるため、以下の5点を決定した。

- ① 令和3年度より、教養英語新カリキュラム（群馬大学教養英語コア・カリキュラム）を導入する。そして、外国語教育部会員を中心にコア・カリキュラムを運営する。
- ② コア・カリキュラムでは、教養英語科目における共通評価基準（ループリック）を運用し、統一カリキュラム・シラバスによる授業を実施する。
- ③ また、Can-doリスト（英語学習自己省察ツール）を開発し、今年度は試行的に運用し、令和3年度より全学部を導入する。
- ④ アチーブメントテストは、1年終了時にすべての学生を対象に実施する。アチーブメントテストは英語外部試験を用いるが、その結果を後期英語授業の成績に一部算入することとした。同様に、2年終了時にも共同教育学部・社会情報学部・理工学部の学生を対象にアチーブメントテストを実施することとした。
- ⑤ 令和3年度より、英語学習を管理するための英語ポートフォリオを導入する。

2.2.2 英語習熟度別クラス編成及び英語アチーブメントテスト

英語習熟度別のクラス編成は、平成19年度に行ったアンケート調査の分析結果に基づき、平成20年度から、希望する学部・学科のクラスを対象として正式に実施されることになり、平成21年度より、社会情報学部1年・2年、保健学科看護学専攻1年（保健A・Bクラス）、工学部応用化学・生物化学科1年の英語クラスにおいて習熟度別クラス編成が行われた。平成22年度には、翌年度以降、工学部すべての学科に対して実施することが計画され、平成22年度末に社会情報学部及び工学部の全一年次生に対して、アチーブメントテストを実施した。このデータをもとに、平成23年度の4月には両学部の全新生に対して、プレースメントテストを行い、習熟度別クラス編成を行った。平成25年度には、医学部（医学科・保健学科）の新生に対して、翌26年度には、教育学部の新生に対してもプレースメントテストを実施した。令和2年度も、例年同様、1年次生については1クラス40名以下の習熟度別クラスを全学部で編成し、履修者数を1クラス34名以下とした。また、平成28年度には、平成29年度以降に入学した教育学部2年生についても習熟度別クラス編成の実施が決定された。この結果、平成30年度には、医学部2年生（医学科・保健学科）を除く、すべての教養英語クラスにおいて、習熟度別クラス編成が実施された。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、プレースメントテスト及びアチーブメントテストの実施を中止とした。

2.2.3 TOEIC-IP

群馬大学では、平成15年度からTOEIC-IPを継続的に実施しており、外国語教育部会が中心となって、多くの学生のTOEIC-IP受験を促している。実施は年2回（7月／1月）で、平成21年度からは、申し込み手続を群馬大学で直接行うことにより、受験料を低く抑えることが可能になった。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、TOEIC-IP試験を中止とした。

2.2.4 TOEFL-ITP

海外留学を希望する学生にとってTOEFLの成績が要求されることが多いため、群馬大学では、平成20年度からTOEFL-ITPを荒牧キャンパスで年2回（6月もしくは7月と、12月

もしくは1月)実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、TOEFL-ITP試験を中止とした。

2.2.5 TOEIC・TOEFL説明会

TOEICならびにTOEFLについては、例年、全1年生を対象に全学オリエンテーションで説明を行っているが、令和2年度は、対面での説明会が開催できなかったこともあり、資料を配布することで対応をした。

2.2.6 ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験

群馬大学では、ドイツ語、フランス語担当教員の協力のもと、地域貢献活動の一環として、本学学生のみならず周辺地域の受験希望者も受験できるドイツ語技能検定とフランス語技能検定の公開試験を、荒牧キャンパスで継続的に実施しているが、令和2年度はコロナ禍により、本学施設の民間組織への貸し出し許可が下りなかったため、荒牧キャンパスでの実施は見送らざるを得なかった。その結果、ドイツ語技能検定試験(5級～1級)は、ドイツ語専任教員が所属する大学での実施が前提となることから、群馬県内での実施は全面的に中止となり(県内の大学でドイツ語専任教員を置いているのは本学のみである)、フランス語技能検定試験(5級～準1級)も春季試験は全国一律中止、秋季試験のみ群馬県の別会場で実施した。ちなみに、実施日時と受験者数は以下のとおりである。

フランス語技能検定試験

- ・実地日時：秋季試験：令和2年11月15日(日)(5, 4, 3, 準2, 2, 準1級)
- 学内外の総申込者数：68名(複数級併願者含む)

2.2.7 ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト

現在7言語開講されている外国語教養科目のうち、特にドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などの印欧語族の言語学習は、中学での英語授業時間の短縮、高校での英文法授業の簡略化に伴い、同系語族の文法を論理的に理解する貴重な機会となってきた。また、英語以外の外国語学習は、その言語のみならず、英語や母語を含んだ総合的な言語能力を高め、学習者のコミュニケーション能力全体の向上に寄与することも期待される。したがって教育内容の充実のためには、学習の達成度を客観的に把握することも重要である。

外国語教養科目のうち、専任教員が在籍しているドイツ語及びフランス語については、学習の進捗を測定するために平成21年度以来、共通のアチーブメントテストを実施しているが、今年度はコロナ禍により対面でのテストが行えなかったため、中止せざるを得なかった。今後コロナ禍が長引くような場合は、オンライン試験の可能性や外部試験の活用など、新たな実施方法の検討も視野に入れる必要があるかもしれない。

なお、平成21年度以来10年以上にわたって実施されてきた本試験には、ここ数年以下のような一定の傾向が続いている。

* 4単位(120時間)を履修する学生の平均得点は、ドイツ語ではどの学部でも全国のドイツ語技能検定3級合格者の最低得点と概ね同等、フランス語ではフランス語技能検定4級合格者の平均点と概ね同等である。

* 2単位履修者の平均得点は4単位履修者に比べて例年約20点低く、高得点者が少ないうえ、極端に得点が低い者が多い傾向が続いている。

* クラスサイズが30名を超えると得点が下がり始める傾向がある。

教室では、学生の英語以外の外国語に対する興味や学習意欲は十分高いのに、学力・学習能力のみが年々少しずつ低下してゆく傾向が見られる。英語以外の外国語への興味・意欲を

保ちながら、外国語の学習能力を高める指導の工夫、少人数授業の徹底、およびカリキュラムの拡充が、今後の課題であろう。また、英語以外の外国語の履修者の方が未履修者よりも、TOEICなどの英語の得点がより大きく向上することを示すデータも徐々に集積されつつある。

2.2.8 理工学部英語教育カリキュラムについて

理工学部においては、学生の大学院進学率が高く、その進学の可否判定にはTOEICの得点を利用されている。また学部・大学院ともに、卒業・修了後ビジネス界に就職する率ももっとも高い学部・研究科であり、職に就いた後も英語力を要求されることは必至である。そこで外国語教育部会は、平成22年度に群馬大学の学生のおよそ半数を占める工学部（現、理工学部）学生の英語力を増強するために、大幅な英語カリキュラムの改善を検討した。その結果、平成23年度には教育基盤センター（現、大学教育センター）「外国語教育部会」がこれを実行に移した。おもな変更点は以下のとおりであるが、平成24年度以降もこの方策を継承し、さらに、1クラスの受講者数を削減するために、全体のクラス増を実現した。令和2年度現在、計20クラスを開講し、引き続き、1クラス30名以下の少人数クラスでの授業を実施している。

- 1) 週2回（90分×2回）の英語授業を履修する。
- 2) 前期2単位、後期2単位で、1年次に4単位を修得する。
- 3) 週2回のうち、1回は文法・読解力の養成、1回は聴解・会話等、コミュニケーション能力の育成を目的とした授業とする。
- 4) 4月入学時にプレースメントテストを行い、習熟度別クラスを実現する。
- 5) 7月の前期終了時にアチーブメントテストを行う。
- 6) 1月に後期アチーブメントテストを行い、達成度を計測する。

本学における全学の卒業要件となる英語の単位数は4単位であるが、英語力が低く且つ英語に苦手意識を持つ学習者群については、1年次に4単位を集中的に履修させることが望ましいと考え、週2回の授業で4単位を取得させるカリキュラムを運用している。また授業形態も「読解型」と「コミュニケーション型」の2種類とした。

こうした改変の成果は、新カリキュラム導入から2年後の平成25年度末のアチーブメントテストの結果に明確に現れた。また、平成27年7月のTOEIC-IPテストの結果は前年度比の伸び率が高く、その原因としては、理工学部における統一カリキュラムの効果に加え、平成27年度より、理工学部の入試に英語試験が導入されたことに起因すると考えられる。さらに、入試科目の英語導入後においても、TOEIC-IPテスト結果は引き続き伸びている。平成27年度以降から令和元年度7月実施の平均点は、H27（433.25点）、H28（446.80点）、H29（457.60点）、H30（467.30点）R1（462.5）と着実に継続して伸びている。

2.2.9 共同教育学部英語教育カリキュラムについて

平成23年度から小学校第5・6学年の外国語（英語）活動が必修化され、さらに新学習指導要領（平成29年3月告示）により、令和2年度には外国語（英語）活動が小学校第3・4学年に引き下げられ、外国語（英語）が小学校第5・6学年で教科として全面実施となる。そのため、学校教育現場では、小学校教員にも英語を指導する能力だけでなく、ALTとのチーム・ティーチングを行うための英語コミュニケーション能力が求められている。共同教育学部の学生は、基本的に小学校の免許を取得することになっているため、大学における英語教育のさらなる充実が望まれる。

外国語教育部会では、共同教育学部の教養英語について、令和2年度は、1年生を対象に、内容言語統合型学習（Content and Language Integrated Learning）に基づく学部統一の英語授業運営を行なった。令和3年度以降は、全学共通コア・カリキュラムへ移行することとし、2年次の教養英語科目に関しては、引き続き検討していくこととした。

資料 1

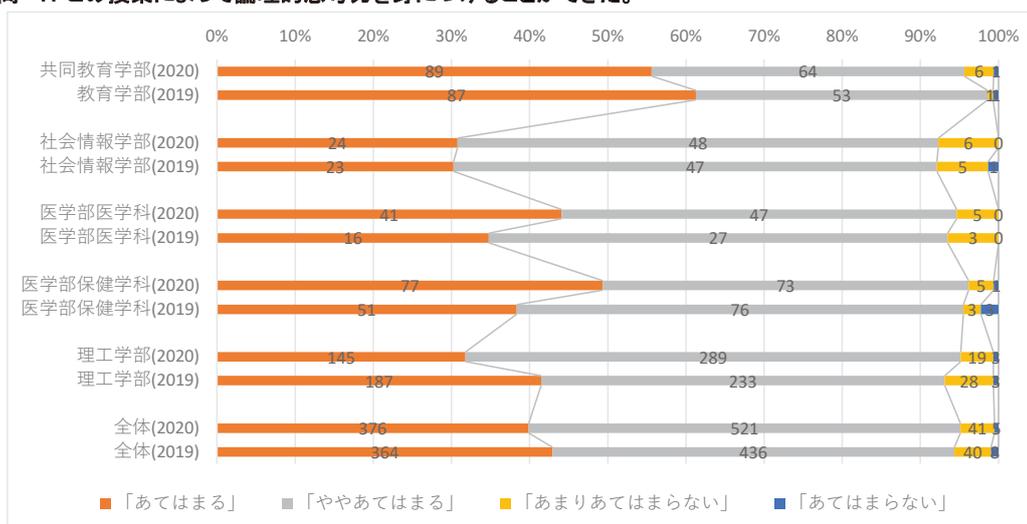
令和2年度 前期授業評価「学びのリテラシー（1）」集計表

区分	年度	対象者数	提出者数	回収率(%)
共同教育学部	2020	203	160	78.8
	2019	(234)	(142)	(60.7)
社会情報学部	2020	102	78	76.5
	2019	(102)	(76)	(74.5)
医学部 医学科	2020	112	93	83.0
	2019	(108)	(46)	(42.6)
医学部 保健学科	2020	162	156	96.3
	2019	(161)	(133)	(82.6)
理工学部	2020	553	456	82.5
	2019	(540)	(451)	(83.5)
合計	2020	1,132	943	83.3
	2019	(1,145)	(848)	(74.1)

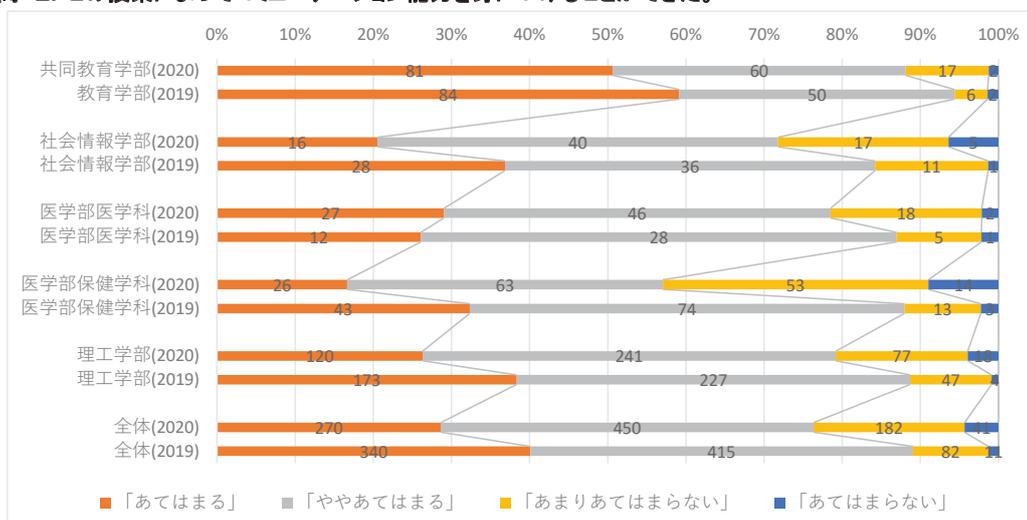
※ ()は昨年度の結果

※評価基準 1「あてはまる」 2「ややあてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「あてはまらない」(以下 同様)

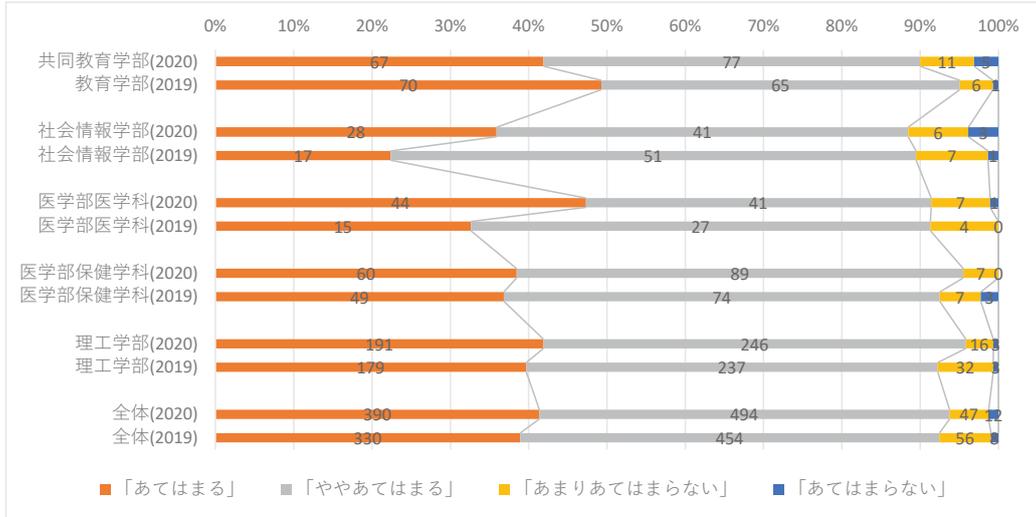
質問 1. この授業によって論理的思考力を身につけることができた。



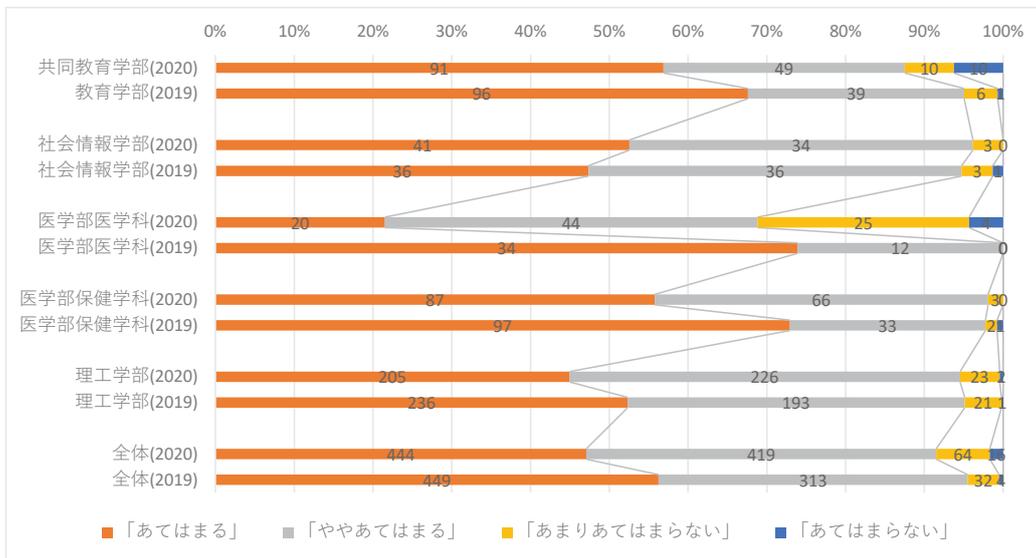
質問 2. この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。



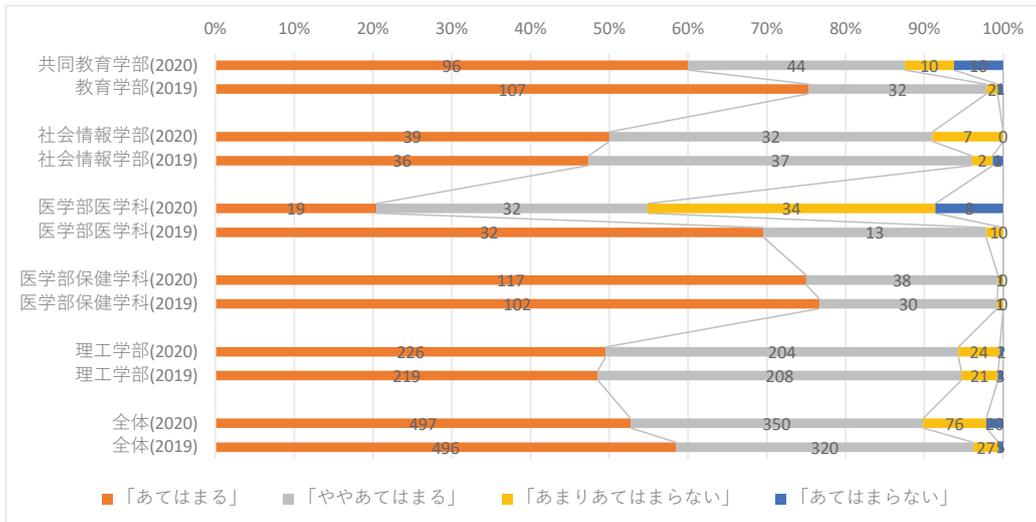
質問 3. この授業によって大学生に必要な日本語の能力を高めることができた。



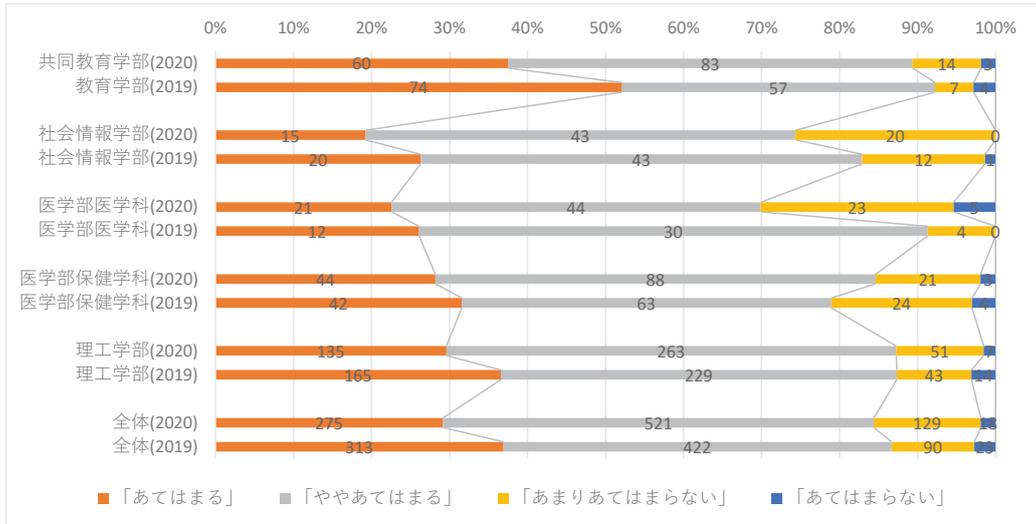
質問 4. この授業で報告の仕方やレポートの書き方が修得できた。



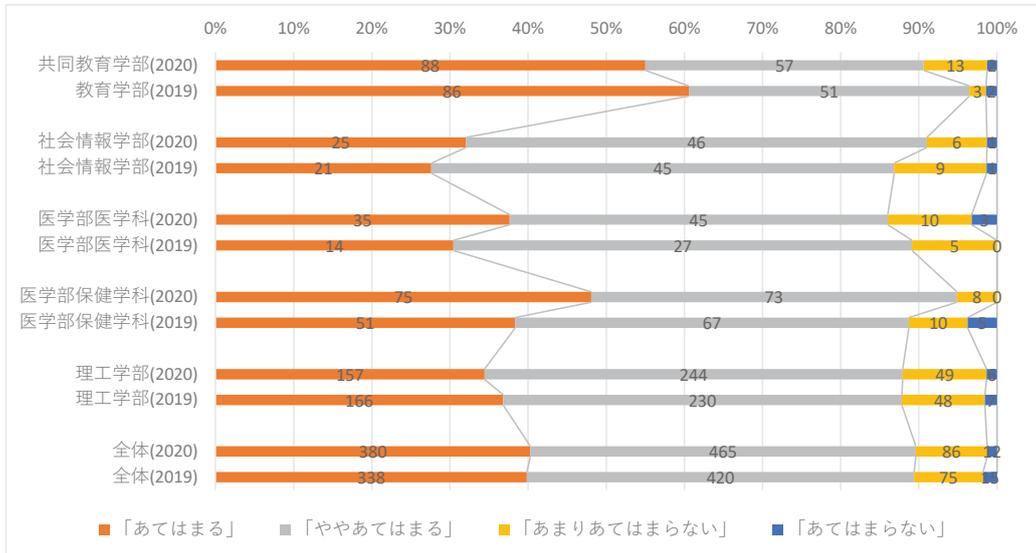
質問 5. この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。



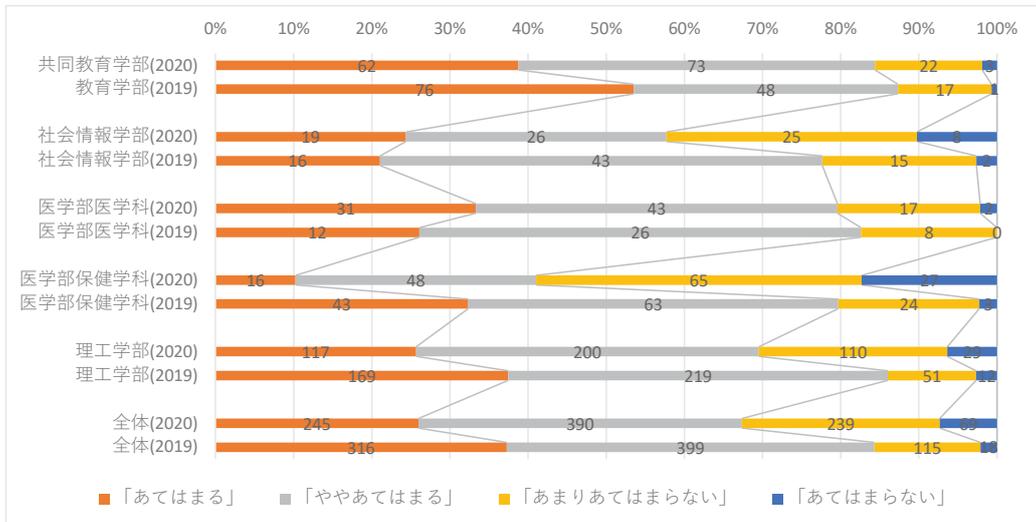
質問 6. この授業で大学での学習方法を修得できた。



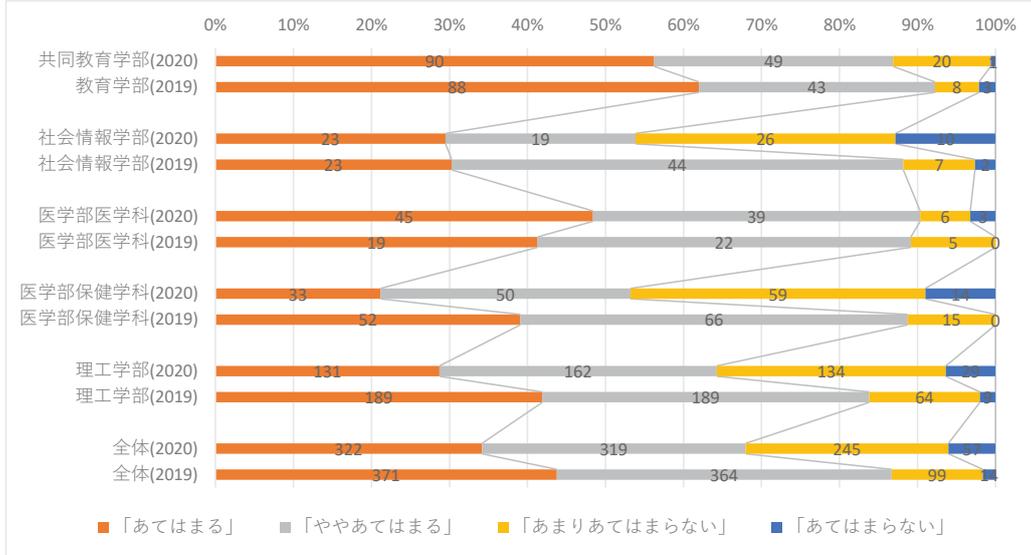
質問 7. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



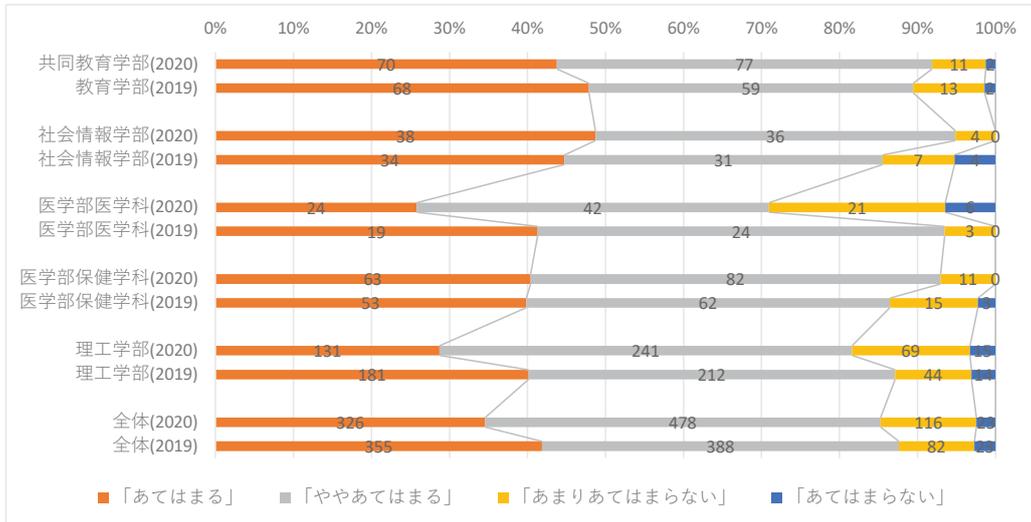
質問 8. 教室での討論は活発であった。



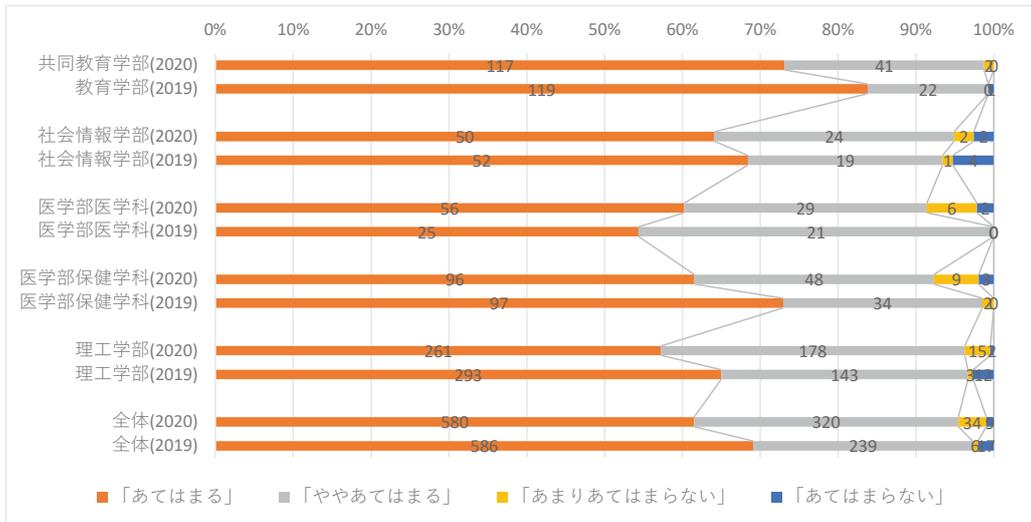
質問 9. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。



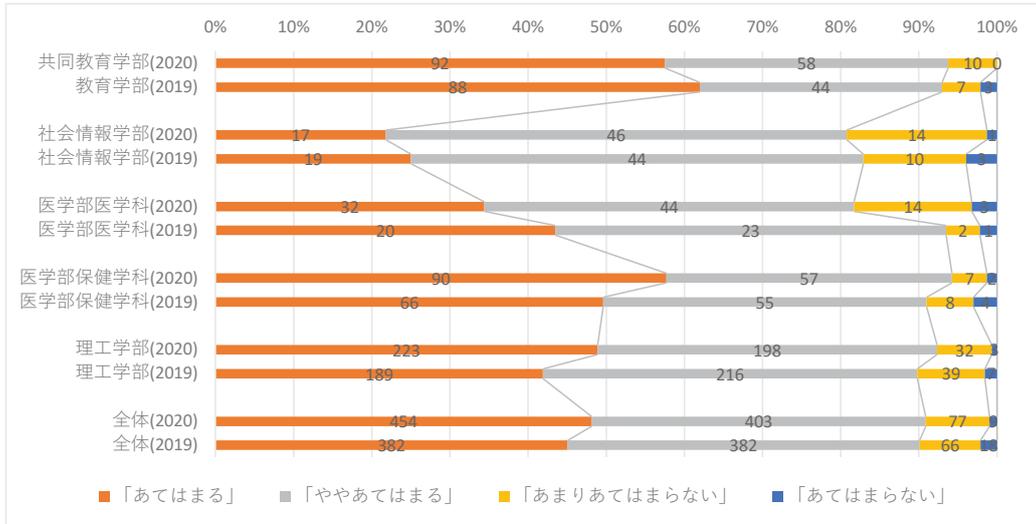
質問 10. 宿題(課題)の内容や量は適切であった。



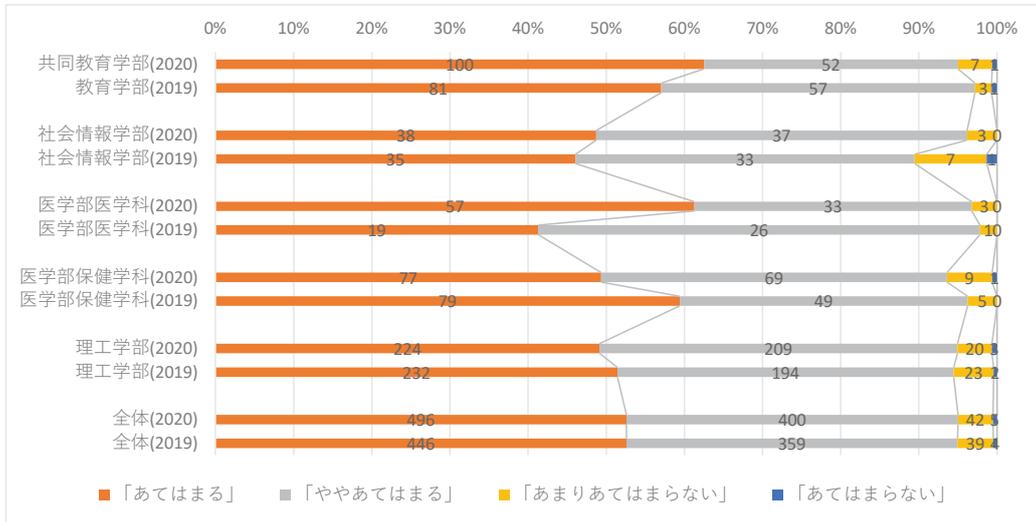
質問 11. グループワークの人数(グループワーク実施しなかった場合はクラスの数)は適切であった。



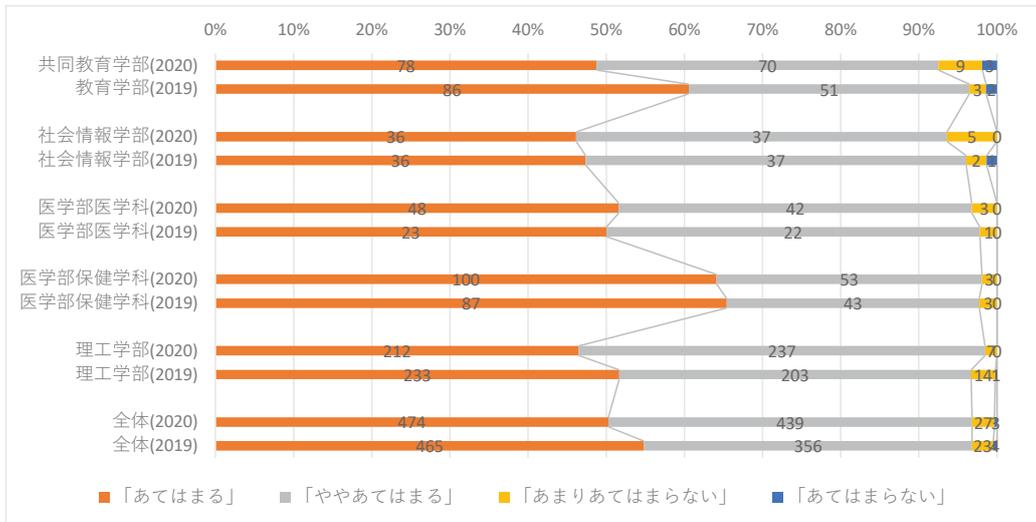
質問 12. 学部の専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。



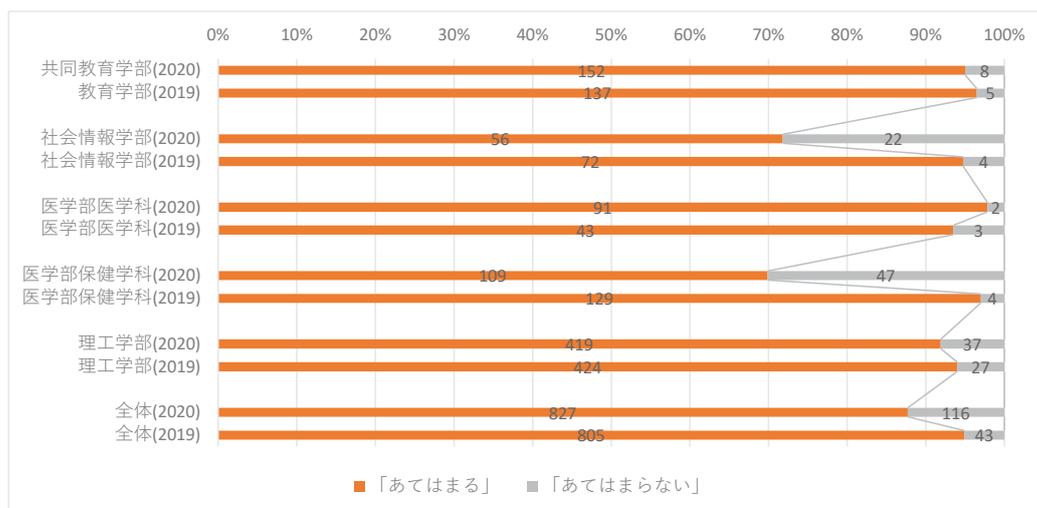
質問 13. 自分はこの授業に積極的に取り組んだ。



質問 14. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。



質問 15. この授業は教員による一方的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加(例えば、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。



学びのリテラシー(1)に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

質問1. この授業によって論理的思考力を身につけることができた。

身につけられた。

講義内容がとても分かりやすく楽しみながら考えられた。

大学で学ぶ上の基礎を学ぶことができた。

普段、行わないことを学べたり、常識的なことを学ぶことができた。

何かに基づいて考えたり、客観視したりすることの大切さを学べた。

根拠と考えをうまく結びつけることができるようになった。

論理構成を学べた。

自分の考え、意見を分かりやすく他の人に伝えるために論理的に文章を書く能力を身につける事が出来たと思います。

自分の要約や感想文を何度も読み返し、推敲することで論理的思考力が身についたと思います。

実際にプレゼンを作ることを通して、自分の主張をするために論理的に考えることを学びました。

実際に論文を読み、批判的検討を加える過程で論理的思考力を身につけることができたと思います。

先生のアドバイスや他のメンバーの作品が非常に良かったので、論理的思考をかなり向上させることができたと思う。

難解な文章が多く、内容理解と考察を通して論理的思考が鍛えられた。

文章作成トレーニングを積むことにより論理的に相手に物事を伝える方法が得られたと思う。

様々な文献を読むうちに身につけられたと思う

論文を読んで内容を理解し、発表することで論文の内容だけでなくその内容に関する自分の意見を持つことができた。

必要な文献は何か、必要な文献をどのように集めるか考えられたので良かったです。

色々な文章について考えることが多かったので、楽しめました。

文書構成の力が身についた。

文章の順序立てを気にするようになった。

レポートの書き方についてわかりやすい説明で、レポートの授業を受けた後に上手に書けるようになったため受けられて良かったです。

レポートの書き方はとても参考になりました。

レポートやプレゼンの力が身についた。

レポートや敬語についての指導の講義があった。

レポートや要約の仕方を通して、色々なことが学べてよかった

レポートをたくさん書いて、どのように書けば論理的になるのかしっかりと考えるようになった。

ブレイクアウトセッションでの話し合いやレポートの書き方なども勉強になりました。

大学で学ぶ上で必要なレポートの展開の仕方がよく学べたので良かったです。

1200字という長さの文章を書くことに対して初めは抵抗があったが、今となってはスラスラと文章を綴れるようになった。

cycleごとにレポート課題を設けることで、他人にわかりやすい文章を作成することを心がけることができました。

敬語の使い方が今まで曖昧で、なんとなく使っていたので正しい敬語を学ぶことができて良かった。

敬語の使い方やレポートの書き方等、将来に欠かせない能力を身につけることができた。

グループで皆の意見を聞く機会があって自分のためになったと思う。

多くの人と意見を知ることができ、考え方の幅を広げることができました。

あまり読まないジャンルの文章を読んだり、感想を話し合い、自分の感想や意見の書き方の幅が広がりました。なかなか解釈が難しい文章も話し合うと感想の切り口が違い興味深いということを学びました。

学びのリテラシーという内容と数学の講義の内容があるのかが疑問だった。講義の内容的にはとても考えさせられる内容であり楽しかった。

論理的に文章を書くコツがあまり掴めなかった

質問2. この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。

身につけられた。

対面で授業をしている時よりも身につけられないのでは、と思った。

評価や発言も要求されたので説明する能力が身についた。

反応の大切さなどを教わり、授業中での積極的な発言が求められた。

オンライン授業での新たなコミュカを学んだ。

グループワークができて良かったと思う。

グループワークが多かったので考えを深めることができた。

グループワークが多く、同学年の学生と話す機会があったのはとてもありがたかった。

グループワークの際に毎回同じグループで話し合いをしたのでメンバーとの会話に少し慣れることができた。

グループワーク基本だったので友人もできてよかったです

グループセッションによってグループ内の人とうまく議論を交わすことができた。

グループディスカッションでは、普段うまく人と話せない私ですがオンラインで気兼ねなく話すことができて、コミュニケーションをとることができました。

グループでのプレゼンテーションは同学年と交流のなかった私達にとってとても良いコミュニケーションの場となった。
グループ活動がたくさんあってよかった。
グループ活動を行うことでほかのひととの意見交換を行い自分の考えがさらに深まった。
同じグループのひととプレゼンテーションについて話しながら、すすめられた。
グループ活動を通じて、話し合いの進め方やグループでのプレゼンテーションを作る力が身についたと感じた。
グループ発表では授業時間外でのコミュニケーションが必要だったため能力向上に役立った。
数回、グループでの話し合いがあり、メンバー同士で意見を出し合うことができた。
後半では、決められたグループ内で発表するという形で演習をしていたが、知らないひとと意見を出し合うという機会があったのはすごくよかった。
4人グループでの発表では、授業時間外にもzoomでの準備時間をつくり、協力して発表原稿（ファイル）を作成することができました。
今回はオンライン授業という形になってしまったけど、グループで意見を出し合ったり、発表をしたりしてまだあったことのないひととも積極的にコミュニケーションをとることができました。
最後の班別の発表が最も大きな要因です。画面ごしということもあり、あまり緊張せずに話し合うことができました。
意見交換の場があったから。
少数で意見交換が有効でした。
自由に話す時間を作っていたことである程度話ができて楽しかったです。
今年は特にだと思いますが、同級生と話す機会ができ、楽しめました。
同じ専攻内での交流を深められた。
同じ専攻のひととコミュニケーションがとれたのがよかった。
同じ専攻内の学生のひとたちと話す機会があったため、多少はお互いのことを知ることができたと思います。
他の授業と違い、少人数でのグループ授業のため、よくコミュニケーションをとることができた。
質問を受けたり、感想を言ったりして、交流ができたと思います。
自分の意見を話すこともそうだが、相手のいう事の意図も汲み取ってあげることができたと思う。
他の学生とのディスカッションを通して自分の意見を伝える力や相手の意見を聞く力がつきました。
他の学生と議論を重ねることで、お互いの考えを深化させることができたと思う。
それぞれの文を評論する機会があり、コミュニケーションをとることができました。
発表する機会があったことがコミュニケーション能力向上に役立ったのではないかなと思う。
オンライン授業でしたが、プレゼンテーションを設けたため、能動的に質問や感想を述べることができました。
他の人が書いた文章の感想を述べたり、自分の考えを他のひとに説明したりすることを通して、自分の意見を持ち、人に伝える力が鍛えられた。
とにかくこの授業では話し合いが活発に行うことが出来ました。このような授業を他でも実践して欲しいと思うばかりです…。
例年とは違い対面ではなくオンライン上だったのでなかなか近くの人と話し合ったりはなかったのですが、それでもオンライン上でできるコミュニケーションは取れていたと思います。
ブレイクアウトセッションで意見をしっかりと言い合うことができたのでよかった。
ブレイクアウトセッションで会話とすることができた。
ブレイクアウトセッションで数人であるので話せるが全体でとなるとコミュニケーション能力は身につけたかわからない。
ブレイクアウトセッションの時間を多く取ってくださったのが良かったです。
ブレイクアウトルームでの活動があったのでオンラインでもひととの対話が出来たので少しはコミュニケーションを身につけることが出来たと思う
適度にブレイクアウトセッションを開き、発表の場を設けているのはよいと思います。
zoom対面だったので仕方がないのかもしれないと思う。
zoomだったので生徒間の会話はあまりなかった。
Zoomだとコミュニケーションがとりにくいです。
zoomでグループ活動をするとしても発言することに抵抗を感じて無言になってしまうことが多かった。
zoomでの授業だったため、最初の頃に話し合いがしにくいことがあった。
zoomでの授業なのではないのですが、二人以上が同時に喋ると声がどちらも消えてしまうこともありグループワークでも意見交換はあまりできなかった。
zoomで画面越しだったため。
オンラインであったため、学生同士で意見を交流する場が少なかったと感じた。
オンラインでコミュニケーションの機会自体が少なかった。
オンラインでのディスカッションは難しかった
オンラインで話が進まないことが多々あった
オンラインという難しい形式であるのは承知のことですが、やはりコミュニケーションをオンライン上でとるのは多少やりづらい点があった。
オンラインなのをいいことに沈黙していたのでコミュニケーション能力はさほど上がっていない気がします。
オンラインのため、ブレイクアウトルームを使っても会話を続けることは難しかった
オンライン授業だったので、直接的なコミュニケーションが取れなかったのが残念だった。

オンライン授業で専攻のみんなと会うことがほとんどないので、もっと関わる時間が欲しかった
今年はオンライン授業だったので、難しかったのだと思います。
やはりオンラインの環境だったので意見などもあまり言えなかった部分もあったと思います。
話すことがなかったので特に身に付いたという実感は全くない。
コミュニケーション能力を高めるような授業はほとんどなかった。
コロナの影響であまりコミュニケーションができていないため、実感はしてはいるが上がったと思う
あまりコミュニケーションをとる機会がなかったと思います。従って、本講義でコミュニケーション能力が伸びたとはあまり
思いません。
オンライン授業ということで、直接会っていないため、完璧にコミュニケーションをや高めることが出来たとは言えないで
す。
他の人と意見交換をしたり話したりする機会が無かったためコミュニケーションを取ることは無かったと感じる。
班の人としゃべる機会が少ないし、班の話し合いではあまりみんなしゃべらないです。
グループワークで全く発言をしない人がいてやりづらい。
自分は喋るけど相手があんまり喋ってくれなくて困った。
グループメンバーが全然話さない人たちだったし毎回同じグループだったのでコミュニケーションを取るのが辛かった。
こちらにコミュニケーションを取る意思があっても、相手からはそれが感じられないことがあり、そもそもコミュニケー
ションが十分に取れなかったと思う。
遠隔での会話であることから、どのように話し合いを進めて行くべきかがよりつかみにくいとを感じる場面が度々あった。
せっかくグループがあったのに原論1でしか使用されていなかった。
ディスカッションは行ったが、先生が一人ひとり指して行って発現するという形だった。もう少し自由なディスカッション
を行うことができればさらに良い。
プレゼンテーションをするグループの中で実際に対面して構成を考えることができなかったことが悔やまれる。
もっとグループではなし合う時間が多ければよかったと思った。
実際に対面で行うことはできなかったため、仕方のない面はおおきい。演習の回数は適切であったと思われるが、意見を話
し合う機会をより多く設けてほしい。
コミュニケーションについての講義はあまりやっていない。論文の書き方が中心の講義だった。
対面の講義室で受けるのと比べると、コミュニケーション能力を身に付けるには不十分であると思いましたが、正しい言葉
や文章を使うための講義でした。
手紙上などの文でのコミュニケーション能力は身につけられたが、対面でのコミュニケーション能力は身につけられたと感
じない。
文章を書く能力と話す能力は違う。

質問3. この授業によって大学生に必要な日本語能力を高めることができた。

正しい言葉や文章を使うために必要なことを学びました。
正しい日本語の使い方や敬語について学ぶことができた。
正しい日本語を意識して使った。
大学生が使うべき日本語のマナーなどを知ることができた。
きちんとした日本語で要約や感想文を書けるようになりました。
場面での適切な日本語について学ぶことができた。
日本語のことをまだ分かっていないと知れて良かった。
当たり前のように使っている言葉についてよく考えるようになった。
高められた。
授業を通していわゆる大人の社会マナーのようなものが学べる機会があつてよかった。
社会に出てからも必要になるであろう日本語の使い方について、今まで知らないことばかりで、この授業を受けずに卒業し
ていたらと思うとぞっとします。
今まで知らなかった単語を学ぶことができた。
回数を重ねるうちに日常生活ではあまり使用しない語彙力や表現力を高めることが出来たように感じます。
あまり読んだことのない類の文章が題材となっており、理解しにくい単語が出てくることもしばしばあった。その際に語彙
を増やせたのではないかと思う。
敬語で意外と分かっていないことが多かったので、講義が受けられてよかったです。
敬語についても学べたこと、メールの形式について学べたことが大きいと思う。
敬語のところをもう少し勉強したいと思った。
敬語の使い方などを学んだので今後に生かしていきたい。
敬語の使い方の授業はすごくためになった
敬語の使い方は身近で役に立つと感じた。
敬語は特に参考になった。
敬語や手紙の書き方は大人になってから必要となってくるスキルであるので今一度学ぶことが出来て良かったです。
電子メールやwordの書き方、敬語の使い方がとても参考になった
幅広い文章に触れることができた。
文章の上手い人を参考にできた。

文章をわかりやすく、他の人に伝える能力を高めることができました。
文章を書く機会が多かったため、文章を書くことに少しだけ慣れることができた。
文章理解にも課題製作にも正確な日本語の使用を意識する必要性を感じられた。
レポートで使う言葉を知れてよかった。
レポートなどで使ってはいけない日本語を理解することができた
レポートに適切な言葉遣いを学べた。
レポートの書き方の授業を通して、学べたと感じている。
レポートの書き方はほかの授業でも応用して使っています。
論文やレポートを書くためには高度な日本語力が必要であると実感した。
論文に適切な言葉・不適切な言葉などを学ぶことができた。
手紙の書き方などの日本語の正しい使い方を学ぶことができて良かった。
手紙やメールなど今後利用することの多い身近なものを使って学ぶことができたので、為になった。
手紙やメールの書き方について改めて知る良い機会をいただきました。
メールの失礼ない書き方がわかりよかった。
中でも、メールの書き方に関する講義は、ほかの授業にも生かすことができ、とてもためになりました。
他の人の課題を見ることが非常に勉強になった。
他の学生の文章を見られたので、さまざまな文章の書き方に触れることができたと思っています。
他者の様々な文章を読み、それぞれの良さを言語化することで質の良い文章がどういったものが少しわかるようになってきたと思う。
同じ文章を読んできても捉え方や言葉の変換の仕方が人それぞれだったので、自分があまり使わない言い回しを他の人の文章から学ことができました。
1200字書くという試練に慣れることができた
主人公自身とその種類だけに注目するのではなく筆者がこだわったであろう細かい文章表現にも注目できるようになった。
実際に自分の文章や他の方の文章などを推敲する作業などは、自分が使っている日本語の間違いを認識できるため、大変勉強になりました。
課題で出された感想文は、高校時代にはあまり経験しなかったことで、どう書いたら良い文章になるのかを考えながら書くことで文章作成能力が身に付いたと思う。
他人に説明する力を磨くことができた。
様々な信憑性のある論文を参考にして、言葉を学んだり、発表するうえで言葉遣いに気を付けることができました。
本を読む意欲が高まった。
もっと広い議題から、自由に文章を書いて添削してもらえる機会が多いと成長をもっと感じられたと思う。
数学についての知識が多かったため、「日本語の能力」についてはあまり高められなかったように感じる。

質問4. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。

レポートが書けるようになってうれしいです。
レポートの書き方などは全く知らなかったので、この授業で学べてよかった。
レポートの書き方は、色々な講義に役立てられると思いました。
レポートやメールを送るときの注意点を知ることができた。
レポートを提出する授業が多かった為、基礎から何が必要なのかわかりとても役立つ。
レポート等を書く上での決まりについて、特に重要な部分を中心に学ぶことができた。とても分かりやすかった。
最初はレポートの書き方が分からなかったが、この授業を通して学ぶことができた。
詳細な説明に加え、実践的な授業によって、レポートの書き方について、知ることができた。
レポートの課題が多くなっていくのははじめのうちから学べてので良いと感じた。
この講義を受けるまでレポートの書き方が分からなかったが、どのようなことに気をつけたら相手を読みやすいレポートになるか、また、文献の検索方法や記載方法も学ぶことができたのでとても良かったです。
最初の授業で点で駄目だったが、徐々にしっかりとしたレポートを書くことができるようになったと感じている。
個人的には、この講義で得られるもののうちで最も重要な点だと思っている。
習得できた。
レポートというよりは作文という形で表現することを習得できたと思う。
レポートの書き方というよりは、要約や感想文を書くことがメインだった。
レポートの書き方というよりは、他の人に説明する能力を高めることができました。
実験レポートの書き方を学べたのでよかった。
授業で扱ったのは実験レポートのみではないのか？
読み手に伝わる文章の書き方が分かった。書いた後、自分でもう一度客観的に文章を読むことが大切だと思った。
要約課題を通して、重要な部分を見抜き、端的に表現する能力が身についた。
段落分けや書く流れが分かった。
参考資料の正しい表記の仕方を教えていただきました。
参考文献の引用やよみやすい書体などを知ることができました。
参考文献の書き方など、知らなかったので、これからのレポートに活かしていきたいと思いました。
参考文献選び方や引用の仕方など正しく活用する方法を学ぶことができた。

初めて参考文献のちゃんとした引用などをしました。大変ためになりました。

今までレポートを作ったことがなくて不安だったけど、考察の書き方や参考文献の利用の仕方を学べてよかった。

完璧だとは言えないが、参考文献や図の説明などの適切な書き方を学ぶことができた。

今まで知らなかったことについて勉強できたので、とてもありがたい授業でした。

細かいところまで説明して下さったのがありがたかった。

具体的な例を見ることが出来たので、書きやすかった。

説明が丁寧に理解がしやすかった。

先生からのフィードバックによって自分のどこが悪いのかを理解することができた。

授業中に自分がなぜこのような文章を書いたのかを説明できるようになった

発表に対する質問のコツはとても参考になりました。

正しい報告の仕方やレポートの書き方を知ることはできたけれども、それを反復して復習しアウトプットすることができなかったと思うので、長期間中に復習し身に着きたいと思います。

まだ少しレポートの書き方には不安がありますが、本などを読んで直していきたいを思います。

レポートの書き方は習っていないと思います。

レポートの書き方などは一切やっていないのでわからない。

参考文献など、レポートの書き方についてはあまり教えていただくことができなかった。

報告の仕方、レポートに関する授業は行われていない。

報告の仕方やレポートの書き方は授業内容として扱っていないと思う。

授業毎に出ていた課題は、いわゆる「レポート」というようなものではないような気がする。

直接レポートを書いたわけではありませんが経験談や詳細説明を用いて意見を伝えるという作業を通して身についた能力はレポートにおいて結果を踏まえて考察するという作業に役立つと思います。

文章の書き方について授業内で細かく指導されたわけではないので、レポートの書き方は本を買って学んだ。

まだ理解が浅い部分がある。

他の授業でよく言われる「大学生なら当たり前」なフォーマットをより具体的に知れたほうがいいかもしれない。

ただ字数制限（最小限度）を設ける理由が分かりません。

先生によって発言内容が異なっていたりしてわかりづらい部分がありました。統一していただきたいです。

他学部他専攻が教授からそれらを教えていただいているのに対し、自分は自ら調べたことからしか修得の手段が無いことに不安を抱いていた。

質問5. この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。

どこの情報が正確なのか、どのような場所から情報を取るべきかについて学ぶことができた。

きちんと信頼性のある資料を選択する力が身についたと思います。

レポートを書く際には信用度のたかい一次情報を用いた方がいいことを知った。

文章中から必要な情報を収集する力が身についた。

文献検索、引用の仕方はとてもためになったし、これからの大学生活で一番必要とされるものだと思うので学ぶことができてよかった。

昔の社会制度や物理の専門分野など検索しないと文章の理解に苦しんだこともあったため自分の考えを示すための情報収集や引用方法を修得することが出来たと思います。

論文検索の仕方を学んだ。

医中誌Webの使い方が分かってよかったです。

医中誌Webの使い方を丁寧に教えてもらった。

引用の仕方が分かって良かった。

引用文献の適切な示し方を学んだ。

引用するにあたって言い換えることを学んだ

引用の際に使うべき記号などを習得することができた。

論文を引用して書くレポートの書き方を知ることができました。

メディアによって引用の仕方が異なることから、その違いをきちんと理解することができた。

参考文献の書き方を学んだ

参考文献の正しい引用方法を学べ、よかった。

参考文献の表記の仕方を知ることができた。

参考文献や引用文献の書き方を学ぶことが出来た。

今まで参照の書き方を知らなかった、かつ書くことも知りませんでした。学ぶことが出来ました。

論文を書く上での参考文献の書き方を学べた。

適切な参考文献の選び方、本文においての適切な参考文献の書き方を学ぶことができた。

重要なことは、読み手が情報源にアクセスできることだとわかった。

情報元を提示する大切さ、それを怠ったときの、怖さをしれた、。

引用元を記入しないと訴えられる可能性があること学び、引用することの重大さを感じた。

やや学ぶことができた。

理系の文章は参考文献等の書き方もなんとなくは理解できていたが、文系の参考文献の使い方等はあまり知らなかったため他の人の使い方を見て学べました。

引用をして意見を補強するというより自分の考えを伝えることが多かったと思う。

情報収集のためにネットサーフィンをするのはあったが、要約と感想を書きただけだったので大して引用はしなかった。

図書館に普通に行けるようになったら、もっと本を読みたい

引用はしなかった。

情報収集や引用の方法について学ぶ機会はなかった。

情報収集・引用については当授業では扱っていない。

設問の内容についてやっていないのでわからない。

文章を書くうえでさほど文献を引用していないので、この授業を通して学んだという実感はない。

引用についてはあまり教えていただけなかった。

電話して参考文献もらう場合がどんな時に必要なのかわかりません。

質問6. この授業で大学での学習方法を修得できた。

大学での学びは疑問を持つことだと学んだ

大学ではこんな風に国語を学ぶのだなあと思いました。とても面白かったです。

高校までの学習方法との違いについて考えながら、大学での学習方法を習得できた。

大学では問いを立てて考えるということを知ることができた。

大学の学習は高校と異なり暗記ではなく思考力が必要となる授業が多いと思うので文章を読んで自分が感じたことを文章に起こすという行為を通して大学での学習方法を習得出来たように感じます。

大学生にとって日頃からやや長めの文章を読み解き書くことは難しく熟さなければいけないのだなと思った。

取得できた。

レポートの書き方を学ぶことができた。

レポートを書く時の心得を習得できたと思う。

大学ではレポートの課題があり、その仕上げ方を知れて良かった。

この科目以外でもレポートの提出があったが、この授業で学んだ方法を実践しながら取り組むことができた。

自分で考えて、自分の意見を言うことができるようになった。

自分で積極的に考えを深める訓練ができた。

ただ知識を得るだけでなく、自分で考え、また他の人の意見をもとに多様な視点を持つことができるようになった。

コロナという特殊な状況下の中で、授業を変更して、オンライン授業の受け方について、教わった。

本来はオンライン授業ではないため、実際の授業がどのようなものかわからなかったけれども、自主学習の仕方改善すべき点を見つけることができたので、前期を振り返って後期に生かしたいです。

様々なパターンの授業があるので、なんとも言い難いが、一例としては有効な授業であると判断した。

数学について学んでいく大切さを身につけることができた。

時間の使い方を考える講義があって良かった。

メモを取るものの大切さや文章を批判的に捉えることを学ぶことができた。

オンラインなのであまりわからなかった。

現在、対面の授業の場合との違いが明確に分かる状況にない。

周りの学生がどのような方法で勉強しているかを知ることはできませんでした。自分なりの方法で授業を受けていました。

講義を聞いても学力が身につけている気がしなかったり、レポートが多くて自分に必要な勉強が進まないで何とも言えません。

一部授業について行けなくなった科目があるから。

課題文を読んだ要約・感想の作成は「大学での学習方法」とつながるか不明。

質問7. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

適切であったと思う。

わかりやすかった。

生徒の質問を随時受け付けていたため、オンラインながらわかりやすい授業だった

オンラインでの講義でしたが、理解しやすいように工夫されていたと感じた。

大学生になって必要となる知識を、この授業から大体学べたと感じた。

プレゼンテーションはとても良かったと思う。

WordやPowerPointの使い方も教えてくれて親切だった

パワーポイントを使用することで、ワード以外の方法でも表現することが出来ることを学べた。

グループ活動が多く他の人と意見の交換や教え合うことで理解度を高めることができた。

授業の順番を変えて、レポートの書き方を早く教えてもらったのでありがたかったです。

選ばれた文章が面白かったし一貫性があった

例で出てくる文章も面白いものが多かった。

扱うテキストは小説や随筆であり、目の付け所が多くあって面白かった。

今まで自分では触れてこなかった小説や随筆だったので、面白かった。

レポートの内容が、専攻に沿ったお題であった。

自分の興味のある分野を調べられてよかったです。

各回で課された課題は、講義内容を踏まえたうえで書くようなテーマに設定されていた。そのため、課題をやりながら自分の理解度を確認できた。

今までなんとなくで済ませていた分野をしっかりと論理的にやり直したのでためになった。

授業のたびに今まで知らなかった自分の文章の特徴を知ることができ、とても積極的に参加することができました。

簡単すぎず難しすぎず、じっくり考えて理解するのに適切な難解さの文章であった。

内容が難しく理解するのが少し困難であった文章もありましたがその分思考力が身についたと思います。

なかなか難しい文章が多かったので要約の際に理解できない部分も多かったのですが、他の人のようやくも聞くことでその文章に対してわからなかったことが少し理解できる機会がありました。

講義内で丁寧に説明していただきましたが、医中誌Webでの検索のところが慣れなかったため少し難しかったです。

自分でテーマを決めることは難しかったけれど、自分の興味のあることを調べるという作業はとても充実していたし、楽しかったです。

自分たちの好きなテーマを決めてレポートを書いたのでどんどん深く学び、まとめることができました。

レポートについて聞くだけでなく、実際に自分の興味のある実験について自分でレポートを作ってみるのはいいことだと思った。

テーマ決定の際にサポートしていただけて助かりました。

先生が一人一人に対して適切なフィードバックをしてくださったと考える。

一度講義を行ってから、その理解度を確認するための演習を行っていたため、復習になる。

講義中に質問時間を多く設けてくれたので、質問をしてすぐに返事をもらうことができました。

アウトラインを書く時間を調節していただいた点が良い点だと感じました。

課題が事前に決まっているので、学生への配慮が臨機応変に為されていたかはわからない。

質問8. 講義での討論は活発であった。

活発であった。

お互いに意見を言い合えた。

自分の班は特に活発だったと思う

質問や感想など、発言を相互にすることができました。

直接会ってはいないものの、しっかり議論できた。

他者と意見を交わす時間がとても充実していて楽しかった。

多くの人が自分なりの意見をしっかりと発言していたと考える。

グループで多くの意見交換ができた。とても良かった。

人数が少ないこともあり、ある程度顔の知ったメンバーだったためとても議論がしやすかった。

プレゼンテーションなどもあり、オンライン授業としては活発に討論ができたように思います。

ほぼ毎回行われたグループアウトセッションが良かった。

討論とはなっていないが、グループ内での意見の出し合いは非常に活発であった。

討論をする機会がなかった為、討論は活発に行えなかった。グループワークとしての、話し合い等は活発に行えた。

私のグループでは毎回事前に誰がリーダーをやるのかを決めていたので円滑に話し合いを進められた。

今回の授業で今まで知らなかった同級生とオンライン上で話すことができて良かったです。

先生と生徒との会話が時間の都合上中心となっていたが、それでもかなり先生から良いかえしをいただけたと思います。

講義の時間外で班員と発表用資料を作成しているときに最も活発でした。

自分とは異なる観点から物事を見ていることがわかった。

批評では自分の文章の欠点や長所を知ることができ、とてもためになった。

一つの文章につき多くの方の意見を聞くことができたのはよかった。

他の人の書いた文章に対し、批判的な感想でなく独創性を重視する授業であった。

自分の意見が言いづらく、黙ってしまうことも多かった

特定の子だけすぐ質問していました。

討論を学生間で行うとzoomでは発言しない人も出てしまうのでその点はどうかなと良いかと思う。

遠隔授業であることによって、普段よりもグループによる差が大きかったように感じた。

Q5でも書いたが、ブレイクアウトルームで討論に参加する人は固定されていた。討論に参加している人は活発に活動していたが、全員がそうではなかった。

活発なのは良いがそれを良しとして発言が多い人が少ない人に攻撃しているようになるのは如何なものか。

話し人が固定されていましたが、役割分担をきちんとして課題を仕上げることができました。

意見を出すことは活発に行われていたが、討論というより個人の意見を聞くだけのことが多かった。

グループワークの時間が少なかったです。

グループ内で討論する時間が少し短いと感じました。全体での発表する時間をもう少し減らして、グループワークの時間を増やして欲しいです。

zoom対面だったので仕方がないのかもしれないと思う。

zoomだとみんな黙り込んでしまうことが多かった。

オンラインだったので、少し発言しにくかったです。

オンラインだと少し発言しづらいなと感じた。

オンラインだと誰が話し出すかが分からない、被ったら聞こえないなどの心配があり、話し出さない人が多いように感じた。

オンラインでなかなか話し出すのが難しいから仕方ないような気もする反面、あまりにもはなさすぎるかなとも思いました。

オンライン授業であったため、対面授業に比べるとあまり活発ではなかったと思う。

オンライン授業では積極的にならないと思う

オンライン授業ということもあり、自分から積極的に話さなければ、議論することもなかったです。

オンラインだったこともあり、討論よりも1人ずつ意見を言っていく授業展開だったため、活発な討論はあまりなかった。

オンライン上だとなかなか質問や意見を言うのが難しいと思った。加えて、実際に会って話すなどのコミュニケーションがまだできていない状態で、いきなり討論しろと言われるのは少し厳しいと感じた。

一度も対面で顔を合わせていない中で討論はやはりきびしい。

討論の内容が難しかったため満足のいく討論は少なかった

先生に学籍番号の順に指名されて答えて、それに対して先生がコメントする方式であったため、議論が活発だという実感はなかった。

決められた議題を議論することはあっても、その後時間が余ったときに雑談をするなどの積極性はなかったので、討論自体が活発に行われていたとは思いませんでした。

音質が悪かったり、ノイズがないってしまうなどで話し合いが円滑に行われないため、あまり活発に討論が行われているとは言えない。

討論形式にすると時間がかかって話の進行を遅らせてしまった。

活発ではなかった。

機会を増やしてほしい。

オンラインなのでなかった。

討論をしていません。

討論の機会はありませんでした。

対面の講義ではなかったため、討論はできませんでした。

質問9. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。

機会は多かったと思います。

毎週の授業が楽しみだった。

唯一の対面授業で、コミュニケーションがとりやすく、楽しく授業を受けることができました。

この授業は、毎回特定の教員や学生とコミュニケーションすることができました。コロナ禍では一番、コミュニケーションをとる教科だったと思います。

オンラインゆえに生じた接点もあったことはひとつの収穫だと思われる。

オンライン授業でありながらもコミュニケーションはできていた方だと思う。

授業は講義よりも教員や他の学生とのコミュニケーションが中心だった。

全く知らなかった友達とコミュニケーションをとることができた。

チャットや反応ボタンを利用しながら、コミュニケーションをとれたと思う。

何かあればチャットに書き込むよう指示されたり、説明が理解できているかを確認するために反応ボタンを押すよう指示されたりと、コミュニケーションをとる機会は多かったと思う。

教員は反応機能だけだったが他の学生はコミュニケーションをとる機会が多かった。

ブレイクアウトルームを使って、学生と話し合うことができてよかった。

数少ないブレイクアウトルームが上手く機能した講義だった為同じ学部の人とコミュニケーションを取る数少ない貴重な機会に恵まれた。

最初はランダムにメンバーを分けてブレイクアウトセッションをしていて毎回新しいメンバーで話し合いができました。後半もカメラをオンにして話すことができ、良かったです。

チャットによりたくさんの意見を知ることができたけれども、学生同士直接コミュニケーションをとるのはブレイクアウトセッションのときのほうが多かったように思います。

授業中のやりとりに加え、メールでの相互評価のおこなった。

グループで議論の時間などが設けられて他の生徒と議論しやすかった。

グループメンバーに限ったことではあるが、他の学生と話す機会はあった。

グループ活動の回数がどこの授業よりも多く意見も活発に出せていた。

オンライン上でもグループワークができたのがよかったと思う。

初回のリーダーが話しやすい雰囲気を作ってくれたので、最初から最後まで沈黙するという事は無かった。

発表への反応を求められたし、授業中にも反応を求められた。

先生と話すことができた

先生に質問をしたりされたりすることはあった。

先生が生徒の意見を否定せず、返してくれたのでとてもやりやすかったです。その中で先生の読み方も教えてくださって自分の読み方を否定されなかったので良かったです。

分からない所を質問すると丁寧に教えていただけたので良かったです。

先生や他の学生の意見を聞くことは、とても大きな刺激になりました。

先生とのコミュニケーションはあまりとれなかった印象があります。

教員とはコミュニケーションをとったが、他の学生とのコミュニケーションはあまりなかった。

教員と学生のコミュニケーションは多かったのですが学生同士は少なめであったように感じます。

少し少ない気がしたがよかった

対面式ではなかったため少なかったと感じる。

やはり対面授業ほどコミュニケーションの機会がなかった。

コミュニケーションといえるほど長く深い会話はしていないと思う。

グループワークはオンラインという環境上難しいため、話し合う機会はほとんどなかった。

オンラインだから仕方ないと思います

オンラインなのでなかった。

コロナがあったからしょうがないと思う。

会話というより、意見を述べるだけという感じだった。

講義中に質問時間を多く設けてくれたので、質問をしてすぐに返事をもらうことができた。他の学生とのコミュニケーションはとっていない。

他の講義に比べてbreakout roomでコミュニケーションをとることは多いと感じましたが、対面の講義の方がより多いと思います。

生徒の顔が分からない

緊張しました。

一度対面であってからのほうが話をしやすい。

質問10. 宿題(課題)の内容や量は適切であった。

ちょうど良いと思う。

分量が多いと感じることもあったが、平均すれば適切な量・内容だったと思う。

要約と感想を3週間に2回ずつのペースだったのでかなり適切であったと思います。

レポートやパワーポイントは、必ず2週間の猶予があったので、そこまで負担になることはなかった。

期限が二週間程度用意されていたため、準備をしっかりとらえて取り組むことができた。

他の講義でも課題が大量に出されてこなし切れないものも出てきていたため13-14週に課題量が配慮されていた事が非常にありがたかった。

若干重かったが、やりきれる量でした。

最終課題は難しかったが、やりがいがあった。

ほぼ毎週課題があったので大変だったが、文章を書く能力の向上につながった。

毎週1200字の文章を書くのは大変でしたが徐々に慣れていきました。

同じような内容の課題が繰り返してました。

レポート作業も分担してできたので良かったです。

課題を仕上げるのが楽しいと感じるような内容でした。

この宿題と最終課題で、少しずつ校閲していけて、良い発表原稿を作れた。

もう少し提出する課題を増やしてもいいと思った。オンライン授業なので評価する要素が少ないと不安に感じる。

多い。

多いですorz

多かった。

多すぎると感じた。

慣れていなかったせいか少し多い気がしました。

オンラインなのでどの授業も課題を出しすぎていて無理があります。

課題の量は適切であったと思うが、オンライン授業のため他の教科での課題が多く、負担としては大きかった。

一週間に1200字の要約や感想文は少し多いと感じた。

要約文、感想文ともに1200字はキツかった。せめて要約文は400字にしたほうがいい。

授業当初のシラバスによると、課題文を読んで要約を作成し、改善点を見つけるのが目的であったはずだが、いつの間にか感想文作成が増えた。課題量はやや多めな印象を受けた。

事前課題があり、かつ事後課題もある週は寝る暇を極限まで削っていました。他の課題との兼ね合いもあり、健康状態に影響が出てきたりと深刻な日々です。

わかりにくい面が少々あった。

最後の課題はかなり難しい。

課題の内容が難しく、今までで1番考えた気がする。

要約・感想ともに難易度が高く、他の科目の課題もあったため、こなすのは簡単ではなかった。

他教科に比較すると相対的にハードルが高い内容であったと思います。同じ内容でもいいので早めに課題を提示していただけるともう少し心理的に楽だったかもしれません。

質問11. グループワークの人数(グループワークを実施しなかった場合はクラスの数)は適切であった。

ちょうどよかった。

時間設定に対してちょうどいい人数だったと思う。

少人数で意見を聞きやすかった。
後期も同様の人数にしてほしい。
多すぎず少なすぎずだった。
三人程度だったため話がまとまりやすかった。
3~4人程度が話しやすく一番ちょうどいい。
私のグループは7人だったが、話し合いに参加しない人もいたので3~4人程度のグループの方が良いと思う。
その方が発言するときの抵抗感が減るかもしれないし、一人一人の責任感が増すと思う。
多すぎても会話に入れない人が出る可能性が高いため、4人と言う構成は非常に良かったと思う。
多すぎても話し始めるのは難しいと思うので4人程度が安心しました。
ブレイクアウトセッションでのグループ内の人数は、ほとんどが4人で、ちょうどよい人数だった。
最後のグループワークが6人中4人しかいなかったが4人の方が進行がしやすかった。
5,6人よりも3, 4人の方が意見が交換しやすいと思った
グループは4, 5人であるため、話してもそこまでうるさくならない人数でした。
人数が多いとスムーズに話が進まないこともあるので4-5人のグループで良かったと思います。
4~5人という各々意見を聞くにも時間がかからず、なおかつ少なすぎて各グループの結論の信憑性が低いというわけでもなくちょうどいい人数配分だと思いました。
私のグループは6人だったが、時間内に全員が少なくとも一回は発言できたので問題なかった。
少し多い気もします。
やはり人が多くて良い討論はできず深い話は出来なかった
先生方の人数に限りがあるとは思いますが、1グループの人数はもう少し少なくてもいいと思います。
多いとは思ものの、教員の数も無限じゃないですしね。
いきなりグループワークといってもやりづらい。
グループワークが活用できていなかった面があった

質問12. 学部の専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。

よかった。
専門教育を学ぶ前に必要な教養だったと思う。
教育についてはもちろんのこと大学の課題を行うにあたって必要なことを学べた。
教育について学ぶためだけでなく、すべての大学の授業において必要なものであった。
国語や教育に関連する諸問題を考察することで、自分が今後どのようなことを学んでいくべきかを考えることができた。
社会専攻は柔軟な思考が求められているとよく分かった。
数学以外について、例えばレポートの書き方などについても学びたかった。
プレゼンテーション能力は教師になったときに必要な力だと思うので、その能力を向上させるきっかけになったと思います。
医学の内容こそ出てこなかったものの、論理的でわかりやすい文章を作成するトレーニングにはなったと思う。
医学の文章ではなかったものの将来文章を読む機会がたくさんあることに加え医者として人の心情を考えるという能力は必須であるためこの授業内容は医学を学ぶ上で必要であると感じました。
将来患者さんに分かりやすく伝えるためにも、順序立てて文章を書くトレーニングは重要であったと考える。
健康に関する話題を知れてよかった。
今後文章として自分なりにまとめる力を身につける、という点で、必要な授業内容だったと思う。
レポートの書き方など今回の講義でも役立つ内容だったと思います。
特にレポートの説明についてはとても重要だと思った。一口にレポートと言っても複数の種類があるのでそれぞれの違いを知れて良かった。
文章を批判的に捉えることの大切さを学ぶことができた。
コミュニケーションを自分から積極的にとることの大切さを感じた。
共感性・論理的思考を育むにあたってとても有意義な授業であったと感じます。
人の気持ちを汲み取る想像力を必要とする臨床現場に役立てられるよう、想像力を養うことができた。
ズームの受け方など、今後の授業で活用できる物が多かった。

質問13. 自分はこの授業に積極的に取り組んだ。

取り組んだ。
課題や授業に関してとてもまじめに取り組めたと思う。
グループに迷惑をかけないためにも、積極的に取り組んだ。
グループ作業でも積極的に参加し、分担された仕事以外にも手伝いをしました。
なるべく発言をするように心がけた
私は人と話すことが苦手だが、少人数のグループでオンラインということもあり、割と初対面の人でも話しかけることができた。
毎週の課題はよく練って完成させ、授業中も意見を出していた方だと思う。
レポートやパワーポイントを頑張った。
充実した内容、見やすさのパワーポイント・レポートを作ることができたと思います。

自ら再提出を望んだ姿勢は褒められるべきだ。

内容理解においても課題製作においても真剣に考え、またほかの人の文章に対しても十分に意見を言えた。

最後の感想文の課題は、7時間かけて制作した。かけた時間が積極性と比例するわけではないと思うが、私自身、与えられた文章に対して真摯に向き合い、考え抜いたと自負している。

感想を書く際は大きく感情をかき乱されながら、感情を削りながら書いていたと思います。とても面白かったです。

たくさん考える講義であったので楽しかった。

講義内容を踏まえ、「どうすればよりよい文章が書けるようになるのか」を考えながら、自発的・積極的に取り組めた。

データ上、非常に積極的であったとは言い難い。

課題や他の学生への評価は積極的に取り組みましたが他の学生の文章への質問が少なかったように感じており、反省しております。

質問14. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

適切でした。

沿っていた。

シラバスに沿っていて良かったと思います。

シラバスの通りに進んでいて予習がしやすかった。

特に大きな変更はなく、適切なものであったと思う。

オンライン授業という特殊な状況であったが、進行は適切であった。

受講生の理解度や質問などに応じて、授業内容変更し講義して下さったこともあり、非常にわかりやすかった。

授業形式は少しずつ変わった。

文章の解説とシラバスにあったが、「解説」といったものはされていないように思われる。

シラバスではなく、moodleを確認して授業に臨んでいたため、シラバスは最初の授業にしか確認しなかったです。

あまり見ていませんでした。

質問15. この授業は教員による一方的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加(例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなども含みます)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。

取り入れていた。

まさに曾於の通りの講義でした

生徒の発言、先生の発言が交互であった

生徒同士で意見交換ができて良かった。

要約文や感想文など、自分が書いたものをもとにした授業であり、まさにアクティブラーニングと言えるとと思う。

この授業を行うには作成した文章について意見を出すという教員と学生の双方向コミュニケーションが必須であったと思う。

先行研究からレポートを作成し、またそれをもとにプレゼンテーションを行ったが、その中で話し合いを評価をし合うなどの活動があり充実していた。

ただ話を聞くだけでなく、私たちが自分自身で考える機会が設けられた授業が展開されていたと思う。

先生が学生へ意見をたくさん求めて下さったため私たちは能動的に授業に参加することが出来ました。

やはり全員が意見を述べるという授業の形態は特殊であり、講義の中で最も生徒の参加度が高いと感じた。

グループワークの多い講義だった。

グループ活動が多く、生徒が主体の授業だった。

授業で説明してからグループワークという展開が多かったので他の生徒ともコミュニケーションをとれた。

ディスカッション、グループワークが多く、学生同士で学ぶ時間も多かった。

グループ内での意見の出し合いや先生の質問に対して応答することがあった。

好きな作家の紹介をする授業がおもしろかったです。ほかの人が紹介していた作家さんの本を気になってあの後読みました。

青木先生がうまくファシリテートして下さいました。

ブレイクアウトセッションが良かったと思います。

学生同士のディスカッションがもっとあった方がよかったですと感じた。

グループワーク等はあったが、回数が少なかった。

グループワークを取り入れてほしかった。

オンラインだとみんな発言しづらいと思いました。

オンライン授業であったため、グループでの活動はできませんでした。

自分から発言することを躊躇した一面はあった

ずっとミュートにしている一言も発さない人も話し合いに参加してほしいなと思った節が何度かありました。

今回の場合は仕方がないと思われる。

質問16. 学びのリテラシー(1)に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

わかりやすかったです。

勉強になりました。

良い授業だったと思います。

楽しく取り組めた。
楽しい授業でした。ありがとうございました。
様々な内容を学べてよかった。
今のままで十分いい授業だと思った
今後につなげられる授業内容だったと思います。
今後の学習に必要な不可欠な内容であった。
概ね問題のない授業内容だった。
上手く構成されていると思いました。私にとっては完璧でした。
オンラインで大変だったけど、しっかり学べたと思う
オンラインの講義であったが、オンラインでも取り組みやすい講義であったと感じた。
オンラインでも理解している部分はあるが、やはり対面よりは理解の度合いが低くなるのではと感じた。しかし、対面よりもオンラインの方が質問がしやすかった。
オンライン授業の中でも他学生と交流できた。
オンライン授業で不安なことが多い中、学部の友達と繋がることができている機会でした。
オンライン授業だったが、他の生徒さんと意見交換をすることはできたので楽しいものとなった。
オンラインながらも、授業の中で意見交換する場が多く設けられていたため、多角的に物事を見られるようになった。専攻に関する事例や考え方、知識が身についた。
オンライン授業やグループワークに慣れるいい機会だった。
オンラインで発表したり、少人数グループで議論したり、コミュニケーションを多く取ることが出来て良かった。
オンライン講義の形式上多少不自由な点はあったが、大学でのレポートの書き方やグループワークなどを経験することができ、とても勉強になりました。
オンラインでの発表は班の人たちに自分の文を共有しやすかったので、よかった。
オンライン授業なのでもう少し生徒が積極的に参加できるような授業だと良いと思った。
オンライン上での発表は、他の学生の反応が見られず、不安に思うことがあったので、反応機能をもっと積極的に使わせてもらえるといいと思いました。
オンライン授業という状況で人とかかわる機会が少なかったため、ほかの人とかかわるグループワークやディスカッションをする機会が授業の中であったら良かったと思います。
4人グループで話し合う機会が多くよかったと思う。オンラインで難しい部分はあると思うが、ほかのグループとの意見交換の機会は少なかったように感じるため、もう少し機会があってもよかったのではないかと感じた。
オンライン授業という特殊な状況下での講義だったため先生からの指示と学生の理解の間に少しずれがあったように感じた。
オンライン授業のシステムや機械操作に先生が慣れていらないのは承知でしたが、学生のネット環境が悪くなった際の対応が少し足りなかったように感じました。
授業の途中で反応を求められたり、googleフォームで回答したりなどがあると、講義により集中して取り組んでいたと思います。
もし、オンライン授業でなかったら、どのようになるのが最も気になる授業でした。
Zoomの会議の立ち上げ方が分かる人がいないと授業外で発表の練習をすることが難しいと思った。
オンラインで行くと、接続状況の影響で理解度が下がるのではないかと感じた。
オンラインでなので仕方ないがパソコンのトラブルなどでなどで話し合いや発表が大変な部分もあった。
オンラインなので、連絡を取ることに出来ない人も居てプレゼン資料の作成する話し合いの機会が少なかった場所もあると感じた。
今回はオンラインだったので、インターネットの回線の影響で音声がかたかたしたりしたが、それ以外は問題なかった。
イレギュラーにオンライン授業となった為に生徒も先生も不慣れで通信事故等が多くなり授業時間の減少や、Zoomの特性上、生徒間での対話が多くなかったりと、不自由さを感じるが多かった。
オンラインという環境の影響を大きく受ける授業であったため、なかなか理想通りに受講することができなかった
上記のアンケートに関して、今年度はzoomでの授業の実施となったので、当てはまらない項目があっても致し方ないと思います。
Zoomを使用している遠隔授業だったので、対面授業より少しやりづらいと感じました。
オンラインなので仕方ないと思うが一方的な授業で、想像してたものとは違っていたので残念だった。
オンラインなので生徒同士での話し合いの機会が少なかったように感じました。
今回は、オンラインでの授業であったため、発言はかえって少ししにくかったなと思いました。
チャットの機能を生かした質問や問いかけ、スムーズな議論が行えるようになるいいなと思いました。
オンライン授業でチームワークがやはりしにくく感じました。
授業では、プリントに様々な、参考文献をだしてもらい、考えやすかった。オンラインではなく対面の方がより多くの人の意見を聞けたと思ったので、そこが残念だった。
沈黙を守っていて申し訳ありません。オンラインといういつもとは違う状況だからだと思いますが、黙っていてもなんとなくしてしまったので強制的に学生をさせて雑談始めちゃってもよかったのかな、と思います。
ネット授業であるために、生徒のノートや板書の時間が足りなく、話を聞きながらノートをとる作業が大変で、話を聞き逃してしまうこともあった。また、進みが早く内容を理解するのに時間がかかった。

大学生活において必要なことを学べて勉強になった。

大学生に必要な文章構成能力を、この講義を通して学ぶことが出来ました。

大学生として必要となる知識が学べたので非常に役立った。

大学生活における基礎知識がこの授業で身につけられたので、この知識をいかして頑張っていきたいと思います。

大学数学への一歩を実感させてくれる授業でした。私は非常に楽しかったです。

これからの大学での学習を進めていくうえで欠くことのできない技能であると感じているのでしっかりと身につけることができるように精力的に講義に臨んだ。

大学生に必要な知識を学べたため、これから大学生活をスムーズに進めていくためにとてもありがたい授業だった。

大学一年生の自分には、とてもためになりました。大学生の基本であるレポートの書き方やメールの書き方などが学べてよかったです。

大学生になり、レポートを書く機会が圧倒的に増えたので、良い文章やレポートの書き方、引用の仕方などを学ぶことができてとても参考になった。

大学生に必要な能力を学べる講義でしたが、特に引用の方法についての講義の部分は、他の講義で説明されなかったので、かなり役立ちました。

主にレポートの書き方など、これからの大学生活で必要なことを学ぶことができたので良かった。

これから自分自身に最低限必要なことしっかりと学ぶことができてよかったです。

この授業は、これからの生活で非常に重要になってくるので、続けていくべきだと感じた。

学びのリテラシーと聞いてはじめてどんな授業か全く想像がつかない。しかし、大学で学ぶためまたは社会に出たときに必要な敬語の使い方やレポートの書き方、文の構成などを学ぶことが出来るとも役に立った。

アウトラインの時点で先生のコメントが欲しかった。論文を書き始めてしまうと、問いをなかなか変えにくい状況であったためである。内容は今後の大学生活に必要なことばかりで充実した授業であった。

最初は自分にとってプラスにならないと思いましたが実際にはこれから生活していく上で重要な授業ばかりであったと思いました。

より実用的な技能を身に付けることができたと思う。

将来必要になってくる力を身につけられる授業だった。

大学生活だけではなく、社会に出てからも必要な様々なスキルを習得することができました。

これから大学で学んで社会生活を送るにあたって重要なことを学ぶことができました。

生徒同士の会話時間を入れたり、レポート作成の手順、手紙の書き方など大学生活中のみならず、卒業後も役立つようなことを多く学べたため、授業は全体的によかったと思う。

この講義を通してこれから学んでいくうえで必要なこと、社会に出る時に身につけておくべきことを認識することができました。この講義で学んだことをこれからの生活、勉学に活かしていこうと考えています。

日本語について再度学習することができました。

日本語能力などまだまだ足りないことに気付けたので良かった

日本語を普段使ってるにんげんであっても以外と知らずに失礼に成ってしまう事もあるのだなと感じました。

日本語の適切な使い方や、敬語の使い方を知ることができて良かった。

敬語やメールの書き方など、これから使うことが増えるものについて詳しく学ぶことができたのでよかったです。

敬語の使い方や、レポートの細かな書き方など、これからの人生に必要なことが学べてよかったです。

ありがとうございました。

この授業では日本語の正しい使い方やレポートの書き方、引用の仕方など大学生活では欠かせないことを学ぶことができてよかったです。ありがとうございました。

適切な文章の書き方を学ぶことができ勉強になった。

文章理解・文章構成の能力を伸ばすことができたので良かった。

文章の書き方などの大学の授業の基礎となる知識を身に付けることができた。

基本的なレポートの書き方や文献の探し方を学ぶことが出来て良かったです。

文章の書き方だけでなく、文章の見方・捉え方により、新たな視点で文章を読んだり書いたりすることができるようになった。今後のためになる講義だと思った。

自分で書いたものを他の班員の人たちに見てもらって、批評してもらえるのは、とても新鮮であり、有意義な時間を過ごすことができた。

要約と感想を自分でまとめて書くという経験は今までそんなに多くはしたことがなかったので、いい経験になりました。半年間お世話になりました。

私たちの班では書くことに重点がおかれた授業であった。文章を書くうちに自分なりに成長が感じられた。

自分の中で発見も多く、充実した授業だった。この科目の大切さにも気づいた。

引用文献の記載の仕方を学ぶことができました。また、医中誌webをうまく使えるようになりました。レポートや論文を作成していく上での基盤となる授業だと思いました。

文章を書くこと自体が大切だと感じた。

自分の伝えたいことを文章にして自己完結するだけでなく、相手に伝えることを意識することが大切だと学びました。説得力を持って人が納得出来る話の作り方を学び、教師になってからも必要な力を身につけました。

先生の要約文や感想文を見てみたかったと思う。

先生によって進め方や書いた文章の評価の細かさなどがかなり違っていたと感じる。色々な先生にみてもらい文章の評価をしてほしかった。

初めに文章を書くときの基礎を教えるべきだったと考える。
引用の仕方の説明がよく分からなかった。
文献検索の作業が話が複雑（OPACやJSTAGEなどの使用方法など）であったので、その作業が大変でした。
文献の検索の仕方や引用の仕方などが学ぶことができたので良かったです。自分のテーマがこれで良いのかという疑問がありながら進めていくことは少し不安でした。
自分が書いた文章について添削等のフィードバックをもっとしていただきたかった。
文章作成トレーニングとして良い授業だったと思うが、パソコンの問題か通信が途絶えてしまうことが多々あった。オンライン授業を行うにあたって教員側のパソコンの整備を行ってもらいたい。
今までに見てきた文章の量よりも授業で扱う方が多く感じた。
内容がとても難しく毎回理解するのが大変だったが、みんなで協力しながら頑張れた。
今まで作品を批評するということを本格的にした経験がなかったので、非常にためになった。また、批評されることもなかなかなかったので、新しい発見をすることができた。
レポートの書き方を学べて良かった
レポートの書き方がわかりました。
レポートの書き方や、引用の仕方などを学ぶことができました。これから生かせるようにしたいです。
レポートの書き方やプレゼンテーションの作成などこれから必要となる知識が得られたのでよかったです。
レポートの書き方や言葉遣い等の大学生として基本的なことが学べて良かったです。
レポートの書き方や日本語の言い回しを丁寧に根気強く教えていただいたので、大変ためになった。
レポートの書き方をきちんと学ぶことができ、有意義であった。担当の先生がレポートを丁寧に添削してくださり、よい学びになった。
レポートは大学に来て初めて書くものだったので、書き方を教えてくださったことはとても感謝している。
今後レポートや論文を書く上で大切な内容が講義に盛り込まれていたと感じました。
レポートや論文の書き方など今後必要になる知識を学んだ。今後の生活に生かしていきたいと思う。
レポートを書く上で必要な知識や常識を学習することができました。とても勉強になりました。
今まで学んでくることの無かった、レポートの書き方などの文章の書き方を教えてもらえる良い機会であった。
レポートの書き方であったり、敬語の使い方、自分の考えを相手に伝える力はこの講義を通して身につけることができたと思う。
レポートの書き方について学べたのは今後の学生生活を含め、いい経験になりました。ありがとうございました。
レポートの書き方や基本的な授業の受け方などを学べ、とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。
学びのリテラシーを通してレポートの書き方などを学ぶことができたので良かったです。
改善すべき点と感じた点は、特にありません。この授業では、整った文章の書き方や、その他レポートなどを書く際に役立つ知識を学ぶことができました。この授業で学んだことを、今後に生かしていきたいです。
対面授業にならない中、レポートやプレゼンの方法、文献の探し方など大学生の学びに必要なことをたくさん学ぶことが出来る授業だったので、他の授業でもたくさん生かすことができました。
本来できたであろう生徒同士、または教員と生徒間のコミュニケーションは少なくとも感じたが、オンラインという環境の中でレポートの書き方や発表方法については十分に学べたと思う。
授業を通してレポートや論文の書き方、考え方を身につけることができた。この授業で学んだことをこれからの学生生活に活かしていきたい。
入学してレポートの書き方もわからなかったで、とても貴重な授業でした。突然のオンライン授業で、先生方も大変だったと思います。ご指導ありがとうございました。
堅苦しくなく気軽に自分の知りたいことについて述べることでレポートの書き方を学ぶことができたので良かった。
芥川龍之介の小説を題材とし、レポートの書き方を学べた
障害を持っている子どもへの係わり方や、レポートの書き方なども学習することができました。また、プレゼンテーションを通して、他の学生の考えも参考になりました。
グループで1つのレポートを仕上げることで、意見を出し合うことができるため、十分にレポートの書き方を学ぶことができたと思った。
レポートに自分の意見をまとめることは難しかったが、それをもとに他の学生と意見を交換できる機会はお互いにとって為になったと思います。
中和滴定を題材にした講義の第二回で他の人が書いたレポートを比べるものがあった。自分が作成したものとは比べることで、法則や関係式の引用の仕方や考察の着目点などの相違点がとてもよく分かり、参考になった。
レポートの書き方の紹介として実際のレポートを見せてもらいたかった。
先輩方が制作したレポートはどんな感じで書かれているか知りたいと思いました。
最終レポートの書き方について、先生によって言っていることが違うということが何度かあり、混乱した。
そのため、まずは先生同士で話を一致させてから、授業をして欲しいと強く感じた。
レポートの書き方の指導はありがたかったが、化学実験でかなり書いてからの指導だったため、もう少し早くに行ってもらえたらと思った。
先輩や他専攻の人はレポートの書き方やパワーポイントの使い方など行っただけで良かった。自分たちはレポートの書き方や発表をどこで学ぶのだろうか不安になった。
レポートの書き方の手順をもっと詳しく学びたかった。
レポートの書き方やメールの書き方などをもう少しやってほしかった。

レポートの書き方は学べましたがもう少し詳しいことが学べたらと思いました。
レポートの文字数が少ないように感じました。もう少し増やしたほうが良いと思います。
コロナの影響で文献が手に入りにくかったため、レポートを書くことが困難であった。
話し合いをすることができて良かった
対面でコミュニケーションをとれたのは良いと思った。
一人暮らしなのでコミュニケーションをとれて良かった。
ほかの人の話し合いが多く、自分の考えを深めることができた。
学生間での交流の機会が多かったのは良かったと思います。
この授業は同級生の顔を見て学習することができる貴重な機会だったので毎週積極的に取り組むことができた。
他の学生や先生としっかり討論できるのはこの授業だけだった。楽しかった。また、感想分の書き方やいろんな発想を学び、読解力を鍛えられた。有意義だった。
他の学生と交流する機会を与えてくださり、悩みなども話せました。また、毎回の課題は大変でしたが、どの課題も自らを成長させるためのものなので良かったです。ありがとうございました。
このような状況での授業でしたが、たくさん自由に話す時間をいただけたことである程度みんなの人柄を把握して調理実習に挑めたのでとてもよかったですと思っています。
慣れないオンライン環境で授業が行われるなか、先生も生徒間でコミュニケーションが取れるようによく気を使ってくださり大変良い授業でした。
授業が遠隔になったことで、一方的になる授業が多かったけれど、本講義では生徒間、先生とのコミュニケーションが中心だった。大変だったけれど自分が書いた課題について話し合うので、責任を持って取り組めた。
この講義を受け、対話しながら考えることの大切さを学んだ。直接対面でも話すことが出来て良かった。
学びのリテラシーでは今までに気づけなかったレポートの書き方や知らない人とのコミュニケーションを図る活動などがありとても良い授業だったと思う。
気づいた点として、今回はオンライン授業の都合上、同じ生徒と話すことが全くなかったため、この授業を通じて他人と考えを共有できる良い機会であると感じられた。
授業を重ねていくうち、だんだんと自分の書く姿勢や読む姿勢、他者の意見を聴く姿勢に、良い変化を感じる事が出来ました。楽しい授業をありがとうございました。
説明する力をつけることができ、多くの人の意見を知ることができた素晴らしいものであったと思います。
他の人の発表の聞き方や、意見の述べ方など、自分が発表すること以外のことも学べて良かったです
少人数に分かれて授業をしたため、話す機会が多かった。対面で行いたかった。
生徒同士で話し合う機会を増やせばいいと思う。
もう少し学生同士で意見交換をしたかった。
先生によって異なるが、生徒の発言する場が少ない講義が多かったと思う。
同じ専攻の学生だけで受けられる唯一の講座であったことや、対面授業が実現しなかったことから、もう少し学生同士の交流の場としての内容があったらありがたかった。
個人的にはもう少しブレイクアウトルームを使用して、学生同士でどういう風に言えば伝わるのか、伝わりづらいのかどうかを話して判断する機会が欲しかった。
毎回全員の意見を聞き出していたが、被っている意見も多くかかる時間に比べてあまり効果を感じなかった。
先生からの一方向の授業が多く、生徒側のビデオもオフだったので、授業形態として少し残念だった。しかし、参考文献やメールの書き方など非常にためになる授業も多く、最後の発表も充実していて良かったと思う。
グループワークが多く、これからの参考になることが多かった。
グループワークが多く、同クラスの人と交流できて良かった。
グループワークや発表の場が設けられており、zoomを使った活動が活発していた。
グループワークを取り入れたことで、コミュニケーションをとる機会が多くなり良かった。
他の講義よりも多めにグループごとの話し合いの時間を作ってくださったので良かったです。
色々な人とグループワークができて良かったです。
講義の中でも数少ないグループワークを行うことができる講義であり、とても充実していた。
グループワークを頻繁に行うため、自分の意見を発表する力や他者とのコミュニケーション力がついた。
コロナ下で直接対面はできなかったものの、グループワークが多かったのは良かったと思いました。
グループでの活動がほかの授業と比べ格段に多く、自分から発言しやすかったのが良かった。
オンラインでの活動だったが問題なく話し合いを進めることができた。
グループによる発表などを通してスキルが磨かれ、とてもためになる授業となった。
グループに分かれて話し合う機会があったり、生徒同士で添削し合う時間があったりして、私には気づけなかったことに気づくこともあったので良かった。
新型コロナウイルスの影響により、対面や手書きの活動の機会が制限されてしまったが、グループワークの時間を設けていただいたり、wordやacrobatを活用した作業を何度か経験できてよかった。
大学でのレポートの書き方など、まだまだ分からないことが多いが、基本は学べたと思う。グループワークが取り入れられていて、オンラインの状況下でも、協力して課進める経験ができ、楽しかった。
ほぼ毎回行われたグループアウトセッションはオンライン授業の中で生徒同士で話し合える数少ない場だったので良かった。
講義内のグループディスカッションなどで積極的にコミュニケーションを取ることができる点が良いと感じた。

グループディスカッションが多く、いろんな意見を聞くことができ、とてもためになりました。
グループディスカッションが多く、多くの人とコミュニケーションが取れて楽しかった。これからは大学生らしい論理的思考を養ってほしいなと感じた。
グループディスカッションやレポートなどによって、充実した学びができたように思います。
グループディスカッションを毎回取り入れてくれる授業はこの授業のみだったので毎回の授業を真剣に取り組むことができた。
対面で会えない状況の中、グループディスカッションや発表が比較的多く、個人的に助かりました。楽しかったです。ありがとうございました。
グループを作って、プレゼンをするなど、講義形式ではなかったのが良かった。
この状況下で仕方ないのかも思ったが、グループワークがあった方がよいと思いました。
大学に行けてないので、グループワークの時間がもう少し欲しかったです。
グループワークの時間がもっと多い方がよい。
グループワークをする際、もっと時間をとって欲しい。
もう少しグループディスカッションが欲しかった。
後半はグループディスカッションを行った活動が少なかった。
次にオンラインで授業をやるのであればグループディスカッションなども出来ればよいなと思いました。
グループでのディスカッション回数を増やしていただけると、自分がどう間違っているのかをより認識できると考えます。
気づいた点はグループワークでプレゼンテーションを作る時間が授業内で少なかったという点です。
改善すべきことは、プレゼンテーションを作る時間を授業内でもっと欲しかったことです。
パワーポイントを用いた発表などの場がほしかった。
実際に会えなかったのでグループワークセッションが円滑にいかない部分があった。
リモートのため、グループ内での協力しての作業が少しづらいたところがあった。しかしその分、パソコンを使ったグループワークの方法を学ぶことができたのは良かったと思う。
グループを分けるのが大変だったのであらかじめグループごとに違うズームの部屋でか医師してもらいたいと思いました。
自分たちが考えてきたテーマをグループとして話し合う授業の時(50年後の車の姿) できればテーマが近いもの同士でグループにしてほしかったです。
グループの分け方によっては発言が少ない人が集まってしまうことがあったので少し困った。
グループ活動のメンバーを定期的に入れ替えてもっと他の学生と関わられるようにしてほしいです。
ブレイクアウトセッションを使うのはよいものだと思います。
ブレイクアウトセッションを用いた講義は、自分は結構効果的でいいと感じた。
ブレイクアウトの活動は良い面悪い面があるので悪い面、例えば発言しないと進まないことなど改善できるような工夫があるとありがたいです。
ブレイクアウトセッションが少なかったので、意見交換の場として行う機会を増やすと良いと思う。
パソコン操作やWordの使い方を知ることができて良かった
パワーポイントなどを用いたプレゼンは、今まであまり経験していなかったが、これから活用する機会が増えていくにあたってよい経験ができた。
原稿→パワーポイントではなく、パワーポイント→原稿の方が良いと思う。パワーポイントを作ることで、内容の選択とアウトラインの構成ができるため、それに沿って原稿を作る方がやりやすいように思った。
できれば授業のパワーポイントの資料が欲しいです。写すことで精一杯になってしまいました。
プレゼンテーションのためのスライドの作り方(パワーポイントの形式)についてもう少し説明があるとスライドが作りやすくなると思いました。
とにかく課題が多い。長い文章を書く上でいらぬものを何個も繋いだだけの文章になってしまった
課題の量を見直すべきだと思う。僕たちは学びのリテラシー以外にもたくさんの専門科目で課題が出ていたため、いくらコロナの影響で家にいるとはいえもう少し配慮された量を出して欲しいと切に思っている。
自身でテーマを決めて取り組む課題の時、次回の授業とどのようにつながるかを教えて頂けると、さらに取り組みやすくなると思いました。
最終課題をもう少し早く提示していただきたかった。
最終課題の提出期限が試験期間と重なっており、課題提出、他教科の試験勉強共に難しい状況になっているため、提出期限を延ばしてほしい。
授業中に出すべき課題が出されることがあるが、オンラインのためPC上のトラブルが発生することがあって間に合わないことがあるため配慮してほしい。
提出した課題がよいのか悪いのかがあまりよくわかりませんでした。身についたかどうか客観的な評価が欲しかったです。
感想文のフィードバックはあるが、要約文のフィードバックは特になく印象を受ける。出すだけ出して終わりでは文章作成能力の向上が感じられない。課題を出すなら相応のフィードバックを求めたい。
発表のテーマ設定が大変だった。
今年だけなのかもしれないが、学びのリテラシーでレポートの書き方を学ぶ前にすでに他の教科でレポートの課題が出ていて、提出しなくてはならないが書き方が分からず困ったということがあった。
小説の疑問点についてレポートを書いたが、それほど疑問を持つシーンがなかったので書きづらかった。

グループでのディスカッションの機会はあまり多くなかったが、先生による講義だけでも十分理解をすることができた。学びのリテラシーの宿題の量は、ちょうど良いと思った。

学びのリテラシーと言いつつ数学の講義であったと感じた。

数学について深く学ぶことができたと思う。その分、設問にあったような日本語能力・レポートの書き方などを学ぶ機会が少なかったのは少し残念だ。

芥川龍之介の多くの作品を読む機会が増えたのでとても有意義な時間を過ごせた。

本来の行われるはずだった内容と実際行われた内容の違いを教えてほしかった。

討論がメインだったので、対面で受けなかった授業でした。

授業中で教員から講義形式で伝えられたことに関しては、そこで使用した資料を配っていただけるとよりありがたいと思った。

先生が授業のパワポの内容をよく理解していないのでは、と思える瞬間が何回かあったので、先生自身が授業内容を授業前に熟知してから、生徒にそれを伝えるべきだと思う。

先生の発言で所々曖昧な表現・発言が見られました。「～するといひかな、たぶん。」といった発言です。

とても分かりにくいと思いました。ハッキリとした意見をしてほしいです。

人が物事を考える際には、言葉を使うのだということを改めて知るよい機会だったと思います。また自分がどんな意見をもったとしても、先生をはじめグループの学生さんが受け入れてくれ、うれしかったです。

自己肯定感の低い人があまり落ち込みすぎないように、批評はその人の作品に対するものであって個人の人格を評価するものではないと最初に説明してほしいと思った。

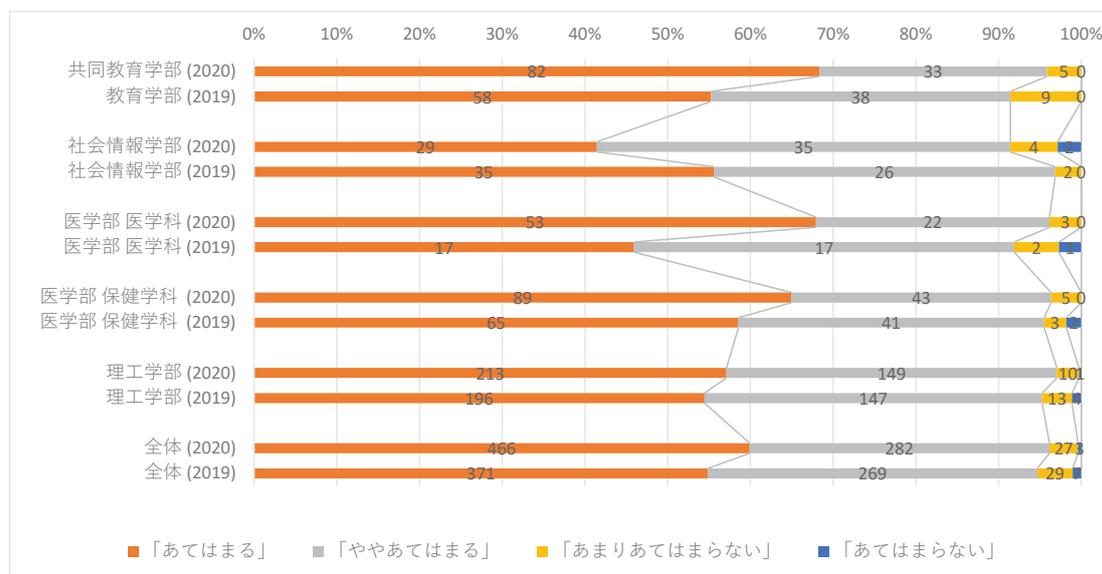
資料2

令和2年度 後期授業評価「学びのリテラシー（2）」集計表

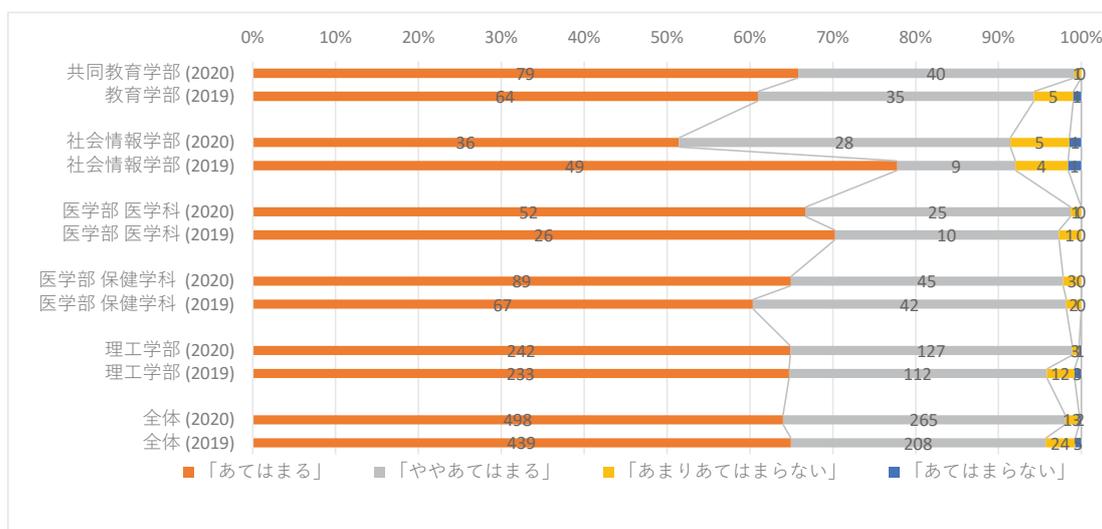
区分	年度	対象者数	提出者数	回収率(%)
共同教育学部	2020	206	120	58.3
	2019	(231)	(105)	(45.5)
社会情報学部	2020	104	70	67.3
	2019	(104)	(63)	(60.6)
医学部 医学科	2020	110	78	70.9
	2019	(109)	(37)	(33.9)
医学部 保健学科	2020	165	137	83.0
	2019	(160)	(111)	(69.4)
理工学部	2020	552	373	67.6
	2019	(542)	(360)	(66.4)
合計	2020	1,137	778	68.4
	2019	(1,146)	(676)	(59.0)

※（ ）は昨年度の結果

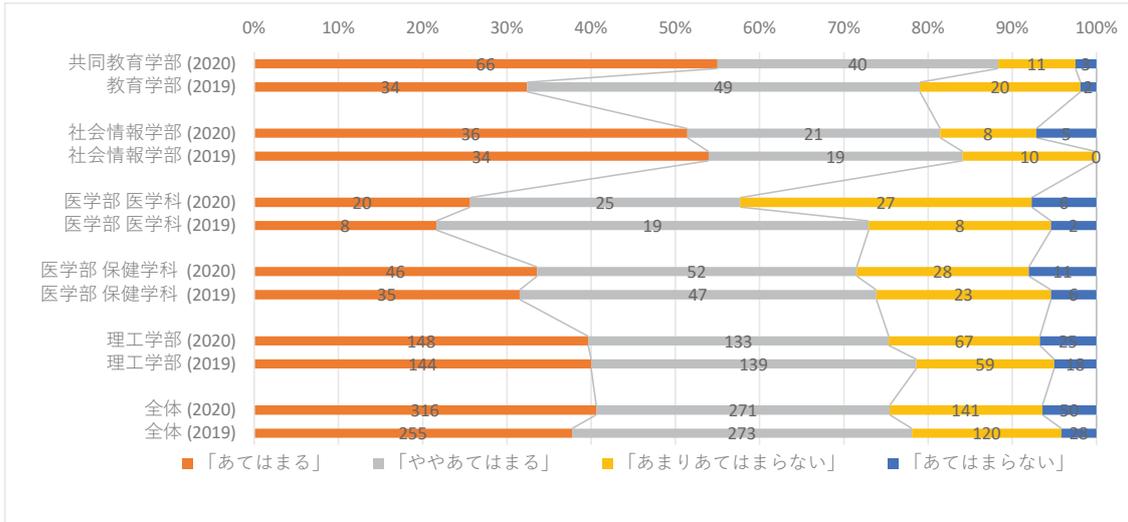
質問 1. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



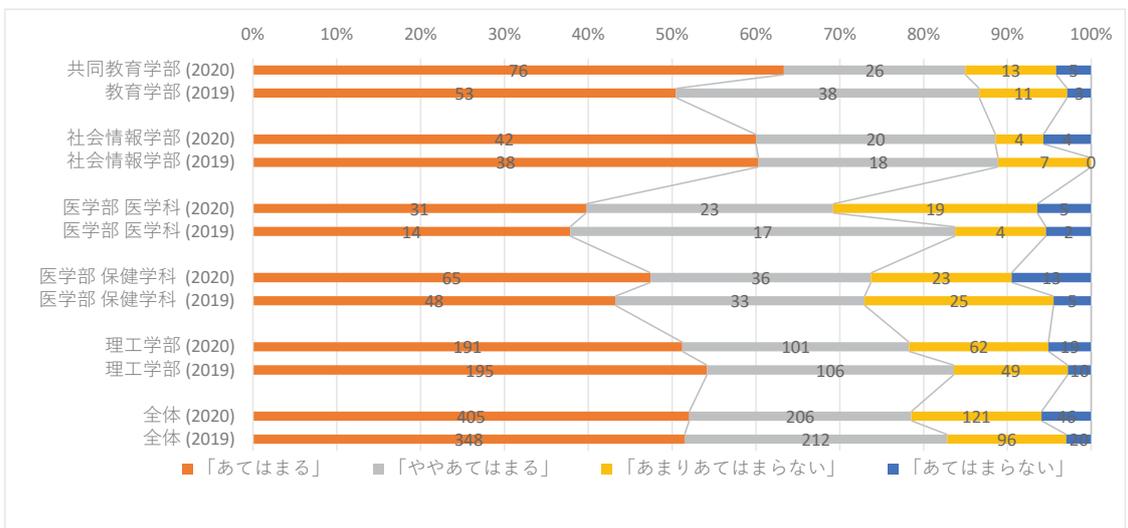
質問 2. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。



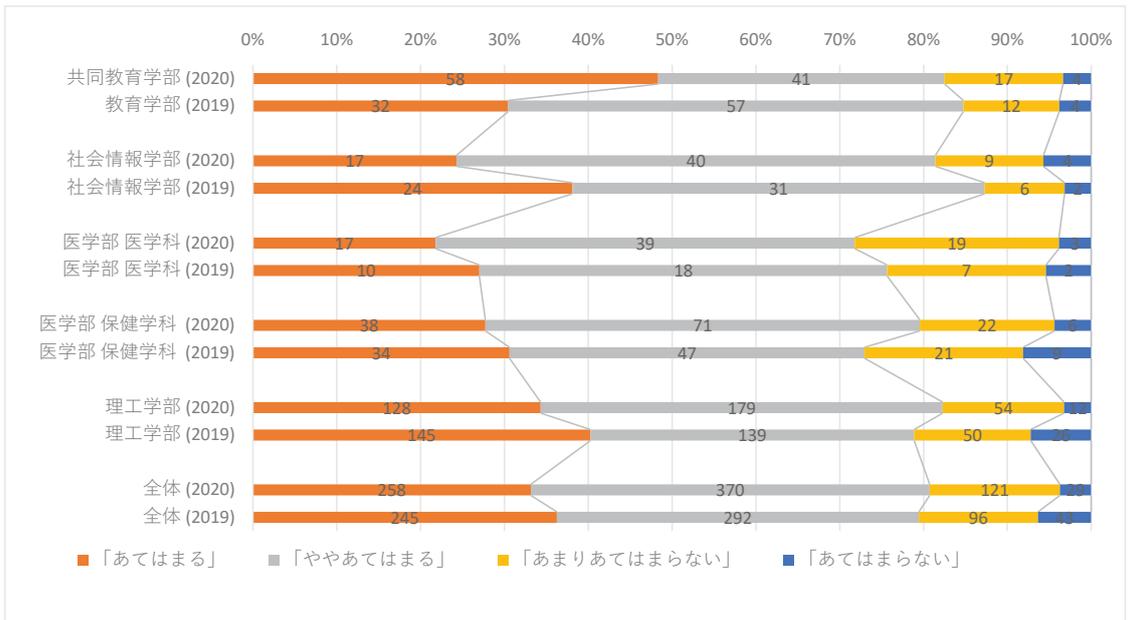
質問 3. 講義での討論は活発であった。



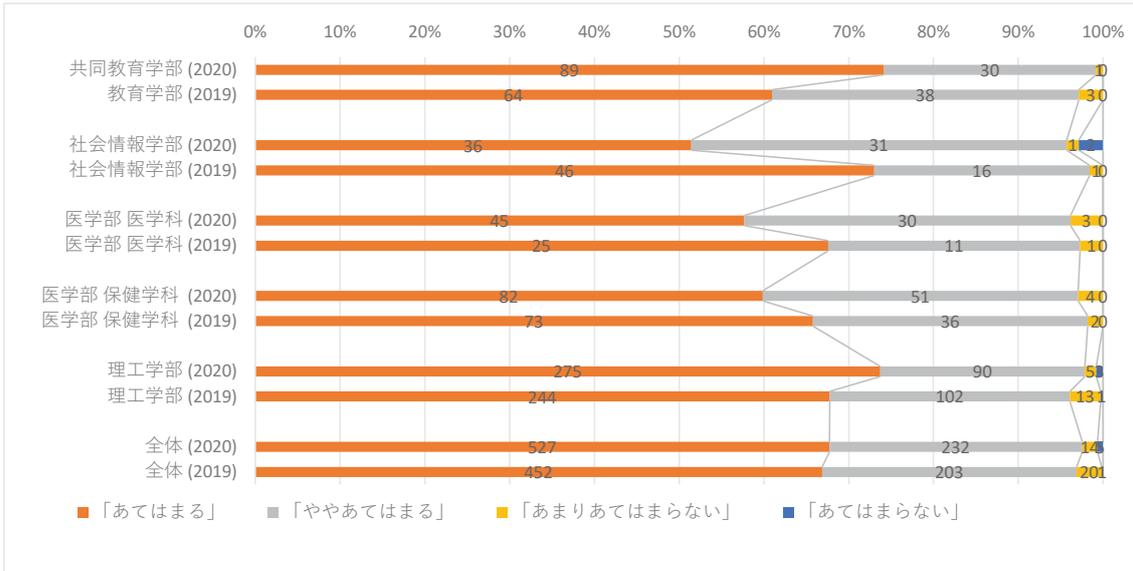
質問 4. 教員や他の学生とのコミュニケーションをとる機会が多かった。



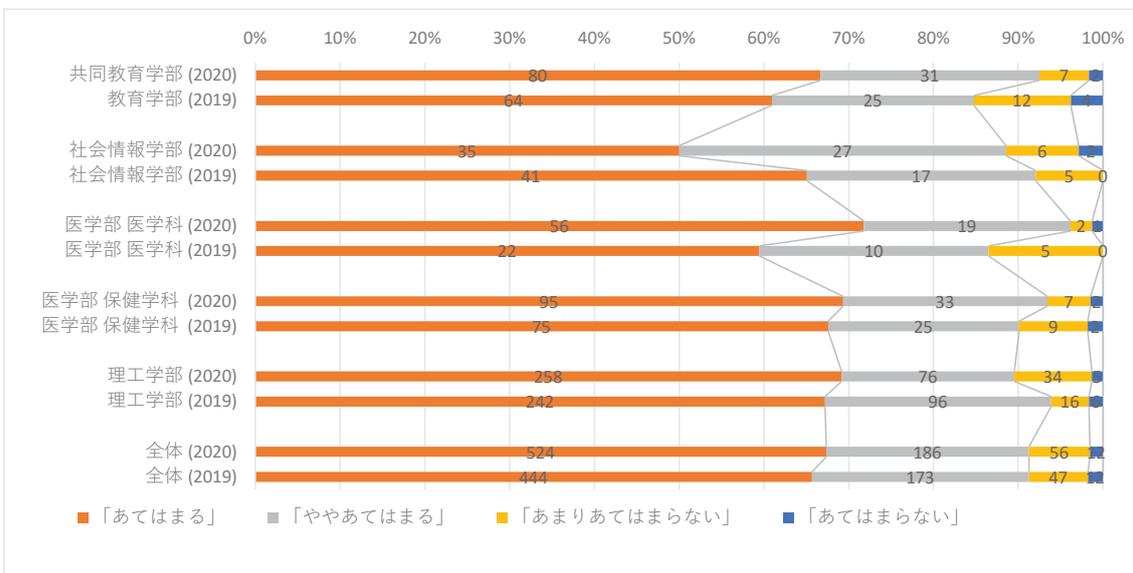
質問 5. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。



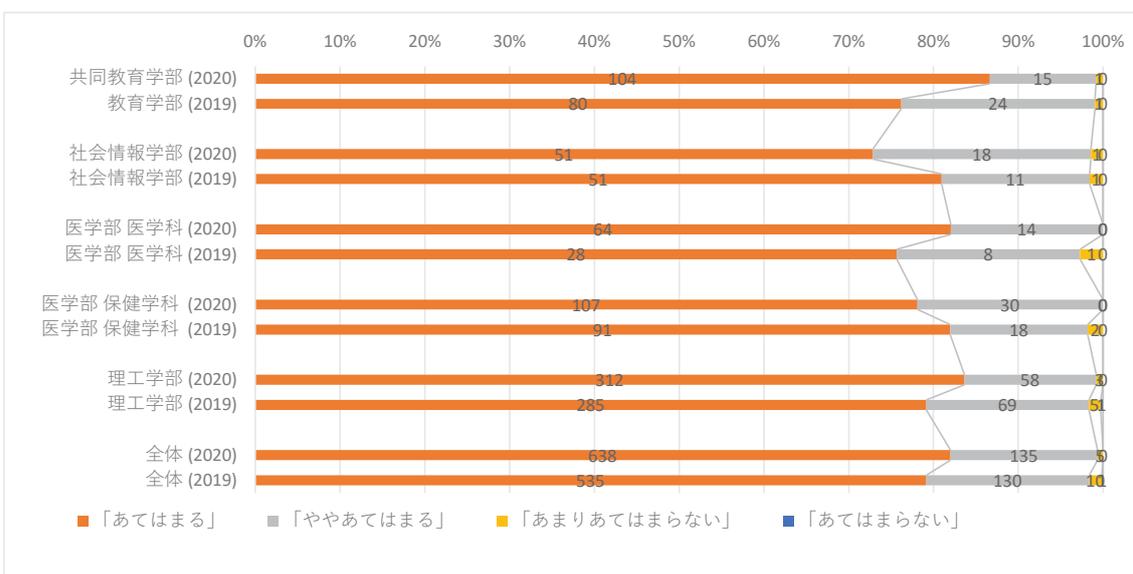
質問 6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。



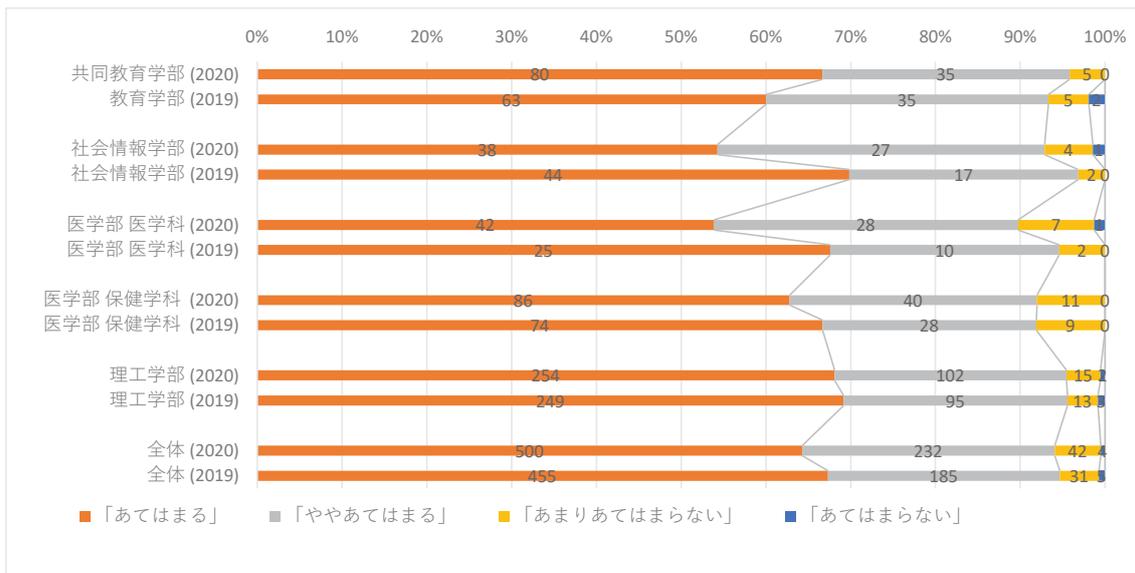
質問 7. 希望した科目を選ぶことができた。



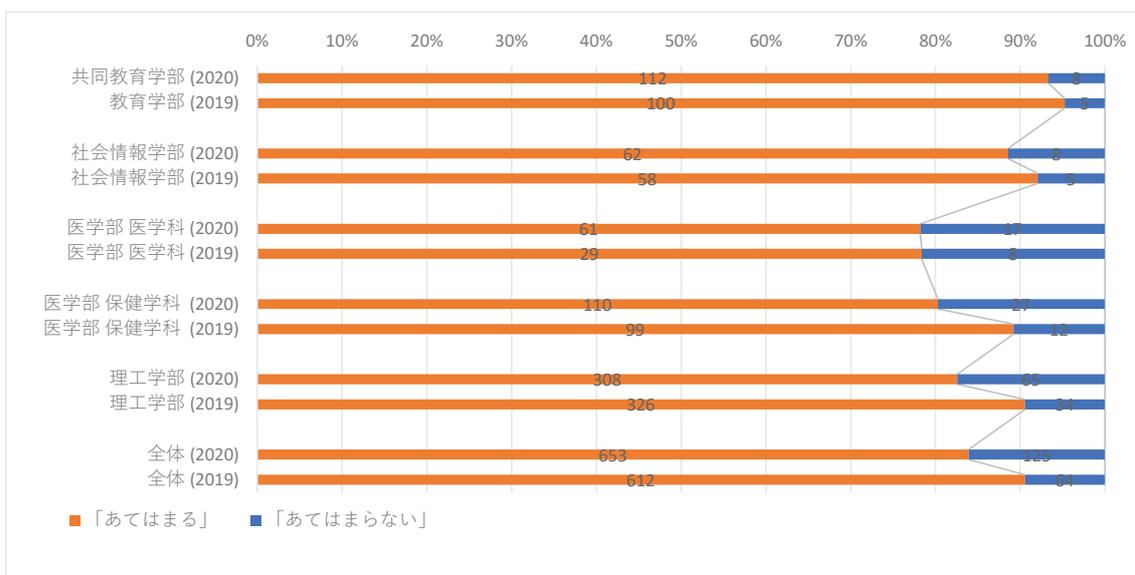
質問 8. クラスの人数は適切であった。



質問 9. 講義の環境は適切であった。



質問10. この授業は教員による一方的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加(例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。



【自由記載】

質問1. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

お金についての講義が、学生にもわかるような講義されていたため理解しやすかった。

クラウド初心者にとっては若干難しかったが、実際に手を動かしたり、グループワークで話し合うことで理解できた。

グループに分かれて自分達の興味のある国を選び、調べることが出来たので良かったです。

この分野を専門に専攻していない学生に配慮がなされた授業内容であったため、内容の難易度についてあまり不安にならずに授業を受講することができました。

データ・サイエンスよりももう少し踏み込んだ内容が多少はあっても良いのではないかと思った(私はそれを期待してこの授業を選択したところがあるので)。

どちらかといえば、理解というより発言することに重きを置いていたと思います。

とてもためになりました。

とても親切で、質問の機会やグループで話し合う機会が数回あった。しかし授業自体は内容が少し難しいように感じた。

やや理解の難しい事項も多々あったが、良く考えればわかるものが多く、内容理解はある程度しっかりとできたように思う。

わかりやすく説明して下さった

医学科専門科目よりだいぶ難しかった。これから医学を学ぶ人が先取りするのはいいのかもしれないが、文系など他学部の人にとっては取り組みづらかったのでは無いかも思った。

一般的な分野から時には少し医学に踏み込んだ内容まで学ぶことができ勉強になりました。

何が問題となっていてどのようにその問題を解決した(ブレイクスルーした)のかがよく分からない講義がいくつかあり、少し不満を感じた。

結晶を作るという行為を学校に行かなくても家の中で行ったことで、例年通り失敗例から考える力がついたと思う。

個人の発表より講義形式の方がわかりやすかった。発表形式は進みが遅く、手間。

古墳の詳細や教授については特別興味のない内容ではありました。しかし、学生に寄り添った授業と意義のある課題であったと思います。

講義の最初の頃に生徒がどれくらいの音楽知識があるかなどのアンケートを取ってそれに乗っ取り講義内容を考えていただけたのはすごく良いと思った。

自分たちが興味を持ったことを調べたのでよかった

自分たちで考える時間が多くて1番学ぶことが多かった授業。

自分の興味があることを自分で調べてまとめて発表するのは楽しかったです。

授業の始めに、科学の時事や雑談を取り入れられていたのがよかった。難しい内容に入る前の心の準備ができて、無理なく授業に集中できた。

授業名の通り音と音楽を科学の目線で見ると面白い講義でした。

初心者でも分かりやすいよう工夫されており理解することができたと思う。

承知の上でしたが、医学部の内容が多かったです

数合わせレベルの授業に感じた。取得単位の数を増やすためにしか存在していない。

生徒の自主的な学びを大切にしていたことは理解できたが、自分があまりクラウド関連が得意でないので、活動の自由度の高さが辛かった。一人の班員にほとんど頼りっきりになってしまった点も申し訳なく思っている。

動画と資料、そして教員による説明によって、理解が難しい部分でも理解を深めることができた。

難しい題材もあったが、わかりやすく説明していただいた

日本とが海外の違いを体験できたのはもちろんのこと、日本人の中でも住んでいる所によって、風習や生活様式に差があることも感じられて、とても興味深い授業だった。

日本語に関する専門的な用語が度々登場しましたが、分かりやすいように丁寧な説明があり理解しやすかったです。

微生物について理解が深まった。特にウイルスについて詳しくなったように感じた。

物理に余りなじみのない人でも理解できる授業と銘打っていたが、内容がかなり専門的で分からないところを調べたりということも難しかった。

毎回の雑談が面白かった。

質問2. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

いい意味で柔軟に対応してくださっていた。変更時の連絡はきちんとされていた。

オンライン授業になったせいでレポートについての記述がなかった。正しい記述をしてほしいグループでの発表準備を要するものは期限を長くしてほしい。Zoom等での準備には時間がかかる。この授業そのものが不適切である。

シラバスで授業の流れがわかったので、安心して授業にのぞめた。

適切でした

質問3. 講義での討論は活発であった。

zoomでの話し合いの時は、話し合いが活発ではなかった。対面になった時の方が、打ち合わせしやすかった。

ウェブページを作成し始めたときから、意見を交わすようになった。

オンラインディスカッションでもスムーズで活発に議論できたと思います。

オンラインで行うことには限度があると感じた。

オンラインということもあり、あまりできなかつたように感じた。

オンライン授業ではグループディスカッションをする授業が多くないので、自分の意見と友達の意見を沢山交換し合いながら学べたので楽しかったです。

オンライン上だったから分からないが、もっといろんな人と意見を交換し合いたかった。

オンライン上で、しかも全員違う学部ということで、活発に議論が交わせたグループもあったが、一方的に私だけがしゃべっていてあまり反応をもらえないということもありました。

グループによってまちまちであった。グループの人数が多いため話しにくそうにしている人もいた。

グループやさまざまな人と話す機会もあったので、友達が増えた。

とても活発にできた。他の学科や専攻の人と交流ができたいい機会だった。

パワーポイントでの発表がありました

ブレイクアウトルームでは最初の内は議論が活発だったが、流石に授業全体を使うほど活発にはならなかった。

学生によって温度差があり、討論が活発になるときと、そうでないときがありました。

講義の内容が難しく討論が活発になることは少なかったです。

自分の意見を言語化する活動は、非常に有意義な活動だと感じた。

全員が必ず他のグループの発表に対して質問や意見、感想を言うという決まりがあったので、発表をただ聞いているだけでなく全員が積極的に聞くことができたと思う。

全員質問二つを必ずする事で活発な議論が出来たと思います。

他の意見なども聞くことができてよかったです。

討論しないと日程的に終わらなかった

討論の時間はなかった

討論はありませんでした。

毎回グループワークがとられ積極的に班員と意見を交換できた。

毎回の講義の中で、全員の前回の考えを聞いてくださり、学生の声を大切にしてくださっていると感じた。

黙り続けて挙句の果てにはミュートにする生徒がいた。

留学生と日本語で話し合うのは少し緊張したが、留学生の方々の日本語がとてもうまかったため、とても楽しく話し合う事が出来た。

論ずるに値しない内容ばかりであった。

話し合う内容が、現在でもはっきりと分かっていることでないことも多く、その分人によって様々な考えることができたように思う。

質問4. 教員や他の学生とのコミュニケーションをとる機会が多かった。

moodleを効率よく利用できました。

グループワークがあると他の生徒との交流も増えてよいです。

グループ活動を通し、より深い学習ができました。

グループ発表についての事でコミュニケーションを取る機会があった。

コミュニケーションを取るというのに値するのかわかりませんが、発表に対して質問をしました。

すべてグループでやるのでよかった

ブレイクアウトやグループ活動があったので他の生徒とコミュニケーションをとる事ができてよかった。

ブレイクアウトルームで他の学科の人と交流できたと思う。

ブレイクアウトルーム内でレポートの内容について相談できた。参考にしたサイトのリンクを共有するなど、お互いに情報を交換できた。

プレゼンの発表の時に質問をしたり、されたりでよくコミュニケーションが取れたと思います。

違う学部の人と、話す機会はめったにないので、交友関係も広がったしよい機会だったように感じる。

一時的にですが対面授業を行えたことで、より一層のコミュニケーションが行えたと思います。

教員への質問は可能だったが、学生同士のコミュニケーションはできない。

結局、同じ学部の全員とは話すことなく終わった。

言葉が通じそうな学生がいなかった。このような授業を履修する学生も学生だと感じた。

質問には答えていただいたり、コメントを返していただいた

質問の機会が十分にあった。

授業のほとんどがグループワークだったため、生徒同士で多くのことを話し合うことができた。

十分でもいいので他のグループの人たちとブレイクアウトセッションで話す機会があれば思った。

少人数だからこそではあるが、対面で講義を受けることができたのは経験としても人とコミュニケーションをとれるという点としてもありがたかった。

数回ほど

先生とはそこまで話す機会はなかった

先生と生徒の対話が少なかった。オンライン授業の影響が大きいと思う。

他学部の人とも話すことができて楽しかった。

対面の時だけコミュニケーションが取れていたと思う。

様々な人と話すことができました。

質問5. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。

PowerPointを使って発表資料を作ったので、自分が伝えたいことを相手に分かりやすく伝えるにはどのような工夫が必要かを考えることができた。

そのような活動はなかったです

とても丁寧に説明してくださり、しっかりと学ぶことができました。

トピックがあまりにお粗末でレポートを書こうとも思えなかった。

ノートに日付を入れる等の基本的な実験ノート付け方を学んだ。

パワーポイントを用いた発表があるので、スライドのまとめ方などを学ぶことが出来たと思います。

パワポの書き方が学べました。
プレゼンの仕方などを学ぶ機会になりました。feedbackもただけて学びに繋がりました。
プレゼンの評価まとめて自分のプレゼンの改善すべき点が分かりました。
レポートというよりはプレゼンテーションの仕方をご指導いただいた。
レポートの書き方は自分で考えるしかなく、この授業で習得できたという実感はない。
レポートは書いていません。
何度もやり取りを重ねいいものができるようご指導いただきました。
課題レポートの書き方が細かく指定されていて書きやすかった。
個人レポートを書く機会はなかったが、パワーポイントを用いた発表はあったので、分かりやすいスライドを作るトレーニングになった。
今まであまりプレゼンのようなことをしたことがなかったので、まとめる力がついたと思う。
最後の2つのレポートは共同作業したが、初めの国際問題やロヒンギャ問題は個人で進められた。
グループでは手伝うと言っていたが既読無視が続けられたので、学生間の関係に問題があり共同で作業するのは難しかった。
実験のレポートの書き方を一から学ぶことができて良かった。
書式などが細かく指示されていたため、スムーズなレポート作成が行えたと感じました。
先生によってだいぶ配慮があったが、リモートではやりにくかった。
毎回ほかの生徒の意見がわかるのはとても参考になりました

質問6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。

ページに名前を書いていくというのが新鮮で面白かった。
よかった
リアクションペーパーに返事や質問したことを答えてくれて嬉しかった。
授業、教員、学生の全てが不適切である。
出欠確認がどのように行われているのは不明であった。

質問7. 希望した科目を選ぶことができた。

この講義を希望してしまったことは人生における一つの汚点である。
割り振り形式よりも各自で選べるほうがいい。
希望の科目を履修することができたため、やる気を継続させながら学習に取り組むことができました。
興味があったもので、受講できてよかったと思う
第3希望だった。
第一希望が通りました
第一希望の講義が取れなかったのが残念でした。
第一希望の授業を受けられました。

質問8. クラスの人数は適切であった。

ありません
どうでもいい。
まなりテの人数を増やし、第一希望の講義をとれるようにしてほしい。
よかった
期末考査に相当するグループ毎の発表を考えると適切であったと思う。だがもしかしたらもう少し人数が多いほうが多様な意見や調査ができていたかもしれないと思う。
多すぎず少な過ぎずちょうど良かったと思う。

質問9. 講義の環境は適切であった。

Zoomでの動画視聴は音声聞き取りにくかった。
オンラインなので、不安な部分が多かったです。
オンライン授業のため、慣れない部分もあった

オンライン上でグループでテーマを決めたり話し合ったりするのが大変だった。何回か対面になったが、やはり話し合いは対面の方がやりやすかった。

グループで一つのパワポを作るのはオンラインだと大変だった

この人数であれば対面での講義も可能であったのではないかな。

それぞれの時間に課題をこなすことが出来、時間を有効に使えた。

たまにカメラをオンにするよう求められたが、あれは不要だと思う。

ビデオを視聴をするときに、音声聞き取りにくく、内容が理解できないことがあった。

ブレイクアウトルームで生徒を分けることにより、他の人の目を気にすることなく、グループ内の人と話し合う事が出来たと思う。

よかった

リモート学習で行われているが、きちんと勉強できる環境でした。

一部ノイズあり、

講義が始まる時間がまちまちだったので、グループディスカッションの時間が減ってしまうなど、影響があったように感じる。

最後のグループ毎の発表の準備は対面の方がやりやすかったかもしれないと思う。

時勢によりすべてオンライン授業となってしまったが、その状況で出来ることを最大限にできたと思う。

自宅で行うのは工夫が必要で面白いが、その分大変だと思った。

実験を直接やりたかったです

授業は対面のほうがやりやすいとは思いました。しかしこのような状況なので初めのほうに対面で行い人間関係のある程度作ったほうがやりやすいのかなと思いました。

新型コロナウイルスのことなので仕方がないが、全部の講義が対面の方がこの講義はやりやすかったと思った。

対面で実験をしたかったという思いはあった。

対面講義をしたかった

対面授業をやりたかった。

対面授業を行った際に、教室内の扉や窓が締切っていたため、換気の面では少し気になった。

動画を視聴する際、音声ほとんど聞こえず、内容を理解するのが困難だった。

留学生との交流が主な授業なので、できれば対面でやれたら良かったと思う。オンラインとしては先生は工夫して交流できるように配慮してくれたので満足はしています。

質問10. この授業は教員による一方向的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加（例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど）を取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）であった。

オンライン授業になったことで、講義内でのディスカッションが難しくなってしまったように感じました。

グループワークはしっかりと取り入れられていたが、授業内でのグループ準備の時間が短かったので、もう少しその時間をとってほしいと思った。

この授業は、学生の能動的な学修への参加（例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど）を取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）でなかった。ブレイクアウトルームをしてもみんなと活発に意見を交換することは難しかったです。やはり仕切る人がいないと難しいと思いました。

ブレイクアウトルームを利用して、グループで問題を話し合う場があった。

学生への能動的な意見をチャット等を使って参加することをうながしていた。

限られた時間の中、グループ別で討論をするのは難しいと思いますが、少しでもグループ別で考える時間があれば良かったと思います。

講義形式で生徒間で話し合うことはほぼなかった

今年オンラインのためなかった。

今年コロナの関係で講義内でのグループ活動は困難であったが、先生が聞いてチャットに回答するなどといった活動は行えた。また、毎回のレポートを介しての教員と学生のやりとりはかなりできていた。

自分で発表することを通じて、数学の英語表現についてより理解を深めることができました。

初対面の中オンライン上でグループワークを行うのは非常に難しかった。

前半の講義形式の授業では学生同士で話し合う場が各講義最低一回は設けられていて、後半ではグループで研究する活動が行われました。全体を通して先生と学生が一体となったとても有意義な講義でした。

全体的に講義形式の授業ではあったが、話し合いや共同発表などを通し、十分にコミュニケーションの機会は取れたと思う。

多くの人の意見が聞けてとても楽しかったです。また、短所を長所に変えるなどのちょっと意外なお題もとても楽しく話げできました。話し合いの時間をちょっと多めに取るとよいかもかもしれません。

対話形式ではなかった。話す人が先生か生徒かの違いだけ。

特にありません。

特にこの講義は能動的な参加がないと成り立たなかったもので、活発的に行われていたと思う。

発表がありました

毎回グループワークの時間があり、協力して課題解決に取り組むことができた。

様々な学部の人たちとコミュニケーションをとりながら授業を受けることができ、多くの意見を聞くことができました。

質問11. 学びのリテラシー (2) に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

「地域社会と行政法」という授業を受けましたが、現在の社会と法律の関係についてはあまり学ぶことができなかつたので、そういった部分を取り入れていただくとよりよいのではと思います。

1月の課題でほかの人とレポートを作る際、コミュニケーション能力を高めるとともに、人との関わりを深められたと感じた。

30人弱の少ない人数で集中して講義が受けられた。

50分の動画を要約するのは全体の把握、要点を捉えるなど様々なことを考えなければならぬので意外と苦勞した。

webサイト作成に関しては、完全初心者だったため、様々な知識を得ることができて良かった。

Zoomだったのもあり、発言のしづらさを感じました。しかし、逆にZoomのグループワークだった割に、どの班もうまく発表ができていたので、オンラインでコミュニケーションを取る力もついたと思いました。

zoomのブレイクアウトセッションをしているときに、先生がいろいろなルームに入ってどのような様子か確認し、それも成績に含めばよいと思う。

ありがとうございました！

ありがとうございました。

いくつかの講義で内容が重複しているところがあり、一部同じ話を聞くことがあった。

いろいろな分野から選べて楽しかった。

オムニバス形式の講義で毎回異なる先生の講義を聴くことができ、どの講義もとても興味深かったです。

オンラインでの授業であった為、専門知識が必要となる分野では話の内容を講義のみで理解するのが難しかったです。

オンラインでの授業のせいかもしれないが、他の生徒と話す機会が他の授業にくらべて少ないように感じた。

オンライン講義という条件下で、対面講義に近い環境で受講できた講義だったと感じる。

オンライン授業のため、意見の交換が十分にできない中で、他の人の意見も閲覧できる状況にする工夫は大変素晴らしいと思いました。

グループ・ディスカッションなどはなかったが、発問はかなり多い点。

グループでの活動だったので、自分から積極的に参加しやすくて良かった。

グループでの活動の時間を少しげずられてしまうことがあったので、時間の配分をもう少し調整していただけるとありがたい。

グループワークが少し負担だったので、もう少し少なくしてほしい。

グループワークは今後の大学生活で生かせると感じた。

グループ発表がとても良かった

この講義に関しては絵があると理解しやすいです

この講義もそうであったが、興味を持てる内容の講義が多く存在した。人文、社会、自然、健康、外語、総合科目のいずれかとしても受講できるように調製してほしい。

この講義を受けて、「自分らしさ」が少しわかったよな気がします。また、あまり学んできたことがないことも多く知ることができて、将来に役立てることができそうです。

この授業は同じ学部の学生だけでなく、他の学部の学生も受講していたため、様々な学部生と交流することができ、関わりを広げることができてよかったなと思います。

コロナ下で行う対応として自宅で行う対応は良かった。

シェイクスピアのマクベスという作品をここまで深く鑑賞できるというのはなかなかない機会だと思います。一人ではできない活動なので面白いです。

シラバスだけでなく授業案内の冊子の方にも古墳に関する授業であることを記載したほうが良いと思う。授業名だけでは内容が分かりづらい。

シラバスに則って授業が行われたため、受講しやすかった。

スライドや説明がわかりやすかった。

スライド中心の講義だったため、リモート型式でもあまり不自由がなかった印象を受けた。

それぞれの生徒に2回ずつ発表の機会があり、英語での発表の経験ができたのは良かった。

それぞれの第5希望からどのように履修科目を決定しているのか詳しく知りたいと思いました。

データ・サイエンスの内容が再び扱われるのがほとんどで、復習にはなったが、多少は踏み込んだ内容があっても良いと思った。ただ、金融リテラシーの講義は将来への学びになったので、これからも続けてほしい。

とても興味のある講義が取れ、講義内容も充実していて楽しかった。

とても難しいことについて取り上げられていましたが、興味深く、命題以外のことについてもよく知ることができました。ありがとうございました。

とても分かりやすくて良かったと思う。内容もとても興味深いものばかりであった。

とても面白い授業でした、自分たちで問題を考えてそれを解決する授業の形態は会社に入ってからとても役に立つ経験になると思います。

とても面白い内容で楽しかったです。

パワーポイントを活用して発表する活動が多い授業だったが、どのようなスライドや発表の方法だと伝わりやすいかなどのアドバイスをもっと与えていただきたかった。

パワポを作るのがオンラインだと大変で話し合いも普段より活発ではないのもっと時間が欲しかった

フォトエレクトロニクスに関しては全くの初心者でしたが、ブレイクアウトルームを設けるなどしてレポートを書き上げることができたと思います。改善点は特に無いです。

ブレイクアウトセッションをもう少し長めにとってほしい

ほとんどの講義でグループアウトセッションが行われている点が良かった。

まだ単位を取得できたわけでは無いが、去年受けた学びのリテラシー2の授業と比べて成績判断が公平であり、楽しくグループワークができています。

医学の内容についてニュースで聞くけれどもどんな症状だったり病気なのかわからないことがあったがそれが少しでもわかるようになった。またあまり表には出てこない診療科の医師の仕事についてもわかった。

英語の論文を読むのは大変だったが、ディスカッションはやりがいがあった。

演習を交えた講義であり、データの扱いに慣れることができた。

課題によっては、半分以上の人が最後まで解決できないものもあったので、課題の解説を増やした方がよいと思いました。

課題や授業での発言に対して、先生からのコメントがあり、学びが深まりました。ありがとうございました。

各授業の内容が、教科書のどこに対応しているかを示していただけると、より理解も深まりやすかったと思う。

学びのリテラシーの授業では学生と留学生の話し合う機会が多くて、大変色々なことを勉強になりました。

学生の学力レベルを著しく低下させる授業であった。現状では、大学の名前を失墜させてしまっている。このような授業を今後も繰り返すのであれば、今すぐ大学を離れ、転職の道を模索すべきである。

学生同士で話し合っ問題とを解く機会が多くて良いと思いました。

現代国際政治という内容について詳しく学ぶ機会になったほか、これから受ける多くの授業につながるであろうレポートの書き方やプレゼンのやり方を身に付けることができる授業だったと思う。

個人差はあるが、講義を通してできることは論理的思考、批判的視点、アクティブラーニング、これらがどのようなものを理解する段階までだと思った。習得にはより長い時間がかかる。

考えるだけでなく、考えたことを伝えるということも学びの上で大切だということを感じた。

講義は内容を理解しやすく取り組みやすかったので、特にはないです。

講義資料をムードルに記載しないと一回聞いただけで内容理解するのは不可能です。

講義内容が興味深く、説明も分かりやすかったです。

今年はコロナの影響もありオンライン授業でしたが、オンラインでもチャットや反応ボタンを使って積極的活動することを促す必要があると思いました。

最後の発表では行われていたが、発表書一人に対し質問者〇人までという制限を付けたほうが、最初の発表者の負担が重くなることも少なくなると思うので、今後の授業では初めからやっていただきたいと思いました。

細菌やウイルスの性質や構造などを学び、興味を持った。

次回の授業までの課題で要約などをやっていて、内容をまとめる技術が向上したと思います。

自分が何を学んだのが一番実感できる授業でした。ありがとうございました。

自分が受けた講義は第2希望の講義でしたが、日本と海外のキャリアの違いや様々な職業のキャリアについてなど知ることができたので、受講できてよかったです。

自分で昆虫を見つけて、調べるという能動的な活動をすることができた。特に冬の時期だったため、昆虫を見つけることが困難だったが、図鑑などを参考にして探したり調べるすることができた。

自分と他の人では感性が違うことは当たり前なのだが、お互いに感想を共有することで多面的な捉え方で授業を受けることができた。

自分の意見を整理して、発信していく機会をもてたので、よかったです。

自分の使う言語の「正しい」を疑うという視点に衝撃を受け、これからも言語を使うにあたり考えていきたいことであると感じました。

質問がしやすい環境だったのがすごく良かったです。

社会における現状や課題について学び、社会人として何が出来るか、学部の専門性を生かして何が出来るか、といったことを多面的に考えさせられる機会が多かった。

社会専攻だけでは、学べないような医療に関することを詳しく学ぶことが出来ました。

取り扱った話題が私にとってとても面白いものだった。今まで深く考えたことがないものだったので、日本語について見直すことができた。

授業では課題の修正のためメールのやり取りをたくさんしました。これからメールやオンラインに慣れていく必要性を強く感じました。

授業の資料や課題のことについてムードルが整理されていたため、学習しやすかった。

授業の主なテーマであるハンセン病について、草津にある資料館にバスで見学に行ける機会があり、実際に目で見ることで理解を深めることができました。

授業の内容の説明文だけ見て、とる授業を決めるのは無理があると思います。他の教養科目の授業のように、授業紹介をする回があればよかったです。

授業内で行っていたことは思っていたより難しかったけど、授業中のスライドや小テストなどで自分の理解度を確認することができた。

授業内容を確認するために、先生が書いた授業中の板書を残してほしかったと感じた。

充実した講義が受けられました

将来についてよく考えることのできる授業でとても役に立った

色々な面から細胞について学ぶことができた。

新たなことを学ぶ機会になった。

身の回りの化学が社会とどれだけ結びついているかを、プレゼンで知ることができた点

数理技術を用いて最適にクラスを選ぶ方法はとても分かりやすく、興味深いものでした。

生徒同士の交流が多くてよかった。

生物未履修の私にとっては難しいと感じるような内容が多かったですが、非常に似ようが面白い週もいくつかあり、説明がわかりやすかったので積極的に出席することが出来ました。

先生から生徒への一方的な講義ではなく、先生は生徒に意見を求めたり、話し合いの時間を多くとってくださいました。ブレイクアウトルームでの話し合いを通して、意見交換や発表の仕方も学ぶことが出来ました。

先生方の海外での経験のお話や写真を見ることができたので、具体的にどのような活動をするのか理解することが出来ました。グループワークも沢山あったので意見交換も出来て学びを深めることが出来たと思います。

他の学生の意見を聞ける機会が多くて良かったです。

他の生徒との話し合いや発言する場がよくあり、一方的な授業にはならず、よかった。

他学部、他学科であったため接点が少なく、また顔や身振り手振りが見えない状態での授業なので、活発な意見交換のためにZoomの機能である画面共有などを生徒にも解禁したほうが良いと思います。

他学部と協力して、パワーポイントを作ることはとても役に立った。ただ、一回だけだったので数回やった方が良いと感じた。

対面での講義ができないという状況でしたが、先生方の工夫もあり医学について様々なことを学ぶことが出来ました。半年間お世話になりました。

対面での授業ができたので理解が深まりました。とても説明がわかりやすく、第1希望でこの講義を選択し、希望が通り、受講することができて本当に良かったと思います。

対面授業があるといいと思った。

対面授業が出来てよかった。

大学生にもわかりやすい説明を用いての授業だったので、理解し易かったです。この講義を取らなければ男女共同参画センターに足を運ぶことは無かったと思うので、良い機会を設けてもらえたなと感じました。

短時間の中で文献検索、討論、プレゼン・レポート作成など多くのことを学習できる内容でした。男女共同参画とはどのようなものなのか、受講する前と後では全く認識も考えも変わった。とてもためになる講義だった。ありがとうございました。

抽選になるのは仕方ないと思ったが、講義の質は良かった

抽選に落ちた人は他に比べて討論などで声を出すことが少ないように感じた

丁寧な説明で講義が進んでいたのが受講しやすかった。

特にありません。授業ありがとうございました。

特にオンライン授業の時、講義時間が伸びてしまうことが度々あり、次の講義への参加が遅れそうになることがあったため、終了時間に気をつけて欲しいと思います。

日本人学生のみなさんとzoomを通して直接交流をすることで、日本の文化をさらに理解を高めることができました。また、自分の国の文化を説明する機会が多くあるため、自文化にも改めて認識することができました。

物理未履修だったので授業内容についていけないことが多かったので参考文献をもっと教えてほしかったです。

毎回課題の切れ目が早くて、プリンターが家にないと対応が困難だった。

毎回授業の内容に関するレポートを書くことで授業の復習を行う事ができたので良かったと思います。

役に立つ情報をありがとうございました。為になりました。

履修のアンケートの際、授業の具体的な内容など、もう少し詳しく提示してほしかった。

理科系の学部の人でないと難しいと思った。これは前期でやってると思いますが～のようなことを言われて、やってないなと少し戸惑いました。

令和2年度 前期授業評価「データ・サイエンス」集計表

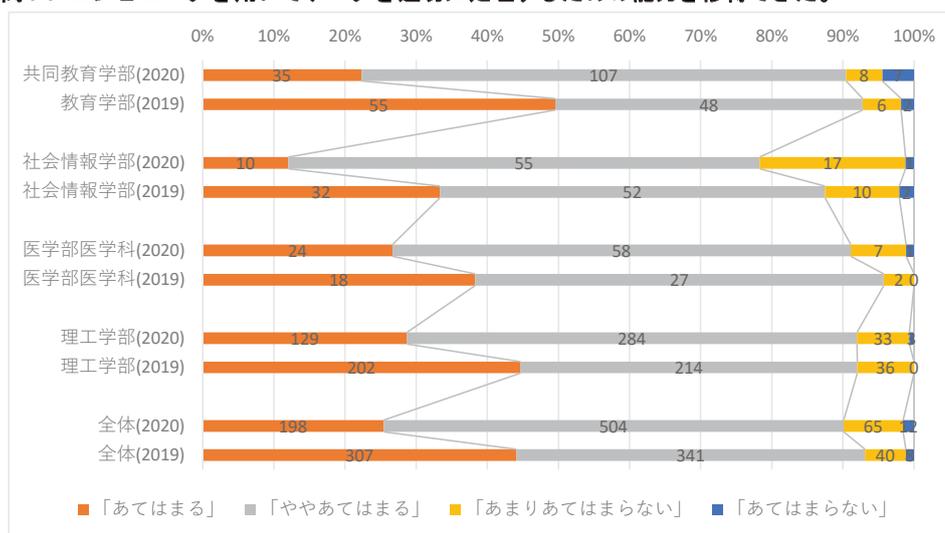
※保健学科は後期開講のため未実施

区 分	年度	対象者数	提出者数	回収率 (%)
共同教育学部	2020	203	157	77.3
	2019	(241)	(112)	(46.5)
社会情報学部	2020	102	83	81.4
	2019	(105)	(96)	(91.4)
医学部 医学科	2020	112	90	80.4
	2019	(107)	(47)	(43.9)
理工学部	2020	552	449	81.3
	2019	(542)	(439)	(81.0)
合 計	2020	969	779	80.4
	2019	(995)	(694)	(69.7)

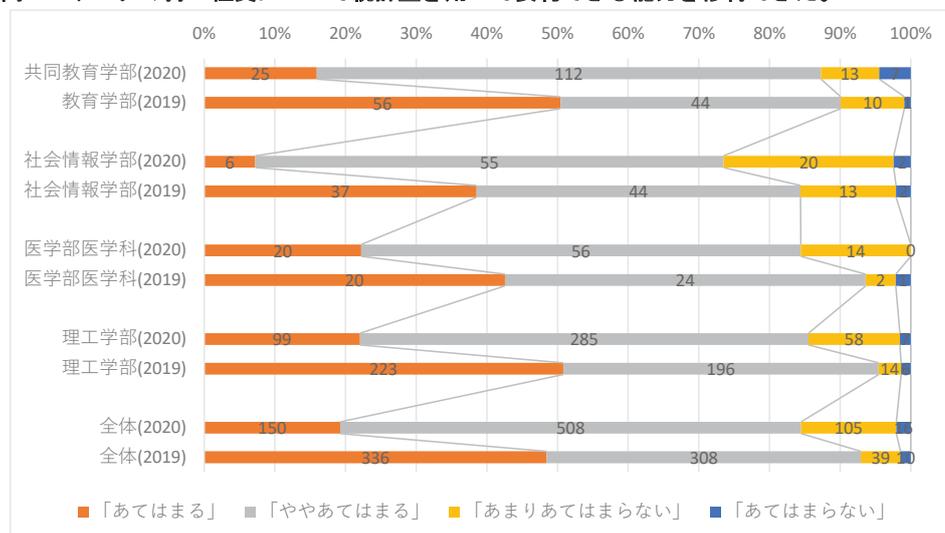
※ ()は昨年度の結果

※評価基準 1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」

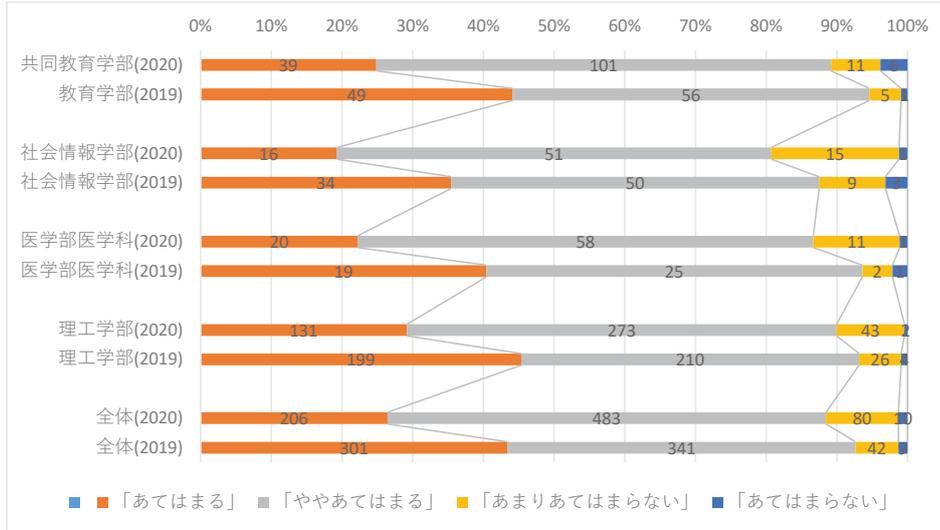
質問1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。



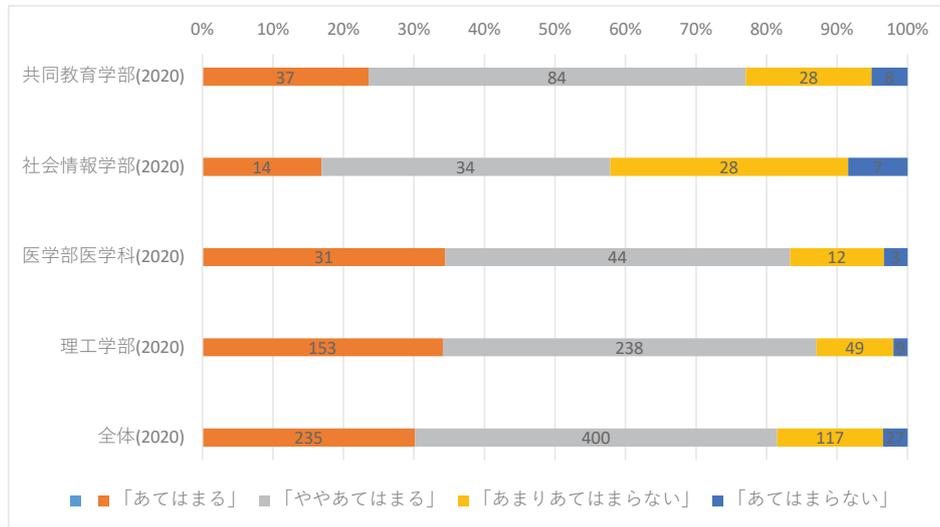
質問2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。



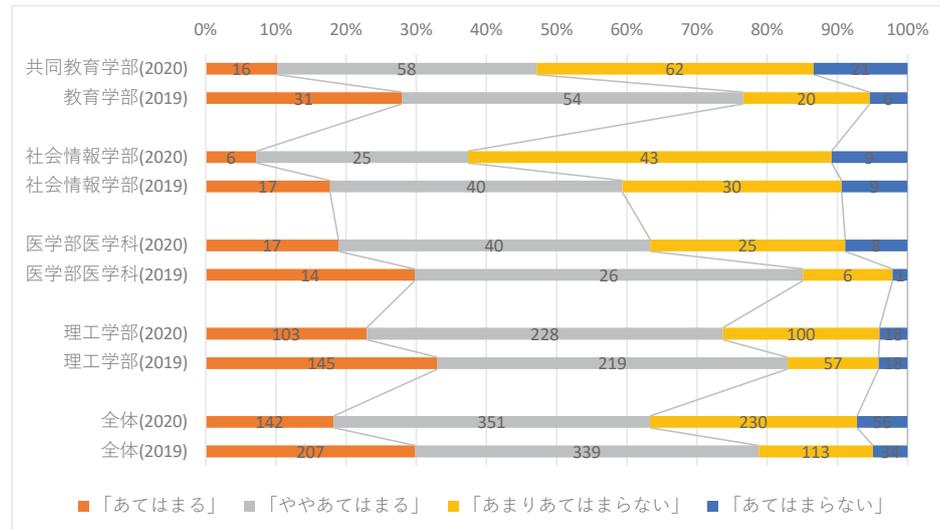
質問3. データ処理のためのコンピュータやソフトの操作を身につけることができた。



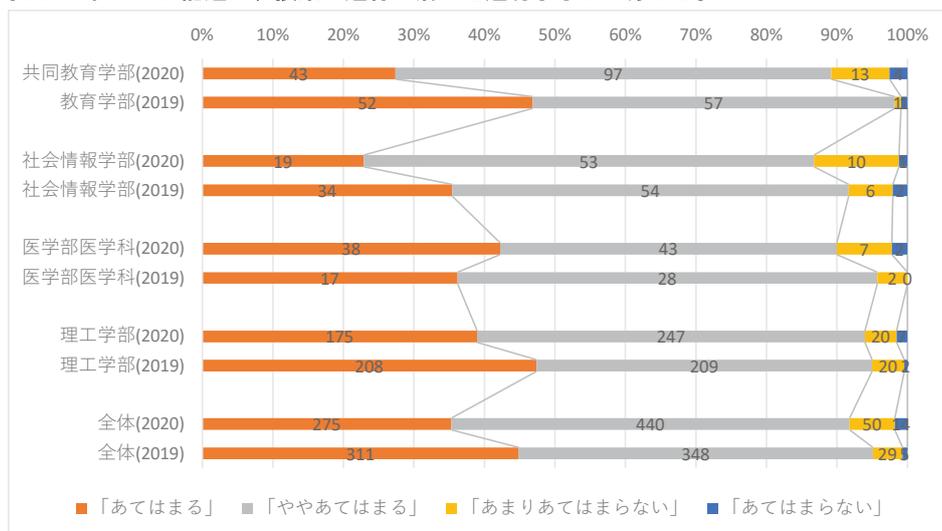
質問4. 授業内容の構成は適切であった。



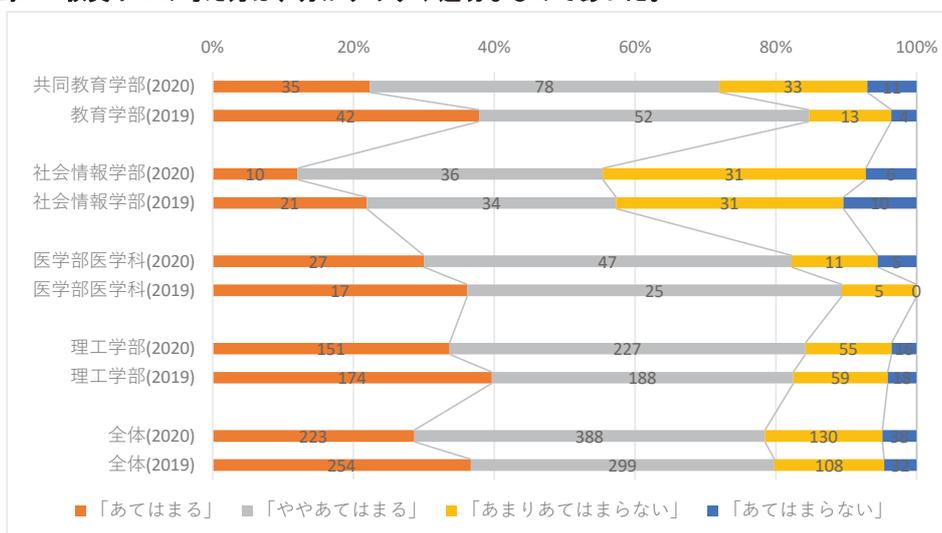
質問5. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



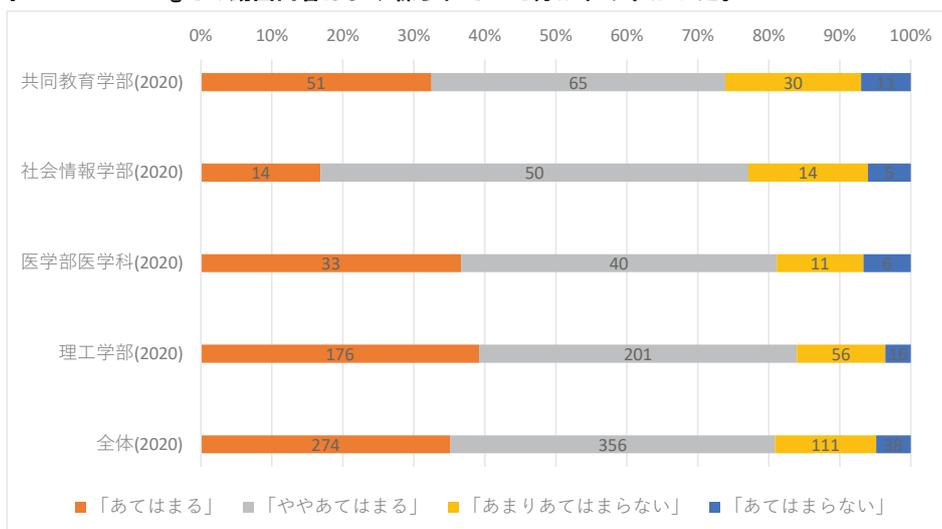
質問6. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。



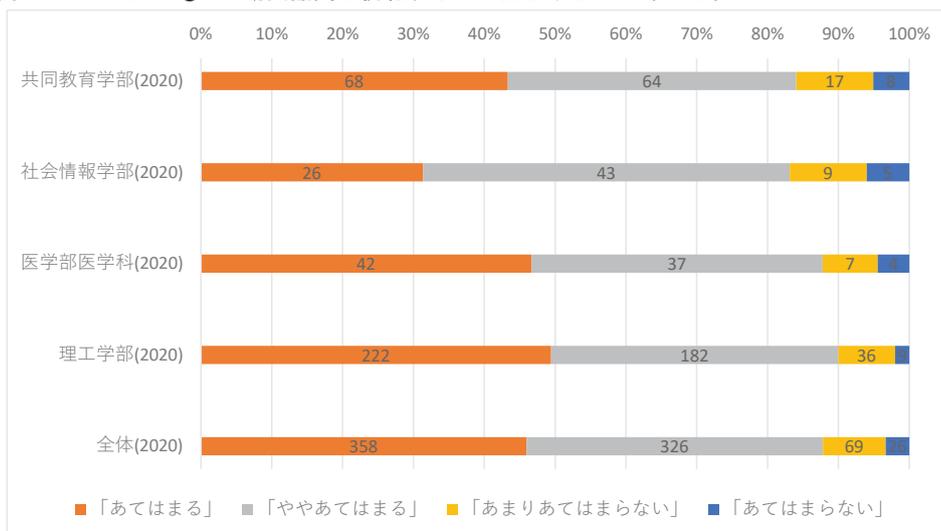
質問7. 教員やTAの考え方は、分かりやすく適切なものであった。



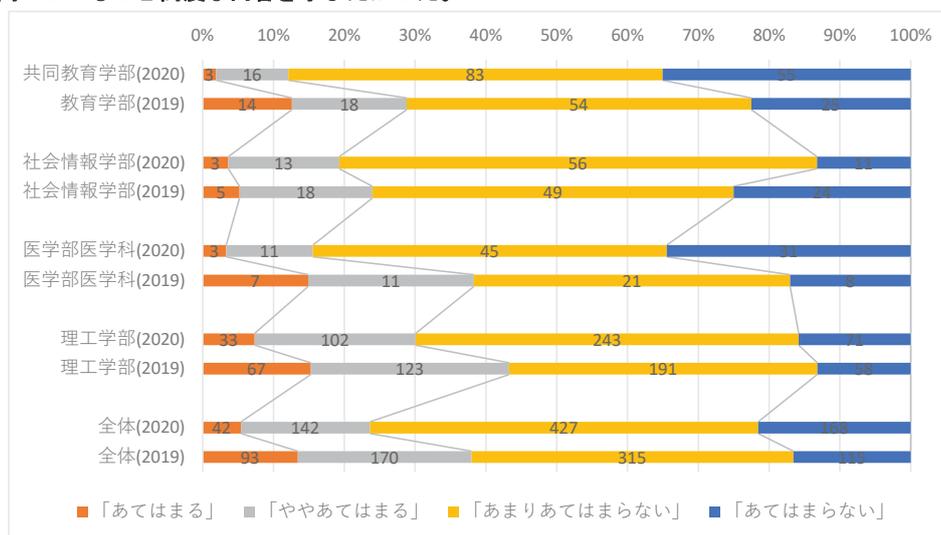
質問8. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。



質問9. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。



質問10. もっと高度な内容を学びたかった。



情報の授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

質問1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。

エクセルが使えるようになった。

Excelの使い方に前より詳しくなった。

エクセルの操作について多くのことを学ぶことができ、とても勉強になりました。

エクセルの様々な使い方をもっと学びたいと感じた。

大学生になってからパソコンを所有し始めて、Excelの使い方に慣れていなかったもので、使い方を説明してくれるのは嬉しかった。

今まで知っていたこともあったのですが、知らなかったことも多かったのでこれからコンピューターを用いてデータを解析したりしていく上で大切な技術を身につけられたと思います。

操作が複雑な時もあったが、頑張って能力を習得できた。

とてもおもしろかったです。

もっとうまくなりたいと思いました。

修得するには、自分で何度も演習する必要がある。

最終問題をしている時に処理する能力が上がったと感じたけど、まだまだ慣れない。

そこまで反復はしなかったので、身についてかが分からない。

学校で先生の指示を聞いて自分のパソコンでやってみて良かった。

よくわからなかった。

説明が不十分。

授業がわかりづらいため理解するのに苦労した。

先生が何を言っているのかわからないことが多々あり、チャットで質問しようにも進むのが早くうっている暇がない先生による指導の質にムラがあると感じた。

小テストにおいて、間違っているところを分かりやすくしてほしい。

関数選択が難しい。

もともと苦手なので講義を受けたからといってすぐに能力は身に付けられない。

エクセルの使い方を遠隔授業で扱うのは少し無理があると感じました。

動画だとよくわからない。インターネットで調べてやっと理解した。

毎回の動画では説明が足りないと感じたり、テストが難しすぎる箇所がありました。

動画だけで実際の演習が無かったので理解しづらい上に定着度が悪かった。

オンデマンド型の授業で実際にデータを使って処理する事はできたが、内容に関する質問がしにくく、理解が不十分な所があった。

対面式でないで、自分が正しい操作ができていないか不安だった

Excelの使用に関する授業時の口頭説明では、途中で詰まると授業の進行より遅れてしまい、作業が難しいことがあった。録画配信講義は内容が多く大変であったが、文章等の資料があったので作業を進めやすかった。

エクセルの使い方に関しての授業が早すぎてついていけない。

Excelの授業では、進行スピードが速くて置いて行かれることがあった。

スライドに書かれている内容だけでは不十分だと感じた。スライド以外に配布資料等がほしいと思った。

技術的な指導が少なかつたのに反して最終課題が極めて難解であった。ここまでのレベルを求めるならば技術的指導をもっとしてほしい。

問題演習の際に提示されたデータをエクセルに打ち込むデータ量が多く、間違えると違うデータになってしまうので、処理というより入力にばかり時間を使わされたという印象を受けた。

最終課題の量が多すぎると感じた。あの量なら、もう少し時間が欲しかった。

ピボットテーブルをもっと重視してほしい。

実際にデータを処理する関数についての説明が少なく感じた。Visual Basicやマクロに関する説明があると良かった。

質問2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。

エクセルに用意されている式を用いることの重要性を学びました。

データについてさまざまな側面などがある事を知ることができ、とても勉強になりました。

動画を視聴して学ぶことができた。動画なので何回も見直すことができるのでいいと思った。

やり方を参照しながらであれば十分に要約出来るが、演習が少なく、何も見ずにデータを分析することは難しい。

そこまで反復はしなかったので、身についてかが分からない。

知識として身についたと思えない。

動画だとよくわからない。インターネットで調べてやっと理解した。

質問3. データ処理のためのコンピュータやソフトの操作を身につけることができた。

要点をしっかりとおさえた講義だったと思う。

エクセルの使い方は少しわかったと思う。

動画でデータの処理のやり方を学んでその後演習で確認することができた。

コンピュータの仕組みなどは、とてもわかりやすく説明いただき、興味を持つことができました。

最初はデータ処理についてほぼ知識がなかったのですがこの授業を通してパソコンで操作できるようになりました。

処理が速くなった。

Excelの使用方法については、もう少し早い時期にやっていただけると、ほかの授業にも早いうちに活用できたのではないかと感じた。

Excel以外でのデータ処理方法を知りたかった

難しいソフトが多かったので完全には理解できませんでした。しかし、間違いなく使用前よりデータ処理のバリエーションが増えたと思います。

動画を見てやり方を学ぶことはできたが、詳しい操作方法については、ネットで調べたりしてやっと理解できる内容だった。操作方法についての説明は十分でないと感じた。

わからない。

動画だとよくわからない。インターネットで調べてやっと理解した。

そこまで反復はしなかったので、身についてかが分からない。

指導が曖昧な点があった。

オンラインということもあってか、操作が身についたとはいえない。

質問4. 授業内容の構成は適切であった。

コンピュータやネットワークのことを学ぶことができ、良かったです。

わかりやすかった。

データ作成にあたり外れ値やエラーなどの対応方法が順を追って説明されておりわかりやすいと感じた。

講義と演習が交互にあったので、とてもよかった。

最終演習の際に、これまでの学習を活かすことができた。

自分がすべきことを明確に指示してもらい、質問などをする場を設けていたのがとても助かった。

オンラインであったことで余計に理解しづらかった。

オンライン授業だったのでわかりづらい時もあった

オンライン授業という性質上仕方ないかもしれませんが、課題と講義の順番が逆で少しやりづらかったです。

授業動画がわかりづらかった。

動画がわかりにくい。

動画を見て演習を提出するだけでは本当に自分はできているのか不安だった。

詳しく解説されない部分があったが、映像授業であるため質問ができなかった。

途中から講師がいなくなったが、ポーカロイドによる映像授業だと理解しにくかった。

前半の講義は大変ためになりましたが、後半の映像を見てテストに答える様式になってから取り組みにくくなったように思いました。

動画を見て出席確認というときに動画が重かった。

講義の中盤の、よく分からない機械音による講義動画のみというのは、授業といえるのか疑問に感じた。

少し内容的に難しいと思う内容が多かったのですが、今年は対面は難しいですが、ブレイクアウト等でもうすこし話し合いながら進めるのも良いのではないかと思います。

難しすぎたように思う。

最初の簡単な基礎から突然内容がハードになった印象。

専門用語の説明が足りないように感じました。

正直なところ前半の講義スタイルはmoodle上にアップされた資料がわかりにくかった。それを用いた説明であったためわかりにくいものだった。

講義の進みが速すぎる。レジュメ100枚分もある講義があった。

適切であったとは思いますが、理解できないままにおいていかれることがたびたびあった。

そこまで反復はしなかったので、身についてかが分からない。

最終課題は内容は面白かったが、それを解く技術を教えて欲しかった。

最終課題をするにあたり、もう少しエクセルの使い方を学んでおきたかった。

最終課題を解く際に今まで習ってきたことがあまり活かせていないと感じたから。

最後の課題が非常に重く感じた。テスト期間と被っているため、少し早く課題を提示しても良いと思った。また今回の最終課題は野球のルールを知っているか、興味を持っているかで差が出てしまう可能性があると感じた。

最終課題についての説明が足りず、1週間で完成させることに本当に苦労した。月曜日に課題が出され、金曜日にピボットテーブルを使ったデータ引用の方法が動画にされていたが、もっと早く説明して欲しかった。

演習が講義より先にある構成だったので、授業の意味があるのか分からないと思い、講義でなく動画しか聞けなかった。

スライドを配布すれば十分に理解できる内容を動画にする理由がわからなかった。前半の講義についても講義資料だけで十分なものが大半だった。

質問5. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

一週間に一回質問ができる機会があり、良かった。

難しい内容であってもわかりやすく説明して下さったので、理解することができました。

たまに難しかったが、質問すると先生は丁寧に答えてくださった。

興味というよりは、私たちが知っておくべき内容に関する講義だったと思う。

動画の内容は高校数学の内容も出てきて理解できなほど難しいということは無かった。

講義の進みが速すぎる。

どんどん進み、追いつけませんでした。

オンラインであるため授業の進行が速く感じた。

最初の方の授業では学生が全く理解していないのにどんどん進められていた。

難しかった。

内容は少し難しかったように感じました。

授業内容に対し、最終課題の難易度が高く感じた

講義内容に専門用語が多く、とてもではないが理解するのが難しい。

説明時に出てくる単語がわからなかったため、結局意味がわからなかった。

かなり難しい内容で、理解するまでに多大な時間を要した。また、文面で説明するものが少なく、復習がしづらかった。

説明が難解すぎる場面がありました。

全体として難易度が高く、特に相と元やキーの概念については全くと言っていいほど理解できなかった。

パソコンが苦手な生徒にとっては難しいものも多々あった。

大学に入るまで、ぜんぜんパソコンに触れたことのない状態だったので、難しすぎた。もう少し基本的なことから教えてほしかった。

オンラインで実施する授業としては難易度が高かったように感じる。

動画だけだったので理解度に配慮されていなかった。

情報処理の仕方として、実際にどういう風にやるのか、後半は動画でなく、音声はついてたもののスライドだけの説明だったため、非常に分かりにくかった。

授業に使われていたスライドが分かりづらかった。

後半で用いられた映像は、無機質で間をとったり強調したりすることがなかったので理解しにくかったです。

課題に対する説明が足りない。ピボットテーブルを使った方法を知らなければ1週間では終わらない内容だが、ピボットテーブルのつかい方の説明がギリギリまでなく、大変苦労した。

課題の難易度が高く、重かった。

課題が自分には難しすぎて、分からない箇所が分からない状態に陥ってしまった。

期末課題が多かった。

動画を見て課題を進めるというスタイルの授業の後に必ず割には最終課題が重すぎる。授業内容を充実させるか、最終課題を軽くするなどしてほしかった。

最終課題が重すぎる。野球を全く知らない人は本当に困惑していた。

最終課題について、もっと普遍性のある現実的な分析を行いたかった。

野球のルールを把握していなければならないのは難しいと思います。

野球の知識の有無で評価が大きく変わる。課題に取り組む時間も全く違う。なぜこの課題に設定したのか理解に苦しむ。

最後の課題は野球の知識が必要でないとい何を分析しようかと思いつかず、難しい課題だった。特に今年はオンラインであり友人の幅にもばらつきが多く野球の友人に出会えてない人は不利だったと思う。

質問 6. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。

沿っていた。

あまり見ていませんでした。
シラバス通りに行かないこともあった。

質問7. 教員やTAの考え方は、分かりやすく適切なものであった。

とても分かりやすかったです。
常に生徒側を気遣って授業を進めていたと思う。
自分の進度が遅かった際に先生がズームで丁寧に教えてくださいました。
とても丁寧に説明していただき、わかりやすく感じました。
質問をメールでした時に、丁寧に対応してくださった。
どんな質問も優しく教えて下さった。
質問の時間や演習の時間も設けられており、詳しい説明もあった。
少し説明が早いと感じる時もあったが、とても分かりやすかった。
少し説明不足な面があった気がしたがよかった。
最終試験の時、時間を短縮できたので良かった。
Excelの授業では分からないことは質問できたので特に問題なかった。
Mac bookはエクセルのスタイルに違いがあり、Windowsでは表示されるボタンが隠れていて混乱した。クラス分けは、使っているOSで分けて担当教員も同じOSで手本を見せるべきだと思う。
Macとwindowsではエクセルの操作に違いがあり、その操作を調べながら授業をしなければならなかったため途中でらついていくことが出来ず、結果的に授業に参加することが出来なかった。
macに対する対応がWindowsと違って進めずらかった。
Macの人とWindowsの人で授業を分けて欲しい。
前半の授業進度は速く感じました。
かなりスピーディに進めており、分からない学生に目を向けていないように感じられた。
スピードが少しばかり速く感じた。
オンライン上の授業なので、対面の時よりも、もっと細かく分かりやすく説明してくれないと、何をやっているのかわからなくなり、ついていけなくなるときがあった。
講義資料に不備があったときに口頭ではなくきちんと講義資料も訂正して頂きたかったです。
説明されたものと課題でデータが違うことがあり分かりにくかった。
課題に関してTAが理解しておらず、何をやればいいのか聞いても答えてくれなかった
間違いを指摘したが説明を受けただけで訂正がなかった。課題の答えを何かしらで送ると言われたが1つも送られてこなかった。エクセルの課題の間違いの指摘が分かりづらかった。
期末課題への取り組み方に関する説明が先生ごとに全く異なる説明であった点に不平等さを感じました。
最終課題は先生によって説明の詳しさが異なり、不平等さを感じた。授業後に他の分かりやすい授業がアップされ確認はしたが、2度は時間の無駄に感じた。全体で同じ課題を出すなら、最初から同じ説明をして欲しい。
特に最終演習について、課題は共通しているのにクラスごとに教員の説明が違う事に不公平さを感じた。また、生徒間で教えあう事や不安なことを聞くことが困難になった。
授業形態的にクラスが分かれ担当教員が異なるのは理解できるが、そのせいで各クラスの説明で分かりやすさの違いが出てくるのは納得できない。
説明するのが難しかった。
専門用語が多すぎる。
ビデオ形式だと難しかった。
苦手な私には難しく感じた。
野球の知識がある前提で話しを進められても全く理解できない。
担当の先生が中国人であり、片言な日本語名だけでなく、日本語がわからないところをあれ、これなどと言っておりとても分かりづらかった。
8割方がe-ラーニングであったため、教員から教わったという感覚があまりなかった。また機械による音声が個人的に好ましくなかった。聞き取りづらかったり集中力が欠けたりした気がした。
一個一個の操作が長いので授業中に来ても復習ができず忘れてしまう。
講義がムードに乗っている物を流しているだけだったので一言ヒントや実際にやってみようかなことをしてほしかったです。

質問8. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。

よかった。
かわいくて分かりやすかったです。

素人でも分かりやすいように作られているように感じました。
分かり易い音声付動画であったため課題テストに積極的に取り組めた。
処理の方法の適切な例とそうでない例を示していたので、どちらが効率の良い手法が分かりやすかった。
順を追って丁寧に説明された動画だったと思う。
音声のスピードや図表などが適切でわかりやすかった。
動画の音声がVOCALOIDによるものだったため、早送りしても十分聞き取りやすく便利でした。
映像授業では、具体例も豊富で、最後には本当に焦点を絞ったまとめがあり、理解しやすかった。倍速再生ができるのも、集中して講義を受けられる要因だったと考える。
ちょうどよい長さの動画で、かつ自分の都合のよい時間に視聴できたので、利用しやすかった。
繰り返し見ることができたので自分のペースで復習できた。
少し難しい表現があった。
分かりにくかった。
単純にわかりにくかったです。
分かりづらいところが多々あった。
分かりづらい。普通の授業の方がまだ良い。
元や相の理解に苦しんだ。
動画で用語の解説がされているが、難しくてよくわからない部分があった
理解が難しい箇所の説明が少なすぎる。
操作方法の説明が足りず、分からないことがあっても質問もしにくい。
問題を解くのに必要な知識が十分に説明されていない部分があった。(データの相・元についてなど)
知らない数式を突然出されと困惑するので、予備知識が必要ならば、何を予習し、どのような知識を身につけておくべきかを受講前に教えていただけると、授業をスムーズに受けられたのではないかと思います。
エクセルを開いてください、という指示があったが、途中で動画を止めて前のページに戻っても大丈夫が分からないため、指示を聞きながら作業ができなかった。
一番最後の講義動画として、今まで学んできたことを簡単に振り返って整理するような総括の講義動画があると、学んできた知識が体系化されると感じた。
内容は分かりやすかったが、進行が早い。
ビデオを見ているも演習問題が解けるわけではない。
演習問題を解く上で、動画の内容では不十分だと感じる場面があったと思う。
動画にする必要性を感じない。
e-learningではなく、普通に先生方にご講義いただきたかった。
機会音声だったところが少し違和感を感じました。
合成音声の声が入ってこない。
機械による音声は個人的に好ましくなかった。聞き取りづらかったり、集中力が欠けたりした気がする。

質問9. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なおものであった。

よかった。
とても見やすかった。
見づらいつ感じたことは特になかった。
復習のために何度も動画を視聴できたのは助かりました。
音声が遅く感じたが、速度の調節ができたので特に不便には感じなかった。
ネット回線が悪く何度も停止したり落ちたりした。
ネット環境によって視聴できなかったできないことがあった。
たまたま、動画を視聴できなくなるのが困りました。
何度も動画が止まったり完全に視聴ができないこともあった。
私のパソコンに問題があるのか、パソコンで開けず、スマートフォンで見なくてはならないことがあった。
時々動画と音声がみ合わない時がありました。
動画が数秒再生されては止まることを繰り返す日が多かったために一本の動画を再生しきるのに一時間かかることもありました。サーバーアクセスをもっと分散できるような対策が必要だと思います。
仕方のないことだが、頻繁に動きが重くなりすべてを見終わるのに時間がかかった。
とても容量が重くて、15分の動画を見るのに60分かかった。
違うサイトに飛んだ。
字幕が出ないのが一つだけあった。
機械音声はすつと入ってこない。

内容自体はわかりやすかったですが、Q11にも書かせていただいた通りペースが速かったり無機質であったりしたため理解しにくかったです。

操作方法など説明が足りないと感じた部分があつた。また分からないところがあつても質問しにくい。

一部説明の省略があり、外部の資料を参照しなければ理解できない内容があつた。

音声の中で一部、イントネーションや言葉の切り方に違和感があり、聞き直したりすることがあつたので、改善して欲しいと思いました。

質問10. もっと高度な内容を学びたかった。

自分には十分な内容だった。

十分だと思う。

この講義内容で十分だった。

内容は私的にはちょうど良い難易度だと思います。

難しすぎても分からないままになってしまうと思うので、ちょうど良い適切な難易度の授業内容であつたと思います。

難しすぎて理解できなくては意味がないので、これくらいの内容でいいと思った。

見ていて難しいところがあつたので、これぐらいで十分。

これ以上高度だときついです。

これ以上高度な物を習うと扱いきれずに挫折してしまいそうだから。

今までExcelを使う機会がなかったため、Excelの基本的な関数や使い方を学ぶことができてよかった。まだ基本的な事項を使いこなすには時間が必要なため、私には高度な内容は早いと思った。

今以上に高度な内容は少なくとも自分には早すぎる。

これ以上高度になると何も分からなくなる。

内容の説明が足りず、動画を見た後にネットで調べてようやく理解できるものも多く、これ以上難易度が上がると調べる作業がより大変になる。

データサイエンスは覚えることが多く難解である。

十分難しかった。

聞き慣れない言語が多く、自分には十分高度であると感じた。

エクセルが使えれば大丈夫である。

できれば少しずつたくさんのExcelなどの演習を積みたかった。

最終課題では授業で扱わなかった細かいエクセルの使い方などを使わなければいけなかったのも、もっと様々なエクセルの使い方を学びたいと思った。

python等を用いたグラフの作成、データ処理について学びたい。

マクロの作り方や活用方法について学びたかったです。

もっと実践的な内容を学びたかった。

もっと初心者にわかりやすい授業をしてほしかった

工業高校出身ということもあり、前半部分の多くのことがすでに知っていた。

しっかりと対面で指導されながら高度な分野を学べたら嬉しかった。

オンデマンド型ではなくリアルタイム型の授業のほうがよかったと感じた。

質問11. データ・サイエンスの授業に関して、気付いた点、改善すべき点、オンライン授業に関する感想等を自由に書いてください。

良い授業だったと思います。

わかりやすかったです。

とてもわかりやすく、ためになる授業であつた。

説明がとてもわかりやすかった。

分かりやすかったので良かったと思う。

分かりやすく教えていただけたのでよかった

動画がわかりやすく、補足説明をしてくれるので、理解しやすかった。

とても良くまとめられた動画で、理解しやすかった。

少し難しいところもあつたけど、わかりやすい動画でよかった。

説明もわかりやすく良かった

難しいことも丁寧に説明されていて分かりやすかった。

かなり難しい内容でしたが、学ぶことができてよかったです。

私にはとても難しい内容でしたが、より深くデータ処理などを学ぶことができたと思います。

とても良い授業であり、データ・サイエンスにより興味を持つことができた。

丁寧に手順を教えてくれたり、実際に行っているところを見せてくれたため、非常に理解しやすかった

勉強になりました。
楽しく取り組めた。
文系にはキツイ内容もありましたが楽しくできました。ありがとうございました。
最初はオンライン授業に慣れることができるか心配でしたが、すぐに慣れることができました。
難しい内容であってもわかりやすく教えていただいたので、スムーズにオンライン授業であっても受けることができました。ありがとうございました。
動画視聴時に、画面を共有しながら、細かい操作の注意点などを説明しながらやってもらえたためすぐにできました。パソコンについてほとんど知らないことばかりだったので非常に役立った。
今まであまりコンピュータに触れてこなかったので、新しい知識をたくさん学べて楽しかった。
今までインターネットに、あまり触れてこなかったので、データサイエンスの授業で学ぶことができてよかった。
今までコンピュータを使ってデータの処理などを行う機会が少なかったので、自分に役立つことを学ぶことが出来てよかった。
まだまだコンピュータに対する知識が少なく理解することが難しいところもありましたが、先生方が質問をしたら優しく教えてくれたのでよかったです。
機械にあまり詳しくなかったので、機械の知識が必要とされる教員になる身としてとても貴重な授業でした。突然のオンライン授業で、先生方も大変だったと思います。ご指導ありがとうございました。
先生による講義を聞くのではなく、ビデオの動画によっての講義は初めてだったので少し不安ではあったけれどやってみると理解できないところを何度も見れたりできるところはよかったです。
自主性が重んじられていたと思う。
自分から進んで学習できるシステムで良いと思いました。
動画視聴の授業が多かったので繰り返し見ることが出来、勉強しやすかった。
授業動画を好きな時に見られるのはありがたかったです。
動画だと何回も復習できるので、個人的にはオンラインより講義動画の方が理解できたと思う。
自分の好きな時間に授業の動画を視聴することができたためとても良かったと思う。
動画式の授業は回線状況を気にせずに受けることができストレスなく受講できた。1回だけでは理解しにくいところを繰り返し視聴でき、そして既に理解できているところを倍速再生できるので効率よく学習できた。
生徒が分からないと感じた点はメールで募集したり、説明が不足しているところなどは別動画をムードで配布していてとても学習しやすかった。ありがとうございました。
高校の授業でパソコンについて勉強したがデータサイエンスの授業のように詳しくやりませんでした。Excelの使い方を学ぶことができたのでよかったです。ありがとうございました。
この講義を通してデータの取り扱いに関するリテラシーや実際の技能を身につけることができました。半年間ありがとうございました。
最初のころは知り合いが少なかったため授業の理解に苦しんだ時に誰に聞いていいのか分からず大変でしたが、時間が経つと先生や友人がズームや電話で教えてくださったためとても心強かったです。
これからの社会は大量のデータの処理を必要とする社会となるので、この講義で学んだ知識は必須のものであるのでとても有意義な講義であると感じた。
悪い意味ではなく、広く浅い知識を得ることができたと感じていて基礎から学べる機会となり有意義だった。
最低限の操作はできるようになったのでよかったです。
自分はデータサイエンス系に対して、苦手意識があったのだが、しっかりと知識を身につけたおかげで、遠回りにやるのではなく、早く正確に処理をする力を得ることができたので、非常に有意義であった。
データ処理の仕方などをよく学ぶことができた。
データの適切な処理を学ぶことができました。
データの取り扱い方や処理の仕方について詳しく学ぶことができた。
データやエクセルの利用方法などを詳しく学ぶことができてよかった。
時々説明でよく分からない点があったが、基本的なデータサイエンスを学ぶことが出来て良かった
データを扱うことを行なって難しいこともあったが、演習をしてすこし上達することができた。
これから必要となるデータのことやエクセルの正しい使い方や方法を学ぶことができてよかった。
データを扱う授業なので、特にエクセルを用いた講義ではZoomに向いているので、対面だとどうなのかはわからないが、講義に取り組みやすかった。
データ分析の分野が苦手な私にとっては大変難しい内容でしたが、無事に終えることが出来て良かったと思っています。
データ・サイエンスの授業は、e-learningでの講義も取り入れていて、自分のタイミングで受けることができたのがとても良いと感じた。改善すべき点は特になかった。

データ・サイエンスの授業を通して、今まで日常的に触れてこなかったデータについて学びました。Excelの使い方も慣れることができ、データ処理の技術が向上したのを感じました。
データサイエンスはオンラインでは理解するが難しかった。
オンラインの長所を感じられた有意義な授業でした。
オンラインという形態であったがとても満足した内容であった。
オンラインで学ぶ不安があったが、わかりやすい授業でよかった。
オンライン授業でもわかりやすく教えていただいたので、excelの使い方がわかりました。
オンライン授業で不安部分があったが、スムーズに授業を受けることができた。
オンラインでも丁寧に教えていただけました。良かったです。
オンラインの授業であったが、画面共有などを用いることでわかりやすい授業であったと感じました。
比較的、オンラインでも問題なく授業できていたと思う。動画形式の授業であったため、ネット接続等の関係で授業を受けられないことがなかった。
オンライン授業で、一人ひとりのパソコンの状況が見づらيناなかで、excelの講義は、操作方法を丁寧に教えてくださったのでわかりやすかったです。
オンライン授業のため、生徒がどこで躓いているかや疑問に思っているかがチャット越しでしか反応が見れない中で授業で大変だったとは思いますが、自分的にはとてもわかりやすく楽しい授業だと感じました。
オンライン授業は大変でしたが、プライベートチャットなどで個別に教えてもらえる点がすごくいいと思いました。データサイエンスはオンラインの方がいいかもしれないと思いました。
オンライン授業ということで、分かりにくい部分もあったが、授業の内容を適切に理解し、その技術を使用することが出来た。
オンラインでの講義では理解できなかった箇所を巻き戻してみることができる点が良いと考えた。
各自でビデオを見るタイプの授業は初めてだったが自分のペースで進めることができたのでよかったと思う。
オンライン授業になってしまい、自主での学習が大事となったことで少し戸惑いもありました。ですが自分で調べて学習することにより多くのことに触れることができました。
画面共有で操作方法がわかってよかった。
画面共有をすることで、先生の画面が直接見れるため、操作の仕方がわかりやすかった。
オンデマンド授業は分かりづらい。
オンライン授業であったからはわからないがとても難しいものであった。
オンライン授業だったので、わからないところをその場で聞くことができず、とても難しく感じました。
コンピュータを用いたデータ処理は元々苦手だったので、オンラインだと内容を理解するのが難しかった。
オンライン授業では先生と同級生たちとのコミュニケーションがとりにくかったので円滑な進行ではなかったように感じます。
オンライン授業では物足りないと感じた。理解のしやすさ、周りとの交流などを考えるとやはり対面の方が良いと思った。
1度グループ分けして行う授業があったが、オンライン授業では思っていた以上に難しかったです。
オンラインであると、操作方法が分かりづらいなと思いました。
オンラインでエクセルなどの使い方がわからなく、混乱した。そのため、最終課題は大変であった。
オンライン講義ということもあってかエクセルの基本的な操作を学ぶ授業にてどんどん先に進んでしまい、わからないところを確認されても何がわからないのか何をやっているのかあまりよく分かっていなかった
オンラインということもあり仕方がないと思うのだが、学生の進行の速度に比べて、授業の進行の速度の方がやや遅くなってしまっていたように感じた。
オンラインで期間内にテストを行えばよいというシステムは自由なタイミングでできる反面、点数さえとればよいという怠惰にさせてしまうように感じた
PCに親しみがないため、分からない部分をメールで教えて頂くのはもどかしさ、分かりづらさを感じた。
生徒の声が届いていない感じがしました。オンラインだと連絡する手段とタイミングが限られるので今後改善すべき点だと思います。
動画も講義もわかりやすく良かった。オンラインでは、どこがわからないのか説明することが難しく、質問するのが大変だと思った。
やはり対面で授業を受けた方が質問等もしやすいだろうと思った。
やはり対面で講義を行っていただいたほうが、エクセルの使い方などは理解しやすくなるものだったと思った。
対面での授業ではなかったため、操作方法の分からないものを直接的に質問がしたかった。
対面で講義を受けられていたら、理解度は増したと思う。
私は動画を見ただけではあまり理解することができませんでした。インターネットを利用しましたが、深く理解は出来ていないように思います。出来ることならば、対面で教わってみたいかったです。

仕方がないことですが、オンラインでexcelを学ぶのは難しく、対面の授業で分からないところなどを聞きながら学びたかったと思います。
エクセル等を使いながら行う授業は画面共有により対面よりも理解しやすいのではないかと思います。
やはりオンラインでの難しさ、コンピューターが苦手な人は一つ遅れるともうわからなくなってしまうのがどうかならないかなと思った。
エクセルやコンピューターの演習は、やはり対面で行ったほうがいいのだろうか、と感じました。オンラインだったため、気軽に質問する、ということもなかなかできなかったなあと思います。
遠隔授業でのExcelの履修は少々無理があるように感じました。分からないところで手を挙げて聞くことも出来ないし、そもそも何が理解できていないかも分からなくて、泣きながら演習課題に取り組みました。
元々エクセルを使った経験が少ないので、動画を視聴しても内容があまり理解できなかった。本来ならば周りや相談しつつ学習出来ていたのかと思うと、オンライン授業では本来の授業に比べて理解度が低いと思う。
個人作業に困ったこともあったが、動画や質問でなんとか授業についていけたと思う。オンライン授業が続いていくのであれば、ブレイクアウトで学生同士で確認させ合うなどの対策があればより理解に困らないと思う。
話し合いの時間が欲しかった。
オンライン授業のため、自分の中であまり集中してできない時もあった。
zoomの授業を行っていたので講義動画等には慣れていたので理解しやすかったと思います。
ZOOMの授業を受けながら、Excelで作業することがあったが、ついて行くのが大変だった。
Zoomを開きながら、Excelを操作する場面があったのですが、少しやりにくかったです。
実技の時に、先生の説明の画面共有を見ながら自分もエクセルの作業を使用すると、ノートパソコンだと画面が小さくて見にくいと感じることもあった。
Zoomの画面見るとExcelでの作業を両立するのが大変だったのでもう少しだけゆっくりでも良かったと思います。
先生がZoomで説明する画面を見ながら、自分でExcelを操作することが難しかった。
ズームを開きながらエクセルで作業をするとズームが落ちることがあり、苦戦した。
zoomの画面を表示しながらエクセルを操作するのが難しかった。エクセル画面を操作できる大きさにしようとする、zoomが見えなくなった。分からないとき、すぐにチャットで質問できるのは良かった。
何回か、Zoom授業に入れず、出席ができないことが多くなってしまいました。他の授業でも同様です。以前、サインインをするように指示があったのでその通りにしたのですが、繋がりにくいです。
多い人数でのオンライン授業は先生方にとって困難で大変だったと思いますがありがとうございます。仕方がないことで申し訳ないのですがZoomが問題を起しグループワークを続けるのも難しい授業がありました。
Macとwindowsの操作が違うため授業についていくことが困難だった。
Mac bookを使用しているのですが、Macとwindowsによって操作方法が違うので大変でした。
Excelなどで、windowsとMacの違いに配慮された説明をして欲しかった。
私は先生とおそらくパソコンの機種が異なっていたので、とてもzoomだけでは授業についていくのが難しかった。
合成音声より、自然な声で動画を配信して欲しかった。
AI音声はあまり聴き続けたくない音だった
今回の授業形式は自身の都合のよい日で学ぶことができたため勉強しやすかったが、機械音声になれていなかったため聞きづらい面もあった。今まで勉強していなかったデータについて学ぶことができとても勉強になった。
講義動画を見て、クイズを行うだけでは身につかないと感じた。また、講義動画はわかりやすいとはいえ、機械音が苦手であるため、先生による講義を行っていただき良かった。
動画の音声を、コンピューターに読ませているところもやる気のないなと思いました。また、授業内容もわかりにくいし、課題の説明も最悪でした。
e-learningがとてもわかりやすくて良かった。
e-learningは自分のペースでデータの処理について学べるところがよかったです。
e-ラーニングは、自分の理解度によって授業進行ができるので、とても分かりやすく良かった。
e-learningは自分のペースで進められたので、あまり負担にならず良かった。
e-Learningはよくわからなかったところを何度も見直すことが出来たのでとても良かったです。
e-learningでの学習が比較的簡単だったため、最終課題の大変さを加味してとてもバランスの取れた配分の良い授業だったと思っています。
e-learningの講義の動画が見れない事が多々あった。
e-learningは理解が難しかったため、講義は人間の教員がやるべきだと感じた。
e-learningでやった内容をいきなりワークに取り組んで、最終課題に取り組むのは難しいと感じた。
moodleの小テストの解説が欲しい。講義を見返しても解けなかった問題があり、仕方なく総当たりで正解するしかなかった。

e-learning形式の授業で、moodle上の質問箱を使ったが回答がなかった。moodle上の質問箱が機能していないように感じたので、zoomかメールでの質問に方法を絞ったほうがよいと思った。
エクセルの基本的な動作を学べて良かったです。
エクセルについて習う前、実験のデータをまとめるのなどに苦労していたので、今回学ぶことができてよかった。
エクセルなどこれから使う機会が増えるものについての使い方を詳しく知ることができたので良かったです。
Excelの使い方やデータについて詳しく知ることができて良かったです。
関数などを用いたエクセルの使い方について詳しく学ぶことができ、勉強になった。どこかで役に立つと思う。
エクセルの処理について毎回画面共有を使い丁寧に教えてくれたのが良かった。
高校で習ったExcelよりも発展的な内容を学ぶことができたので良かった。
excelでのデータ処理の方法を全く知らなかったので、この講義を通してどのようにして処理をするのかを知ることが出来て良かったです。
Excelの基本的な操作を学べて良かった。後半は動画の視聴と演習だったが、いつでも自分のやりたいタイミングでできるので便利だった。
Excelに関しての授業が早かった
Excelの授業はExcelが苦手な私にとっては少し難しい内容でした。もう少しゆっくりわかりやすく説明してほしいです。
個人的にエクセルの授業のときにももう少しゆっくり進めてほしいです。
エクセルの授業はちょっと速くて、説明は一回だけで、ちょっと難しかった。操作の要領が2,3回繰り返していただければと思いました。
エクセルに関する学習において、先生の画面と同時進行で授業が進行していたのですが、遅れをとってしまうことが何度かあった。
このオンライン授業において、excelを使った演習が大変に感じた。特に最終課題については、詳しく質問しないとわからない箇所もあったため、取り組むのに時間がかかってしまった。
エクセルは初めての知識が多く難しかった。
エクセルの使用方法がよくわかったので良かったです。
エクセルの使い方などを授業内でももう少し詳しく説明してもらいたかったです。
エクセルのやり方の説明の紙が少し醜かったです。動画を見ながら、作業できたのは良かったです。
エクセルの説明において、オンライン授業では少しわかりにくい部分もあった。最終レポートにおいて、もう少し説明が欲しかった。
エクセルの操作方法や関数の使い方など、難しい学習が多かったが、eラーニングを用いて要点を確認できてよかったと思う。
オンラインだからしょうがないのかもしれないが、エクセルの細かい部分まで質問出来る環境が多くはなかった気がした。しかし、データ処理についてはしっかりと学べた。
難しいExcelの使い方があったのでそれを気づいたときに先生に質問したかった。
プログラミングよりもまずエクセルの使い方を教えたほうがいい。
エクセル演習の手本をもう何回か見せてほしいです。
エクセルの使い方や情報倫理等について幅広く学習できたことが良かった。ただ、毎回の確認テストの解答後に正解や解説がきちんと見える形であれば、より学びを深めることにつながったのでは、と思った。
Excelに関しては、習熟度の個人差が表れやすいかと思うので、自信のない人、ある程度の経験がある人等でクラスを分けるとより良くなるのではないかと感じた。
毎回演習があったため理解度がチェックできて良かった。
演習の時間が多かったため、学んだ知識をすぐに活用することができ、理解やすかった。
演習を行う回では、ランダムで選ばれたメンバーと、協力しながらデータの処理を行う、などがあったりして、オンラインではなかなか難しい生徒同士のコミュニケーションが取れたと感じる。
各自で動画を見て演習に取り組むというのが良かった。自由に動画を一時停止したり、見直したりできるため、演習に取り組みやすかった。
オンラインで動画を視聴し、演習問題を解く方法では、好きな時間帯に学習できるので良いと感じた。しかし、最終課題では過去の知識を応用する必要があり、演習では応用力が身につけていないと感じた。
講義動画でわからなかったところを何度も見直せたのが良かった。かつ、演習問題で実際に自分でエクセルを操作したので理解の向上につながった。
課された演習がかなり難しかった。事前に撮ってある動画での演習の答えがなかったので、間違えた答えが気になった。全体としては興味のある事ができて楽しかった。
演習問題に関して知らない技術が多かったので、もう少し細かい説明が欲しかった。例などを出しておいて欲しかった。

私はパターンβの方式だったが、「演習→講義」という流れは今一つ分かりにくかったように感じる。Moodle上にあったように、1週間でその週の分の講義と演習を済ませる形で良かったのではないかと思う。
演習問題の設定ミスや、それがあったことの説明、内容の補填などの点で不十分だと感じる場面がやや多かった。
演習に使用する関数に誤字があり、多くの学生が混乱していました。誤字脱字は誰にでもあることですが、関数だけは気をつけていただけるとスムーズに学習が進むかと思います。
講義形式の際に、ワークシート等（初めの回のように）に用意してほしいです。（毎回まとめるのが大変だったので…）途中で行った小テストや、発展で行った実習などを解説していただけたら嬉しかったなと思いました。
後半の授業は、学生が先生の授業を一方向的に聞くのではなく、自主的に取り組むことを貸した内容であったため、比較的、授業内容をしっかり覚えることができた。
後半の講義はほとんど動画視聴によるもので即座に質問ができなかったため、演習問題やエクセルでデータを分析するときに必要な情報が不足していた。
後半の自主的に動画を視聴し、テスト形式の問題に取り組む形式では動画だけでは問題を解くのに不十分な部分があった。
後半の授業ではエクセルの使い方などを学んでいたがほとんど映像を見るだけであったため最終課題をやるときには忘れてる部分もあり少し苦労した
主に後半における、講義を行わず学生に演習を丸投げするのは、少し投げやりな授業だと感じた（最終演習も含む）。テスト形式の課題は良かったと思います。
確認テストを何度も受けられるのはありがたかった。
課題の添削や、直す箇所をメールで教えてもらえたので、分かりやすかったです。
時間制限付きのMoodleのテストで、落ちてしまい、解答できない時があった。
私は情報処理が苦手で、いつも苦労していました。今回の課題も大変難しかったです。しかし、一人で課題をやり通すことが出来たので嬉しかったです。今後も機会があれば活用していこうと思います。
オンラインであるため仕方ないと思うが、生徒たちの学習の定着を図るものが課題しかないので、課題の量がとても多かった。
課題がとてもやりにくかった。
課題がとても難しかった。
動画では、課題のやり方があまり理解できなかった。
授業に対して課題、演習が難しかった。
課題が難しすぎると感じた。理系の学生だけでなく、文系の学生もいます。それに、最終課題に関してはデータ処理の知識に加えて野球についての知識も要求され、授業で学んだこと以外での差が出てしまうと感じた。
今までエクセルなどパソコンのソフトはまともに扱うことがなかったので、課題などは難しかったです。今期に習ったことを今後のレポート課題などで生かしたいと思いました。
課題に取り組む際、分からないこと、理解しづらいことが多々あり、動画を見たり解説を聞いたりしただけでは課題を完成させることができず、たくさんの時間を要してしまうように感じた。
質問がしにくい状況なので課題についてはもっと詳細な説明してほしい。課題についても注意書きにない点が採点項目に入っていたりと混乱が多かった。
私だけかもしれませんが、先生方が思っている以上にパソコンやエクセルなどのソフトが使えないです。1時間程度で終わると予想されている課題に3時間以上かかっています。
レポートとエクセルが重なったです。
課題の量に無理がありました。オンラインでどの教科も出し過ぎていて、テスト期間に出すものではなかった。エクセル初心者に対してオンラインだとして行けないことが多すぎました。
もっと学生のことを考えた課題の量、質にするべき。また、学生のパソコンの設備状況を考えて課題を練るべき。
課題が大変すぎたのとデータの容量が重くて人それぞれパソコンは違うということを考慮していただきたいかったです。
教員によって教え方などが違っていたので、分かれて話を聞くとときや課題説明などにばらつきがあってやや不公平感を感じた。
教授によって内容が少し異なったり、教え方に偏りが出ている。重要な部分を説明する前に授業が終わる。
各クラスの先生によって言われることが違って、Excelレポートで×をもらったのでそこは改善していただきたいと思いました。
最終課題が少し大変だったが、PC初心者の私にはとても有益な授業だった。
プロ野球のデータ解析はとても面白かったと思います。
最後の課題が難しいです。
最終課題が大変だった。
最終課題はとても難しかったです。
今までの講義内容と、最終課題のレベルがあっていないと思いました。
普段の講義はとても良かったが、最終課題がとても難しすぎると思った。

最終課題の難易度がそれまでの課題の何倍も難しかったので苦労した。
最終課題はかなりやりごたえがあった。
最終課題が少し難易度が高かったので、課題の内容をもっと前から知りたかった。
最終課題がとても難しかった。できれば授業内でもう少し詳しくやり方や手順などを説明してほしい。
最終課題がとても難しく、例年なら友達や先生にその場で教えてもらえると聞いたが、最終授業では演習が短く、ほとんど進まず質問ができなかった。全て一人でかなり膨大な時間を費やした。
最終課題が丸二日かかる内容であったが、一週間前に課されてテスト勉強の予定が大幅に狂ったので、課題が大変なのはスキルを身に付けるためになるのでもいいのですが、もう少し早く出して欲しかったです。
最終課題が重すぎます
最後の課題重すぎ。
パソコンを使い始めたばかり、かつ相談する友達もあまりいない中、あの最終課題は重たいのではないかと思います。
最終課題の量が多く、また内容の難易度も高く、大変だった。
第13回目までの授業は良かったと思う。しかし14回目にだされた最終課題の量はあまりに多く、質問があったら答えるのではなく一緒にやりながらの説明をしていただけたらもっとやりやすかったと思う。
膨大なデータ量を一週間という短期間で生徒に課することは非常にむごいと思います。データ量を減らす、もっと前から課題を提示など対処できたのではないのでしょうか。もっと生徒たちのことを考えて頂きたかったです。
最終課題の量が多すぎると感じた。操作ができるかどうかを試したいのならもっと小さいデータを使って操作させるべきだと思う。
最終課題のデータの容量が重くて課題に時間がかかりました。
最終課題が3年分ではなく、1年でも理解できるのではないかなと思った。課題が重くて大変だった。e-learningはわかりやすくまとめられていて理解が深まった。説明が不十分なところもあったかなとは思っている。
最後の課題のデータの大きさが大き過ぎた。パソコンがすぐにフリーズして、考える時間以上にフリーズ時間が長かった。
最終課題で、もう少しデータを絞ったものをいただけたら取り組みやすかったと思います。
最終課題において扱うデータ量が膨大でPCがスムーズな動作ができず、終了までに時間を要した。
最終課題で配布されたエクセルのデータが大きすぎて非常にやりづらい。古いPCではなくこの春生協から購入した群大PCで起こったことなので、最終課題の重さを見直すべきであると感じた。
期末レポートの期限が少し短いように感じられた。
最終課題の期間が少し短いように感じました。できれば2週間ほどほしいです。
最終課題はもう少し期限を長くしていただきたかったです。
最後の課題は、他の教科の期末レポートもあるなか、作業量が多く、もう少し提出期限が長くても良いのではないかなと思った。
最終課題の提出期限が試験期間と重なっており、他の教科の学習と重なって課題提出が難しく、なおかつ他教科の試験学習が難しくなっていたため、最終課題の提出期限を延ばしてほしいと感じた。
最終課題を課すのが遅いように感じた。他の課題も多く、テスト週間なのでもう少し前に課して欲しかった。
最終課題を公開するタイミングをもう少し早くしていただけたら、ほかの課題の進行度合いを考えながら進めることができるのでありがたいです。
他の授業との兼ね合いを考え、もう少し期限に余裕を持って課題を提示してもらえたらありがたかったです。
最終課題を作業量的に期限一週間でテスト期間にかぶせて出すのはどうかと思った。学生の平均的な作業能力を見誤っていると感じた。
最終課題の出題から提出までの猶予が他の科目に比べて著しく短く、さらにテスト期間に被せているため他の科目の成績を損なう恐れがあるので、改善の必要がある。
最後の最終課題がとても投げやりなように感じられた。ワクワクするあったが、教員の主観による点差が大きくなってしまったのではと疑念を感じた。
野球のことはほとんど詳しくなかったため、最終課題は人によってある程度の有利不利が生まれてしまうのではないかなと思いました。
野球の課題が大変だった
最終課題が個人での野球に対する知識の差がネックになる内容であったので、もっと誰にでも身近な内容が良いと感じた。
最終課題が納得できない。何故、授業とは関係ない野球の知識の問題を作るのか？特に「ワクワクする分析」に関しては野球を知っていると知らないのでは雲泥の差が出ます。これ成績の評価方法としては不当だと思います。
最終課題が野球を知らないやりづらいものであるのは公平性に欠けると感じました。特にワクワクする分析は野球を知らず一週間で行うには無理があると感じました。

最終課題が野球を知らない者にとって明らかに不利であるなど不平等と不適切さを感じた。提出期限も短く、かなりの負担を感じた。先生からのメールで質問に対する回答が自分で調べろといったもので不親切だった。
最終課題で、事前知識の有無が大きく成績に関わるようなものはやめてください。とくに自由課題について、野球をまったくわからない人が「わくわくする分析」ができると本当においでしょうか。
最終課題の内容が不適切であるように感じる。野球よりも普遍的なテーマにするべきであった。(市町村のデータなど)野球の前提知識が要求される課題は、生徒間でアドバンテージの違いが大きすぎる。
最終課題の見直しをしてほしい。データを扱うということに異論はないが、野球の知識がないと解きにくい問題は非常にやりにくかった。この課題に対しての授業内の説明も大いに不足していると感じた。
最終課題は野球というテーマを取り上げていたが、個人で知識差があるため進捗に差が生じてしまうのではないかと。全員が野球を知っている訳では無いためもっと全体的に取り組みやすいテーマにすべきだ。
最終課題は野球に詳しい人が有利なことが気になりました。また、友人の課題ファイルをもらって提出している人がいました。自力で解いた身としては、他人のもので良い評価をもらっている人がいるのは嫌です。
最後の野球のデータを用いたデータ処理は、実際のデータを用いた演習はとても良いと思いますが講義の内容とは関係ないところ(野球の知識等)で差が出来てしまうのではないかと感じます。
最終的な課題は野球を知らない人とスムーズにできない課題であったため時間が異常にかかる。また量も多いため、他の講義の試験に回す時間が削られる
最終課題はここまで格差が出るものを課すのかという感想です。野球を知らない人はルール等から学ばなくてはならず、時間を削られています。またワクワクするデータも何がワクワクして、何がしないのかわかりません。
動画を視聴する際、回線が悪く停止したため、出席されているか不安。最終演習で、野球を用いた課題だったが、不平等であると思う。野球に一切興味が無い人からすれば、「何がわくわくする」のかわからない。
最後の課題で野球のデータを使用しましたが、野球のルールを全く知らない人は専門用語を逐一調べなければなりません。全員が理解できるものか、全員が全く知らないものをデータにした方が公平だと思いました。
提出期限の1週間前に課題内容を説明されたが期末で他の科目教科の課題やテスト勉強もしなければならぬのに、時間を設けられなかった。野球の知識があるのを前提に話を進められたのも本当に腹立たしい。
最終課題の授業において、各クラスによって教える範囲や内容が異なるのは好ましくないと感じた。各教員で教える内容や範囲を統一してほしいと思った。
最終課題の説明をもう少し丁寧にしてほしかったです。
他の子や先生と行っている操作が正しいのか確認できなかった。最終課題についてはわかりにくい点が多く、どのようにしたらよいかわからなかった。各自で作業する日の説明に不手際があり、とても不安でした。
最終課題についてルールを知らない生徒と先生方がいるのに分析対象とするのは公平性に欠ける。また月曜の講義は金曜の講義動画ほどやり方を教えていなかった。そこは連携して欲しかった。
最終課題でピボットテーブルを使う場面があったが、授業で習っていなかった。実際に便利な機能だったので、教えてほしかった。
よくわからないまま授業が進んでしまった。
もっと簡単にわかりやすく教えて欲しい。
もう少しかみ砕いて説明して欲しかった。
なんのためにこの分野を学んでいるのかといった目的が伝わりにくい気がした。
もっと生徒目線で授業を組んで欲しかった。
やること多いとは思いますが、時々なんとおっしゃったのか理解に苦しむことがあったり、それに加えて、スピードも速かったため、おいていかれることがありました。ありがとうございました。
一つ一つの作業の間と取ってもらえるとこちらも操作をしながら話を聞けたのももう少し授業のペースを落としてほしかった。
今までのパソコンを利用したものと違い、だいぶハードなことをしたと思います。
個人差があるものであるためレベルの調節が難しいと思う。予め例示してアンケート取るのがいいと思う。
個人で見る授業だと見忘れてしまうことがあるから毎週の授業が良いなと思った。
ミーティングIDを早めに送っていただくと助かります。わかりやすい授業でした。ありがとうございました。
学んでいる知識が、各学部で将来どのように使うことになるのかを教えてください、よりやる気が出ると思います。
原理をあまり理解せずに、とりあえずここを押せばいいというように覚えてしまう所があったので原理と結果を結びつけて説明して欲しかった
音声が付いていたので、目と耳から情報が入ってきて理解しやすかったです。ですが、スライドがあった方が自分のペースで読みたいときには便利だと思いました。
もっと高度な内容を学習したかった。
実際に比べたわけではないので何とも言えないが、ほかのクラスの人に感想を聞くにクラスで分かりやすさに差があるように感じた。

丁寧な説明をしてくださった教授もいましたが、説明がわかりづらい方もいたので、改善して欲しいと思いました。
先生のおっしゃっていたことが聞き取れずに苦労しました。
先生の話がうまくまとまっていなくてややこしい部分があった。
先生側の通信環境を改善したほうが良いと思います。
情報に慣れている教師陣と初めて習う、しかもオンラインという状況で習った生徒の習熟度を同等で考えるのはいかなものかと思う。
先生と生徒の技術の差が大きけれど、先生は生徒の反応を見ることができないからなのか、仕方ないと思うけれど着いていくのが大変だった。
資料だけでは、実際にどう操作するのかわからないことが多かった。
内容が難しく理解できていないことが多々ありました。
難しい内容であるので理解に時間がかかる。最終課題の課題3は客観的な判断にならないと思うのでそのようなものを課題とするのはどうかと思う
難しい内容で理解に時間がかかった。
難しかったです。
新型コロナウイルスの影響でe-learningの導入等、講義が不規則になることもあり、よく分からなかったり難しい部分もあった。学んだ内容を今後も活かせるよう、経験を重ねたい。
難しく、進度も速くてついていけませんでした。顔が見えなかったため、それをわかってもらえなかったのではないかと思います。
動画を見るのが大変だった。
動画における説明のとき、文字や図が小さくて少し見辛い時がありました。それを改善して頂けるとありがたいです。
動画のスライドが見られるとよいと思った。
動画の視聴に授業が変更された後について、その週のテストを受けた後に、そのテストの難しいところだけでもいいので、問題の解説や解き方、やり方を教えてもらう時間が欲しかったです。
授業は非常に有用でした。ですが、最後の方の動画では、字幕が生成されない問題が発生していました。
説明が速すぎて、操作を理解するのが難しかった。
上にも書いたようにスピードが速くて聞きたいことが質問できなかった。
早口で授業内容についていけないことがあった。動画視聴はとても分かりやすかった。
始めの頃の授業が詰め込みすぎに感じました。また、最後の課題も重すぎる気がしました。
全体的に難しかったです。遠隔授業や資料だけでは分からない点も多々あり、個人的には一番対面で受講したかった授業でした、残念です。
内容にはほとんど不満はありませんでしたが、身についたかだ不安です。
(感想)データが消える悲しみを知ることができた。
せっかく動画を作成していただいたにもかかわらず、上記のような意見をしまい申し訳ありません。コロナ禍での授業構成を考えるのは大変かと思いますが、参考にさせていただければ幸いです。

資料 4

令和2年度 後期授業評価「データ・サイエンス」集計表

区分	年度	対象者数	提出者数	回収率 (%)
医学部保健学科	2020	162	136	84.0
	2019	(163)	(109)	(66.9)

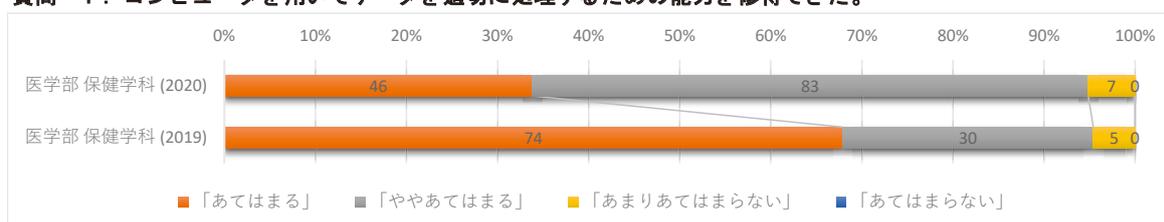
※ ()は昨年度の結果

※ 医学部保健学科以外は、前期開講済

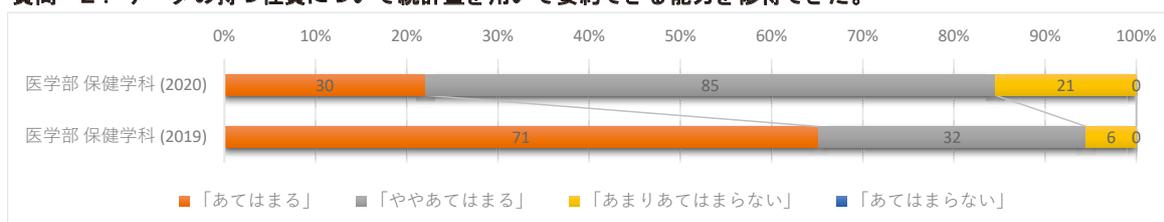
※ 評価基準 1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」(以下同様)

あなたが本年度受講した「情報」の授業についてお尋ねします。

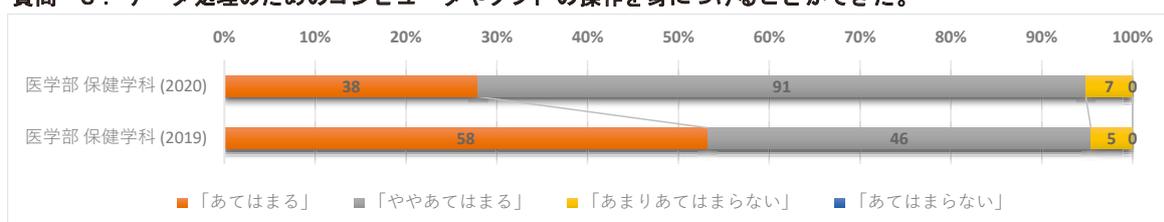
質問 1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。



質問 2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。



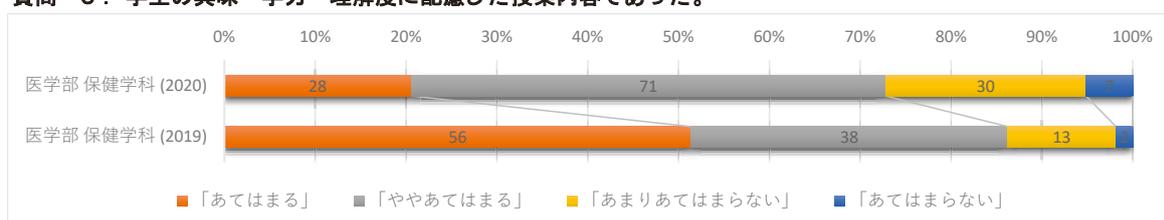
質問 3. データ処理のためのコンピュータやソフトの操作を身につけることができた。



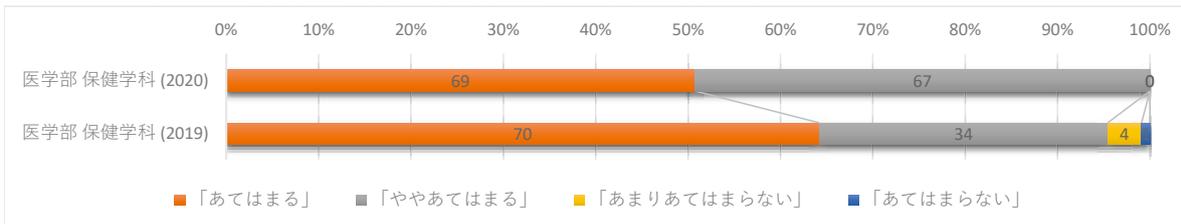
質問 4. 授業内容の構成は適切であった。



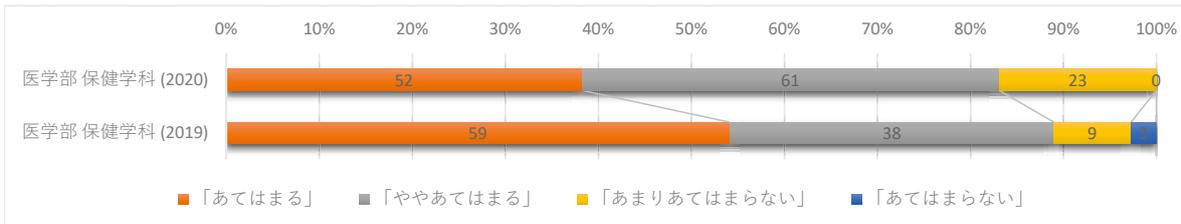
質問 5. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



質問 6. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。



質問 7. 教員やT Aの教え方は分かりやすく適切なものであった。



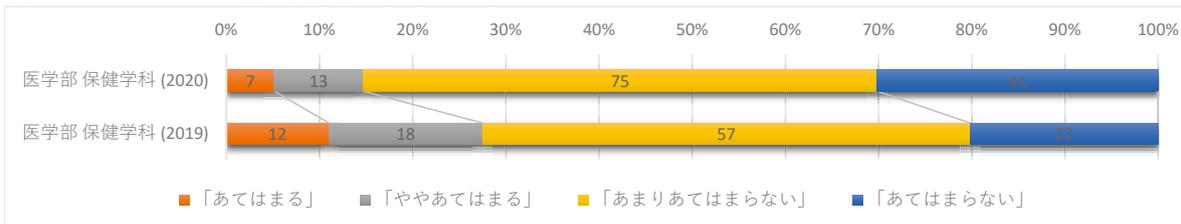
質問 8. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。



質問 9. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。



質問 10. もっと高度な内容を学びたかった。



【自由記載】情報の授業に関して、気付いた点、改善すべき点等を自由に書いてください。

質問1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。

(回答なし)

質問2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。

(回答なし)

質問3. データ処理のためのコンピュータやソフトの操作を身につけることができた。

(回答なし)

質問4. 授業内容の構成は適切であった。

今後何に使うのかわからない

特に後半部分について、復習がしにくく感じ、最終課題の負担が大きい。

毎回毎回のテストが面倒な割に実用的ではなかった。

質問5. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。

オンラインかつe-learning形式で一括して授業をしているためだろうが、あまり生徒の理解度を計ったり配慮したりしようとしているようには感じられなかった。受動的にならざるを得なかった。

オンライン授業だったので、少し分かりにくい時があった。

でも質問に丁寧に答えてくださったので問題なかった。

一度つまずくとそれを修正している間に次に進んでしまった時があったが、もう一人教員をつけることで置いて行かれた時に補助してくれる人がいたのは良いことだと思った。

最終課題については、それまでの講義内容を参考に行うというよりは、直前の講義での解説をなぞって行うものだった。

質問6. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。

(回答なし)

質問7. 教員やTAの教え方は分かりやすく適切なものであった。

特に後半について、サポートが得られなかった感覚がある。

質問8. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。

高校までに習ってきた平均などは理解しやすかったが、

相と元のように初見のものはもっと詳細に説明してほしい。

動画内容はよく練られていたと思うが、復習がしにくい形式で結果として理解度はあまり高まらなかった。あえて動画にする必要があるのかは疑問だった。

質問9. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。

下に出る文字の誤りがいくつかあったので直してほしいです。

質問10. もっと高度な内容を学びたかった。

難しかった

質問11. データ・サイエンスの授業に関して、気付いた点、改善すべき点、オンライン授業に関する感想等を自由に書いてください。

Zoomを開いて講義を聞きながら、Excelを用いるのがとても難しかった。

エクセルが苦手なため、e-learningの動画だけでは、十分に理解できないところがあった。

エクセルでの操作について、随所で説明してくれたので、わかりやすかったです。

エクセルの授業は早すぎてついて行けませんでした。

オンラインだと画面共有ができるので、一緒に進めていけてよかった。

オンラインであるため、わからない点が多くあったが聞きにくかった。

オンライン授業でエクセルの使い方などの説明は難しい。1つの画面でzoomを開きながら、自分のページを開くのは見にくく、説明を聞きながらその共有された画面と自分の画面を同時に見るのが大変である。

オンライン授業ということで、実際に自分一人で演習問題を解いたりするのが、複雑な計算やエクセルを使う問題では答えが合わなかったりして難しかった。

データ・サイエンスの講義は、とても難しいと感じたが先生方の解説や講義のおかげで深く学ぶことができました。ありがとうございました。

データサイエンスの授業は自分にとってとても役に立つものだった。ただ、自分にとっては難しい内容が多かったのもう少し補足してくれるものを足して欲しかった。

データサイエンスの内容は、私にとって少し難しいものだった。

データに関する詳しい知識や計算方法を学ぶことが出来ました。最初は分からないことが多く不安でしたが、分からないときに質問をすると丁寧に教えていただけたので良かったです。

パソコンの説明をパソコンのみで受けるのは少し難しかったです。

パソコンの操作の仕方が学べて良かったです。

パソコン初心者の自分にとって、取り組んだ内容はかなり難しく感じた。

自分のタイミングで視聴でき、期間内であれば何回も見直せるe-learningはとてもよかった。

映像配信の講義であったため、自分の能力に合わせて学習することができた。

ただ、講義中の演習と受講後のミニテストの他に、答案もある演習課題（自習用）があるとより理解が進んだように思う。

最後のデータ分析は難しかったが、説明がわかりやすかったためなんとか終わることができた。

最終レポートのデータ分析の方法をもう少しわかりやすく説明してほしい。

レポート内容に対して提出期限が短く、非常に苦労した。

最終課題が期限も短かったししんどかった。

最終課題が大変でした。

最終課題については、野球の知識があるかどうかで課題の進度に大きな差がでると思った。

最終課題には野球の専門的な知識が必要とされ、エクセルの操作よりも野球の規則などが分からず苦戦した。毎回のe-Learning動画はとても分かりやすかった。

最終課題に関して、野球をよく見る人や野球について詳しい人の方が多少有利になってしまう内容で、少し不平等さを感じた。（特に自由課題）

最終課題の難易度が自分にとっては高すぎた。

最終課題の負担が大きかった。毎回毎回のアウトプットをもっと実用的なものにしたほうが良いと感じた。毎回のテストは面倒で、また実用的な形式でなかった。

最終課題の量が多いにも関わらず提出日がテスト日に近い1週間になっていて大変でした。

来年同じような状況だった場合には、期間を2週間に伸ばすなどして頂けると良いと思う。

初めて学ぶ内容が多かったように感じましたが、先生の説明がわかりやすかったので少し苦労はしながらも授業を聞くことが出来ました。データを扱うことの便利さ、難しさを学ぶことが出来たのではないかと思います。

少し私には難しかったのですが、何度も動画を見れたのは良かったと思いました。

少し難しい内容があったが、新しく知ることが多い授業でした。

情報整理のテクニックや、得た情報に対するリテラシーについて学ぶことができた。

特にe-learningは自分で見直すことができ、さらに教員による補足もつけられているため、修得にとっても役立つものであった。

3 学生支援センター

学生支援センターは、学生生活及び就職活動に対する支援、修学に係る相談等を行っている。運営に当たり委員会を置き、各学部等から委員が選出されている。審議内容等は、学生相談、生活支援及び就職支援等である。当該支援業務の事務は、学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。令和2年度の主な支援等の事項は、次のとおりである。

3.1 入学料免除及び徴収猶予

入学料について、学部生においては、特別な事情（学資負担者が1年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、また、大学院生、専攻科生においては、経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる場合又は特別な事情により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、免除を行っている。

3.1.1 免除申請者数、免除者数

令和2年度入学料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は資料3.1.1のとおり）。

4月1日入学：免除申請者数 237人、免除者数 214人

10月1日入学：免除申請者数 14人、免除者数 13人

3.1.2 徴収猶予申請者数、徴収猶予者数

令和2年度入学料徴収猶予申請者数、徴収猶予者数は、次のとおりである（詳細は資料3.1.2のとおり）。

4月1日入学：徴収猶予申請者数 9人、徴収猶予者数 7人

10月1日入学：徴収猶予申請者数 1人、徴収猶予者数 1人

3.2 授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により納入が困難、かつ、学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が納入期限の6ヶ月以内（入学者については、入学前1年以内。）に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について、修学を支援するため、免除及び徴収猶予を行っている。

また、東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について、又は学部生及び大学院に在籍する、成績が特に優秀な学生を対象として、免除を行っている。

3.2.1 免除申請者数、免除者数

令和2年度授業料免除申請者数、免除者数は、次のとおりである（詳細は資料3.2.1のとおり）。

前期：免除申請者数 1,035人、免除者数 864人

後期：免除申請者数 918人、免除者数 829人

3.2.2 徴収猶予申請者数, 徴収猶予者数

令和2年度授業料徴収猶予申請者, 徴収猶予者数は, 次のとおりである(詳細は資料3.2.2のとおり)。

前期: 徴収猶予申請者数 1人, 徴収猶予者数 1人

後期: 徴収猶予申請者数 0人, 徴収猶予者数 0人

3.3 寄宿料免除

本学では, 学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け, 納入が著しく困難と認められる場合, 免除を行っている。

3.3.1 免除申請者数, 免除者数

令和2年度寄宿料免除申請者数, 免除者数は, 次のとおりである。

免除申請者数 0人, 免除者数 0人

3.4 奨学金

本学では, 日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は, いずれも学業・人物ともに優秀であり, かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお, 日本学生支援機構の奨学金には, 無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金と返還不要の給付奨学金があり, 貸与奨学金は, 貸与終了後に返還が必要となる。

3.4.1 日本学生支援機構奨学生数(令和2年10月1日現在)

第一種: 学部生 948人, 大学院生 229人

第二種: 学部生 776人, 大学院生 19人

給付: 学部生 374人, 大学院生 0人

(詳細は資料3.4.1のとおり: 「学部生」には, 専攻科生を含む。)

3.5 学生相談体制及び学生相談

本学は, 次のような学生相談体制を設け, 学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。

3.5.1 学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を, また, 理工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室分室を設けて相談に応じている。

3.5.2 主な相談事項

主な相談事項は, 勉学・進路・就職活動, メンタルヘルス, クラブ・サークル活動, 経済的事情・アルバイト, 対人関係についてなどである。

3.5.3 学生相談実態調査アンケートの実施及び活用

令和2年12月現在で在籍している助教以上の専任教員に対して、令和2年1月1日から12月31日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談実態調査アンケート」を令和3年2月に実施した。

実施方法については、Googleフォームを活用しWeb上で回答を入力してもらい、入力されたデータを用いて報告書にまとめた。

なお、回収率は53.45%であった。

3.6 授業欠席状況調査

欠席状況調査は、授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し、精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して、面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的としている。

3.6.1 授業欠席者数及び主な欠席理由

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期は通常の欠席調査は実施せず、後期のみ実施した。

令和2年度後期欠席者数：26名（詳細は資料3.6.1のとおり）

主な欠席理由：早朝に授業があるため寝坊、精神的な悩み、身体的病気怪我、進路の迷い等

3.6.2 実施方法、時期

1) 実施方法

- ・実施時期は、5月（前期）と11月（後期）の年2回を実施基準月とするが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、11月（後期）のみ実施した。
- ・調査対象は、卒業研究に着手（研究室に所属）しない学部学生とする。
- ・調査科目は、各学部が指定した科目とする。
ただし、1年次は、学部の依頼により大学教育センターが指定した授業科目とする。
- ・調査方法は、調査科目について連続4回の出欠チェックを行う。
- ・集計作業は、各学部担当事務（1年次生は学務部）が行う。
- ・4回のチェックのうち3回以上欠席した者をクラス担任別に集計する。
- ・クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
- ・面接票には学籍番号、所属、氏名、住所、電話番号等を記載する。
- ・学部長名（1年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて、クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

2) クラス担任による欠席者の事情聴取

- ・例年はクラス担任等が対象者を呼び出し、直接面談して聴取するが、令和2年度は、オンライン授業となり学生の入構を制限したため、ZOOM等によるオンライン面談も可とし、欠席理由等を聴取する。
- ・面談により適切な指導を行い、かつ、精神科医の面談の要否を判断し、その内容を面接票に記載して、その都度学部長（1年次生は学務部）に提出する。

3) 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1年次生は学務部）に提出された面接票を、健康支援総合センター医師が確認し、医師の指導が必要であると判断した欠席者と面談を行い、必要なカウンセリング等を行う。

3.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力並びに障害の種別及び程度に応じ、十分な教育を受け、学生生活を送ることができるよう、大学教育・学生支援機構学生支援センターに、障害学生支援室を設置している。

3.7.1 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援の必要な学生には、個別に障害の種別及び程度に応じた支援内容を明記した「配慮願い」を授業担当教員へ通知している。また、全教員に対して「障害学生支援での一般的な配慮事項」を配付して周知を図っている。

聴覚障害学生には、授業ごとに必要に応じて、UDトークやパソコンテイク、手話通訳等の情報保障を行い、肢体不自由学生には、休憩室の設置、車椅子対応の施設整備、低身長者のための踏み台の設置、介助者による移動介助などの支援を行い、内部障害学生には、講義中のトイレ退席等の配慮、また、発達障害学生には、休憩室の設置、学生支援センター専任教員及び健康支援総合センター医師による面談、履修相談などの支援を行っている。

3.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は、学生が正課，学校行事，学校施設内外における課外活動，学校施設内，通学，学校施設等相互間の移動時に係る全ての傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は、学生が正課，学校行事，インターンシップ，介護等体験活動，教育実習，ボランティア活動等及びその移動時に，他人にけがを負わせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では，教育研究の円滑な実施のために，入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

3.8.1 加入者数

令和2年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入者数は，資料3.8.1のとおりである。

3.8.2 請求種別保険金請求件数

令和2年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の請求種別保険金請求件数は，資料3.8.2のとおりである。

3.9 通学証明書，旅客運賃割引証

通学証明書は，学生がJR，私鉄，バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。学生旅客運賃割引証は，学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で，片道乗車区間の距離100kmを超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書及び学生旅客運賃割引証発行業務については，荒牧地区，昭和地区，桐生地区及び太田地区で証明書自動発行機にて行っている。

3.9.1 発行枚数及び主な発行理由

令和2年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は、資料3.9.1のとおりである。

3.10 学生寮

本学には、前橋地区に養心寮、桐生地区に啓真寮の2寮がある。

学生寮は、学生が修学にふさわしい環境において勉学を継続するための住居施設として設けられている。

3.10.1 養心寮入寮者数

令和2年度の養心寮入寮者数（定員は男子74人、女子62人、合計136人、寄宿料月額4,300円）は、延入居者数が1,450人で、入居率は88.8%である。なお、男子部屋数は77室であるが、入居不可室が3室あるため、74室を定員とした。

3.10.2 啓真寮入寮者数

令和2年度の啓真寮入寮者数（定員は男子65人、女子24人、合計89人、寄宿料月額 ワンルーム型25,000円、シェア型15,000円）は、延入居者数が903人で、入居率は84.6%である。

3.11 生活支援施設

本学では、学生生活の利便性を確保し、経済面の支援を図るために荒牧地区、昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており、群馬大学生生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を、売店では、書籍、日用品、旅行斡旋等を市価より安く提供している。

3.11.1 食堂

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
座席数	447席 (ホール内405席, 外42席)	286席 (ホール内264席, 外22席)	558席 (ホール内438席, 外20席, 桐園100席)
営業時間	11:30 ~ 13:30	11:00 ~ 14:00	11:30 ~ 13:30 桐園 11:30 ~ 13:30
年間営業日数	280日	245日	238日
年間利用者数	8,174人	14,315人	24,269人
提供メニュー数	40以上	20以上	40以上

令和2年度は新型コロナの影響で、縮小しての営業となっています

3.11.2 売店

事項・地区	荒牧地区	昭和地区	桐生地区
営業時間	10:00 ~ 16:00	10:00 ~ 17:00	10:00 ~ 16:30
年間営業日数	246日	246日	238日
年間利用者数	22,534人	38,909人	23,005人

令和2年度は新型コロナの影響で、縮小しての営業となっています

3.12 課外活動施設

本学には、荒牧、昭和、桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり、体育の授業の他、学生の利用に供している。その主な施設については、次のような施設仕様、使用等状況である。

3.12.1 体育施設

○荒牧キャンパス

陸上競技場

陸上競技場は、400メートルトラックである。陸上競技部が主として使用している。

また、トラック内のインフィールドも、やり投げ等の陸上種目の他、多目的な軽スポーツ実施の場として使用している。

サッカー・ラグビー場

サッカー・ラグビー場は、サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており、サッカー、ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。また、夜間照明も設置してあり、サッカー部、ラグビー部、アメリカンフットボール部及びフットサルサークルが主として使用している。

テニスコート

テニスコートは、硬式専用コート3面、軟式専用コート3面（いずれもクレーコート）、全天候型コート2面（オムニコート）、両用コート1面（クレーコート（ゴルフ練習施設併設））の9コートがあり、硬式テニス部やソフトテニス部が主として使用している。

また、オムニコートは夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

野球場

野球場は、天然芝で、夜間照明が設置してある。準硬式野球部、硬式野球部、軟式野球サークル及び医学部準硬式野球部が主として使用している。

プール

プールは、50メートル8コースで、6月から8月まで使用している。水泳部が主として使用している。

第1体育館

第1体育館は、主としてバレーボール、バスケットボールなどに使用し、それぞれ2面使用可能である。バレーボール部、バスケットボール部が主として使用している。

第2体育館

第2体育館は、主としてバドミントン、卓球、体操競技、ダンスなどに使用している。

また、ダンス用の広い面積の鏡や、体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットも設けている。バドミントン部、卓球部、体操部、ダンス部が主として使用している。

なお、第1体育館、第2体育館の間にトレーニングルームが併設されている。

武道場

武道場は、剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用

する他、畳面にレスリング用マットを敷き詰めてレスリングをすることも可能である。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部が主として使用している。

弓道場

弓道場は、平成22年度に新営され、公式試合が可能となった。弓道部が主として使用している。

馬場

馬場は、馬術部が使用している。乗馬して練習すると馬場の表面が荒れるため、馬術部学生が馬場の部室に常駐（授業時間及び深夜を除く）し、馬の飼育と馬場の管理を行っている。

なお、飼育している馬は馬術部の所有であり、その餌代は学生が拠出している。

○昭和キャンパス

体育館

体育館は、バレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの球技で使用するアリーナと、剣道場・柔道場各1面の武道場があり、武道場の2階は卓球場となっている。

昭和地区では体育の正課授業がないため、学生の課外活動用として、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、剣道部、柔道部、卓球部が主として使用している。

弓道場

弓道場は敷地面積が狭隘であるため、荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。弓道部が主として使用している。

○桐生キャンパス

菱グラウンド（サッカー・ラグビー場、野球場）

サッカー・ラグビー場は、サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり、サッカー部、ラグビー部及びフットサルサークルが主として使用している。野球場は、天然芝で、硬式野球部が主として使用している。

テニスコート

テニスコートは全天候型コート（オムニコート）が3面あり、硬式テニス部、ソフトテニス部が主として使用している。

また、夜間照明が設置してあり、人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり、利用率が高い。その反面、人工芝の消耗も激しく、修繕費がかかるのが難点となっている。

プール

プールは、25メートル7コースで、6月から8月まで使用している。水泳部が主として使用している。

体育館

体育館は、1階には剣道用の床面が1面、柔道用の畳面が1面の計2面があり、各種武道で使用している。剣道部、柔道部、空手道部、少林寺拳法部、ダンスサークル、八木節同好会が主として使用している。また、トレーニングルームも併設されている。2階は主として球技用のフロアであり、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部が主として使用している。

弓道場

弓道場は、弓道部が主として使用している。

3.12.2 文化施設

文化施設等は、次のとおりである（荒牧キャンパスのみ）。

ミューズホール

ミューズホールは、大学会館内の多目的ホールで、各種会合、集会等に使用する施設である。

集会室

2室の集会室があり、うち1室は和室である。和室は主として茶道部が使用している。

3.12.3 課外活動共用施設

○荒牧キャンパス

課外活動共用施設は、南北に2棟あり、北棟は主として運動系サークルが、南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は1階、2階ともに8部屋の計16部屋あり、南棟は1階、2階ともに6部屋の計12部屋がある。

北棟1階に運動講義関係の器具庫があり、その他の部屋は部室として使用している。南棟は音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また、荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

○昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており、1階、2階、3階に各6部屋の計18部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が4室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

○桐生キャンパス

課外活動共用施設は、1階に9部屋、2階と3階に各6部屋の計21部屋あり、1階には音楽演奏に向く防音の部屋が1室、写真部用の暗室、学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用している。

3.12.4 合宿所

○荒牧キャンパス

4部屋あり、広さは談話室が12畳、1・2号室が計22畳、3号室が14畳、4号室が14畳である。

なお、就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

○桐生キャンパス

4部屋あり、広さは1号室が12畳、2号室が15畳、3・4号室が各6畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には、強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお、各部屋には就寝用具が備えられており、共用の調理場や浴室等も利用できる。

3.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は、次のとおりである。

3.13.1 学生団体

令和2年度のクラブ・サークルは、資料3.13.1のとおりである。

本学の運動部で対外試合のある種目では、荒牧キャンパスと桐生キャンパスは「4年制大学」の出場枠となり、昭和キャンパスは「6年制大学」の出場枠となるため、同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体、というクラブ・サークルが多い。

3.13.2 大学祭

学生の意識高揚と、広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし、大学祭を開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、荒牧祭（荒牧キャンパス）、群桐祭（桐生キャンパス）は中止となり、医学祭（昭和キャンパス）は隔年開催で非開催の年度であった。

3.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は、学生スポーツの健全な発達及び普及を図り、併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区13大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

令和2年度は、埼玉大学が主管校として、群馬大学、山梨大学、都留文科大学の3大学がそれぞれ以下の種目を担当して実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。

埼玉大学担当：陸上競技， テニス， バスケットボール， 剣道， 卓球

群馬大学担当：硬式野球， サッカー， ソフトテニス， 水泳， 体操， 柔道

山梨大学・都留文科大学担当：準硬式野球， ラグビー， 弓道， バレーボール， バドミントン， 空手道

3.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は、クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に、課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っている。

令和2年度は、以下のとおり実施した。

令和3年2月8日（月）オンライン開催

（研修内容）

- ・ 講演 ①「自殺予防について（ゲートキーパーの養成）」
- ②「生活安全について」
- ③「学生サポートについて」
- ④「酒とタバコについて」及び救命講義
- ⑤「新型コロナウイルス感染対策について」

3.14 研修施設

研修施設として北軽井沢研修所と草津セミナーハウスがある。その概要等は次のとおりである。

3.14.1 北軽井沢研修所

この研修所は、本学の教員及び学生等がセミナー等で利用することを目的に昭和49年に設置された。所在地は、群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢字南木山榎2032-242（北軽井沢大学村1条8丁目）で、敷地面積2,497㎡、建物面積285㎡のC型鋼ビン接合フレーム型2階建の建物となっている。

収容人員は15人で居室は3、研修室1、炊事施設等が完備されている。開所時期は、5月

1日から10月15日までで、施設運営費は、1人1日1,000円、食事は自炊となっている。ただし、本学の教職員及び学生以外は施設運営費の他に施設使用料1人1日40円が必要となる。

令和2年度延利用者数（新型コロナウイルス感染拡大の影響により受付を停止）

群馬大学所属者	その他	総数
0人	0人	0人

3.14.2 草津セミナーハウス

この施設は、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、教職員及び学生が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に昭和59年に設置されたが、配管の腐食、壁面のひび割れ等による耐震面での安全性低下及び老朽化により、維持管理が極めて困難となったため、令和2年3月31日をもって営業を終了し、令和2年度に文部科学省へ不用建物工作物撤去費の予算配分を要求し認められ、撤去に向けて準備中である。

3.15 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を設置している。学生自身の適性や志向を見定め、明確な目的意識を持たせ、社会や仕事、働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し、多様化する就職活動に対する支援を行っている。

3.15.1 進路状況及び主な就職先

令和2年度の学生の進路状況等は、資料3.15.1のとおりである。

3.15.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催

本学で実施した就職ガイダンス等は、次のとおりである。

- 1) 就職ガイダンス
 - 基本講座 全3回参加延人数 307人
 - 実践講座 全7回参加延人数 359人
 - 特別講座 全4回参加延人数 123人
- 2) 公務員講座
 - 全3回、参加延人数：106人
- 3) 各種試験対策講座
 - 全1回、参加延人数：31人
- 4) インターンシップ関係説明会及び体験報告会
 - 全4回、参加延人数：1,025人
- 5) 合同企業説明会・公務員等業務概要説明会
 - 全2回、参加延人数：38人
- 6) 医学部生向け講座
 - 全5回、参加延人数：262人

3.15.3 キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として、前橋地区、昭和地区及び桐生地区にキャリアカウンセラーを配置し、Zoomを使用したリモートによるカウンセリングを実施した。

- 1) 利用延人数：580人
- 2) 主な相談・指導内容
 - ・就職活動の進め方・職業適性・自己分析の相談
 - ・エントリーシート，履歴書の添削
 - ・面接試験の指導助言

3.15.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実

- 1) 学生用に就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを設置
- 2) 各種企業情報データを集約して教務システムに公表
- 3) 各種求人・会社説明会・インターシップ・公務員試験案内等の設置と配付
- 4) 先輩の就職活動報告書の公開
- 5) 就職関連書籍・DVD，ガイダンス動画の貸出
- 6) 就職ガイダンス開催・各種企業説明会，セミナー等の案内やカウンセリングの予約状況等について，ツイッター，Gメールによる情報発信

3.15.5 就職支援の体制強化の充実

- 1) 国公立大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。
- 2) 体験型インターンシップを推進するため，実習先企業を継続的に確保し，また受入企業の新規開拓を図った。
 - ・事前説明会参加者：462人
 - ・実習事前講座参加者：193人
 - ・実習参加者：414人
 - ・インターンシップ終了後の体験報告会参加者：320人

3.15.6 就職支援BOOKの作成・配付

就職支援BOOK（手帳版）を作成し，各学部の就職対象学生に配付した。

3.16 就業力育成支援

大学教育センター，理工学部，社会情報学部と連携し，以下のような就業力育成の取組を実施している。

- 1) 学生の就業力育成のため，就業力育成支援室を設置し，キャリアサポート室と連携しながら，社会人としての就業観育成から将来の就業までを意識したキャリア教育を行っている。
- 2) 就業力育成のための科目として，初年次教育で「キャリア計画（2単位）（必須科目）」，「キャリア設計（2単位）」（理工学部1年生対象）及び「学びを構築する（2単位）」（社会情報学部1年生対象）を実施している。これらの授業では，学外の有識者や学内研究者等の講演会も実施している。
- 3) 企業での就業体験型インターンシップの事前教育として，理工学部2年生を対象に座学と企業見学を主内容とした「インターンシップI（1単位）」を，キャリアと社会の諸相について理工学部3年生を対象に「キャリア展開（2単位）」を開講している。
- 4) これらの就業力育成関連の科目やインターンシップを統合化し，学士課程を通じて，学年進行に応じたキャリア教育を展開している。

3.17 学生生活実態調査

学生の生活実態や要望等を把握し、有効な学生支援の方策を検討するために、5年毎に実施することとした学生生活実態調査を、平成15年度、平成20年度、平成25年度及び平成30年度に実施した。

また、内容を報告書にまとめ、講師以上の教員及び関係事務職員に配付し、学生支援への活用を図っている。

3.18 キャンパスニュース群の発行

「キャンパスニュース群」は、主に各キャンパスの学生活動情報をウェブサイトに掲載し発信している。

主な掲載内容は、各地区学園祭及びフットサル大会レポート、クラブ・サークル活動紹介等である。

3.19 事件・事故

本学学生が関係した事件・事故の件数は、次のとおりである。

- ・交通事故：6件（学内2件，学外4件）
- ・盗難：2件
- ・その他犯罪被害等：9件

3.20 学生支援センター資料集

資料3.1.1, 3.1.2：令和2年度入学料免除及び入学料徴収猶予実施状況

資料3.2.1, 3.2.2：令和2年度授業料免除及び授業料徴収猶予実施状況

資料3.4.1：日本学生支援機構奨学生数（令和2年10月1日現在）

資料3.6.1：令和2年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）

資料3.8.1：令和2年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

資料3.8.2：令和2年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

資料3.9.1：令和2年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

資料3.13.1：令和2年度クラブ・サークル一覧

資料3.15.1：令和2年度学部卒業生の進路状況及び主な就職先

令和2年度入学科料免除及状況

	免除申請者数 (人)		免除許可者数 (人)		合計
	4月入学	10月入学	判定	4月入学	
共同教育学部	28	0	28	12	0
			全額免除	1	0
			2/3額免除	1	0
			1/3額免除	5	0
社会情報学部	19	0	19	13	0
			全額免除	3	0
			2/3額免除	3	0
			1/3額免除	3	0
医学部	4	0	4	2	0
			全額免除	2	0
			2/3額免除	0	0
			1/3額免除	1	0
保健学科	18	0	18	10	0
			全額免除	5	0
			2/3額免除	3	0
			1/3額免除	3	0
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	56	0	56	32	0
			全額免除	8	0
			2/3額免除	8	0
			1/3額免除	11	0
学部の計	125	0	125	69	0
			全額免除	27	0
			2/3額免除	23	0
			1/3額免除	23	0
総合理工学科(夜間主)	2	0	2	1	0
			全額免除	1	0
			2/3額免除	0	0
			1/3額免除	0	1
教育学研究科 (修士課程)	0	0	0	0	0
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	0	0	0
社会情報学研究科	1	1	2	1	2
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	1	1	0	1
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
保健学研究科 (博士前期課程)	15	0	15	10	0
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
理工学部(工学研究科) (博士前期課程)	84	8	92	65	8
			全額免除	8	0
			半額免除	8	0
大学院修士課程の計	100	10	110	76	10
			全額免除	8	0
			半額免除	0	0
医学系研究科 (医科学専攻)	5	0	5	4	0
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
保健学研究科 (博士後期課程)	0	0	0	0	0
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
理工学部(工学研究科) (博士後期課程)	5	4	9	5	3
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
大学院博士課程の計	10	4	14	9	3
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	0	0
			全額免除	0	0
			半額免除	0	0
合計	237	14	251	155	13
			全額免除	27	0
			2/3額免除	8	0
			半額免除	24	0
			1/3額免除	0	24

令和2年度入学科料徴収猶予実施状況

	猶予申請者数 (人)		猶予許可者数 (人)		合計
	4月入学	10月入学	判定	4月入学	
共同教育学部	2	0	2	0	0
			許可	0	0
社会情報学部	0	0	0	0	0
			許可	0	0
医学部	0	0	0	0	0
			許可	0	0
保健学科	0	0	0	0	0
			許可	0	0
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	6	0	6	6	0
			許可	6	0
学部の計	8	0	8	6	0
			許可	6	0
総合理工学科(夜間主)	0	0	0	0	0
			許可	0	0
教育学研究科 (修士課程)	0	0	0	0	0
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	0	0	0
社会情報学研究科	0	0	0	0	0
			許可	0	0
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	0	0	0	0
			許可	0	0
保健学研究科 (博士前期課程)	1	0	1	0	0
			許可	0	0
理工学部(工学研究科) (博士前期課程)	0	0	0	0	0
			許可	0	0
大学院修士課程の計	1	0	1	0	0
			許可	0	0
医学系研究科 (医科学専攻)	0	0	0	0	0
			許可	0	0
保健学研究科 (博士後期課程)	0	0	0	0	0
			許可	0	0
理工学部(工学研究科) (博士後期課程)	0	1	1	1	0
			許可	1	0
大学院博士課程の計	0	1	1	1	1
			許可	1	0
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	0	0
			許可	0	0
合計	9	1	10	7	1
			許可	7	1

令和2年度授業料免除状況

	免除申請者数(人)		免除許可者数(人)		合計(延べ人数)	
	前期	後期	判定	後期	前期	後期
共同教育学部	151	136	287	71	63	134
	全額免除					
	2/3額免除	21	24	45		
社会情報学部	91	79	170	21	17	38
	全額免除					
	1/3額免除	16	12	28		
医学部	51	48	99	52	31	83
	全額免除					
	2/3額免除	11	15	26		
保健学科	120	96	216	9	2	21
	全額免除					
	1/3額免除	13	5	18		
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	319	271	590	7	11	18
	全額免除					
	2/3額免除	149	146	295		
学部の計	732	630	1,362	37	33	70
	全額免除					
	2/3額免除	51	39	90		
総合理工学科(夜間主)	11	12	23	5	2	7
	全額免除					
	1/3額免除	13	6	19		
教育学研究科 (修士課程)	6	4	10	23	8	16
	全額免除					
	2/3額免除	0	0	0		
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	0	1	1	2
	全額免除					
	1/3額免除	2	3	5		
社会情報学研究科	4	4	8	3	1	4
	全額免除					
	1/3額免除	0	0	0		
医学系研究科 (生命医科学専攻)	1	2	3	0	0	0
	全額免除					
	1/3額免除	0	0	0		
保健学研究科 (博士前期課程)	25	18	43	9	10	19
	全額免除					
	1/3額免除	8	4	12		
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	171	165	336	77	97	174
	全額免除					
	1/3額免除	68	47	115		
大学院修士課程の計	207	193	400	91	115	206
	全額免除					
	1/3額免除	80	52	132		
医学系研究科 (医科学専攻)	38	35	73	29	29	58
	全額免除					
	1/3額免除	8	6	14		
保健学研究科 (博士後期課程)	10	9	19	4	5	9
	全額免除					
	1/3額免除	5	4	9		
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	37	39	76	25	30	55
	全額免除					
	1/3額免除	9	5	14		
大学院博士課程の計	85	83	168	58	64	122
	全額免除					
	1/3額免除	27	15	42		
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	0	0	0
	全額免除					
	1/3額免除	0	0	0		
合計	1,035	918	1,953	508	507	1,015
	全額免除					
	2/3額免除	91	18	109		
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	204	50	254
	全額免除					
	1/3額免除	61	54	115		

令和2年度授業料徴収猶予実施状況

	猶予申請者数(人)		判定		猶予許可者数(人)	
	前期	後期	合計(延べ人数)	後期	前期	後期
共同教育学部	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
社会情報学部	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
医学部	1	0	1	許可	1	0
	全額免除					
	1/3額免除					
保健学科	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
理工学部(工学部) 総合理工学科(夜間主)除く	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
学部の計	1	0	1	許可	1	0
	全額免除					
	1/3額免除					
総合理工学科(夜間主)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
教育学研究科 (修士課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
教育学研究科 (専門職学位課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
社会情報学研究科	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
医学系研究科 (生命医科学専攻)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
保健学研究科 (博士前期課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
理工学府(工学研究科) (博士前期課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
大学院修士課程の計	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
医学系研究科 (医科学専攻)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
保健学研究科 (博士後期課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
理工学府(工学研究科) (博士後期課程)	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
大学院博士課程の計	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	許可	0	0
	全額免除					
	1/3額免除					
合計	1	0	1	許可	1	0
	全額免除					
	1/3額免除					

資料 3.6.1

令和2年度学部1～3年次生欠席状況調査一覧（後期）

	教育学部		社会情報学部		医学部			理工学部			合計
	名		名		医学科	保健学科	計	昼	夜	計	
1年生 対象者数	203		102		114	169	283	567	0	567	1,155
欠席者数	2	1.0%	0	0.0%	1	0	1	8	0	8	11
					0.9%	0.0%	0.4%	1.4%	0.0%	1.4%	1.0%
2年生 対象者数	237		127		136	157	293	576	0	576	1,233
欠席者数	1	0.4%	3	2.4%	1	0	1	0	0	0	5
					0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
3年生 対象者数	237		127		136	157	293	576	0	576	1,233
欠席者数	2	0.8%	0	0.0%	8	0	8	0	0	0	10
					5.9%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
合計 対象者数	677		356		386	483	869	1,719	0	1,719	3,621
欠席者数	5	0.7%	3	0.8%	10	0	10	8	0	8	26
					2.6%	0.0%	1.2%	0.5%	0.0%	0.5%	0.7%

※ 学生数は、令和2年11月1日現在

※ 欠席者数下段は、欠席率

資料 3.8.1

令和2年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

(令和2年7月31日現在)

学部名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他(研究生等)	計
共同教育学部	194	0	0	0	0	0	0	194
教育学部	0	197	225	201	0	0	18	641
社会情報学部	87	81	96	109	0	0	5	378
医学部	110	135	125	130	133	109	0	742
保健学科	163	165	161	157	0	0	0	646
計	273	300	286	287	133	109	0	1,388
理工学部	491	455	475	469	0	0	0	1,890
工学部	27	29	34	25	0	0	0	115
計	518	484	509	494	0	0	0	2,005
合計	1,072	1,062	1,116	1,091	133	109	23	4,606

(令和2年7月31日現在)

大学院・専攻科(人)	1年	2年	3年	4年	その他(研究生等)	計
研究科名	1年	2年	3年	4年	その他(研究生等)	計
教育学研究科	0	18	0	0	0	18
大学院教育学研究科(専門職学位課程)	13	8	0	0	0	21
社会情報学研究科	3	3	0	0	2	8
医学研究科	5	6	0	0	3	14
博士課程	33	23	24	25	0	105
博士前期課程	30	17	0	0	5	52
博士後期課程	1	4	3	0	1	9
計	69	50	27	25	9	180
理工学府	276	271	0	0	1	548
工学研究科	13	12	23	0	0	48
計	289	283	23	0	1	596
特別支援教育特別専攻科	7	0	0	0	1	8
合計	381	362	50	25	13	831

資料 3.8.2

令和2年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

(件)

	学生教育研究災害傷害保険						学研災付帯 賠償責任保険	総計
	正課中	学校行事中	通学中	課外活動中	その他	合計		
荒牧地区	3	0	0	2	0	5	0	5
昭和地区	0	0	0	1	0	1	1	2
桐生地区	3	0	1	0	0	4	0	4
太田地区	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	0	1	3	0	10	1	11

令和2年度通学証明書発行枚数

(枚)

荒牧地区		昭和地区		桐生地区		太田地区		合計
電車	バス	電車	バス	電車	バス	電車	バス	
20	8	43	10	57	5	13	0	156

令和2年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

(枚)

	正課	帰省	就職	課外活動	見学	旅行	その他 傷病・治療	計
荒牧地区	22	856	556	93	107	93	0	1,727
昭和地区	177	2,323	719	311	348	94	32	4,004
桐生地区	53	1,231	581	47	145	34	7	2,098
太田地区	0	0	2	0	0	0	0	2
合計	252	4,410	1,858	451	600	221	39	7,831

令和2年度クラブ・サークル一覧

整理 番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田	
1	荒牧クラブ・サークル協議会	○				
2	荒牧祭実行委員会	○				
3	生協学生委員会	○	○	○		
4	文化部会(昭和地区)		○			
5	運動部会(昭和地区)		○			
6	荒牧ジャズ研究会	○				文化部
7	アドバンス[Advance]ボランティア子供向けイベント	○				文化部
8	E. S. S(English Speaking Society)	○				文化部
9	囲碁・将棋部	○				文化部
10	泉の会(知的障害の子供と遊ぶ会)	○				文化部
11	ELMO(遊びのプログラム)		○			文化部
12	映画研究会	○	○			文化部
13	SRC(献血)	○	○	○		文化部
14	E∞gg[えっぐ]医療や社会について学ぶ		○			文化部
15	エレクトーン部		○			文化部
16	演劇部テアトル・ヒューメ	○				文化部
17	音楽研究会			○		文化部
18	カルタ研究会(かるた)	○				文化部
19	かるた会	○		○		文化部
20	学生団体ink	○		○		文化部
21	きょうだいの会ぱずる	○				文化部
22	気象天文研究部	○		○		文化部
23	競技麻雀部	○		○		文化部
24	医学部競技麻雀部		○			文化部
25	群馬おきりこみ合唱団	○				文化部
26	群馬大学BBS会(ボランティア・少年少女の悩み)	○	○	○		文化部
27	群馬大学AI, IOT研究会	○				文化部
28	群馬大学外科手技サークル		○			文化部
29	教育サークル・青竹(ボランティア・児童教育研究)	○				文化部
30	Guit's(アコースティックギター)		○			文化部
31	クラシックギター部	○		○		文化部
32	グリークラブ	○		○		文化部
33	折紙研究会"Origin"	○	○	○		文化部
34	医学部軽音楽部		○			文化部
35	国際医療ボランティアの会(FORS)		○			文化部
36	Beyond(ボランティア留学生と交流)	○				文化部
37	混声合唱団	○		○		文化部
38	茶道部	○				文化部
39	写真部(荒牧)	○				文化部
40	写真部(昭和)		○			文化部
41	写真部(桐生)			○		文化部
42	手話サークル でんでんむし	○				文化部
43	医学部手話サークル でんでんむし		○			文化部
44	書道部	○				文化部
45	聖書研究会			○		文化部
46	GA研究会(アニメ・ゲーム研究会)	○				文化部
47	G. K. オールスターズ	○		○		文化部
48	吹奏楽団	○	○	○		文化部

令和2年度クラブ・サークル一覧

整理 番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田	
49	たんぼぼ(自閉症児ふれあい支援)	○				文化部
50	地域活性化団体 enerGy	○				文化部
51	哲学の森		○			文化部
52	天文部		○			文化部
53	電子計算機研究会 IGGG			○		文化部
54	TRPG研究会(テーブルゲーム研究会)	○		△		文化部
55	東洋医学研究会		○			文化部
56	AAA☆KIDS(トリプルエーキッズ)ボランティア小児喘息		○			文化部
57	ド学連(MD-PhD勉強会)		○			文化部
58	ボードゲーム倶楽部	○	○	○		文化部
59	美術愛好会		○			文化部
60	ピアノ部		○			文化部
61	ファンタスティック手芸部	○				文化部
62	フィルハーモニックオーケストラ部	○		○		文化部
63	フォーク・ロック愛好会	○		○		文化部
64	Fore-Bridge Orchestra(ビッグバンドジャズ)		○			文化部
65	FLOW Orchestra	○	○			文化部
66	Voice Cream(アカペラサークル)	○	○	○		文化部
67	漫画研究部	○		○		文化部
68	マンドリン・ソサエティ		○			文化部
69	前橋文学会		○			文化部
70	メサイア管弦楽団・合唱団	○				文化部
71	モダンジャズ研究会(医学部)		○			文化部
72	モダンジャズ研究会(理工学部)			○		文化部
73	野外教育研究会	○	○	○		文化部
74	八木節同好会			○		文化部
75	夢のわたらせなないろ号	○	○			文化部
76	落語・コント研究会	○		○		文化部
77	ラジオ同好会			○		文化部
78	レストアサークル(機械分解修理)	○		○		文化部
79	LAMP(イベント企画団体)	○				文化部
80	ロボット研究会	△		○		文化部
81	LEADS(小児糖尿病)		○			文化部
82	YMCAクラブ(子供たちと交流)	○	○	○		文化部
83	情報メカトロニクス研究部			○		文化部
84	映画部(MEMENTO)	○	○			文化部
85	群馬大学BBS会	○	○	○		文化部
86	R. F. C(スノーボード)	○		○		運動部
87	合気道部	○	○	○		運動部
88	アルティメット部	○				運動部
89	アメリカンフットボール部	○		○		運動部
90	医学部サイクリング部 医輪(いちやり)		○			運動部
91	医学部★ダンスサークル		○			運動部
92	Et's(バスケットボール)		○			運動部
93	エスケープ(硬式テニス)	○				運動部
94	学生フォーミュラチーム "GUFT"	○		○	○	運動部
95	空手道部	○		○		運動部
96	環境プロセススポーツ同好会			○		運動部
97	弓道部(全学)	○		○		運動部

令和2年度クラブ・サークル一覧

整理 番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田	
98	弓道部(医学科)		○			運動部
99	弓道部(保健学科)		○			運動部
100	CRAFT(フットサル)	○				運動部
101	群馬の希望(サッカー・フットサル)	○				運動部
102	剣道部(全学)	○	○	○		運動部
103	剣道部(医学部)		○			運動部
104	Get's(サッカー)	○	○			運動部
105	硬式テニス部(全学)	○		○		運動部
106	硬式テニス部(医学部)女		○			運動部
107	硬式テニス部(医学部)男		○			運動部
108	硬式野球部	○		○		運動部
109	古武術部	○				運動部
110	ゴルフ部(医学部)		○			運動部
111	サイクリング部	○		○		運動部
112	サッカー部(全学)	○				運動部
113	サッカー部(医学部)		○			運動部
114	サバイバルゲーム部			○		運動部
115	少林寺拳法部	○		○		運動部
116	自動車部	○		○	○	運動部
117	柔道部(荒牧)	○	○	○		運動部
118	柔道部(理工学部)			○		運動部
119	柔道部(医学部)		○			運動部
120	準硬式野球部	○				運動部
121	準硬式野球部(医学部)	○	○			運動部
122	水泳部	○	○	○		運動部
123	スキー部(全学)	○	○	○	○	運動部
124	スキー部(医学部)		○			運動部
125	Roughソフトテニスサークル	○		○		運動部
126	ソフトテニス部(全学)	○		○		運動部
127	ソフトテニス部(医学部)		○			運動部
128	体操部	○		○		運動部
129	卓球部(全学)	○		○		運動部
130	卓球部(医学部)		○			運動部
131	ダンス部	○				運動部
132	ツバサFCコーチングスタッフ	○				運動部
133	軟式野球サークル アウイル	○	○	○		運動部
134	ハンドボール部	○				運動部
135	馬術部	○	○	○		運動部
136	バスケットボール研究会	○				運動部
137	バスケットボール部(全学)	○				運動部
138	バスケットボール部(医学部)		○			運動部
139	バスケットボール部(理工学部)			○		運動部
140	女子バスケットボール部(医学部)		○			運動部
141	バドミントン部(全学)	○		○		運動部
142	バドミントン部(医学部)男子		○			運動部
143	バドミントン部(医学部)女子		○			運動部
144	バレーボール部(全学)男子女子	○	○			運動部
145	バレーボール部(医学部)		○			運動部
146	バレーボール部(保健学科)		○			運動部

令和2年度クラブ・サークル一覧

整理 番号	クラブ・サークル名	主な活動(所属)地域				区分
		荒牧	昭和	桐生	太田	
147	B-STYLE(ダンス)	○		○		運動部
148	Vit'z(ダブルダッチ)		○			運動部
149	V. B. C. 桐生(バレーボール)			○		運動部
150	フィールドホッケー部	○				運動部
151	フットサル部	○		○		運動部
151	メモリアルテニス部	○				運動部
152	ラグビー部(全学)	○		○		運動部
153	ラグビー部(医学部)	○	○			運動部
154	陸上競技部(全学)	○		○		運動部
155	陸上競技部(医学部)		○			運動部
156	ONE WAY(バレーボール)	○				運動部
157	RUSH(フットサル)	○				運動部
158	ワンダーフォーゲル部	○	○	○		運動部
159	Gunma University Motorcycle Club (旧バイク部)			○		運動部
160	野外活動サークル	○				運動部
161	アーチェリーサークル	○	○	○		運動部
162	オリエンテーリング部	○		△		運動部

資料 3.15.1

令和2年度学部卒業生の進路状況

学部 区分	卒業生数 (A)		進学者 (予定)数						就職者数(内定)										就職活動中	その他 (D)	就職率 (E) E=C/(A+B-D) ×100
	大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留學	計 (B)					業種別内訳					計 (C)					
						小	中	高	特別支援	その他(中等含む)	医療機関	企業等	公務員等	自営業							
教育学部	234	13	2	3		18	1	68	57	7	14	3		36	24		210	6	100.0		
社会情報学部	129	2		1		3								89	27		116	2	98.3		
医学部	136												133				133	2	98.5		
保健学科	161	22				22							125	1	9		135	4	100.0		
理工学部	561	336		1		340	3			4				171	29		204	17	100.0		
工学部	1													1			1		100.0		
夜間コース	1													1			1		100.0		
計	1223	373	2	5		383	3	68	57	11	14	3	258	299	89	800	4	36	99.5		

備考:その他(D)欄は、各種試験準備、留学生の帰国、家事従事等である。

令和2年度学部卒業生の主な就職先

青字は本社が群馬県内に所在

【教育学部】

■教育

〈幼稚園・認定こども園〉
江木幼稚園

〈小学校〉

前橋市 高崎市 桐生市 伊勢崎市 太田市 沼田市 館林市 渋川市 富岡市 安中市 みどり市 榛東村 吉岡町 中之条町 川場町 昭和村 大泉町 邑楽町の各教育委員会 群馬大学共同教育学部附属小学校
北海道 東京都 埼玉県 さいたま市 熊谷市 桶川市 鶴ヶ島市 横須賀市 栃木市の各教育委員会

〈中学校・中等教育学校〉

前橋市 高崎市 桐生市 伊勢崎市 太田市 沼田市 館林市 渋川市 藤岡市 富岡市 安中市 みどり市 吉岡町 嬬恋村 草津町 玉村町 板倉町の各教育委員会 群馬大学共同教育学部附属中学校
北海道 鶴岡市 東京都中央区 さいたま市 川口市 茨城県 須坂市 神戸市の各教育委員会 龍谷大学付属平安高等学校・中学校

〈特別支援学校〉

群馬県教育委員会 前橋市教育委員会 群馬大学共同教育学部附属特別支援学校 若葉高等学園

〈高等学校〉

群馬県教育委員会 樹徳高等学校 明和県立高等学校
東京都教育委員会 埼玉県教育委員会

■公務

群馬県警察
高崎市
伊勢崎市消防本部
厚生労働省
行田市
上田市

群馬県中部教育事務所
桐生市
太田市
埼玉県
秩父市

前橋市
伊勢崎市
玉村町
春日部市
足利市

■企業・法人等

(福)希望館
(株)群馬銀行
(福)三愛荘
(株)ジーシーシー
(株)東和銀行
(有)マツモト
アイ・ケイ・ケイ(株)
(株)エムズ・エステート
SOMPOケア(株)
(独)日本スポーツ振興センター
(株)トライグループ個別教室のトライ太田駅前校
(株)リック

共愛学園
群馬大学
(株)三智
(株)ジュンコーポレーション
利根郡信用金庫
山下工業(株)
(福)足利市社会福祉協議会ス
ルガ銀行(株)
(株)ツルヤ
ハッピーライフケア(株)
HENNGE(株)
(株)りよくけん東京

(株)クリハラ
群馬ダイヤモンドベガス
(福)渋川市社会福祉協議会
(株)大五住宅
(福)前橋あそか会

アストラゼネカ(株)
ゼビオ(株)
(株)東京海上日動パートナーズEAST
(株)Freewill
米沢電気工事(株)

【社会情報学部】

■公務

群馬県
前橋市消防局
沼田市
安中市
大泉町
厚生労働省
熊谷市
長岡市

群馬県警察
伊勢崎市
館林市
甘楽町

大館市
神川町
長野県

前橋市
太田市
渋川市
東吾妻町

いわき市
日光市

■企業・法人等

(株)板垣
(株)クライム
群馬県厚生連合会
群馬セキスイハイム(株)
(福)新生会
(株)タケイ
利根郡信用金庫
(株)日東システム開発
(株)ホンダ四輪販売関東中央
(株)ヤマダホールディングス
アイアース(株)
H.I.S.ホテルホールディングス(株)
(株)NTT東日本-関信越
(株)ALL Rise Group
コムシス情報システム(株)
三陽金属(株)
白鳥製薬(株)
(株)スタライザー
SOMPOケア(株)
大東建託(株)
ディップ(株)
(株)東芸エンタテイメンツ
日通・NPロジスティクス(株)
日本貿易印刷(株)
(有)バミューダ
(株)フォーラムエイト
(株)良品計画

邑楽館林農業協同組合
(株)栗原医療器械店
(福)群馬県社会福祉事業団
群馬トヨタ自動車(株)
(株)JOETSU
(株)竹村製作所
トヨタL&F群馬(株)
(株)藤井経営
前橋DYVER
(株)リクルート北関東マーケティング
(株)アイプラネット
エコートレーディング(株)
(株)オオゼキ
(株)クスリのアオキ
(株)埼玉冠婚葬祭センター
(株)CS-C
JA信州うえだ
生活協同組合コープみらい
(株)大光銀行
つばめグループ
(株)データフォーシーズ
東芝エルイーソリューション(株)
(株)日本オープンシステムズ
日本製線(株)
東日本旅客鉄道(株)
フレックス(株)
ローランド ディー・ジー(株)

技研コンサル(株)
(株)群馬銀行
群馬小型運送(株)
システム・アルファ(株)
高橋ベルト(株)
(株)東和銀行
(株)ナカヨ
富士スバル(株)
(株)山田製作所
(株)両毛システムズ
(株)idom
SETソフトウェア(株)
オリゾンシステムズ(株)
(株)クロバーキタン塾
(株)サンユウ
(株)シティ・コム
鈴与シンワート(株)
全国農業協同組合連合会
太陽誘電(株)
(株)DNPアイディーシステム
東京海上日動火災保険(株)
長野県信用農業協同組合連合会
日本交通(株)
バスウェイ(株)
(株)ビジネスシステムサービス
横河電機(株)
(株)ワークマン

【医学部 医学科】

※病院名は通称で表記

■医療・福祉業

伊勢崎市民病院	太田記念病院	桐生厚生総合病院
群馬大学医学部附属病院	群馬中央病院	公立館林厚生病院
公立富岡総合病院	公立藤岡総合病院	済生会前橋病院
渋川医療センター	高崎総合医療センター	利根中央病院
日高病院	前橋赤十字病院	
上尾中央総合病院	板橋中央総合病院	NTT東日本札幌病院
愛媛県立今治病院	岡山大学病院	荻窪病院
春日部市立医療センター	川口市立医療センター	川崎市立川崎病院
関東中央病院	関東労災病院	九州医療センター
勤医協中央病院	熊谷総合病院	公立昭和病院
国際医療福祉大学三田病院	国立国際医療研究センター病院	埼玉医科大学総合医療センター
さいたま市民医療センター	さいたま赤十字病院	埼玉病院
彩の国東大宮メディカルセンター	佐久総合病院	自治医科大学附属さいたま医療センター
順天堂大学医学部附属浦安病院	順天堂大学医学部附属練馬病院	昭和大学江東豊洲病院
信州大学医学部附属病院	新百合ヶ丘総合病院	千葉医療センター
千葉市立海浜病院	千葉大学医学部附属病院	筑波大学附属病院
東京医科歯科大学附属病院	東京歯科大学市川総合病院	東京品川病院
東京大学医学部附属病院	東京都健康長寿医療センター	東京都立駒込病院
東京都立墨東病院	獨協医科大学病院	長崎大学病院
日本赤十字社医療センター	羽生総合病院	北海道医療センター
北海道病院	南相馬市立総合病院	横浜医療センター
横浜市立大学附属病院	横浜南共済病院	洛和会音羽病院

【医学部 保健学科】

※病院名は通称で表記

■公務

群馬県	前橋市	玉村町
北海道	川越市	柏市

■医療・福祉業

伊勢崎市民病院	上牧温泉病院	関越中央病院
黒沢病院	群馬県健康づくり財団	群馬大学医学部附属病院
群馬中央医療生活協同組合	群馬リハビリテーション病院	公立藤岡総合病院
佐藤病院	渋川中央病院	善衆会病院
第一病院	高崎中央病院	利根中央病院
脳血管研究所美原記念病院	日高病院	前橋協立病院
前橋赤十字病院	武蔵野病院	老年病研究所附属病院
(医)愛仁会	上尾中央総合病院	足利赤十字病院
天野整形外科クリニック	楯EP総合	伊勢慶友病院
イムス富士見総合病院	イムス明理会仙台総合病院	大宮中央総合病院
(医)沖縄徳洲会	金沢医療センター	鋸南町国民健康保険鋸南病院
熊谷総合病院	慶應義塾大学病院	恵寿総合病院
埼玉医科大学グループ	埼玉協同病院	さいたま赤十字病院
佐久総合病院	佐野厚生総合病院	自治医科大学附属病院
順天堂大学医学部附属練馬病院	白岡中央総合病院	市立旭川病院
新上三川病院	信州大学医学部附属病院	諏訪赤十字病院
(福)聖隷福祉事業団	苑田第一病院	高橋産婦人科
竹田総合病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	東京医科大学病院
東京大学医学部附属病院	東京都済生会中央病院	東京湾岸リハビリテーション病院
東北大学病院	徳島赤十字病院	長岡赤十字病院
那須赤十字病院	新潟西蒲メディカルセンター病院	日本医科大学付属病院
日本赤十字社医療センター	榊日立製作所日立総合病院	北信総合病院
(医)焔	ミサトピア小倉病院	宮地病院本山リハビリテーション病院
明理会中央総合病院	盛岡赤十字病院	友愛記念病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜市立大学附属病院	

■企業・法人等

株式会社シグマックス

【理工学部 化学・生物化学科】【工学部 応用化学・生物化学科】

■教育

〈高等学校〉

埼玉県立浦和北高等学校 浦和実業学園高等学校 茨城県立下館第一高等学校 水城高等学校

■公務

群馬東部水道企業団
杉戸町

みどり市

■企業・法人等

太田市農業協同組合
株式会社シーシー
株式会社タナベ・コーポレーション
みどり化学株式会社
株式会社うるる
オートアールズ株式会社
株式会社コンフォートジャパン
SOLIZE Engineering株式会社
東洋アルミニウム株式会社
株式会社日能研
ニプロファーマ株式会社
株式会社フクイン
森六ホールディングス

関東食品株式会社
埼玉県川牧場
東邦工業株式会社
株式会社ヨーロッパ
株式会社エイチワン
株式会社カーメイト
株式会社スタッフサービス・エンジニアリング
第一屋製パン株式会社
東洋インキSCホールディングス株式会社
日総工業株式会社
株式会社NEXT INNOVATION INC
藤倉化成株式会社
株式会社ヤオコー

群栄化学工業株式会社
株式会社昭和食品
株式会社ベイシア
株式会社両毛システムズ
株式会社エンプラス
関東化学株式会社
セッツカートン株式会社
株式会社東京フード
株式会社ナミキ
日鉄鋼板株式会社
白十字株式会社
株式会社細川洋行
株式会社YAZ

【理工学部 機械知能システム理工学科】【工学部 機械システム工学科】

■公務

経済産業省

■企業・法人等

株式会社木村鋳造所
株式会社千代田製作所
株式会社ヤマト
株式会社IHIインフラ建設
協同電気株式会社
スズキ株式会社
DXC Technology
日本精工
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ビーネックステクノロジーズ

サンデンホールディングス株式会社
日本モビリティ株式会社
株式会社アドバンテスト
株式会社JR西日本テクノス
セイコーエプソン株式会社
永田部品製造株式会社
日本プラスチック株式会社
株式会社日立産業制御ソリューションズ
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社

しげる工業株式会社
株式会社山田製作所
F.C.C株式会社
鈴鹿エンジニアリング株式会社
株式会社ダイフク
日産オートモーティブテクノロジー株式会社
株式会社バーカーコーポレーション
株式会社ピーエーエス

【理工学部 環境創生理工学科】【工学部 環境プロセス工学科、社会環境デザイン工学科】

■公務

群馬県
館林市
財務省東京税関
埼玉県
茨城県

前橋市
渋川市
国土交通省関東地方整備局
さいたま市
栃木県

太田市
榛東村
世田谷区
千葉県

■企業・法人等

株式会社グンエイ
昭和電気鋳鋼株式会社
株式会社NJS
株式会社鹿島建設
JR東日本コンサルタンツ株式会社
株式会社第一テクノ
東洋紡株式会社
株式会社日水コン
富士通株式会社

(社福)子持山福祉会児童養護施設子持山学園
株式会社ヤマト
株式会社エル・アセット
株式会社ケミカルクラウド
新菱冷熱工業株式会社
大和リビング株式会社
株式会社ナントー
株式会社日本通信サービス
北菱電興株式会社

JA東日本くみあい飼料株式会社
株式会社開発建設コンサルタント
株式会社鴻池組
株式会社SUBARU
東鉄工業株式会社
日新工業株式会社
野村マイクロ・サイエンス株式会社
株式会社ホンダカーズ静岡

【理工学部 電子情報理工学科】【工学部 電気電子工学科、情報工学科】

■公務

富岡市
岩手県

新潟県

■企業・法人等

オリヒロエンジニアリング(株)
サンデンホールディングス(株)
(株)高崎共同計算センター
(株)英技研
(株)両毛システムズ
(株)アイコール
アルプスアルパイン(株)
(株)OKIソフトウェア
共同エンジニアリング(株)
サンデン・リテールシステム(株)
(株)シャインソフト
セイコーエプソン(株)
TATEYAMA AUTO MACHINE CO. (M) SDN. BHD
(株) テラテクノロジー
(株)東芝
トリオシステムプランズ(株)
FANUC(株)
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
UTエイム(株)

(株)クライム
(株)サンボウ
(株)ナカヨ
(株)山田製作所

アット東京(株)
NECネットエスアイ(株)
キャリアアセットマネジ(株)
(株)鷺宮製作所
(株)CIJ
(株)SUBARU
(株)セレクション
玉川電器(株)
電源開発(株)
(株)TOSYS
日販テクシード(株)
(株)ベクトル
(株)メイテック
(株)ヨコハマシステムズ

群馬大学
(株)ジーシーシー
(株)ナブアシスト
(株)ヤマト

アドバンス電気工業(株)
(株)NTTデータMSE
(株)九電工
三英社製作所(株)
シグマトロン(株)
スマートスケープ(株)
太陽誘電(株)
(株)TERADA
東京海上日動システムズ(株)
凸版印刷(株)
(株)日本電産リード
みずほ情報総研(株)
(株)明電舎

【理工学部 総合理工学科】【工学部 生産システム工学科】

■公務

岩手県

古河市

■企業・法人等

アイフル(株)
大日本明治製糖(株)
(株)リゾート花湯の森

(株)NTTデータ・アイ
地方共同法人日本下水道事業団
(株)ローラン

オリエンタル白石(株)
プリマシステム開発(株)

4 学生受入センター

学生受入センターは平成18（2006）年4月に発足し、センターにはセンター長（教育・評価担当理事・副学長）と副センター長（兼任）、兼任教員（各学部の入試又は広報担当委員会の委員長）が在籍する組織である。センターの運営については、学生受入センター運営委員会が設置されている。そして、下部組織として「入試部会」と「広報部会」を組織し、各学部等から委員が選出されている。審議内容は、「入試部会」が入学者選抜方法の改善に関すること等（これらを以下、「入試関係業務」という）であり、「広報部会」が学生募集に係る広報活動に関すること（これらを以下、「広報関係業務」という）である。

令和2（2020）年度の主な入試・広報関係業務等の事項は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止のため様々な点で活動が制限され、例年とはかなり異なり次の結果となった。

4.1 学生受入センター広報部会と広報本部学生受入部門との関係

令和2年度も従来通り、入試関係業務の事務は、入学試験委員会と連携を図るほか、学務部学生受入課が各学部の担当係と連携を図り業務を遂行している。

これに対し広報関係業務は、平成29（2017）年6月に設置された「群馬大学広報本部」の下部組織である「学生受入部門」での企画・立案を受けて、「広報部会」で具体的な実施方法を練り、実行する体制で現在、業務を遂行している。これに伴い、一昨年度の群馬大学広報戦略に基づき、入試広報体制強化のため令和元（2019）年6月付で学生受入課に採用したアドミッション・コーディネータ1名を、令和元（2019）年10月に総務部総務課に配置換えし、入試広報を含めた大学広報体制の一元化を図った。

これら学生受入のための広報関係業務に対する実施体制の変更により、広報本部学生受入部門会議での審議内容と、学生受入センター運営委員会広報部会の審議内容を情報共有することが、広報関係業務をスムーズに遂行する上で重要であることとなった。この2体制による実施体制の事情から、広報本部学生受入部門会議と学生受入センター運営委員会広報部会を合同で開催することとなった。

しかし、今後も継続される大学入試改革、高大連携活動の活発化、そして、18歳人口の減少を踏まえるならば、本学の学生受入のための実施体制をさらに発展させる必要がある。したがって、機動的で一体化した本格的な学生受入のための組織の設置、すなわち、専任教員が中心となった本格的なアドミッションセンターの設置が本学において極めて重要な課題である。なお、現在国立大学では、専任教員が中心となった本格的なアドミッションセンターが半数以上の大学で設置され、学生受入のための入試・広報関係業務を一体化して取り組んでいる状況である。

4.2 大学入学共通テストへの対応と新型コロナウイルス感染症に対する入試対応

大学入試センターが令和3（2021）年度から実施する「大学入学共通テスト」において、新型コロナウイルス感染症に対する入試対応のため、急遽実施日程が、第1回目：令和3（2021）年1月16～17日、第2回目：1月30～31日、追試験：2月13～14日という日程となった。本学は第1回目の1月16～17日の実施を中心に担当した。

この新しく実施された「大学入学共通テスト」の対応について、本学では学生受入センター運営委員会入試部会を中心に、国立大学協会からの3回の提言、「2020年度以降の国立大学

の入学選抜制度－国立大学協会の基本方針－」（平成29（2017）年11月10日付）、「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題の活用に関するガイドライン」（平成30（2018）年3月30日付）、「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験及び記述式問題（国語）の活用にあたっての参考例等について」（平成30（2018）年6月12日付）に基づき、本学の課題について対応を検討した。そして、これらの対応結果を全学の入学試験委員会／学生受入センター運営委員会にて決定した。

本学の対応結果は、本学ウェブサイトにて概要版を平成30（2018）年8月22日付で「平成33年度入学選抜に関する群馬大学の方針」として掲載、さらに、詳細版を平成31（2019）年3月26日付で「2021年度入学選抜に関する方針」として掲載し、周知を行った。しかし、令和元（2019）年11月1日には、英語の民間試験（外部検定試験）の導入が中止となり、本学の対応について再検討した。その結果を、令和元（2019）年11月29日付で「2021年度入学選抜に関する方針」（改訂版）として掲載し、周知を行った。さらに、令和元（2019）年12月17日には、国語と数学の記述式問題の導入が中止となり、本学の対応について再検討した。その結果を、令和2（2020）年3月23日付で「2021年度入学選抜に関する方針」（再改訂版）として掲載し、周知を行った。このように随時「英語民間試験の導入中止への対応」「大学入学共通テストの英語の配点変更への対応」、そして、「国語と数学の記述式問題の導入中止への対応」「主体性・協働する態度の評価への対応」等に関して、本学の対応方針を本学ウェブサイトにて周知した。

加えて、令和2（2020）年8月7日付で「JAPAN e-Portfolio」の運営許可が文部科学省により取り消されたため、令和2（2020）年8月18日付の本学ウェブサイトにて、本学における本件活用の中止を周知した。また、新型コロナウイルス感染症に対する入試対応のため、令和2（2020）年9月3日付で本学ウェブサイトにて、「個別学力検査（前期及び後期日程）の追試験の実施（実施日：令和3（2021）年3月22日）」と、「個別学力検査で課す教科・科目の出題範囲」について、本学の対応情報を掲載し、周知した。

4.3 入学者の選抜方法改善と追跡調査

前年度入試の実施状況等については、例年同様、受験産業による報告会を学内で複数回実施して本学を含めた大学入試の最新動向の把握を行った。

これら複数回場で得た情報、受験産業から個別に提供された情報、そして本学で実施した各種アンケートや入学後の成績等の追跡調査結果を参考とし、前年度の入学選抜方法において報告された各学部の課題等の対応状況を含め、令和2（2020）年度入試の総括及び課題の報告を行ってもらった。これらを基に、本学で毎年度実施している「入学選抜方法研究報告書」を作成し、次年度以降の入試改革に役立てることとした。

4.4 オープンキャンパス等

例年本学では、教育研究及び学園生活の現状を、具体的に分かりやすく伝える場として、また、受験生の進路決定に資することを目的として、全学のオープンキャンパス「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY20xx』」と各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」を実施している。

令和2（2020）年度当初、「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2020』」は、東京オリンピック開催のため例年同様の2回実施の日程確保が難しく、今年度のみ7月19日（日）の計1日の開催としていた。また、各学部学科等が開催する「学部別オープンキャンパス」については、同じキャンパスである場合には、参加者の利便性を考慮して合同での開催が可能

か、各学部学科等へ検討を依頼し、その結果、荒牧キャンパスでは、7月23日に共同教育学部と社会情報学部の2学部合同開催を目指し今後調整することとしていた。

その後今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、全学も学部別ともに従来形式の来場型でのオープンキャンパスの実施は中止とした。その代替として、全学と各学部を一本化し、原則として全てのプログラムがWeb上で完結する新しい形式の「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2020』」の実施を、広報本部学生受入部門会議／学生受入センター運営委員会広報部会で決定し、7月下旬から8月上旬の2週間実施した。

このWebオープンキャンパスに対して、群馬、茨城、栃木、静岡、埼玉、千葉、神奈川、東京、新潟、長野の全高校(約1,500校)へ周知文書とチラシを送付し、加えて、前年度の群馬大学オープンキャンパス申込者へのメール配信、そして、本学ウェブサイトやSNS等でも積極的に告知した。その結果、オンラインでの高校生及び保護者等による延べ2,738名の登録参加者があった。

4.4.1 群馬大学Webオープンキャンパス「GU'DAY2020」【Web配信】

今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、前年度までとは異なり、全学と各学部を一本化し、Web配信による新しい形式の「群馬大学Webオープンキャンパス『GU'DAY2020』」を、7月21日(火)から8月3日(月)の14日間開催した。例年同様に、総務課広報係と連携した事前のPR活動等の効果もあり、計14日間のWeb配信で2,738名の高校生と保護者のオンライン登録参加があった。

イベント内容についても、平成29(2017)年度から発足した「群馬大学学生広報大使」の発案による企画を引き続き実施した。特に今回はWeb配信ということで、「学生広報大使トークライブ」を新たに計画して実施し、多くのオンライン参加者から好評を得た。これらを含め、本学初のWebオープンキャンパスの実施は、オンライン参加者へのアンケート結果から高評価を得た。

4.4.2 学部別オープンキャンパス

前記したように、各学部学科等が開催する今年度の「学部別オープンキャンパス」は、新型コロナウイルス感染症のため「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2020』」へ一本化したため中止となった。

4.4.3 学生広報大使トークライブ(第二弾)

Web配信による「群馬大学Webオープンキャンパス『GU'DAY2020』」の実施の際、「学生広報大使トークライブ」が大変好評であった。この「学生広報大使トークライブ」は、YouTubeでライブ配信し、チャット機能により寄せられた高校生からの質問にリアルタイムで回答するという、大学のオープンキャンパス企画としては目新しく充実した対応であったため、オンライン参加者のアンケートにおいて満足度の高い企画となった。

この結果を受け第二弾として、受験シーズンを迎える直前の時期、10月17日と25日の2日間、各学部学科等の在學生に受験の体験記を中心に語ってもらうことで、特に高3生の受験に向けた不安を解消し、本学への志願に結び付けてもらうことを目的として「学生広報大使トークライブ(第二弾)」を開催した。その結果、2日間で延べ170名の高校生等のオンライン登録参加があった。参加生徒の本学への志願率(2021年度入試)は80%台後半を記録し、在學生を全面に出す企画は受験生のニーズを捉えていることが示された。

4.5 学生募集に係わるその他の広報活動

学生受入センターでは、学生募集に係わる様々な広報活動を行っているが、令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため様々な点で影響があった。その主な学生募集に係わる広報活動の事項とその状況は、次のとおりである。

4.5.1 高等学校等の教員を対象とした説明会

本学の主催で、高等学校等の進路指導担当等の教員を対象とした「高等学校等の教員を対象とした入学試験に関する大学説明会」を、例年6月下旬に開催している。これは以前、高等学校等の「進路面談（7月中旬頃）の前に、説明会を行って欲しい」旨の意見を進路指導担当等の教員から受け、平成28（2016）年から開催日時を従来の7月下旬より前倒しして行っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症により、高校側も本学も学事が遅れたため、まずは、「高校教員向け入試資料」を7月31日から本学ウェブサイトで公開したことを約1,800校へ案内通知し、次に「高校教員向けオンライン入試説明会」として全国の約220校へ案内通知し、10月16日に開催した。その結果40校の高校教員の参加があった。

4.5.2 群馬県高等学校長協会との意見交換会

平成30（2018）年に群馬県高等学校校長協会からの要請を受け、平成30（2018）年度は7月と11月の2回、令和元（2019）年度は7月の1回、群馬県高等学校長協会出席者と本学関係者での意見交換会を実施していた。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、日程調整が付かず開催できなかった。

4.5.3 大学説明会・進学相談会

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったが、県内・近県等を中心に、高校や受験産業からの要請を受けて、オンラインを含め計51回、出前説明会等（大学説明会・進学相談会）の対応を行い、高校生及び保護者等に群馬大学のPRを行った。

群馬大学の東京サテライトオフィス（東京都港区／東京工業大学キャンパスイノベーションセンター）において、当初令和2（2020）年3月から月2回、首都圏の高校生、教員、保護者等を対象とした個別進学相談会を定期開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため昨年度は中止となった。今年度も相談会の申し込みはあったが開催できず、現在も休止中である。ただし、都内の高校など3校の高校生や高校教員に対し、メール等での進学相談の対応を行った。

4.5.4 夢ナビライブ

今年度は、株式会社fromページが主催する高校生向け進学イベント「夢ナビライブ」に全国4会場（仙台・東京・名古屋・大阪）へ参画する計画であった。しかし、新型コロナウイルス感染症のため名古屋と大阪の2会場が中止となった。そして、仙台と東京の2会場がオンライン開催となった。

オンライン開催となった仙台会場と東京会場において、「講義ライブ」はオンデマンド配信、「大学説明ブース」はZoomでの実施、「夢ナビTALK」は中止という形で、延べ7名の教員による講義と、職員と学生広報大使によるブース説明を行った。

4.5.5 出張模擬授業

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があったが、高校からの依頼により、オンラインを含め計27回、各学部学科等による出張模擬授業を実施した。

4.5.6 高校訪問

今年度は新型コロナウイルスの影響があったが、理工学部の改組や、情報学部の新設などの説明を行うため、広報本部の教職員が、県内・隣県等の延べ67校を訪問し、高校の進路指導主事等との意見交換を行った。

4.5.7 大学見学受入

今年度は新型コロナウイルス感染症のため、大学見学の受入はすべて中止した。

4.5.8 大学案内等のダイレクトメール、郵送など

例年通り、広報活動のためのツールとして、冊子体の大学案内を作成して、オープンキャンパスや出前説明会等において配付する予定であった。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症のため、北関東や首都圏など約1,800校の高校へ大学案内を郵送した。また、理工学部の改組や、情報学部の新設などに関するリーフレットやパンフレットを作成し、約1,800校の高校へ郵送し、加えて高校3年生へDM（ダイレクトメール）も送付した。

4.5.9 ウェブサイト等による広報

今年度も本学ウェブサイト等を活用し、受験者等への情報発信（LINE、Twitter等のSNSを含む）を種々行った。「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」の発表、受験状況の公表のほか、平成25（2013）年度からは試験問題及び解答例・評価のポイント、群馬大学入学者選抜における受験上の配慮内容、次年度以降の入試の変更点を公表している。また、大手の受験産業が運営する進学情報サイト等に入試情報を掲載し、より広範な広報活動を行った。

加えて、本学に関する紹介動画を各種作成して、群馬大学公式チャンネル（YouTube）に掲載した。

4.5.10 学生広報大使による広報

本学の広報活動を推進するため、学生ならではの視点を活かして広報活動の企画・実施に参画してもらうことを目的として、平成29（2017）年度から「群馬大学学生広報大使」の活動が行われている。具体的な活動内容としては、オープンキャンパスへの協力、夢ナビライブなどの進学イベントへの参加、高校訪問への同行など多岐にわたる活動を行っている。ただ今年度は新型コロナウイルス感染症のため、活動が制限されたが、前年度までと同様に「群馬大学Webオープンキャンパス『GU'DAY2020』」での「学生広報大使トークライブ」などの活動を行い、多くの高校生の共感を得た。

4.6 広報戦略の立案

今年度も、平成29（2017）年6月に発足した「群馬大学広報本部学生受入部門」と「学生受入センター広報部会」で連携して、広報戦略等を継続して検討した。

4.7 その他

令和3（2021）年度「群馬大学オープンキャンパス『GU'DAY2021』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来の来場型としては開催せず、令和2（2020）年度と同様、原則として全てのプログラムがWeb上で完結するWeb配信型（一部来場型イベントも実施）として開催することとした。

資料

資料4-1：2020年度 入試広報活動まとめ（学生受入部門会議／学生受入センター運営委員会広報部会（2021年5月27日開催）【資料2】）

資料4-2：群馬大学 夢ナビライブ2020参加教員一覧（学生受入部門会議／学生受入センター運営委員会広報部会（2021年3月5日開催）【資料2-1】）

2020年度 入試広報活動まとめ

2021年3月31日

総務部総務課

1、群馬大学 web オープンキャンパス「GU'DAY 2020」

開催期間	会場（参加者数）	主な対象者	主催
7月21日（火）～8月3日（月）	オンライン （2,738名）	高校生 保護者	総務課

2、高校教員向け入試説明会等

開催日	会場等	主な対象者	主催
7月31日（金） ～公開中	高校教員向け入試資料を web で公開 約 1,800 校へ案内通知	高校教員	総務課 学生受入センター 各学部
10月16日（金）	高校教員向けオンライン入試説明会 全国の約 220 校に周知し、40 校参加	高校教員	総務課 学生受入センター

3、出前説明会等

開催日	実施回数等	主な対象者	実施者
4月～1月	オンライン含め 51 回	高校生 高校教員	総務課 各学部 学生受入センター

4、出張模擬授業

開催日	実施回数等	主な対象者	実施者
4月～1月	オンライン含め 27 回	高校生	各学部

5、高校訪問

訪問日	訪問回数等	主な対象者	実施者
9月～3月	県立前橋高校など 67 回	高校教員	広報本部副本部長 広報本部学生受入部門長 アドミッション・コーディネータ 理工学部

6、大学見学※休止中

実施日	来学校	主な見学者	対応
なし	なし	高校生	総務課 各学部

7、東京サテライトオフィス個別進学相談会

実施日	申込校	主な対象者	主催
なし	慶應義塾女子高校など3校	首都圏の高校生、高校教員	総務課

※申込はあったが、新型コロナウイルスのため開催せず、現在も休止中

8、ダイレクトメール、郵送等

実施日	内容	対象	対応
7月15日 (水)	大学案内2021 郵送	北関東や首都圏など約1,800校	総務課
8月11日 (火)	情報学部・理工学部合同 リーフレット郵送	北関東や首都圏など約1,800校	総務課
10月15日 (木)	情報学部 WEB DM	関東甲信越など高校3年生約7,000名	情報学部 設置準備室
12月15日 (火)	情報学部、理工学部 パンフレット郵送	北関東や首都圏など約1,800校	総務課
1月18日 (月)	DMチラシ同梱	首都圏エリア高3生約86,000名	理工学部
1月28日 (木)	情報学部 WEB DM	関東甲信越など高校3年生約7,000名	情報学部 設置準備室

9、有料広告掲載

実施日	媒体名	内容	規格・部数等	対応
7月5日	下野新聞 (「2020夏休みオープンキャンパス・体験入学特集」)	オープンキャンパス告知	・7月5日朝刊折込 約29万部(栃木県内) ・栃木県内高校3年生の生徒へ、学校経由にて送付	理工学部
8~10月 公開	進研アド 「高校教員の方対象 オンライン入試説明会 特集」参画	進研アドが提供する「高校教員向けオンライン入試説明会」webサイト大学一覧に、本学情報掲載及び本学の高校教員向け入試説明会HPコンテンツをリンク	web 公開期間 ・8月上旬~10月末まで ※高校教員への周知方法 ・進研アド保有の高校教員リストによりメルマガ(複数回)配信及び登録高校に案内チラシ配付 ・周知件数:全国2,173校、教員人数:3,409人	総務課 学生受入センター
8月1日 ~ 3月31日	JR 桐生駅サインボード	理工学部改組紹介	JR 桐生駅にサインボード設置	理工学部

2020年8月～ 2021年3月	朝日新聞社「国公立大学進学のおすすめ2020」	① 朝日新聞広告 ② 朝日新聞デジタル ③ 国公立大学 by AERA2020 ④ プロフェッサービジット	① 2020年8月27日朝刊（全国版）に広告記事掲載 ② 朝日新聞デジタル「国公立大学進学のおすすめ」に学長インタビュー掲載 ③ 2020年11月24日発売『国公立大学 by AERA2020』に学長インタビュー、在学生の活躍掲載 ④ 2021年2月6日に医学系研究科の田中和美助教が江戸川学園取手中・高校（茨城県）、3月13日に医学系研究科の神谷亘教授が名古屋経済大学市邨高校（愛知県）で出張模擬授業を実施	総務課
9月4日	・AERA MOOK「就職力で選ぶ大学2021」（冊子） ・AERA dot. (WEB)	学長インタビュー、理工学部長インタビュー、GFL紹介	・2020年実績：5万部発行 ・インタビューは各1ページ	理工学部
10月23日～11月5日	シネアド：映画本編上映前CM	群馬大学PR	・群馬県主要5劇場の「劇場版「鬼滅の刃」無限列車編」で上映。 ・チケットに記載されている上映時間に暗転後に最初に流れる映像として放映。	理工学部
1月16日～ 2月5日	バナー広告（DSP広告）	共通テスト自己採点後の理工学部のターゲット層になる生徒に向けたバナー広告	・発注先（株）進研アド ・約1600回クリック保証 ・「ベネッセマナビジョン」会員と「進研模試」受験者情報を利用しGoogle、Yahoo!等優良媒体にて配信	理工学部

※出前説明会等の件数は高校アプローチ管理システムから集計（延べ数）

※2019年10月1日付で入試広報業務が学生受入センター（学務部学生受入課）から総務部総務課に移管されたことに伴い、アドミッション・コーディネータが総務課へ異動

群馬大学 夢ナビライブ2020参加教員一覧

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大阪、名古屋の2会場は中止。仙台、福岡(本学不参加)、東京の3会場はオンライン開催に変更。

※「講義ライブ」はオンデマンド配信。「大学説明ブース」はZoomで実施。「夢ナビTALK」は中止。

2020年9月17日現在

大会場	内容	教育学部		社会情報学部		医学科		保健学科		理工学部		備考
		2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	
		総務課(※2019は学生導入課)										
大阪会場	インテックス大阪 6月6日(土) 【見込25,000人】 中止	金澤貴之										◆金澤教授 ⇒取材完了。ページ公開済。
	講義ライブ 夢ナビTALK(※講義ライブとセット) 大学説明会									浅川直紀		
名古屋会場	ポートメッセ名古屋 7月29日(火) 【見込20,000人】 中止			高木 理						加田 渉		◆加田教授 ⇒取材完了。ページ公開済。
	講義ライブ 夢ナビTALK(※講義ライブとセット) 大学説明会											
仙台会場	夢メッセみやぎ 10月9日(土) 【見込10,000人】 リアル開催中止⇒オンライン開催(10/3・4)	金澤貴之								鈴木孝明		◆理工学部は「56工学系学部長会議」の枠で参加 ◆鈴木教授 ⇒取材完了。ページ公開はこれから。
	講義ライブ 夢ナビTALK(※講義ライブとセット) 大学説明会			岩井 淳								
福岡会場	マリムメッセ福岡 10月17日(土) 【見込15,000人】 リアル開催中止⇒オンライン開催(10/17・18)											本学は不参加
	講義ライブ 夢ナビTALK(※講義ライブとセット) 大学説明会											
東京会場	幕張メッセ 10月25日(日) 【見込40,000人】 リアル開催中止⇒オンライン開催(10/24・25)	金澤貴之	郡司明子	大野富彦	高木 理	神谷 亘	松井弘樹	山上徹也		船谷健一 加田 渉		◆船井准教授⇒取材完了。 ◆船谷教授⇒取材完了。ページ公開はこれから。 ◆船谷教授⇒取材完了。ページ公開済。
	講義ライブ 夢ナビTALK(※講義ライブとセット) 大学説明会											

【2020年度変更事項】

○名古屋、仙台、東京で新たに「大学説明会」を実施する。

【参考】

群馬大学の教員によるミニ講義

<https://yumenavi.info/portal.aspx?CLGAKOCD=033750&gakubunm=&gakkanm=>

オンライン版夢ナビライブ「夢ナビライブ2020 Web Week」

<https://liveweb.yumenavi.info/>

5 健康支援総合センター

5.1 はじめに

令和2年度は冒頭より新型コロナウイルス感染防止対策が全学で急務となったため、健康支援総合センター（以下「センター」という。）の諸活動・諸行事においても例年と大きく異なる対応が求められた。

まず、本来の基本事項であるが、センターは学生ならびに教職員の心身の健康の保持増進を図るため、学生健康診断やその事後措置としての助言・指導、健康に関する相談対応、感染症の流行情報の把握と予防教育活動及び健康に関連した調査や研究を行っている。大学を取り巻く環境が変化していく中で、近年その活動は、以下の新たな3つの点を中心に実施されてきた。

- 1) 学内関連組織との円滑な連携に基づく学生のメンタルヘルス支援拡充
- 2) 障害学生支援室との連携強化（平成28年4月障害者差別解消法施行）
- 3) 学外の医療・教育関係機関との連携による地域貢献活動の拡充

令和2年度は上記の点に加えて、刻一刻と変わる新型コロナウイルス感染症の状況に急激的に対策を実施していかななくてはならなくなったことから、各種活動の日程や内容の変更、支援活動の拡充が、随時検討・実施されていった。以下に主な点を挙げる。

- ①学生定期健康診断の日程と内容の変更：新型コロナウイルス感染症への政府の対応及び文部科学省の方針と大学危機対策本部会議の決定に沿って、大幅な変更を強いられることとなった（詳細は5.2.1を参照）。
- ②危機対策本部会議との連携：上記の政府・文部科学省の方針の下、危機対策本部会議がほぼ毎月開催され、センター長（病院長）が出席。副センター長もオブザーバーとして出席し、検討に参加し対策実施に協力した。
- ③学部行事への予防対策助言：学部の要請に基づき、入学試験や講義における感染予防対策について個別の助言を行った。
- ④地域医療機関との連携：新型コロナウイルス感染者及び感染疑い例への対応について、保健所からの指導に沿って学生支援を行った。
- ⑤学生相談のオンライン化：講義のオンライン化に伴い、従来の対面型の学生相談以外に、オンラインでの相談も可能とした。
- ⑥健康・修学オンライン相談会の開催と連携：オンライン講義が進行していくのに伴い、学生、特に新入生の孤立化が目立つようになり、健康面及び修学面での不安の訴えが多くみられるようになってきたことから、「健康・修学オンライン相談会」を定期的を実施することとし、学生支援センター（障害学生支援室）と連携して、センター医師2名、学生支援センター教員1名で計10回実施した。
- ⑦健康診断予約システムの導入：教務システムを利用し、健康診断の予約及び予約状況の確認ができるシステムを構築した。
- ⑧学会の延期と事務局継続：令和2年度は第58回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会総会をメール会議にて開催し、研究集会は新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑み、1年間の延期を同部会ならびに全国大学保健管理協議会に諮り、承認を得た。地方部会事務局は二年連続で担当することとなった。
- ⑨栄養相談の新設：主に学生の栄養面でのサポートを目的に、非常勤管理栄養士1名を配置した（月1回）。
- ⑩教職員の職場カウンセリングの拡充への協力：人事労務課に協力して、職場におけるスタッフカウンセリングを拡充するため、非常勤産業カウンセラー1名を配置した。

5.2 令和2年度実施事業

5.2.1 学生定期健康診断の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、4月は学生定期健康診断が延期となり、WEB上で問診のみ実施した。その後、感染状況をみながら、健康診断項目を胸部レントゲン検査のみに縮小し、資料5-1に示す日程で実施した。対象者は全学生ではなく、新入生、実習で健康診断が必要とされる学生、外国人留学生とした。

5.2.2 精神保健調査の実施

例年、4月の健康診断時に精神保健調査（スクリーニング検査）を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で健康診断を延期したため、令和2年度は精神保健調査をWEB上で実施した。対象者は各学部新入生、大学院新入生（医学系研究科生、保健学研究科生、理工学府生を除く）、特別支援教育特別専攻科新入生、編入生及びその他の学生（在学生）とした。要面接者に対して、センター医師2名により、オンラインで診断的面接を実施した。

調査方法は、メンタルヘルス質問票33項目を用い、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴についてスクリーニングし、面接の可否を判定した。結果については資料5-4に示すとおりであった。要面接者は、新入生2.6%で昨年度より増加、在学生においては1.7%とやや減少した。新型コロナウイルス感染症対策が本格化する前の新学期開始時の調査であることから、今後どのような動向を示すのか、引き続き観察していきたい。

5.2.3 学校生活に関する困りごと調査の実施

例年、6月に全1年生を対象とした講義内で実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、10月にWEB上で実施した。結果より「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接を勧めた。面接は、センター医師（講師）が担当した。結果は資料5-5に示すとおりであった。

5.2.4 学生特殊健康診断の実施

特殊健康診断の受診対象者は、「常時使用する労働者」であり、教職員、非常勤教職員であるが、学生も実習や実験研究を通じて、教員等と同様の環境下にあることから特殊健康診断の対象とすることが必要であると考えられる。このことから、平成26年度より「特殊健康診断を受診している教員の研究室に配属している理工学部4年生及び理工学府生」、「作業環境測定結果が第二及び第三管理区域であった研究室に配属している理工学部4年生及び理工学府生」を対象に同健康診断を実施している。結果は資料5-6に示すとおりであった。受診者83名中、異常なし80名、要経過観察者3名、要精密検査者は0名であった。要精密検査の学生には、医療機関を受診し必要な検査を受けるよう個別指導を行っている。

5.2.5 外国人留学生健康診断の実施

平成21年度から感染性肺結核症の有無を検査するクオンティフェロンTBゴールド検査を実施していたが、平成30年度よりT-SPOTに変更して検査を実施した。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、新規の外国人留学生も少なく、大学への入構制限もあったため、T-SPOT検査は実施せず、8～9月に実施した健康診断の胸部レントゲン検査で所見の有無を確認した。

5.2.6 自殺予防対策ワーキンググループの活動

令和元年に関係部局と連携して自殺予防対策ワーキンググループを立ち上げ、令和2年はガイドラインを作成する年度に該当していたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策と、メンタルヘルス個別対応ケースの増加から、実質上延期となった。代替として、「全国大学

メンタルヘルス学会」が公開している、学生のご家族・保護者、教職員向けの各種自殺予防教材及び自殺対策班の調査研究結果について、同学会の許可を得て、本学のHP上からも随時閲覧可能とし、教職員に周知した。

5.3 健康支援総合センター利用状況

5.3.1 利用人数及び件数

センター利用人数は、914名（年間延べ人数）であった。からだの健康相談、こころの健康相談、健康診断書の発行についての各件数を月別に集計した。新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインでの相談が主であった。結果は資料5-8に示すとおりであった。健康診断書については、そのほとんどが自動発行のシステムを利用して発行されており、所定の健康診断書への記入が必要であった43件に関してはセンターで発行した。

5.3.2 健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告

健康相談を「からだの健康相談」と「こころの健康相談」に分けて月別に集計した。結果は資料5-7に示すとおりであった。さらに、こころの健康相談者数とその内容については資料5-9に示す。また、荒牧・桐生キャンパスでの公認心理師による月別カウンセリング利用者数及び動機内訳を資料5-10に示した。学生本人だけではなく、学生の家族や担当教員との面談や電話・メール相談も随時実施した。今後もセンターで受ける健康相談数は増加することが予測され、センター医師や公認心理師が対応する相談やカウンセリングに要する時間の増加は避けられないと想定される。

近年大きな課題となっている外国人留学生のメンタルヘルスサポートの問題は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のために一時出入国が制限されていたこともあり減少傾向が見られたが、今後はむしろ増加することが予測され、動向を観察していく必要があると思われる。

5.3.3 疾病領域別利用者数

疾病領域別利用者数を月ごとに集計した表を資料5-11に示す。オンラインでの相談が主であり、メンタル系症状に関連するものが圧倒的に多数を占めた。メンタル系症状については、前年度から224件増加しており、内科医・カウンセラーによる心理相談を行い、必要に応じてセンター精神科医が面接し医療機関を紹介した。

5.3.4 診療科別医療機関紹介件数

センターから他の医療機関への紹介件数は、延べ学生12件、教職員8件であり、結果は資料5-12に示すとおりであった。

5.3.5 薬剤別処方日数

センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計した。結果は資料5-13に示すとおりであった。

5.3.6 桐生地区・保健室利用状況

桐生地区での保健室利用状況は、資料5-14に示すとおりであった。

5.3.7 昭和地区・学生健康相談室利用状況

昭和地区での学生健康相談室利用状況は、資料5-15に示すとおりであった。

5.3.8 キャンパス・ソーシャルケースワーカーによる活動

キャンパス・ソーシャルケースワーカーの活動は、各キャンパスで教員からの要請に従い支援を行っている。令和2年度は資料5-16に示すとおり、桐生地区10名、荒牧地区5名の計15名の学生への対応の要請があった。事例から得られた経験を蓄積することで、更なる機能の向上をめざす。

5.4 教育関連活動

センターの医師は、教員として教養教育等の講義を担当している。新入生を対象とした教養基盤科目のスポーツ・健康「健康教育」について、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、他講義と同様にオンラインにて実施した。傷病対策及びメンタルヘルス不調対策として、それぞれ90分の講義を5回（同一内容）行った。内科医からは「からだからのサインに気づく」と題して大学生に必要となる傷病対策についての講義を行い、精神科医からは「精神の健康」をテーマに発達障害を含めたメンタルヘルス不調全般について講義を行った。なお、令和2年度は学期開始当初より新型コロナウイルス感染症対策のため全学オリエンテーションが実施できなかったことから、新入生向けの上記講義を例年より早めの5月連休後から実施し、講義の中で本センターのオリエンテーションを実施した。なお、例年オリエンテーションの際に実施しているアルコールパッチテストについては、簡単な説明のみ行った。

また、令和3年2月には学務部主催のクラブ・サークルリーダーシップ研修会において、例年のように「飲酒とタバコ、健康に関するルールとマナー」と題してオンラインにて60分間の講演を行ったが、今年度はこの中で新型コロナウイルス感染症対策及びいわゆる「コロナうつ」についての簡単な解説と対応についても講演を行った。

更に、精神科医師は、非常勤講師として医学部医学科3年生臨床行動科学講義「心の健康を保つには」を行った。また、医学部医学科5年生1名の地域保健実習を担当した。

5.5 健康管理に関する調査研究活動

群馬大学「性の多様性に関する学生意識調査」からみるSOGIへの展開
(人を対象とする医学系研究倫理審査委員会へ研究計画書提出)
研究責任者：長安めぐみ講師，研究分担者：宮崎博子，竹内一夫

5.6 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の委員会等を主催した。

- 1) 令和2年度健康支援総合センター運営委員会（7月16日，令和3年1月7日，3月26日）
- 2) 令和2年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会「大学生メンタルヘルスの動向と今後の展望」
講師 安宅勝弘 東京工業大学保健管理センター教授，全国大学メンタルヘルス学会理事長（令和3年1月13日オンライン開催）
- 3) 群馬県内大学等保健管理担当者会議（10月23日，令和3年2月3日）
群馬県内の大学，短期大学，高等専門学校の保健管理担当実務者及び事務担当者へのメール会議を開催した。会議内容は，研究集会の報告，「健康ミニガイド」の作成，保健管理担当者へのアンケート結果の報告などである。

5.7 健康支援総合センターの全国会議等出席

下記の全国会議等にセンターの教職員が出席し、最新の情報の収集を行い、センターの機能強化に役立った。さらに関係大学との情報交換を行い、連携を深めた。

- 1) 第57回全国大学保健管理研究集会（オンライン開催）：京都大学（11月25日、26日）副センター長，講師，看護師が出席
- 2) 令和2年度国立大学法人保健管理施設協議会総会（オンライン開催）：滋賀大学（11月27日）副センター長が出席
- 3) 第42回全国大学メンタルヘルス学会（オンライン開催）：島根大学（12月17-20日）副センター長，講師が出席

5.8 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

- ・ 関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
- ・ 社会情報学部第3年次編入学試験
- ・ 共同教育学部，情報学部推薦入学試験
- ・ 大学入学共通テスト
- ・ 個別学力検査（前期，後期）
- ・ 学位記授与式

5.9 出版・広報活動

下記の出版，広報活動を行った。

- 1) 「健康ミニガイド2020～よりよいキャンパスライフを送るために～」を発行した。先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が，健康についての意識や知識を高めてもらうことを目的に共同で作成した冊子であり，新入生に配布した。
- 2) 「群馬大学 大学教育・学生支援機構報告書 健康支援総合センター」の令和元年度の原稿を作成して提出した。
- 3) 特別寄稿論文「学会誌『大学のメンタルヘルス』投稿における統計のガイドライン案について」，大学のメンタルヘルス，vol 4，42-46，2021年3月
- 4) 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」出演（副センター長）
9月25日「職場のメンタルヘルス～コロナうつへの対応～」
- 5) 共著（副センター長）「シンプル衛生・公衆衛生学2020」（南江堂），2020年，東京
- 6) 共著（副センター長）全国柔道整復学校協会監修「衛生・公衆衛生学 改訂第6版第5刷」（南江堂），2021年1月，東京
- 7) 監修（副センター長）「衛生テキスト」（日本バーテンダー協会），2020年，東京

5.10 社会貢献活動

センターの医師は，専門性を生かして右記の社会貢献活動を行った。

【精神科医（副センター長）】

各種外部委員，嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応

令和2年度 群馬地方労働審議会・会長代行

令和2年度 群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長

令和2年度 全国大学メンタルヘルス学会・理事

令和2年度 全国大学保健管理協会・評議員

令和2年度 前橋市教育委員会学校問題対策委員

令和2年度 群馬産業保健総合支援センター・相談員

令和2年度 群馬産業保健総合支援センター・評価委員

令和2年度 群馬大学医学部非常勤講師（公衆衛生学，精神医学）

令和2年度 北関東医学会・評議員

令和2年度 群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事

そのほか群馬県医師会，群馬県看護協会，群馬県こころの健康センター，群馬労働基準協会連合会，群馬職域メンタルヘルス交流会，群馬産業保健総合支援センター，全国大学メンタルヘルス学会，日本産業カウンセラー協会，日本バーテンドー協会，子育て支援センターなどの要請に応じて各種講演や講義を行った。

第58回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 代表世話人

【内科医】

嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応

令和2年度 渋川看護専門学校非常勤講師

令和2年度 高崎市乳幼児健診事業 内科診察及び発達・発育相談

令和2年度 群馬大学 性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドラインに基づく支援（にじいろライン相談員）として初期相談対応を担当。

第58回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会 幹事

5.11 産業保健活動

産業保健活動に関しては人事労務課が統括しているが，平成25年度途中から荒牧・上沖・若宮地区に関しては，センター医師2名（内科，精神科）が兼務する体制をとっている。昭和地区は医学部専任教員である非常勤医師（精神科，産業医）1名が勤務しており，桐生・太田地区は桐生市医師会医師に依頼している。平成27年度にはこれらの産業医の意見を集約するための産業医部会が発足し，継続している。

5.11.1 安全衛生委員会

荒牧及び若宮事業場は内科医が出席し，毎月の委員会中での職場巡視の報告及び質疑応答を通じて，職場環境改善のための指摘を行なった（1回/月，8月を除く）。

5.11.2 職員の定期健康診断

人事労務課からの依頼を受け，若宮事業場及び上沖事業場の職場健診における内科診察を行った。全事業場に勤務する教職員の健診結果の判定及び個別結果の事後措置，医療保健相談についてはセンター内科医が対応した。

5.11.3 スタッフカウンセリング

人事労務課に協力して，職場におけるスタッフカウンセリングを拡充するため，非常勤産

業カウンセラー1名を配置した。

5.12 通常業務以外の支援業務

全学危機対策本部会議にオブザーバーとして招集され、新型コロナウイルス対策の一部について意見を述べた（副センター長）。

5.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性

冒頭に記載したように令和2年は年度当初より新型コロナウイルス感染症の危機を迎え、すべての予定に変更や追加が行われ、その後も混乱が続いている。新型コロナウイルス感染症対策の一つのステーションとしての役割と、従来からの本来業務の継続を同時に実施していくことに様々な困難が生じている。

また、全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会の主管年度であったが、これを1年間延長することとなり、事務局としての役割を継続しながら、次年度を目指すこととなった。

この間、実際に新型コロナウイルスに感染する学生が発生し、全学危機対策本部及び地域医療機関と連携しながら対応に当たっていたが、終息のめどが立たない状況で次年度を迎えることとなり、健康診断をはじめとする各種行事の計画変更などが続いている状況である。特筆すべきは、講義のオンライン化に伴う学生の健康影響への支援が急増していることであり、特にメンタルヘルス不調に関して個別対応を拡充したり、オンライン相談会を新設したりするなど、コロナの状況に合わせた即時的な対応を重ねてきた。ウイズコロナ時代にあわせて中・長期的にこうした支援体制を強化していくことが求められている。

5.14 健康支援総合センター資料集

- 資料5-1-1：令和2年度 前橋地区学生定期健康診断日程表
- 資料5-1-2：令和2年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表
- 資料5-2-1：令和2年度 学生定期健康診断受検状況（前橋地区）
- 資料5-2-2：令和2年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）
- 資料5-3：令和2年度 学生定期健康診断結果
- 資料5-4：令和2年度 精神保健調査結果
- 資料5-5：令和2年度 学校生活に関する困りごと調査結果
- 資料5-6：令和2年度 学生特殊健康診断結果
- 資料5-7：令和2年度 健康支援総合センター利用状況
- 資料5-8：令和2年度 健康相談の対応内容
- 資料5-9：令和2年度 こころの健康相談者数
- 資料5-10：令和2年度 公認心理師（非常勤）による心理カウンセリング報告
- 資料5-11：令和2年度 疾病領域別利用者数
- 資料5-12：令和2年度 診療科別医療機関紹介件数
- 資料5-13：令和2年度 薬剤別処方日数
- 資料5-14：令和2年度 桐生地区・保健室利用状況
- 資料5-15：令和2年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況
- 資料5-16：令和2年度 キャンパス・ソーシャルケースワーカー業務について

令和2年度 前橋地区学生定期健康診断日程表

	9:00~9:30 (撮影人数35名)	9:30~10:00 (撮影人数35名)	10:00~10:30 (撮影人数35名)	10:30~11:00 (撮影人数35名)	11:00~11:45 (撮影人数50名)	13:00~13:30 (撮影人数35名)	13:30~14:00 (撮影人数35名)	14:00~14:30 (撮影人数35名)	14:30~15:00 (撮影人数35名)	
8月8日(土)	教育学部 3年 国際 英語	教育学部 3年 社会	教育学部 3年 数学 技術	教育学部 3年 理科 音楽	教育学部 3年 美術 家政 保健体育	教育学部 3年 教育 教育心理 障害児教育	教育学部 4年 該当者のみ(28名) 大学院(教育学) 2年 該当者のみ(2名) 特別支援教育 特別専攻科	医学部 保健学科4年 H170A001~35	教育学部 外国人留学生 社会情報学部 外国人留学生	
8月9日(日)	医学部 保健学科4年 H170A036~70	医学部 保健学科4年 H170A0071~ H170C001~	医学部 保健学科4年 H170D001~ 大学院(保健学) 外国人留学生 理工学部1年 外国人留学生	医学部 保健学科3年 H180A001~35	大学院 (医学系) 外国人留学生 医学部 保健学科 外国人留学生	医学部 保健学科3年 H180A036~70	医学部 保健学科3年 H180A0071~ H180B001~25	医学部 保健学科3年 H180B026~ H180C001~	医学部 保健学科3年 H180D001~	
9月26日(土)	医学部 医学科5年 M1600001~51	医学部 医学科5年 M1600052~96	医学部 医学科5年 M1600097~	医学部 保健学科(看護) 2年 H190A001~35	医学部 保健学科(看護) 2年 H190A036~	医学部 保健学科(作業) 2年 医学部 保健学科3~4年 留学者のみ(2名) M1700001~53	医学部 医学科4年 M1700054~109	医学部 医学科4年 M1700501~	社会情報学部 3年次編入生 大学院(社会情報学) 1年	医学部2年次編入生 大学院(医学系)1 年
9月27日(日)	共同教育学部 1年 国際 英語	共同教育学部 1年 社会	共同教育学部 1年 数学 技術	共同教育学部 1年 理科 音楽	共同教育学部 1年 美術 家政 保健体育	共同教育学部 1年 教育 教育心理 障害児教育 S200001~35	社会情報学部 1年 S200036~70	社会情報学部 1年 S200071~	医学部 医学科1年 M200001~35	大学院(教育)1年 特別教育支援特別 専攻科 (該当者のみ1名) 大学院(保健学)1 年
10月3日(土)	医学部 医学科1年 M200036~70	医学部 医学科1年 M200071~105	医学部 医学科1年 M200106~ 医学部 保健学科(看護) 1年 H200A001~25	医学部 保健学科(看護) 1年 H200A026~60	医学部 保健学科(看護) 1年 H200A061~ 医学部 保健学科(理学) 1年	医学部 保健学科(検査) 1年 医学部 保健学科(作業) 1年 理工学部1年 (化学・生物化学) T200A001~15	医学部 保健学科(作業) 1年 理工学部1年 (化学・生物化学) T200A016~50	理工学部1年 (化学・生物化学) T200A051~85	理工学部1年 (化学・生物化学) T200A086~120	理工学部1年 (化学・生物化学) T200A121~170
10月11日(日)	理工学部1年 (化学・生物化学) T200A171~ 理工学部1年 (機械知能システム) T200B001~25	理工学部1年 (機械知能システム) T200B026~60	理工学部1年 (機械知能システム) T200B061~95	理工学部1年 (機械知能システム) T200B096~ 理工学部1年 (環境創生) T200C001~20	理工学部1年 (環境創生) T200C021~70	理工学部1年 (環境創生) T200C071~ 理工学部1年 (電子情報) T200D001~10	理工学部1年 (電子情報) T200D011~45	理工学部1年 (電子情報) T200D046~80	理工学部1年 (電子情報) T200D081~ 115	理工学部1年 (電子情報) T200D116~ 外国人留学生 (教育・社会・国) (該当者のみ12名)

【健康診断会場】教養教育GB棟(荒牧キャンパス)
 【健康診断項目】胸部レントゲン検査 ※その他の検査は行いません。
 【健康診断対象者】新入生、実習で健康診断が必要とされる学生および外国人留学生(※日程表に掲載されている学生のみ)
 【受検上の注意】
 ※学生証・筆記用具を持参してください。※感染予防のため自分の筆記用具を持ってきてください。
 ※感染予防のため、必ずマスクの着用をお願いいたします。
 ※「密集」「密接」を避けるため、割り当てられた時間に受けてください。
 ※検査当日の朝、自宅にて体温測定してください。
 ※37.5度以上の場合や咳などの風邪症状および下痢などの消化器症状のある学生は、検査できませんので来校しないでください。
 ※検査前にも体温測定します。37.5度以上の場合や咳などの風邪症状および下痢などの消化器症状のある場合は検査できません。
 ※更衣室はありません。各自、検査に適した服装(無地のTシャツなど)で来てください。
 ※並ぶ際は1.5m程度間隔を開け、私語厳禁です。開始時間は混み合いますのでご注意ください。
 ※健康診断を受けるにあたり、新型コロナウイルス感染に関する不安がある方は事前に健康支援総合センター(TEL027-220-7161)に連絡ください。
 ※2ヶ月以内に医療機関で健康診断や胸部レントゲン検査を受けている場合は、事前に健康支援総合センター(TEL027-220-7161)に連絡ください。
 ※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止または延期する場合がありますのでご了承ください。(その場合は、教務システム等でお知らせします。)

令和2年度 桐生・太田地区学生定期健康診断日程表

	9:30~10:00	10:00~10:30	10:30~11:00	11:00~11:30	11:30~12:00	12:00~12:30
8月9日 (日)	2年 外国人留学生	4年 外国人留学生	修士1年 外国人留学生	修士2年 外国人留学生	博士 外国人留学生	研究生 外国人留学生
	3年 外国人留学生	4年 令和2年度 教育実習予定者				特別研究学生 特別聴講学生

	9:00~9:30	9:30~10:00	10:00~10:30	10:30~11:00	11:00~11:30	13:00~13:30	13:30~14:00	14:00~14:30	14:30~15:00	15:00~15:30
10月11日(日)	理工学府修士1年 物質・生命 T201A001~35	理工学府修士1年 物質・生命 T201A036~70	理工学府修士1年 物質・生命 T201A071~ 理工学府博士1年	理工学府修士1年 知能機械創製 T201B001~40	3年次編入生 外国人留学生 (8月の健診未受診者のみ)	理工学府修士1年 知能機械創製 T201B041~80	理工学府修士1年 知能機械創製 T201B081~ 理工学府修士1年 環境創生 T201C001~20	理工学府修士1年 環境創生 T201C021~	理工学府修士1年 電子情報・数理 T201D001~40	理工学府修士1年 電子情報・数理 T201D041~ 4年 令和2年度教育実習予定者 (8月の健診未受診者のみ)

【健康診断会場】大講義室(桐生キャンパス)

【健康診断項目】胸部レントゲン検査 ※その他の検査は行いません。

【健康診断対象者】新入生、実習で健康診断が必要とされる学生および外国人留学生(※日程表に掲載されている学生のみ)

【受検上の注意】

※学生証・筆記用具を持参してください。※感染予防のため自分の筆記用具を持ってきてください。

※感染予防のため、必ずマスクの着用をお願いいたします。

※「密集」「密接」を避けるため、割り当てられた時間に受けてください。

※検査当日の朝、自宅にて体温測定してください。

37.5度以上の場合や咳などの風邪症状および下痢などの消化器症状のある学生は、検査できませんので来校しないでください。

※検査前にも体温測定します。37.5度以上の場合や咳などの風邪症状および下痢などの消化器症状のある場合は検査できません。

※更衣室はありません。各自、検査に適した服装(添付ファイル参照)で来てください。

※並ぶ際は2.5m程度間隔を開け、私語厳禁です。

※健康診断を受けるにあたり、新型コロナウイルス感染に関する不安がある方は、事前に学生支援係(TEL0277-30-1044)に連絡ください。

※2ヶ月以内に医療機関で健康診断や胸部レントゲン検査を受けている場合は、事前に学生支援係(TEL0277-30-1044)に連絡ください。

※健康診断実施日に群馬県外の実家等に滞在している学生は、健康診断のためだけに無理に来校する必要はありません。

今年度の健康診断を受検できない学生は、来年度実施予定の健康診断を受検してください。

※今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止または延期する場合がありますのでご了承ください。(その場合は、教務システム等でお知らせします。)

令和2年度 学生定期健康診断受検状況（前橋地区）

<学部学生>

		対象者数	受検者数	受検率	
共同教育学部	1年	203	174	85.7%	
教育学部	3年	235	223	94.9%	
	4年	28	22	78.6%	
社会情報学部	1年	102	52	51.0%	
	3年次編入	27	11	40.7%	
医学部	医学科	1年	114	94	82.5%
		2年次編入	15	12	80.0%
		4年	131	72	55.0%
		5年	109	72	66.1%
	保健学科	1年	163	141	86.5%
		2年	101	63	62.4%
		3年	154	145	94.2%
		4年	120	103	85.8%
理工学部	1年	568	424	74.6%	
合 計		2,070	1,608	77.7%	

<大学院学生>

		対象者数	受検者数	受検率
教育学研究科	1年	20	4	20.0%
	2年	2	1	50.0%
教育学部特別支援教育特別専攻科		9	7	77.8%
社会情報学研究科	1年	6	3	50.0%
医学研究科	医学系	1年	44	20.5%
	保健学	1年	47	12.8%
合 計		128	30	23.4%

健康診断日：令和2年8月8日・9日、9月26日・27日、10月3日・11日

健康診断項目：胸部レントゲン検査

健康診断対象者：新入生・実習で健康診断が必要とされる学生および外国人留学生
対象者数は令和2年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

受検率は小数点第二位を四捨五入

上記以外で63名が受検した。

内訳：医学部医学科2年1名、外国人留学生62名（教育学部8名、社会情報学部7名、医学部47名）

令和2年度 学生定期健康診断受検状況（桐生・太田地区）

		対象者数	受検者数	受検率
理工学部	2年	15	14	93.3%
	3年	37	26	70.3%
	4年	42	39	92.9%
	学部合計	94	79	84.0%
理工学府	修士1年	348	204	58.6%
	修士2年	16	15	93.8%
	博士1年	19	11	57.9%
	博士2年	5	4	80.0%
	博士3年	9	9	100.0%
	大学院合計	397	243	61.2%
合 計		491	322	65.6%

健康診断日：令和2年8月9日（日）、10月11日（日）

健康診断項目：胸部レントゲン検査

健康診断対象者：新入生、実習で健康診断が必要とされる学生および外国人留学生

受検率は小数点二位を四捨五入

休学者および来日していない学生は、対象者から除いた

上記以外に研究生3名、交換留学生2名が受検した

令和2年度 学生定期健康診断結果

<胸部レントゲン検査>

	受検者数	要精検者		医療機関紹介結果				備考
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし	
共同教育学部・教育学部	431	3	0.7%	0	2	0	1	脊柱側弯症2名
社会情報学部	66	1	1.5%	0	1	0	0	脊柱側弯症1名
医学部	718	8	1.1%	0	6	0	2	脊柱側弯症6名
理工学部	424	2	0.5%	0	2	0	0	脊柱側弯症2名
外国人留学生	62	0	0%	0	0	0	0	
合 計	1,639	14	0.9%	0	11	0	3	

令和2年度 精神保健調査結果

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけて、4月の学生定期健康診断を延期したため、例年、健康診断時に提出している「メンタルヘルス質問票」を用いての精神保健調査をweb問診としてオンラインで実施した。要面接者を抽出し、センター常勤医師がオンラインでの面接を実施した。

(1) 回答率

【新生(学部1年生・編入生)】

	在籍学生数	回答状況	
		人数	%
共同教育学部	203	195	96.1%
社会情報学部	129	124	96.1%
医学部	298	276	92.6%
理工学部	596	557	93.5%
合計	1,226	1,152	94.0%

【在学生】

	在籍学生数	回答状況	
		人数	%
教育学部	761	576	75.7%
社会情報学部	368	226	61.4%
医学部	1,479	945	63.9%
理工学部	2,404	1,554	64.6%
合計	5,012	3,301	65.9%

※対象学生数は令和2年4月1日現在の学生数とし、休学者は除いた。

(2) 新生の精神保健調査

	対象学生数	要面接		面接をうけた学生数	結果			
		人数	%		問題なし	随時の相談を推奨	カウンセリング継続	学生支援センターで継続対応
共同教育学部	195	4	2.1%	2	0	0	1	1
社会情報学部	124	1	0.8%	1	0	0	1	0
医学部	276	7	2.5%	1	0	0	3	1
理工学部	557	18	3.2%	5	0	2	0	0
合計	1,152	30	2.6%	9	0	2	5	2

要面接			
令和元年度		平成30年度	
人数	%	人数	%
2	0.9%	4	1.7%
3	2.5%	5	3.8%
3	1.1%	4	1.4%
7	1.3%	12	2.0%
15	1.3%	25	2.0%

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:60名(5.2%)

(3) 在学生の精神保健調査

	対象学生数	要面接		面接をうけた学生数	結果				
		人数	%		問題なし	随時の相談を推奨	カウンセリング継続	医療機関紹介	通院中
教育学部	576	15	2.6%	4	0	0	4	0	0
社会情報学部	226	5	2.2%	0	0	0	0	0	0
医学部	945	8	0.8%	0	0	0	0	0	0
理工学部	1,554	28(2)	1.8%	6	0	2	4	0	0
合計	3,301	56(2)	1.7%	10	0	2	8	0	0

要面接			
令和元年度		平成30年度	
人数	%	人数	%
17	2.3%	16	2.2%
2	0.6%	6	1.9%
18	1.7%	15	1.5%
44(1)	2.0%	38(1)	1.7%
83(1)	1.9%	75(1)	1.7%

注:()は、通院中またはカウンセリング中にて、面接除外を希望した学生数で内数

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:231名(7.0%)

(3) 追記

質問内容

平成29年度から、新生用と在学生用の違いをなくし、33項目版に一本化して、抑うつ状態、気分変動、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴等をスクリーニングしている。

結果の分析

対象学生数は、新生(1,152名;前年1,159名)、在学生(3,301名;前年4,319名)で、例年と異なり5月末におけるWEB上での問診票提出であったせいか、新生は不変であったが、在学生の回答が激減している。要面接者(スクリーニング陽性者)の割合は、新生は昨年度から倍増し2.6%(30名)、在学生は微減の1.7%(56名)となった。コロナ禍における不安が入学直後の新生において顕著であったことが推察される。実際に面接を受けた者は、新生は11名から9名とほぼ同数であったが、在学生は50名から10名と激減していた。リモートによる面談が中心となったことが影響していると考えられる。一方、「これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴のあるもの」の人数は、新生では60名(5.2%)と増加している。これは、過去と比べて、入学時点でメンタルヘルス関連の診療科へ通院していた既往があるものが増加してきていることを意味する。在学生についても、通院歴のあるものは今年度231名(7.0%)と例年に比べて倍増しており、両者合わせて全体として6.5%もの学生に通院歴のあることが示されている(前年は約4%)。年々、通院経験のある学生の比率は増加しており、学外の専門医療機関と連携しながら、学内におけるメンタルヘルス支援体制の拡充を進めていく必要性が高まっている。面接結果について、新生においては9名中9名が、在学生においても10名中10名が、何らかの対応を必要としており、カウンセリング業務の維持あるいは拡充の必要性が、引き続き認められた。今回はコロナ禍によりキャンパス内への立ち入りが時期のリモート面談となったという事情があるが、この数年の経過を見ても陽性者の中で「問題なし」とされるものが減少して来ており、スクリーニング精度の上昇と同時に、その後の経過観察が必要と判断されるケースが増えて来ていると推察される。現実には、この数年、障害学生サポートチームと共同して支援にあたる発達障害を背景とした学生への対応頻度と時間数が右肩上がりに増加している。今後も発達障害学生サポート体制の拡充が必要と考えられる。

面接実施状況について

面接については、今回はコロナ禍における学生入構禁止時期に該当したため、常勤医師がリモート中心に実施した。

(4) 特記事項

コロナ禍の異常事態の中でWEB問診とリモート面談を組み合わせる調査は実施されたが、特にほとんどキャンパスに入構することなくオンラインで講義受講の始まった新生の不安が大きいことがわかり、調査後に、定期的にリモートによる健康・就学相談会を実施した。健康支援総合センター-医師2名と障害学生支援室専門教員1名の3名による、匿名参加可能な公開相談会の形とし、年度内は継続的に実施をすることとした。生活リズムの乱れや友人・先輩が得られないことによるメンタル面や就学面での心配が寄せられており、専門家による助言を行っている。今後は年度末に向かって、在学生の間で留年や単位取得をめぐる抑うつや自殺念慮の増加が、例年以上に強まることが予測され、学務担当者へ警戒を呼びかけることとした。

令和2年度 学校生活に関する困りごと調査結果

平成28年4月に新たに本調査を入学時に実施したところ、「新入学にあたっての困り事(不安事)」という観点からの回答が多く、実際の大学生活が開始されて解消されたという学生が半数いた。そのため、平成29年度からは、調査時期を変え、6月の講の際、「学校生活に関する困りごと調査」(24項目)として実施している。調査結果から、「相談を希望する」学生全員に対して、呼び出しを行い、改めて相談希望の有無をたずね、希望者に対してセンター医師による面接を行っている。

平成30年度より質問項目を25項目とし、まず「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接をすすめた。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のためオンライン授業となり、調査は10月に教務システムから呼びかけを行い、Webで実施した。そのため、回答率は55.6%で例年に比べて低かった。面接は健康支援総合センター講師(内科医)が担当した。面接の結果で医療的なサポートが必要なケースは当センターへ、修学サポートが必要なケースに関しては、学生支援センターへ紹介し、その後も継続的な支援を行った。調査対象学生は、各学部新入生(大学院入学生、特別支援教育特別専攻科、編入生を除く)とした。

	対象 学生数	要 面 接		面接をうけた 学生数	結 果			
		人数	%		問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
共同教育学部	115	11	9.6%	3	0	0	3	0
社会情報学部	55	3	5.5%	0	0	0	0	0
医 学 部	162	4	2.5%	1	0	0	1	0
理 工 学 部	304	17	5.6%	5	0	1	3	1
合 計	636	35	5.5%	9	0	1	7	1

※「新入生の精神保健調査」との関連

	「学校生活に関する 困りごと調査」 要面接者数	「新入生の精神保健調査」 においても 要面接と判断された学生 数
共同教育学部	3	0
社会情報学部	0	0
医 学 部	1	0
理 工 学 部	5	2
合 計	9	2

※「学校生活に関する困りごとについて」の相談希望の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果			
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
相談希望あり	3	2	0	0	1	1
相談を迷っている	23	5	0	1	4	0
相談希望なし	9	2	0	0	2	0

※「その他について」の相談の有無別結果

	○を記入	面接を うけた 学生数	結 果			
			問題なし	随時の相談を 推奨	カウンセリング 継続	学生支援センターで継続対応 (障害学生サポートルーム紹介)
相談希望あり	0	0	0	0	0	0
相談を迷っている	18	6	0	1	5	0
相談希望なし	17	3	0	0	2	1

資料 5-6

令和2年度 学生特殊健康診断結果

特定化学物質及び有機溶剤を取り扱う学生を対象とする特殊健康診断を実施した。

実施日:令和2年12月2日(水)・3日(木)

対象者:リスク評価システムにおいてリスクレベル「IVS」と評価された大学院生(一部「ⅢS」を含む)

受検者数	結 果		
	異常なし	要経過観察	要精密検査
83	80	3	0

資料 5-7

令和2年度 健康支援総合センター利用状況

利用人数(学生・教職員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	共同教育・教育学部	9	20	25	23	17	27	10	20	18	17	16	20	222
	社会情報学部	4	4	11	7	5	6	4	4	3	2	3	5	58
	医学部	2	1	1	1	0	0	0	1	1	5	5	2	19
	理工学部	1	7	3	7	5	4	3	17	13	5	5	3	73
昭和キャンパス	医学部	3	3	5	6	3	4	6	6	1	1	5	8	51
桐生・太田キャンパス	理工学部	3	9	23	25	20	15	14	25	31	44	33	37	279
学生合計		22	44	68	69	50	56	37	73	67	74	67	75	702
教職員		5	16	13	12	13	4	12	17	32	30	27	31	212
合計		27	60	81	81	63	60	49	90	99	104	94	106	914

利用件数(学生)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	4	5	4	2	2	20	1	4	3	2	6	3	56
こころの健康相談	14	37	58	66	48	35	33	63	63	68	56	62	603
健康診断書発行	4	2	6	1	0	1	3	6	1	4	5	10	43
合計	22	44	68	69	50	56	37	73	67	74	67	75	702

利用件数(教職員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	2	2	1	1	2	0	0	0	4	1	1	3	17
こころの健康相談	3	14	12	11	11	4	12	17	28	29	26	28	195
健康診断書発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	16	13	12	13	4	12	17	32	30	27	31	212

資料 5-8

令和2年度 健康相談の対応内容

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
からだの健康相談	相談のみ(助言・指導)	3	2	3	1	1	20	0	3	0	1	5	2	41	
	管理栄養士による栄養相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	外傷処置	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	4	
	検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	投薬	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	休養ベッド使用	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	健康・保健用器具貸し出し	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	医療機関紹介	1	3	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	9	
	救急転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	14	31	41	49	38	21	19	26	25	31	23	28	346
		カウンセラー紹介	0	0	0	4	2	2	3	7	6	2	3	4	33
		障害学生サポートルーム紹介	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
		医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
	カウンセラー	カウンセリング	0	6	17	17	10	14	14	37	38	37	33	34	257
		センター医師紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		18	42	62	73	54	57	37	76	73	72	66	70	700	

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
健康相談	相談のみ(助言・指導)	2	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	8	
	管理栄養士による栄養相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	外傷処置	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	投薬	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	休養ベッド使用	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	
	健康・保健用器具貸し出し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療機関紹介	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	5	
	救急転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	3	14	12	11	11	4	12	9	20	20	19	15	150
		カウンセラー紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1	6
		障害学生サポートルーム紹介	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		医療機関紹介	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	カウンセラー	カウンセリング	0	0	0	0	0	0	0	8	8	9	7	13	45
		センター医師紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	16	14	12	14	5	12	17	34	30	30	32	221	

令和2年度 こころの健康相談者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧キャンパス	共同教育・教育学部	7	19	22	22	16	10	9	20	15	15	15	20	190
	社会情報学部	3	4	9	7	5	6	4	4	3	2	2	5	54
	医学部	1	1	1	1	0	0	0	0	1	5	3	2	15
	理工学部	1	4	3	6	4	1	2	16	13	5	5	2	62
昭和キャンパス	医学部	0	1	2	5	3	3	4	2	1	0	2	7	30
桐生・太田キャンパス	理工学部	2	8	21	25	20	15	14	21	30	41	29	26	252
学 生 合 計		14	37	58	66	48	35	33	63	63	68	56	62	603
教 職 員		3	14	12	11	11	4	12	17	28	29	26	28	195
合 計		17	51	70	77	59	39	45	80	91	97	82	90	798

令和2年度 こころの健康相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	5	9	31	20	15	19	17	28	28	26	19	23	240
対人関係	0	3	6	6	1	1	0	5	9	11	2	3	47
心体の不調	5	22	21	31	12	9	13	22	23	34	41	43	276
修学	6	6	14	14	9	9	8	19	11	8	15	14	133
その他	1	14	12	15	4	4	14	17	26	19	19	13	158
合 計	17	54	84	86	41	42	52	91	97	98	96	96	854

1回の相談につき、相談内容が複数の場合があります。

スタッフカウンセリングについては相談内容を確認していないため除外

資料 5-10

令和2年度 公認心理師（非常勤）による心理カウンセリング報告

1. 学生

カウンセリング人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	0	5	6	8	8	8	7	17	23	21	18	22	143
桐生地区	0	0	0	8	5	4	6	8	8	7	7	7	60
合計	0	5	6	16	13	12	13	25	31	28	25	29	203

新規受付者数は内数

カウンセリング回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	0	6	17	17	10	14	13	36	38	38	33	34	256
桐生地区	0	0	0	13	6	7	9	11	10	8	12	8	84
合計	0	6	17	30	16	21	22	47	48	46	45	42	340

カウンセリング動機内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	0	3	14	21	11	12	14	26	28	23	24	24	200
対人関係	0	0	1	2	0	0	1	2	1	2	0	1	10
心体の不調	0	0	2	6	0	5	5	16	11	6	14	18	83
修学影響心理等	0	3	8	6	2	4	4	15	8	8	16	7	81
その他	0	2	5	3	4	4	4	6	14	6	11	9	68
合計	0	8	30	38	17	25	28	65	62	45	65	59	442

新規受付者数は内数

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

2. 桐生キャンパスにおける職員からの学生に関する相談

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3

3. カウンセラー配置状況

	荒牧地区		桐生地区	
	面接時間	カウンセラー	面接時間	カウンセラー
月曜日	10:00-17:00	内山 知子	13:00~17:00	畠山 正文
火曜日	10:00~15:00 【9月~隔週】	内山 知子	13:00-17:00 【隔週】	大須賀英里
			(9:00~12:00)	(酒井 晃洋※)
水曜日			12:00~16:00	諸星 聡美
木曜日	10:00~17:00 【11月~3月】	金子 美咲	10:00-17:00 【4月~10月】	金子 美咲
金曜日			13:00-17:00 【隔週】	川合 利恵

※キャンパスソーシャル・ケースワーカー：業務内容にカウンセリングも業務も追加

令和2年度 疾病領域別利用者数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	4	2	2	1	20	0	3	0	1	4	2	41
精神科		14	37	58	66	48	35	33	63	63	68	56	62	603
外科・整形外科		0	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	7
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
眼科		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科		0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
合計		18	42	62	68	50	55	34	67	66	70	62	65	659

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	7
精神科		3	14	12	11	11	4	12	17	28	29	26	28	195
外科・整形外科		0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
皮膚科		0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5	16	13	12	13	4	12	17	32	30	27	31	212

令和2年度 診療科別医療機関紹介件数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
精神科		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
外科・整形外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
眼科		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科		0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
合計		1	3	1	0	0	0	1	1	3	0	1	1	12

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
外科・整形外科		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
皮膚科		0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	1	8

令和2年度 薬剤別処方日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗 生 剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解熱・消炎・鎮痛剤	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
感 冒 剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎮咳剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
去痰剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漢方剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健胃剤・抗潰瘍剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整 腸 剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎮 吐 剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抗アレルギー剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
含嗽剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔内塗布剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用副腎皮質ホルモン剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用抗生剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用抗ウイルス剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用保湿剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外用消炎剤	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
広範囲抗菌点眼剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抗炎症点眼剤	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
人工涙液型点眼剤	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
経口補水液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	4

※の薬剤については、処方日数ではなく、個装単位とした。

令和2年度 桐生地区・保健室利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学部生	13	13	16	42	31	35	47	29	22	28	21	25	322
大学院生	3	9	12	11	15	2	8	14	6	7	25	18	130
学生合計	16	22	28	53	46	37	55	43	28	35	46	43	452
教職員	3	7	24	19	13	6	15	14	9	18	10	6	144
合計	19	29	52	72	59	43	70	57	37	53	56	49	596

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	10	8	42	46	45	30	46	41	24	39	20	22	373
こころの健康相談	0	0	0	14	6	8	10	11	10	8	12	8	87
健康診断書発行	5	21	5	0	0	0	0	0	0	0	22	17	70
キャンパスソーシャル・ケースワーカー関係	0	0	2	3	0	0	5	1	1	5	1	2	20
学生教育研究災害傷害保険関係	4	0	3	9	8	5	9	4	2	1	1	0	46
合計	19	29	52	72	59	43	70	57	37	53	56	49	596

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

利用内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	相談のみ(助言・指導)	7	7	40	45	42	17	40	35	22	37	18	20	330
	外傷処置	2	0	1	1	1	7	2	1	1	0	1	0	17
	検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	休養ベッド使用	0	0	0	0	0	3	1	2	0	2	0	0	8
	保健用器具貸し出し	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	医療機関紹介	1	0	0	0	2	2	3	2	1	0	1	0	12
	救急転送	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
こころの健康相談	医師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カウンセラー	0	0	0	14	6	8	10	11	10	8	12	8	87
合計		10	8	42	60	51	38	56	52	34	47	32	30	460

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

令和2年度 昭和地区・学生健康相談室利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科	0	0	1	5	27	6	7	7	5	0	4	3	65
保健学科	0	0	0	3	5	3	6	24	4	2	3	3	53
大学院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
学生合計	0	0	1	9	32	9	13	31	9	2	8	6	114
教職員	0	0	1	1	0	2	1	1	0	1	0	0	7
合計	0	0	2	10	32	11	14	32	9	3	8	6	121

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
外傷処置	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	4
ベット休養	0	0	1	1	0	3	1	1	0	0	1	1	9
予防接種相談	0	0	0	9	32	7	6	30	5	2	4	4	99
医療機関紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	10	32	10	8	31	5	3	5	7	113

1. 「予防接種・感染症検査証明書」業務

新入生（医学部1年、編入生：計289名）については例年、入学前に医療機関を受診し、「予防接種・感染症検査結果証明書」を記入してもらい、入学時に回収している。項目はB型肝炎、結核、麻疹、風疹、水痘、ムンプスの6項目である。B型肝炎、結核は検査結果、麻疹、風疹、水痘、ムンプスの4種の感染症については予防接種歴を提出し、必要に応じて追加ワクチン接種、抗体価検査を行うことになっている。受診方法や検査・ワクチン接種についての相談を受けたり、提出書類の不備等がある学生に対して、検査、ワクチン接種がスムーズに受けられるよう指導していた。しかしながら、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス流行とその後の緊急事態宣言による措置のため、積極的な検査・ワクチン接種のための受診が勧められず、提出がスムーズに進まなかった。そのため、連絡・提出方法等を検討し、基本的にメール・電話での相談とし、オンラインシステム（moodle）を利用し、確認作業を進めていった。最終的に証明書は郵送で受け付けた。年度内に提出できなかった学生については、令和3年度に持ち越しとなっている。

2. ワクチン接種業務

学生に対するB型肝炎ワクチン接種については、これまで集団接種で行ってきた。新型コロナウイルス流行により、三密を避ける必要が生じ、集団で行うワクチン接種はできないため、令和2年度は実施されなかった。

3. その他の業務

月	内 容
4～3月	新入生「予防接種・感染症検査結果証明書」に関する相談業務 証明書内容確認、データ整理作業

資料 5-16

令和2年度 キャンパス・ソーシャルケースワーカー業務について

学生が修学から離脱することを防止し、円滑な学生生活がおこなえるようにすることを目的とし、臨床心理士の資格を有するキャンパスソーシャルケースワーカーを配置した。教職員からの依頼に応じて、健康支援総合センターの医師や保護者とも連携して業務を行っている。

実施キャンパス	学 部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧・昭和地区	教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会情報学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学部	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	5
桐生地区	教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会情報学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工学部	0	0	0	1	1	0	3	1	0	2	1	1	10
合 計		0	0	0	1	1	0	5	1	0	5	1	1	15

※対象学生の例

- ①欠席調査結果における面接対象者であり、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ②欠席調査結果における面接対象者ではないが、教職員からの頻繁な連絡にも関わらず連絡が不能である状態
- ③無届けで長期に授業等を欠席している状態

※業務内容の例

- ①当該学生に対しメール及び電話、郵送などにより、担当教官等に連絡を取るよう促すこと
- ②当該学生に対し、大学での支援体制(障害学生サポートルーム、学習支援、キャリアサポートなど)を説明し、利用を勧める
- ③メンタルヘルスに問題を抱えている可能性がある学生に対しては、健康支援総合センターの受診を促す

6 教育改革推進室

教育改革推進室は平成28年度概算要求「地域と連携した教育体制の整備と展開」が予算措置されたことを受け、平成28年7月に、大学教育・学生支援機構の教育基盤センター及び教育企画室の改編とともに設置された。大学教育に関する、(1)教育実施体制及び教育方法、(2)地域と連携した教育、(3)社会ニーズを踏まえた教育プログラム、(4)アクティブ・ラーニングに関する企画立案を行うことが業務となっている。

6.1 教育課程・学習成果に関する取り組み

各講義、演習等が学位授与の方針であるディプロマ・ポリシー、教育課程編成・実施の方針であるカリキュラム・ポリシーと整合するように、かつ、学生が主体的に学ぶことができるようにシラバスを引き続き進めている。それと並行して、カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップの点検を実施している。そのうえで、学生が評価の観点毎に到達基準を把握できるルーブリックの導入を進めている。また、ポートフォリオシステムによって、学生が振り返りを通して学修目標を自覚し自学自習できるようにしている。

各教員の講義、演習等に関する授業コンサルテーションを随時受け付けている。特に、オンライン授業の効果的な方法、LMS (Learning Management System：学習管理システム)の一つであるMoodleの利用、アクティブ・ラーニングの推進についての相談活動を実施している。

また、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大防止のため、「オンライン授業実施推進チーム」の一員として全学的にオンライン授業 (Zoomを利用した授業) を導入した。オンライン授業に関する学生の意見についてはアンケート調査と学生座談会において聴取した。

6.2 内部質保証に関する取り組み

教育活動に関する適切な根拠 (資料、情報) を収集するために、インスティテューショナル・リサーチ (IR) を実施している。入学から卒業までの学生のGPA推移の分析、入試区分とGPAとの関係についての分析、講義毎の成績評価分布の分析、履修パターンの分析等を行っている。また、分析結果の一部をIRレターとして全学へ配布している。

学習成果を把握する一環として、群馬大学全学卒業時アンケート調査 (学部対象)、群馬大学全学修了時アンケート調査 (大学院対象) を毎年実施している。さらに、本年度から群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査 (学部対象) を開始した。最終学年を除く学部生全員を対象として1年間の学習についてのリフレクションを求めるものである。なお、3年に1度実施することになっている群馬大学卒業生・修了生就職先機関アンケート調査については、令和3年度に行う予定である。

また、教育研究活動を推進、点検・評価する各学部・研究科等の組織—医学部医学科カリキュラム評価委員会、医学部IR室会議、数理データ科学教育研究センター運営会議／数理データ科学教育研究センター meeting、学生生活実態調査実施WG、教養教育改革WG、ぐんま未来学WG、教育改革英語WG、大学教育センター学部教務委員会、大学教育センター大学院教務委員会、大学教育センター学部教務委員会教養教育部会—において、教育のPDCAサイクルを機能させる取り組みについての専門的助言を実施している。

6.3 その他の取り組み

6.3.1 ベストティーチャー賞

ベストティーチャー賞は、教育実践に顕著な成果を挙げた教員に対して、その功績を表彰するとともに、受賞者による公開模擬授業を通して、本学の教員の意欲向上及び大学教育の活性化を図ることを目的として、平成18年度から実施している。なお、書面審査の補助資料として模擬授業動画を活用している。

最終的には、各学部等から推薦された候補者から、審査委員会による書面審査により学長賞及び優秀賞を選出した。

学長賞受賞者による公開模擬授業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、オンライン（Moodle）により実施した。

6.3.2 第12回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」

平成21年度から実施している全学FD連続講演会を引き続き開催した。本年度は副題を「後期に向けたオンライン授業改善のために」として、共同教育学部、社会情報学部、医学系研究科、保健学研究科、理工学府、大学教育・学生支援機構（教養教育：英語）、共同教育学部（教養教育：実技）のそれぞれにおける取り組みについて講演をいただいた。

6.3.3 教員を対象とした英語授業のための研修

英語による授業展開を推進するため、外部専門企業による研修会（2日間）を、オンラインで2回開催し16名が受講した。参加者のアンケートから概ね好評な結果が得られた。

6.4 教育改革推進室資料集

資料6-1：群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート2020学部生集計表

資料6-2：群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート2020大学院生集計表

資料6-3：学生座談会の記録

資料6-4：教学IRレター vol. 3

資料6-5：群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表

資料6-6：群馬大学全学修了時アンケート調査集計表

資料6-7：群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査集計表

資料6-8：第12回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内

Q08 Zoomを利用した授業に満足していますか(医学科におけるG-learningを含みます)。
 n 満足している どちらかと どちらかと 不満である
 いえば満足 いえば不満

	1年生	2年生以上	合計	7	28.6%	71.4%	0.0%
社会情報学部	1年生	2年生以上	合計	7	28.6%	71.4%	0.0%
医学部医学科	1年生	2年生以上	合計	29	27.6%	41.4%	17.2%
医学部保健学科	1年生	2年生以上	合計	20	20.0%	60.0%	20.0%
理工学部	1年生	2年生以上	合計	99	14.1%	59.6%	19.2%
合計	1年生	2年生以上	合計	154	11.0%	55.8%	27.3%
	1年生	2年生以上	合計	99	14.1%	59.6%	19.2%
	1年生	2年生以上	合計	133	14.3%	49.6%	29.3%
	1年生	2年生以上	合計	232	14.2%	53.9%	25.0%

Q09 Q08で回答した内容の理由をご記入ください。
 別紙pp.1-8 参照

Q10 Moodleを利用した授業に満足していますか。どちらかと どちらかと 不満である 利用していない
 n 満足している いえば満足 いえば不満

	1年生	2年生以上	合計	7	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%
社会情報学部	1年生	2年生以上	合計	7	28.6% <th>57.1%</th> <th>14.3%</th> <th>0.0%</th>	57.1%	14.3%	0.0%
医学部医学科	1年生	2年生以上	合計	29	27.6%	44.8%	13.8%	4.5%
医学部保健学科	1年生	2年生以上	合計	20	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
理工学部	1年生	2年生以上	合計	99	27.3%	45.5%	18.2%	0.0%
合計	1年生	2年生以上	合計	154	28.6%	55.8%	27.3%	4.5%
	1年生	2年生以上	合計	99	28.3%	54.5%	9.1%	3.0%
	1年生	2年生以上	合計	133	28.6%	51.9%	11.3%	6.8%
	1年生	2年生以上	合計	232	28.4%	53.0%	10.3%	2.2%

Q11 Q10で回答した内容の理由をご記入ください。
 別紙pp.8-13 参照

Q12 教員に対して質問する機会について満足していますか。どちらかと どちらかと 不満である
 n 満足している いえば満足 いえば不満

	1年生	2年生以上	合計	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
社会情報学部	1年生	2年生以上	合計	7	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
医学部医学科	1年生	2年生以上	合計	29	37.9%	55.2%	6.9%	0.0%
医学部保健学科	1年生	2年生以上	合計	20	40.0%	35.0%	25.0%	0.0%
理工学部	1年生	2年生以上	合計	99	31.0%	55.2%	10.3%	3.4%
合計	1年生	2年生以上	合計	154	37.0%	46.1%	14.9%	1.9%
	1年生	2年生以上	合計	99	31.3%	47.5%	16.2%	3.0%
	1年生	2年生以上	合計	133	40.6%	47.4%	11.3%	0.8%
	1年生	2年生以上	合計	232	36.6%	47.4%	14.2%	1.7%

Q13 Q12で回答した内容の理由をご記入ください。
 別紙pp.13-18 参照

Q14 群馬大学の学生同士で学習について相識する機会はありませんか。(対面、非対面(SNSなど)を問いません)
 n 十分にあつた あつた あまりなかつた

	1年生	2年生以上	合計	7	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%
社会情報学部	1年生	2年生以上	合計	7	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%
医学部医学科	1年生	2年生以上	合計	29	20.7%	27.6%	34.5%	17.2%
医学部保健学科	1年生	2年生以上	合計	20	15.0%	20.0%	40.0%	25.0%
理工学部	1年生	2年生以上	合計	99	13.1%	30.3%	40.4%	16.2%
合計	1年生	2年生以上	合計	133	24.1%	32.3%	30.1%	13.5%
	1年生	2年生以上	合計	232	19.4%	31.5%	34.5%	14.7%

Q15 Q14で回答した内容の理由をご記入ください。
 別紙pp.18-23 参照

Q16 群馬大学における友だち付き合いに満足していますか。どちらかと、どちらかと、不満である
 n 満足している どちらかと 不満である
 いえば満足 います います

社会情報学部	1年生	7	0.0%	14.3%	71.4%
	2年生以上	22	13.6%	45.5%	18.2%
	合計	29	10.3%	20.7%	31.0%
医学部医学科	1年生	10	0.0%	20.0%	40.0%
	2年生以上	10	10.0%	40.0%	20.0%
	合計	20	5.0%	30.0%	30.0%
医学部保健学科	1年生	18	11.1%	5.6%	38.9%
	2年生以上	11	18.2%	45.5%	27.3%
	合計	29	13.8%	20.7%	31.0%
理工学部	1年生	64	6.3%	15.6%	39.1%
	2年生以上	90	24.4%	36.7%	25.6%
	合計	154	16.9%	27.9%	24.0%
	合計	99	6.1%	14.1%	37.4%
	2年生以上	133	21.1%	35.3%	14.3%
	合計	232	14.7%	26.3%	32.8%

Q17 Q16で回答した内容の理由をご記入ください。

別紙pp.23-27 参照

Q18 オンライン授業全般で不安に思っていること、困っていることはありませんか。自由にご記入ください。

別紙pp.27-32 参照

Q19 オンライン授業全般に対して要望はありますか。自由にご記入ください。

別紙pp.32-37 参照

Q20 どのような授業形態がもっとも良いと考えますか。現時点でのお考えとして近いものを選んでください。★

n 業がオンラインのみで行われる授業と、業が対面で行われる授業との割合が、業の両方が行われる授業を選択できる

社会情報学部	1年生	7	42.9%	14.3%	0.0%
	2年生以上	22	40.9%	31.8%	13.6%
	合計	29	41.4%	34.5%	13.8%
医学部医学科	1年生	10	30.0%	70.0%	0.0%
	2年生以上	10	30.0%	30.0%	10.0%
	合計	20	30.0%	50.0%	5.0%
医学部保健学科	1年生	18	16.7%	50.0%	11.1%
	2年生以上	11	27.3%	27.3%	18.2%
	合計	29	20.7%	41.4%	17.2%
理工学部	1年生	64	26.6%	42.2%	15.6%
	2年生以上	90	35.6%	28.9%	22.2%
	合計	154	31.8%	34.4%	19.5%
共同教育学部・教	1年生	18	27.8%	44.4%	16.7%
	2年生以上	5	6.0%	20.0%	11.1%
	合計	23	21.7%	39.1%	13.0%
	合計	117	26.5%	46.2%	13.7%
	2年生以上	133	34.1%	29.0%	23.2%
	合計	232	30.6%	36.9%	18.8%

Q21 Q20で回答した内容の理由をご記入ください。

別紙pp.37-45 参照

Q22 新型コロナウイルスへの感染防止のために日常的に行っていることはありますか。(複数回答)★

n 外出時には必ずマスクを着用している、食事前や帰宅時に手洗いをしている、人と会話をする際は2メートル以上の距離を確保している、その他

社会情報学部	1年生	7	100.0%	71.4%	0.0%	42.9%	100.0%	0.0%
	2年生以上	23	95.7%	69.6%	8.7%	8.7%	52.2%	8.7%
	合計	30	96.7%	70.0%	6.7%	16.7%	63.3%	6.7%
医学部医学科	1年生	10	100.0%	80.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
	2年生以上	10	100.0%	90.0%	80.0%	10.0%	70.0%	0.0%
	合計	20	100.0%	85.0%	75.0%	25.0%	65.0%	0.0%
医学部保健学科	1年生	18	94.4%	81.8%	94.4%	16.7%	66.7%	0.0%
	2年生以上	11	100.0%	89.7%	48.3%	27.6%	63.6%	0.0%
	合計	29	96.6%	89.7%	48.3%	27.6%	65.5%	0.0%
理工学部	1年生	64	96.9%	75.0%	20.3%	15.6%	57.8%	4.7%
	2年生以上	90	85.6%	78.9%	13.3%	18.9%	68.9%	4.4%
	合計	154	96.1%	77.3%	16.2%	17.5%	64.3%	4.5%
共同教育学部・教	1年生	18	100.0%	83.3%	61.1%	22.2%	83.3%	5.6%
	2年生以上	5	100.0%	80.0%	60.0%	20.0%	80.0%	0.0%
	合計	23	100.0%	82.6%	60.9%	21.7%	82.6%	4.3%
	合計	117	97.4%	79.5%	33.3%	20.5%	65.8%	3.4%
	2年生以上	139	96.4%	78.4%	22.3%	18.7%	66.2%	4.3%
	合計	256	96.9%	78.9%	27.3%	19.5%	66.0%	3.9%

その他 「アルコール消毒の準備」、「家から出ない」、「アルコール消費」、「手の消毒をこまめに」、「スプレータイプのアルコール消毒が設置されている」、「入店時退店時の計2回必ず消毒する」、「屋外に出るときは必ずアルコールティッシュを持ち歩き、外食などときはテーブルやレジなど手の触れそうなところをそれで拭いている」、「外に持ち出した物のアルコール消毒」、「接触確認アプリをインストールしている」、「消毒液が設置されている場所ではなるべく手を消毒する」、「買ってきたものは消毒している」

Q23 大学に求めている交通手段を利用しますか(利用する予定ですか)。

n 公共交通機関 自転車 徒歩 その他

社会情報学部	1年生	7	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%
	2年生以上	22	0.0%	54.5%	22.7%	22.7%	0.0%
	合計	29	3.4%	44.8%	27.6%	24.1%	0.0%
医学部医学科	1年生	10	10.0%	10.0%	70.0%	10.0%	0.0%
	2年生以上	10	20.0%	10.0%	50.0%	20.0%	0.0%
	合計	20	15.0%	10.0%	60.0%	15.0%	0.0%
医学部保健学科	1年生	18	38.9%	11.1%	44.4%	5.6%	0.0%
	2年生以上	11	9.1%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%
	合計	29	27.6%	13.8%	51.7%	6.9%	0.0%
理工学部	1年生	64	28.1%	17.2%	25.0%	26.6%	3.1%
	2年生以上	90	14.4%	33.3%	23.3%	27.8%	1.1%
	合計	154	20.1%	26.6%	24.0%	27.3%	1.9%
	合計	99	27.3%	15.2%	34.3%	21.2%	2.0%
	2年生以上	133	12.0%	33.8%	28.6%	24.8%	0.8%
	合計	232	18.5%	25.9%	31.0%	23.3%	1.3%

その他 「公共交通機関と徒歩」、「親の送迎」、「晴れた場合、自転車、雨の場合は徒歩」

Q26 学部1年生のみにおたずねします。高校3年生の1学期、平日の自宅での学習時間は1日あたりおおよそどれくらいでしたか。★

学部	n	0時間以上		1.5時間以上		3時間以上		4.5時間以上		6時間以上	
		1.5時間未満	上3時間未満	上3時間未満	上4.5時間未満	上4.5時間未満	上6時間未満				
社会情報学部	7	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	22	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	29	31.0%	27.6%	17.2%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理学部	10	10.0%	10.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	10	0.0%	20.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	20	5.0%	15.0%	30.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	18	0.0%	27.8%	33.3%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	29	0.0%	27.3%	31.0%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学部	64	7.8%	29.7%	20.3%	31.0%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	90	7.8%	29.7%	20.3%	31.0%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	154	5.6%	27.8%	33.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	18	5.6%	27.8%	33.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	23	8.7%	26.1%	39.1%	20.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q27 2020年3月以前と比べて、気分が落ち込むことは増えましたか。★

学部	n	とても増えた		ある程度増えた		あまり増えなかった		まったく増えなかった	
		増えなかった	増えなかった	増えなかった	増えなかった	増えなかった	増えなかった		
社会情報学部	7	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	22	31.8%	18.2%	27.3%	22.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	29	27.6%	27.6%	27.6%	17.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学部	10	10.0%	40.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	9	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	19	15.8%	42.1%	26.3%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	18	11.1%	27.8%	38.9%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	11	54.5%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学部	29	27.6%	24.1%	34.5%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	64	25.0%	35.9%	29.7%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	90	21.1%	36.7%	26.7%	15.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	154	22.2%	36.4%	27.9%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	18	22.2%	27.8%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	5	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	23	21.7%	34.8%	30.4%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	117	20.5%	35.0%	31.6%	12.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	137	25.5%	33.6%	26.3%	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	254	23.2%	34.3%	28.7%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q24 今年7月の1ヶ月間のことについておたずねします。授業時間以外の学習時間(主として提出課題などの作成や、授業の予習・復習など)の合計は1週間あたりおおよそどれくらいでしたか。★

学部	n	0時間以上		10時間未満		20時間未満		30時間未満		40時間未満		50時間未満		60時間以上	
		10時間未満	20時間未満	20時間未満	30時間未満	30時間未満	40時間未満	40時間未満	50時間未満	50時間未満	60時間未満	60時間以上			
社会情報学部	7	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部医学科	22	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部保健学科	29	31.0%	27.6%	17.2%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
理学部	10	10.0%	10.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
共同教育学部・教	10	0.0%	20.0%	50.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	20	5.0%	15.0%	30.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部医学科	18	0.0%	27.8%	33.3%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部保健学科	29	0.0%	27.3%	31.0%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
理工学部	64	7.8%	29.7%	20.3%	31.0%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
共同教育学部・教	90	7.8%	29.7%	20.3%	31.0%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	154	5.6%	27.8%	33.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部医学科	18	5.6%	27.8%	33.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
共同教育学部・教	5	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	23	8.7%	26.1%	39.1%	20.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
社会情報学部	117	6.8%	27.4%	32.5%	23.1%	6.8%	0.9%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
医学部医学科	138	11.6%	25.4%	21.7%	7.2%	3.6%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	255	9.4%	26.3%	28.6%	7.1%	2.4%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

Q25 今年7月の1ヶ月間のことについておたずねします。授業時間以外の学習(主として提出課題などの作成や、授業の予習・復習など)を負担だと感じましたか。★

学部	n	とても感じました		ある程度感じました		あまり感じなかった		まったく感じなかった	
		感じなかった	感じなかった	感じなかった	感じなかった	感じなかった	感じなかった		
社会情報学部	7	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	22	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	29	24.1%	48.3%	27.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理学部	10	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	10	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	20	40.0%	40.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	18	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部保健学科	11	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工学部	29	41.4%	51.7%	6.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	62	45.2%	46.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	90	42.2%	46.7%	10.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	152	43.4%	46.7%	8.6%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
共同教育学部・教	18	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	5	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	23	52.2%	39.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会情報学部	115	47.8%	45.2%	6.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
医学部医学科	138	36.2%	47.1%	14.5%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	253	46.2%	46.2%	10.7%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q28 2020年9月以前に比べてたとき、睡眠の問題(例:昼寝逆転、睡眠不足)は増えましたか。★

n	とも増え		ある程度増えた		あまり増え		まったく増え		まったく増え	
	た	た	えた	えた	ていない	ていない	まってい	まってい	まってい	まってい
社会情報学部	1年生	22	14.3%	40.9%	14.3%	57.1%	57.1%	31.8%	13.6%	14.3%
	2年生以上	7	13.6%	40.9%	13.6%	31.8%	31.8%	13.6%	13.6%	13.6%
	合計	29	13.8%	34.5%	13.8%	37.9%	37.9%	13.8%	13.8%	13.8%
医学部医学科	1年生	10	10.0%	20.0%	10.0%	30.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	2年生以上	10	20.0%	10.0%	20.0%	50.0%	50.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	合計	20	15.0%	15.0%	30.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
医学部保健学科	1年生	18	22.2%	11.1%	44.4%	18.2%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%
	2年生以上	11	18.2%	27.3%	36.4%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%
	合計	29	20.7%	17.2%	41.4%	20.7%	17.2%	17.2%	17.2%	17.2%
理工学部	1年生	64	23.4%	31.3%	28.1%	17.2%	28.1%	28.1%	28.1%	28.1%
	2年生以上	89	22.9%	28.1%	29.2%	20.2%	20.2%	20.2%	20.2%	20.2%
	合計	153	22.9%	29.4%	28.8%	19.0%	19.0%	19.0%	19.0%	19.0%
共同教育学部・教	1年生	18	11.1%	27.8%	50.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
	2年生以上	5	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	合計	23	13.0%	26.1%	47.8%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%
	合計	117	19.7%	25.6%	34.2%	20.5%	20.5%	20.5%	20.5%	20.5%
	2年生以上	137	20.4%	28.5%	27.0%	24.1%	24.1%	24.1%	24.1%	24.1%
	合計	254	20.1%	27.2%	30.3%	22.4%	22.4%	22.4%	22.4%	22.4%

Q29 気分落ち込みや睡眠の問題などが生じたときに相談する人はいましたか。★

n	相談できる人がいた		相談できる人はいなかった		相談する必要はなかった	
	相談できた	相談できなかった	相談できた	相談できなかった	相談する必要はなかった	相談する必要はなかった
社会情報学部	1年生	7	14.3%	42.9%	42.9%	42.9%
	2年生以上	22	54.5%	9.1%	36.4%	36.4%
	合計	29	44.8%	17.2%	37.9%	37.9%
医学部医学科	1年生	10	30.0%	20.0%	50.0%	50.0%
	2年生以上	10	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	合計	20	40.0%	10.0%	50.0%	50.0%
医学部保健学科	1年生	18	61.1%	11.1%	27.8%	27.8%
	2年生以上	11	63.6%	18.2%	18.2%	18.2%
	合計	29	62.1%	13.8%	24.1%	24.1%
理工学部	1年生	64	32.8%	21.9%	45.3%	45.3%
	2年生以上	90	37.8%	18.9%	43.3%	43.3%
	合計	154	35.7%	20.1%	44.2%	44.2%
共同教育学部・教	1年生	18	38.9%	16.7%	44.4%	44.4%
	2年生以上	5	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	合計	23	39.1%	26.1%	34.8%	34.8%
	合計	117	36.8%	20.5%	42.7%	42.7%
	2年生以上	138	43.5%	17.4%	39.1%	39.1%
	合計	255	40.4%	18.8%	40.8%	40.8%

Q30 2020年度後期以降の休学や退学を考えていますか。もっとも近いものを選んでください。★

n	休学や退学を考えている		休学や退学を考えていない	
	休学や退学を考えている	休学や退学を考えていない	休学や退学を考えている	休学や退学を考えていない
社会情報学部	1年生	7	0.0%	100.0%
	2年生以上	22	0.0%	9.1%
	合計	29	0.0%	6.9%
医学部医学科	1年生	10	0.0%	10.0%
	2年生以上	10	0.0%	90.0%
	合計	20	0.0%	10.0%
医学部保健学科	1年生	18	0.0%	0.0%
	2年生以上	11	0.0%	9.1%
	合計	29	0.0%	3.4%
理工学部	1年生	64	0.0%	9.4%
	2年生以上	90	2.2%	4.4%
	合計	154	1.3%	6.5%
共同教育学部・教	1年生	18	0.0%	0.0%
	2年生以上	5	0.0%	0.0%
	合計	23	0.0%	0.0%
	合計	117	0.0%	6.0%
	2年生以上	138	1.4%	5.8%
	合計	255	0.8%	5.9%

Q31 あなたの経済状況に変化はありましたか。★

n	かなり悪化した		ある程度悪化した		あまり悪化はなかった	
	かなり悪化した	ある程度悪化した	あまり悪化はなかった	悪化はなかった	悪化はなかった	悪化はなかった
社会情報学部	1年生	7	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
	2年生以上	22	13.6%	27.3%	59.1%	0.0%
	合計	29	10.3%	24.1%	65.5%	0.0%
医学部医学科	1年生	10	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%
	2年生以上	10	10.0%	30.0%	60.0%	0.0%
	合計	20	5.0%	20.0%	75.0%	0.0%
医学部保健学科	1年生	17	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%
	2年生以上	11	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%
	合計	28	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%
理工学部	1年生	64	4.7%	25.0%	67.2%	3.1%
	2年生以上	90	6.7%	24.4%	62.2%	6.7%
	合計	154	5.8%	24.7%	64.3%	5.2%
共同教育学部・教	1年生	18	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%
	2年生以上	5	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
	合計	23	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%
	合計	116	2.6%	20.7%	73.3%	3.4%
	2年生以上	138	8.7%	27.5%	59.4%	4.3%
	合計	254	5.9%	24.4%	65.7%	3.9%

Q32 Q31で「かなり悪化した」または「ある程度悪化した」を選んだ方におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答)★

	n	アルバイトが 減ったり減った できなかったり たりした	仕送りが 減ったり減った できなかったり たりした	通信料が増 えた	その他
社会情報学部	7	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%
1年生	23	26.1%	4.3%	4.3%	8.7%
2年生以上	30	23.3%	3.3%	6.7%	6.7%
合計	30	23.3%	3.3%	6.7%	6.7%
医学部医学科	10	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
1年生	10	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%
2年生以上	20	20.0%	5.0%	5.0%	5.0%
合計	20	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%
医学部保健学科	11	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
1年生	29	41.4%	10.3%	13.8%	0.0%
2年生以上	64	18.8%	6.3%	4.7%	4.7%
合計	90	26.7%	4.4%	4.4%	5.6%
理工学部	154	23.4%	5.2%	5.2%	5.2%
1年生	18	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%
2年生以上	5	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
合計	23	13.0%	0.0%	4.3%	4.3%
共同教育学部・教	117	16.2%	5.1%	6.8%	3.4%
1年生	139	30.9%	5.0%	5.8%	5.8%
2年生以上	256	24.2%	5.1%	6.3%	4.7%
合計	256	24.2%	5.1%	6.3%	4.7%

その他

「家にいる時間が増えたので電気が増えた」、「大学にいない分光熱費があがった」、「アパートにいる時間が長いの光熱費が上がった。」、「お金を貰えなくなっただ」、「バイト先が閉店したため、変わったから。」、「家にいることが増えたため、公金支出が増えた」、「交通費が減った」、「交通費が増えた」、「光熱費やオンラインにかかると費用は増えたのに対して、仕送りやアルバイト代は増えず、また群馬大学の補助金などもあるが親の収入は変わらないため受けることができないから。」、「今まで実家暮らしで不自由はしていなかったから」、「実家とアパートの二重生活となり、交通費、光熱費がかさむ。」、「不景気のため。」

Q33 学部3年生、4年生におたずねします。Zoomを利用した就職相談(キャリアカウンセリング)に満足していますか。★

	n	満足している	どちらかと いえる満足 している	どちらかと いえる不満 である	不満である 利用してい ない
社会情報学部	16	0.0%	12.5%	25.0%	63.3%
医学部医学科	5	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医学部保健学科	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
理工学部	48	2.1%	12.5%	0.0%	81.3%
共同教育学部・教育学部	1	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	72	1.4%	11.1%	5.6%	77.8%

Q34 Q33で回答した内容の理由をご記入ください。★

別紙pp.45-46 参照

Q35 学部3年生、4年生におたずねします。勤労配値による就職ガイダンスに満足していますか。★

	n	満足している	どちらかと いえる満足 している	どちらかと いえる不満 である	不満である 利用してい ない
社会情報学部	16	12.5%	18.8%	43.8%	18.8%
医学部医学科	5	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医学部保健学科	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
理工学部	48	10.4%	10.4%	8.3%	64.6%
共同教育学部・教育学部	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
合計	72	9.7%	12.5%	15.3%	55.6%

群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート2020大学院生集計表

群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート2020 大学院生集計表
 【実施時期】2020年9月7日(月)～9月18日(金) 【実施方法】グループフォーム
 (教育学研究科等については一部の設問のみ(★印)を回答対象としている。)

【回収数】21

Q01 あなたが所属している学部・研究科はどこですか。

省略

Q02 あなたは何年生ですか。

省略

Q03 オンライン授業を受講した場所はどこですか。(複数回答)

	家族などと一緒に暮らす自宅(群馬県内)	家族などと一緒に暮らす自宅(群馬県以外)	一人暮らし	その他
社会情報学研究科	0	0	1	0
医学系研究科医科学専攻	1	0	0	1
医学系研究科生命科学専攻	0	0	2	0
保健学研究科	2	1	1	1
理工学府	2	3	5	1
合計	5	4	9	3

その他 「職場」、「職場」、「受講していない」

Q04 オンライン授業を受講するために利用したIT機器は何ですか。(複数回答)

	自宅(カマ)	共有のパソコン(カマ)	共有のパソコン(カマ)	家族など共有のパソコン(カマ)	その他
社会情報学研究科	1	0	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	1	0	1
医学系研究科生命科学専攻	2	0	0	0	0
保健学研究科	3	1	1	0	0
理工学府	7	2	0	3	0
合計	13	3	1	6	2

その他 「職場の共有パソコン(カマなし)」、「受講していない」

Q05 実家・自宅でオンライン授業を受講した場合の主な通信環境はどれですか。

	通信量に上限がある回線	通信量に上限がない回線	大学から借りたPCや回線(光回線)	ルーター	その他
社会情報学研究科	0	1	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	1	0	0	0	0
医学系研究科生命科学専攻	0	1	0	0	1
保健学研究科	2	1	0	0	0
理工学府	0	10	0	0	0
合計	3	13	0	0	1

Q06 Q05で「通信量に上限がある回線」を選んだ方におたずねします。通信量の上限はどれくらいですか。(記入例:1ヶ月10GB)

自由記述 「1か月12GB」、「1か月7GB」、「3日で10GB」

Q07 今年7月の1ヶ月間のことにおたずねします。オンライン授業中、通信が途切れたため授業内容を理解できないことはどれくらいありましたか。もっとも近いものを選んでください。

	まったくなかった	1～10回程	11～20回程	21回以上
社会情報学研究科	0	1	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	1	0	0
医学系研究科生命科学専攻	0	2	0	0
保健学研究科	0	3	0	0
理工学府	6	3	0	0
合計	6	10	0	0

Q08 Zoomを利用した授業に満足していますか(医学科におけるQ-learningを含みます)。

	満足している	どちらかとはいえ満足している	どちらかといえは不満	不満である
社会情報学研究科	0	1	0	0
医学系研究科医科学専攻	1	0	0	0
医学系研究科生命科学専攻	1	1	0	0
保健学研究科	0	2	1	0
理工学府	2	5	0	2
合計	4	9	1	2

Q09 Q08で回答した内容の理由をご記入ください。

別紙pp.47-48 参照

	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは不満である	利用していない
社会情報学研究科	1	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	1	0	0
医学系研究科生命科学専攻	0	0	0	1
保健学研究科	3	5	0	2
理工学府	4	7	2	4

Q10 Moodleを利用した授業に満足していますか。

別紙p.48 参照

	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは不満である	不満である
社会情報学研究科	1	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	1	0
医学系研究科生命科学専攻	1	1	0	0
保健学研究科	0	1	2	0
理工学府	6	4	2	1
合計	6	4	4	5

Q11 Q10で回答した内容の理由をご記入ください。

別紙p.48 参照

Q12 教員に対して質問する機会について満足していますか。

	満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは不満である	不満である
社会情報学研究科	1	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	1	0
医学系研究科生命科学専攻	1	1	0	0
保健学研究科	0	1	2	0
理工学府	6	4	2	1
合計	6	4	4	5

Q28 2020年9月以前と比べたとき、睡眠の問題(例:昼夜逆転、睡眠不足)は増えましたか。★

	とも増え た	ある程度増 えた	あまり増え ていない	まったく増 えていない
社会情報学研究科	0	0	0	1
医学系研究科医科学専攻	0	0	0	1
医学系研究科生命科学専攻	1	1	0	0
保健学研究科	2	1	0	0
理工学府	1	3	2	4
教育学研究科	0	2	0	1
特別支援教育特別専攻科	0	0	1	0
合計	4	7	3	7

Q29 気分落ち込みや睡眠の問題などが生じたときに相談する人はいましたか。★

	相談できる 人がいた	相談できる 人はいな かった	相談する必 要はなかっ た
社会情報学研究科	0	0	1
医学系研究科医科学専攻	1	0	0
医学系研究科生命科学専攻	1	1	0
保健学研究科	3	0	0
理工学府	1	1	8
教育学研究科	2	1	0
特別支援教育特別専攻科	1	0	0
合計	9	3	9

Q30 2020年度後期以降の休学や退学を考慮していますか。もっとも近いものを選んでください。★

	休学するこ とを考慮す ている	退学するこ とを考慮す ている	休学または 退学するか は考えてい ない
社会情報学研究科	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	1
医学系研究科生命科学専攻	0	0	2
保健学研究科	0	0	1
理工学府	0	0	2
教育学研究科	0	0	3
特別支援教育特別専攻科	0	0	0
合計	0	0	18

Q31 あなたの経済状況に変化はありましたか。★

	かなり悪化 した	ある程度悪 化した	あまり変化 はなかった	良くなった
社会情報学研究科	0	1	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	1	0
医学系研究科生命科学専攻	0	1	1	0
保健学研究科	1	1	1	0
理工学府	2	1	7	0
教育学研究科	0	0	3	0
特別支援教育特別専攻科	0	0	1	0
合計	3	4	14	0

Q32 Q31で「かなり悪化した」または「ある程度悪化した」を選んだ方におたずねします。その理由は何ですか。(複数回答)★

	アルバイト が減ったり できなくなっ たりした	仕送りが 減った	通信料が増 えた	その他
社会情報学研究科	1	0	0	0
医学系研究科医科学専攻	0	0	0	0
医学系研究科生命科学専攻	0	0	0	1
保健学研究科	1	0	0	1
理工学府	3	0	1	0
教育学研究科	0	0	0	0
特別支援教育特別専攻科	0	0	0	0
合計	5	0	1	2

その他 「今まで働いていた病院を退職し、正社員でなくなったため。」「今年入学したため、こちらでアルバイトを探そうと思っただけで、コロナのことを考えて控えていたため、収入がQ1になっちゃった。」

Q33 学部3年生、4年生におたずねします。Zoomを利用した就職相談(キャリアアカウンセリング)に満足していますか。★
Q34 Q33で回答した内容の理由をご記入ください。★
Q35 学部3年生、4年生におたずねします。動画配信による就職ガイダンスに満足していますか。★
Q36 Q35で回答した内容の理由をご記入ください。★
(Q33～Q36は回答対象外)

資料 6-3

学生座談会の記録

実施日：2020年11月10日（火）夕方

出席者：学部1年生4名の学生と二宮祐（教育改革推進室）の5名

学生の名前は仮名で、座談会当日にアールさん、ルートさん、UMA（ユーエムエー）さん、デルタさんと決定した。

座談会の内容は外部に公開することを予め参加者全員から承諾を得ている。

1. 大学に入ってよかったこと

二宮：まず最初に、群馬大学に入ってよかったなっていうのがあれば教えていただければ幸いですよな。

アールさん：じゃあ私、話します。うまく話せるかわかんないんですけど、オンライン授業で最初やっぱ不安なことたくさんあったんですけど、授業開始日の前に、チューターの先生がZoomの練習をしてくださって、そうやって授業の始まる前から安心できるようにサポートしてくださったのは、すごくありがたかったなと思います。

二宮：それは授業ですか。

アールさん：4月の授業が開始される前に、チューターの先生から連絡がきて、授業前に使い方がわかる程度わかるようにというのも含めて、やってくださいました。

二宮：授業とは関係ないんですか。

アールさん：ほんとうに雑談というか（笑）。

二宮：そうだったんですか。

アールさん：そこで同じ学年の学生とLINEの交換もさせていただいたりして、すごく安心できたなと思いました。

二宮：LINEの交換って、具体的にどうやって交換しました？

アールさん：チューターの先生が、LINEグループとかに入れていかを聞いてくださって、学生は3人参加していたんですけど、1人は入っていて、私ともう一人は入れていなかったたので、先生に仲介してもらって、メールでLINEのバーコードを送り合って、交換して入るっていう（笑）。

二宮：（笑）、メールで。

アールさん：そうです。大学のメールを使って。

二宮：3次元バーコードを送ったんですかね。

アールさん：そうです（笑）。

二宮：（笑）、なんだか面倒です。でも、そうやるしかないのかな。

アールさん：後でカメラに映せばできるってこともわかかったんですけど（笑）。そのときは慣れていなかったんです。

二宮：それで、1年生同士でつながることができた感じですかね。

アールさん：そうです。

二宮：なるほど。安心できましたよね。

アールさん：はい。

二宮：LINEを使うことにちよっと嫌だとか、抵抗とかあったってありませんでした？

アールさん：でもやっぱオンラインだと会えないので、先生に質問するほどでもないっていうようなこととか、同級生であれは聞きやすいので、Twitterでつながるのには不安だったんですけど、LINEで先生を介しているんで、あんまり抵抗はない感じでした。

二宮：たとえはTwitterだと、もししたら不安があるかもしれませんよね。

アールさん：そうです。それで私は迷ってやらなかったんです。

二宮：ありがたうございます。ほかの方はどうでしょう？ 群大に入ってからよかったこと。

ルートさん：授業でよかったことになるとはなってますけど、授業をぜんぶ配信、リアルタイムでやってくださったっていうのが、私にとってはよかったです。

二宮：そうですね。基本的にはライブでした。

ルートさん：はい。他大ではファイル配信でお昼から受け始めたら、真夜中になってしまったとか、生活リズムが崩れてしまったということを聞きます。リアルタイムの場合、対面の授業とあまり変わらないような生活リズムで授業に参加できているのがいいなと思います。

二宮：他大に進学した知り合いに連絡していますか？

ルートさん：はい、いちおう連絡は。

二宮：オンデマンド方式や、映像がなくて紙、PDFの資料だけの講義を行う大学もあったようですね。あれども、なかなか大変そうですね。先生の顔が見えたりすると、今何しやべってるのかすごくわかりやすく、うれしいです。

二宮：それは実はお尋ねしたかったことなんですけど、先生の顔は見えたりはいいですか。

ルートさん：どうだろう。私は見えたりは好きなんですけど。ただ人数が多い授業だと、先生が顔を出した途端にカメラが止まるといった問題もあったと聞いていますので、そうであればカメラは無いほうがいいけど、大丈夫そうならば、しゃべっている口調などで、次に何をしゃべるのかとかかわりやすくなるので、カメラはあったほうが、私としては進めやすいなと思っています。

二宮：ちなみに、学生がカメラで顔を出すことについて、何かお考えとかありますか？ 嫌だとか。

ルートさん：私が履修しているある授業ではブレイクアウトルームを使うことが多くて、それは学生同士で話し合うことがメインなので、もちろんカメラがないとつらいんですけど、個人的にはあんまり顔を出したくないっていうのがあって、カメラオンが求められる授業でも結局みんな顔だけしか映してないとか。

二宮：頭だけしか映してない？

ルートさん：そう、カメラはあまり役に立ってない気がする。カメラの位置を調整して（笑）、顔がぎりぎり映らない位置にしている学生もいて。講義を聞いているだけの授業だったら、そんなに意味がないのかなって思いました。

二宮：そうすると学生の側も、カメラオンにしなさいって言われても工夫をするわけですね。

ルートさん：（笑）、人によってはって感じですか（笑）。

二宮：まあ工夫しますよね（笑）。

ルートさん：そういう人も、まあ。

二宮：ありがたうございます。ほかの方、どうですかね。群大に入ってよかったこと。

一同：……。

2. 大學生になった実感

二宮：特になんてですかね。では、質問を変えて、大學生になったなあっていう実感みたいな感じの持ったきっかけとか、経験とかありますか？ 大學生っぽいなって。どうでしょう？

UMAさん：大學生っぽいっていうか、自覚を持ったきっかけは、やっぱ一人暮らしが大きいかなと思います。

二宮：確かに大學生っぽいですがね。

UMAさん：そうです。

二宮：ご実家、具体的な場所は言わなくてもいいですけども、結構遠いですか。

UMAさん：そうです。速いです。

二宮：そうすると家族と離れて群馬に住むということは、高校のときはまったく違う生活になりましたよね。

二宮：教室ならば、たとえば数学の問題を解いていて、わからなければ横にいる友だちに聞けるわけですよ。だけどオンライン授業だと、それができない。ちょっとした疑問とか、質問ですよ、たぶん。

デルタさん：そうなんですよね。わざわざ聞く…。

二宮：わざわざメールで聞くようなことじゃない？

デルタさん：そうなんですよね。

二宮：そう、それなんですよね。しかも数式を使う場合、LINEで入力とかできなかつたり、デルタさん：そうですね。

二宮：確かに難しいですよ。どうすればいいですかね。授業中にちょっとした質問を受けつけるコーナーとかがあればいいですかね。

デルタさん：結構先生も、「質問ないですか？」って呼びかけたりするんですけど、やっぱりちょっとハードルがあるというか。

二宮：わかります（笑）。

デルタさん：そういうのがあるの。

デルタさん：そうですね。

二宮：先生に聞かれたら、なにか難しい質問をしなきゃいけないみたいな感じとかですかね。

デルタさん：そうですね。

二宮：こんな質問しちゃいけない、だめなことか。だから、友だち、知り合い同士で考えて解決できるような仕組みがあればいいんですかね。先生に聞くまでもない。横にいる友だちに、ちょっと聞けるようなインターフェースみたいのがあるといいですかね。

デルタさん：そうですね。

二宮：おそらく数学とか、物理とかですよ。

デルタさん：そうですね。一緒だと思います。

二宮：化学とか、自分で考えて問題を解かなければいけない。答えがあらかじめ決まっています、だけと答えただけで着けないうような感じですよ。

デルタさん：そうですね。

二宮：それはすごく重要な問題ですよ。ありがとうございます。ほかの方はどうですか。オンライン授業の問題点とか、何が困ったことがあったとか、ご自身が経験していません。人から聞いたとかでもいいです。どうでしょう？

ルートさん：一部の授業で動画を見るものがあるんですけど、スムーズに流れないときがあって、細切れみたいになって。ひどいものだと内容すらわからないときもあって、それがもつたいないないって思うのが結構あります。

二宮：カクカクしちゃうやつですよ。

ルートさん：はい。

二宮：どうすればいいのかな。ただ Zoom だとどうしても、結構カクカクしちゃうんですよ。

ルートさん：そうですね。

二宮：ぜんぜん内容がわからないっていうの、よくないですね。

ルートさん：そうですね。授業が終わったあとに自前で見られればよくわかるのにな、ちょっと思っています。

二宮：たぶん、そうですね。授業後にもう一度見ることもできるいいですよ。たとえば巻頭の問題があるんですけども、Moodleに上げるとか、著作権などの問題がない場合には YouTube に上げてもらうとかですよ。せつかくパソコンを使っているのに動画が見づらくなって、もつたいないですよ。それもどうすればいいんでしょうか。でも、ありがとうございます。

ルートさん：ありがとうございます。

4. オンライン授業の感想(2)一課題に取り組むときの難しさ

UMAさん：そうですね。

二宮：楽しいですか、一人暮らし。

UMAさん：いや、どうですかね。通常と比べて引きこもっているのか、その中で楽しんでいるのか言われれば、楽しい気はするんですけど、通常より楽しめているかと言われると、はてなっていう感じですよ。

二宮：一人暮らしをして、そのうえで友達の家に行ったり、友達が来たりするってことが、もつたくさんできればいいんじゃないかな。

UMAさん：そうですね。

二宮：もう一人暮らしには慣れました？

UMAさん：ある程度は（笑）。

二宮：ある程度？

UMAさん：はい。

二宮：一人暮らし、高校のときかららしい感じでした？

UMAさん：はい、そうですね。

二宮：よかったですね。

UMAさん：はい。

二宮：確かに一人暮らしはそうだね。すごい楽しい。大人になつた感じですよ。

UMAさん：（笑）。

二宮：ありがとうございます。ほかの方、どうですか。大学生になつたなって感じることに。アールさん：私は前期から実習の授業があったので、実習をしてレポートを書くっていう作業をしたときに、大学生になつたなっていう実感がいちばんわきました。

二宮：高校の勉強とは、同じ勉強という名前でもぜんぜん違うことをやるからですかね。

アールさん：そうですね。ただ授業を受けてレポートを書いているだけだったら、高校でもないことではなかつたんですけど、データを見たりして自分で考えるっていうのは初めてだったので、うれしかったです。

二宮：たぶんそうですね。受験勉強みたいに暗記するっていうのでもないし、データを見て、自分で頭を使って考えなきゃいけない感じですかね。

アールさん：はい。

二宮：学部学科によるけれども、実験や実習が1年生からあるところだと、それが実際にできるというですよ。

アールさん：はい。

二宮：実は今年、やはり問題になっていたのは、皆さんもご存じのとおり実験や実習をどうしようかってことだったんですよ。家でできないので。

アールさん：（笑）。

3. オンライン授業の感想(1)一授業時間中の問題

二宮：では、そろそろ次、オンライン授業についてお尋ねします。前期と、今、後期の半分ぐらいオンライン授業を受けて、こういうことが問題だ、できていない、ちょっと工夫が必要だろうっていうことがあれば、ぜひ、もうぜひぜひ教えていただければ、大学に伝えたいと思っていますので、皆さんご意見どうでしょうか。

デルタさん：これは主に理数系の授業なんですけど。

二宮：はい。

デルタさん：教室で行う授業であれば、隣に座っている学生と解答を見せ合ったりとか、わからなかつたところを質問できたりっていうことがあると思うんですけど、家でパソコンに向かって勉強しているとなかなか疑問を解消できないので、その点はオンライン授業の弱みだなと思います。

二宮：ほかの方は、どうですか。オンライン授業の問題点、何かありますか。困ったこととか、大変だったこととか。では、質問を変えますね。宿題って多かったですか。宿題というか、授業時間外やらなければいけない勉強ですね、いろいろ。たとえばそれが多かった場合に、大変だったかどうか、多くても大丈夫だったのか、そのあたりを教えてくださいなと思います。

アールさん：私はあまり多いでもないとも感じなかったです。やっぱり慣れていないっていうところがあったので、プレゼンテーションを自分で作る授業とか、レポートとかは、少し時間がかかってたので、できる範囲内の量ではあったとは思いますが。

二宮：できる範囲の量であった。

アールさん：はい。

二宮：高校のときの勉強時間と比べて、どうですか。多いですか。少ないですか。

アールさん：高校の頃は部活をやっていたので、引退するまではほとんど勉強できてなかったんです。

二宮：(笑)。

アールさん：(笑)、それに比べてたら勉強する時間はあるかなと思います。

二宮：今すごくいいポイントのお話で、パワーポイントを作るとか、レポートを作るとかって、終わりがいい感じじゃありませんか？そんなことないですか。

アールさん：あります(笑)。

二宮：どこまでやればいいのかって、わかりづらいですね。

アールさん：はい。

二宮：どれだけ時間をかければ大丈夫なのか。難しいとは思いませんでした？

アールさん：思いました。レポートはまだよかったですけど、パワーポイントをあまり作ったことがなかったで、アニメーションの機能とかあまりわからなくて(笑)。いろいろ調べても回作ったものも、ほんとうにこれでもいいのかって、やっぱり提出してから何回も不安になったりとかして、そこはちょっと困ったなと思うんですけど、実際に発表した際に「こういうふうには作ってみたらどうですか？」って先生からアドバイスをいただいたので、そういうのがあると、ちょっと助かったなと思いました。

二宮：先生のアドバイスがモデルというか、ひな型みたいな感じですかね。

アールさん：そうです。最初に説明していただいたので、とりあえずそのとおりに作ればっていう気持ちにはあったので。ただ授業によってはレポートも、提出したら出しっ放しみたいなときは、次に書くとときにどうしたらいいのかっていうのはちょっとあったので、なるべくアクションを返していたらけると、ありがたいなとは思いました。

二宮：レポートを提出しても、そのレポートが良い評価だったのか、悪い評価だったのかかわからないし、わかったとしても、何が良かったのか、何が悪かったのかっていうのが、学生には教えられていないってことですね。

アールさん：そうです。

二宮：改善のしようがないんですね。

アールさん：前回の成績が返ってきたときに、大丈夫だったんだって安心するみたいですね。

二宮：でも成績だけを見ても、レポートのどこが良かったのかかわかんないですね。

アールさん：はい。

二宮：だからフィードバックがないっていうのは、問題ですね。

アールさん：一言だけでもあると、かなり違うかなとは思いますが。

二宮：そうですね。ありがとうございませう。ほかの方、どうですか。宿題のこととか、あと今紹介があった成績評価のこととかで、ちょっと不安だったとか、困ったことかかっていうことありますか。

UMAさん：たとえばなんですけど、課題としてレポートを2枚とあっていうふうに出されたときに、どこまでが2枚なのかっていう問題があつて。

二宮：(笑)。

UMAさん：それを周りの人に聞こうにも、やっぱりオンラインなのでなかなか聞けないっていう問題があったかなと感じました。

二宮：2枚といっても、字の大きさとか、余白の取り方によって違ったりって意味ですかね。

UMAさん：そうですね。それもありません。

二宮：紙の大きさでも異なるので、戸惑いますよね。

UMAさん：そうですね(笑)。

二宮：いや、2枚ならわかるけど、どう2枚なのさっていう説明が必要なのですかね。

UMAさん：はい。

二宮：たぶん2年生になると、2枚って言われたときに、もう相手がわかるので、2枚ってこれくらいだろうなってわかるので、いちいち先生は説明しないんだけど、1年生には伝えたいな感じがいますよね。

UMAさん：そうですね。

5. オンライン授業のよい点

二宮：今度は逆にオンライン授業でよかったこと、メリットって何かありますか。オンラインだからよかったとか、オンラインだからこういうところが自分にとっては助かったみたいなことがあれば、ぜひ教えてください。

ルートさん：メリットはやっぱりオンライン授業なので、みんなが同じ条件で受けられるというか、対面だとどうしても近い席と遠い席で差が出るような気がして、先生の説明の聞こえ具合とか、スライドの見え具合とかに差が出てしまうと思うので、いつでもいざばらばら先生の説明を聞けるっていうのは結構ありがたいなと思って思いました。

二宮：ネットで他の大学の学生の意見を見ていると、それは確かにありましたよね。いちばん前で聞いている授業の感じがするっていうことですかね。

ルートさん：はい、そうですね。

二宮：だから資料なんかも見やすいと。それは確かにありますよね。でも、皆さんにお尋ねしたいんですけども、かえって目が疲れることはなかったですか。

ルートさん：それは結構あります。特に最初の4月、5月、ほんとうに毎日疲れ目がひどくて、目標をすごく何回も1日にさして乗り切りたいのが多くて。最近結構慣れてきたんですけど、やっぱり視力が低下したっていう感じがします。

二宮：視力が低下した。目をさせば、何とかなる感じですかね。

ルートさん：ずつと授業をパソコンで見続けるので、やっぱり近くに焦点が合ってしまったって、遠くがちょっと見づらくなつたなっていう感じがします。

二宮：それって慣れるようなものですか。慣れましたか。

ルートさん：疲れ目とかは、最近はなくなりました。

二宮：慣れたってことですかね。

ルートさん：はい、おそらくそうですね。

二宮：やっぱり一長一短ありますよね。

ルートさん：はい。

二宮：いいご意見ありがとうございます。ほかの方、どうでしょう？オンラインの授業だからよかったことかかってありますかね。

デルタさん：準備に時間をかけなくていいっていうのはあると思います。実際の教室に行く場合だと、大学の教科書は大きすぎて重くて、これを毎日持つていくってなると結構大変なんじゃないかなって思ったりもしています。でも今、家に忘れ物をすることもなく、かなり楽なんじゃないかなと思います。

二宮：たぶんみんな大体似た講義を履修しているだろうから、そこで情報交換もできそうですね。学生の誰かが音頭を取って、作ってくれればいいんですね。じゃあ、そうすると今、高校までの友達との付き合いのほうが、やっぱり多い感じがしますかね。

デルタさん：友達はそうですね。高校までの人との場は多いかなと思います。

二宮：その人たちは、もしかすると進路は別ですね。

デルタさん：大学、そうですね。全員別ですね。

デルタさん：そうですね。

二宮：全員別かあ。では、あまり授業の情報とか、やり取りできないですね。

デルタさん：そうですね。アバウトな相談だったらできますけど、オンライン授業のことで、そういうのは結構気休めになるっていうのはあるんですけど、具体的な話とかはできないです。

二宮：そうですね。大学が違ったら、当然そうですね。ありがとうございます。

デルタさん：ありがとうございます。

二宮：ほかの方、どうですか。友達付き合いに関して、何か言いたいこと、言っておくべきこととか、何か教えてください。

デルタさん：私は同じ専攻で、LINEグループがわりと早い時点で先生方が協力してくださったこともあって、クラスの全員が入っていたので、その中でゴールドデンウィークあたりの時期に、クラスでZoomで交流会とかを開いてくださる学生がいて、顔と名前がだいたい一致できるようになりました。あとは授業の情報だったり、テストの情報もみんな共有したり、中間試験の前にはZoomでみんなと一緒に勉強したりとかもできて。

二宮：へえー、すごい。

デルタさん：そういうことができたので、実際に会ったときにも、仲良くなるまでに短い時間でできたかなと思います。

二宮：学生が大学とは関係なしに進めた感じですかね。

デルタさん：そうですね。勝手にクラスの中でやろっかみたいな感じになって。

二宮：すごいですね。

デルタさん：たぶん、もともと仲の良い学生たちで企画して、クラスのほうに持ってきてくれたっていう感じなんですけど。

二宮：仲良くなるのも大事なんだけど、一緒に勉強するっていういいですね。

デルタさん：やっぱり最初のテストで、ちょっと不安だったこともあって、みんなで作るうってなりました。

二宮：それはすばらしいですね。

デルタさん：でもやっぱり同じ専攻ではそういう絡みがあるんですけど、他学部とか、他専攻ってなると、ちょっとまだあんまりないかなという気はして……。

二宮：特に1年生の授業で、他学部とか、他学部の学生と一緒になる、受けるような授業だと、そういううまとまりが作れない感じがしますかね。

デルタさん：そうですね。やっぱり総合大学なので、ほかの専攻、学部の学生たちとかかわりを楽しみにしていたところもあって、教養の授業も1年生で終わってしまいうから、残念だったなとは思っています。

二宮：そうですね。群馬大学を志望する理由の一つは、いろんな学部や学科があるからっていうのがありますもんね。

デルタさん：はい。

二宮：でも、学部学科によってはそれぐらいのまとまりで、そういうZoom上で集まりとか、勉強会をしていることもあるわけですね。

デルタさん：はい。

二宮：これはいいことですね。ただし、学部学科の枠を越えるとなると、なかなか難しい。

デルタさん：そうですね。

二宮：ですすね。でもとてもいいことを聞きました。ありがとうございます。すごくとってもヒントになります、これは。

デルタさん：ありがとうございます。

二宮：ほかの方、どうですかね。友達付き合いについて。

UMAさん：やっぱり地元が遠いっていうのもあって、なかなか大学にも来られず、知り合いを作るきっかけっていうのがないと、難しいですね。友達付き合い合いのスタート地点に立ってないっていうか。

二宮：ですすね。特に地元が遠い学生だと、やっぱり厳しいですすね。

UMAさん：そうですね。

二宮：そうはいっても、皆さんLINEとか、ほかのSNSとかも使っていると思うんですけど、さっきちょっと話しがあまりまじまじに聞かされたけれど、SNSを使うことに対する抵抗感ってありますか、たとえば何かしたら高校までは、学校の先生があまりSNSを使っていなかったって言うことあるかもしれないんですけど、どうでしょうか。

UMAさん：私はSNSに関しては、LINEだけで済ませたいタイプなので。

二宮：LINEだけで済ませたい。

UMAさん：そうですね。ほかのものはあまり使いたくないというか、抵抗感が(笑)。

二宮：(笑)、それは怖いとか、そういう感じですかね。

UMAさん：そうですね。勝手に誰かに入ってきてほしくないっていうか(笑)。

二宮：わかります。大学の先生の中には、もう学生さんだから、どんどんSNSを使って友だち作ればいいじゃんっていう人もいますよね。今UMAさんが言ってくれたように、ちょっとそれが嫌だなっていう学生もいると思うんですね。ほかの方、どうですかね。

デルタさん：私はいちおうアカウイントは高校のときから持っていて、ずっとやっていると、ちょっとSNSを使うことには特に抵抗はないんですけど、それで友だちを作れと言われると、ちょっと困りますというか。

二宮：(笑)。

デルタさん：知っている人になら、別に自分の情報を与えても、学部学科がどこか、名前はこうっていうのはいいんですけど、プロフィールに大学、学科が書いてあってただで、その人ともし相互フォローできたとして、そこで安だちになるかと聞かれると、ならないっていう感じがします。

二宮：先にリアルな関係性が大事な感じですかね。

デルタさん：私は先にリアルな、会っていないと怖いっていう感じはします。

二宮：それでリアルなところで仲良くなれば、SNSの交換してもありって感じですかね。ありがとうございます。それは約束の1時間なので、今日はこれぐらいで終わりにしておきたいと思っています。今日皆さんに教えてもらったことは、おそらく皆さんの中では当たり前、18歳、19歳の若者が持っている、すごく当たり前の話を皆さんはしていかもいれませんか、この当たり前のことが大学の先生とか、職員さんにはたぶんわからない、知らない世界なんですよ。ぜんぜん知らない世界なので、今皆さんが言ってくれたことは、極めて重要なことばかりで、これは私としては、ぜひ大学へ伝えなければいけないという強い思いを持っています。ほんとうに今日は、ありがとうございます。おつかれさまでした。

一同：ありがとうございます。



教学 IR レター vol. 3

群馬大学 大学教育・学生支援機構

教育改革推進室 二宮 祐・幾田 英夫
(内線：7521)

2020年12月発行(第3号)

はじめに

このたび『教学 IR レター』Vol.3 を発行することとなりました。今回は新型コロナウイルスが猛威を振っている中での出稿となります。皆様ご存じのとおり、今年新型コロナウイルスが世界に蔓延し、まだ収束の見込みも立っていない状況にあります。

社会のあらゆる分野でこれまでの在り方が見直され、大学においてもどのようにすれば「三密」を避けながら教育・研究活動を行っていけるか模索されています。本学でも Zoom や Moodle を使ったオンライン授業が行われています。この状況を受けてこの度、前期のオンライン授業について学生アンケートを行いました。ここではそのアンケート結果から特徴的な回答を紹介します。

アンケートの概要

2020年9月7日から9月18日にかけて、グループフォームにより「群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート」を行いました。前期のオンライン授業に対し、効果や課題を洗い出し、今後に生かすための目的です。学部生からはあわせて233名の方からご回答いただきました。

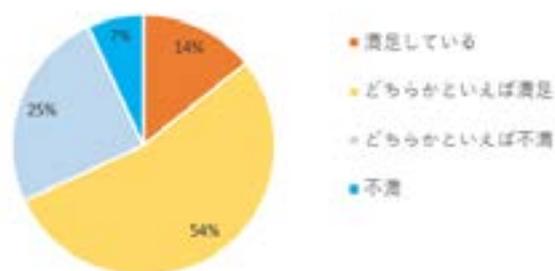
1. オンライン授業に肯定的

今回のアンケートで注目すべきなのはオンライン授業に関する満足度です。Zoom と Moodle の形式ごとに満足度を問う形式でした。どちらの授業も満足した学生は70%~80%に達しています。新

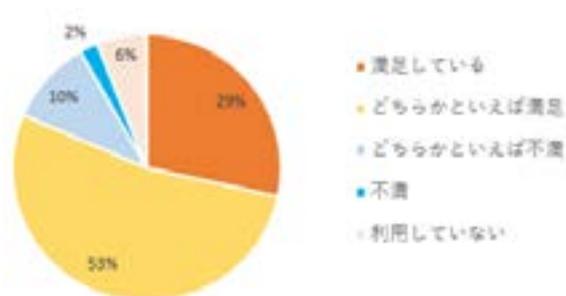
聞などでは他大学の調査結果が報じられ、オンライン授業への評価はあまり良くないようです。しかし、本学に限って言えば学生の満足度は高く、学生はオンライン授業を高く評価していると考えていいのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、教員の方々はこれまでの教材を工夫したり、授業方法をオンラインに適したように見直すなどたいへんな努力をなされています。学生にはその想いも伝わっているであろうと思います。

【Q8 Zoom利用への満足度】



【Q10 Moodle利用への満足度】



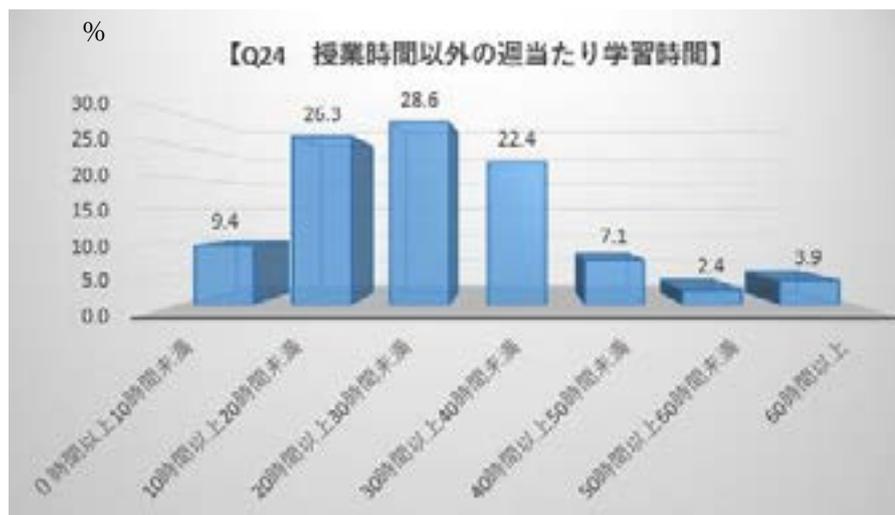
(ウラもぜひご覧ください)

2. 学習時間の増加

学生の満足度が高いというのは学生の勉強が楽になったから喜んでいるということではありません。アンケートからは学生が長時間学習していることが読み取れます。

Q24 では 1 週間の授業以外の学習時間を回答しています。どの学部も 30 時間くらい授業外学習の時間をしている学生の割合が高くなっています。授業を毎日 2 コマ履修するとすれば、週 30 時間の授業外学習をしている学生の場合、1 週間に授業と授業外あわせて約 50 時間学習していることになり、毎日 10 時間程度学習していることとなります（1 コマ 2 時間、週 10 コマ履修、週 5 日学習すると仮定した場合）。特に教育学部 2 年生以上は授業外学習で週 60 時間以上という学生も 20% を占めて

いました。これは 1 日の半分を学習にあてている計算になり、起きている時間のほとんどを学習に充てていたともとれる時間です。本学のみならず日本の大学生は勉強しないと世間から批判されてきましたが、アンケート結果からは全く異なる学生生活が見えています。これからは学生の学習時間を、授業履修時間と授業外学習時間をどのような配分にしていくかなどの検討が、大学として必要になってくるのではないのでしょうか？



3. 友人を得にくい 1 年生

さて本学においては満足度の高いオンライン授業ですが、課題も見えてきました。アンケートでは

		Q16 友だち付き合い満足度				
		n	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満
Q25 学習負担感	とても感じた	93	12.9%	22.6%	24.7%	39.8%
	ある程度感じた	108	13.0%	30.6%	39.8%	16.7%
	あまり感じなかった	26	19.2%	26.9%	38.5%	15.4%
	全く感じなかった	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
P<0.01 合計		230	14.8%	26.5%	33.0%	25.7%

1 年生と 2 年生以上に分けて集計しています。友だち付き合いに関して大きな満足度の差が見えます。これは 1 年生が学生同士リアルな付き合いがないので友人関係が作りにくいことによると思われる。2 年生以上の友だち付き合いは 1 年生と比べてあまり影響を受けていません。これは昨年度までにリアルな人間関係が構築されているため、自粛期間であっても SNS などで連絡が取りあえる状況であったからと考えます。

Q25 の授業時間外での負担感と Q16 の友達付き合いの満足度のクロス集計を見ても両者は非常に強い相関があることがわかります。1 年生の友だち作りを促進する仕組み作りが大学の喫緊の課題であると思われます。

(注) 本文、グラフ・表ともに「群馬大学オンライン授業と学生生活に関する全学アンケート 2020」の結果を参照して作成しました。アンケートでは各学部の集計がされていますが、ここでは学部生全体の集計結果を示しています。

4. 自由記述の紹介

ここからは自由記述を紹介していきます。

オンライン授業の満足度 (Q8 と Q10) に肯定的な回答者と否定的な回答者に分けて主な回答を列挙します。

オンライン授業に否定的な学生からは、通信環境によると思われる批判的な記述、課題提出方法への意見が比較的多くみられました。(自由記述の細かい言い回しは変更しています。)

【オンライン授業に肯定的な学生の自由記述】

- ・通学時間がなくなり時間が節約できた。
- ・これまでの通学時間を学習時間に使えた。
- ・移動時間などの無駄な時間がなくなった。
- ・朝早く起きなくてもよくなった。
- ・朝の身支度する時間がなくなったので授業にきちんと出席できるようになった。
- ・これまではあまり有効に使えなかった授業時間の間の空き時間を、課題などの時間に割けるようになった。
- ・自分のペースで勉強できる。
- ・余裕をもって学習できるようになった。
- ・服装を気にしないでよくなった。
- ・通学の時間がなくなったため、睡眠時間の確保が可能になった。
- ・(授業が) オンタイムなので生活習慣があまり乱れなかった。
- ・自宅で食事をとるため食費がかからなくなった。
- ・食事をしっかりとれるようになった。
- ・自宅という環境を活かして授業に向き合えた。
- ・交通費がかからなくなって助かる。
- ・先生方の授業が丁寧で分かりやすい。
- ・(通信環境の) 大きな支障は見られなかった。
- ・東進の映像授業を受けている感覚を思い出した。
- ・慣れれば使いやすい。
- ・教室での対面授業より授業資料が見やすい。
- ・配布資料を紛失するということがなくなった。
- ・過去の授業のレジュメを印刷することなく見返すことができる。
- ・教室での対面授業より声が聴き取りやすい。
- ・対面式のときよりも時間内に確実に授業が終わ

るようになった。

- ・周囲の目がなく、授業に集中できる。
- ・対面式よりも質問がしやすい。
- ・質問がチャットでできるので心理的負担が小さい。
- ・質問をチャットで送るので、先生の授業を途中で中断させなくて済んだ。
- ・質問の時間を多く作ってもらったので授業内容の理解度が上がった。
- ・(オンラインだと) 意見を言いやすい。
- ・他の生徒には(わからないように) 名前を伏せて質問できる。
- ・課題など明確な指示や提出日時が指定されるので学習計画が立てやすい。
- ・課題提出(の方法) が簡単であった。
- ・レポートをわざわざ(直接) 出さなくてもよくなった。
- ・コロナ感染のリスクが減る。
- ・講義動画を見直すことで効果的に復習できた。
- ・板書がスクリーンショットで済むので便利。
- ・実験や実習ではオンライン授業では体験ができないが、講義に関してはオンライン授業で問題ない。
- ・課題の量が尋常でないほど多い。
- ・授業中の他の学生の反応が見られなかったは残念。
- ・長時間パソコンに向き合うので疲労感が大きい。
- ・誰にも会わないため、孤独感がある。
- ・一部の教員で通信環境が悪い方がいた。
- ・時間帯によって通信が切断されることがあった。
- ・友だちと意見交換しにくい。

【オンライン授業に否定的な学生の自由記述】

- ・黒板の板書がオンライン授業だと見にくい。
- ・どうしても先生からの一方通行になってしまっている授業があると感じた。
- ・オンラインで可能なはずなのに課題の提出などを郵便で行う授業があった。
- ・小テストの形式を毎回変える教員がいて不安だった。
- ・課題提出の方法を大学で統一してほしい。バラバ

ラなので困惑する。

- ・対面授業よりも質が落ちる。
- ・使うのがはじめてで使いづらかった。
- ・試験などでいきなりはじめて利用する機能があるととても困惑する。
- ・演習など実技を伴わないと理解が難しい教科は（オンラインでは）理解できない。
- ・レポートを出しておけばいいという風潮があった。
- ・課題提出を無事受け取ったことの教員からの証明がほしい。
- ・講義を再視聴できない授業は復習の面から不満であった。
- ・講義の（進め方）の速さが早いものがあった。
- ・学生からの質問を断る教員がいた。
- ・そもそも質問する機会があまりなかった気がする。
- ・メールだとその場で補足しながら話すことができないので質問しづらい。
- ・授業中にチャットで質問しようとして入力しているうちにどんどん講義が進んでしまって質問ができないこともあった。
- ・わからないことを先生に質問するハードルが高く、友人に気軽に相談できないため自力で解決策をインターネットから探すためたいへんだった。
- ・もし良かったら各教員のオフィスアワーの時間に教員が Zoom を開いていただいて、質問したい学生がそこに接続して自由に質問できるようにしてほしい。
- ・自分だけわからないのではないかという不安や焦燥感、相談する相手がおらず精神的に追い込まれた。課題ができないと反省するとともに自分に幻滅していった。
- ・チャットでは表記が難しく質問しにくいものもあった（構造式など）。
- ・科目によってはいつ出席をとるかかわからないのどうかつにトイレに行けないこともあった。
- ・課題提出がちゃんと届いたか確認する手段がなく不安だった。
- ・課題が終わらない状況が長く続いたためリフレッシュするのも困難であった。

・授業や課題提出での通信トラブルについて配慮が足りない。

- ・ずっと部屋にいて孤独感と焦燥感に苛まれた。
- ・人とのコミュニケーションができなかった。
- ・グループワークのときに初対面の人と画面越しに会話するのがとても苦痛だった。
- ・グループワークがはかどらない。
- ・顔が見えない相手とディスカッションすることに苦痛を感じた。
- ・教員でオンライン授業の充実度に格差がある。
- ・画面で授業を受けるのと、対面で授業を受けるのでは（講義内容の）記憶の定着が違うと思います。
- ・オンライン授業の音声や映像が乱れることがあった。
- ・時間帯によっては（回線が）低速になり、切断されることも多々ありました。実習の講義はそのような不可抗力でも「遅刻」として教員から苦言を呈されることもありました。一部の教員は切断されたときの対応も不十分でした。
- ・（Zoom の画面が）カクカクする時があった。ずっとパソコンと向き合っているので目や体が疲れる。
- ・通信障害が多くあった。
- ・回線障害のため（課題を）時間内に提出できないなどの突然の障害があった。
- ・1日に多くて 450 分もパソコンの画面を見ることがあり、肉体的にも精神的にもつらい。
- ・一人の環境だとやる気が起きない。
- ・通信が途切れることがあるし、人と話すこともできない。課題が多すぎる。
- ・英語のテストで（通信状況に）不調が生じてリスニングが聞き取りにくかったことがあり、単位に響くのでやめてほしい。
- ・Zoom は他人の目が気になる。
- ・教室と違い（自宅は）広いテーブルがない。
- ・結局出席重視の仕組みになってしまっている。
- ・大学生活を全く味わえません。大学は学習と交流の場であり、オンラインでは本来の学習様式を全く体験できなく良くないと思っています。

群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表

群馬大学全学卒業時アンケート調査(2021年3月卒業生、2020年3月卒業生) 学部学科別集計表
 回収数:2021年3月卒業生675、2020年3月卒業生574
 回収方法:2021年3月卒業生教務システム、2020年3月卒業生教務システム

2021/6/15

大学教育・学生支援機構 教育改革推進室

Q1 学部(省略)

Q2 学科(省略)

Q3 専攻(省略)

Q4 入学年度(または編入年度)

	2021年3月卒業生										2020年3月卒業生									
	19年度	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度	NA	合計	18年度	17年度	16年度	15年度	14年度	13年度	12年度	NA	合計		
医学科	0	0	0	2	14	4	0	4	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
保健学科	2	6	73	4	1	1	0	2	89	0	0	34	0	1	0	0	0	35		
教育	1	1	42	5	0	0	0	56	105	10	3	111	1	0	0	0	0	125		
社会情報	14	0	52	5	1	0	0	11	83	11	1	27	1	0	0	0	1	41		
理工	21	4	247	22	0	4	2	74	374	35	4	304	18	10	1	0	1	373		
合計	38	11	414	38	16	9	2	147	675	56	8	476	20	11	1	0	2	574		
	5.6%	1.6%	61.3%	5.6%	2.4%	1.3%	0.3%	21.8%	100.0%	9.8%	1.4%	82.9%	3.5%	1.9%	0.2%	0.0%	0.3%	100.0%		

Q5 卒業後の進路

	2021年3月卒業生							2020年3月卒業生						
	就職する(群馬県内)	就職する(群馬県外)	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	NA	合計	就職する(群馬県内)	就職する(群馬県外)	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	NA	合計
医学科	13	11	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0
保健学科	38	36	11	1	3	0	89	8	17	9	0	1	0	35
教育	75	23	1	5	1	0	105	86	23	1	4	11	0	125
社会情報	39	36	1	0	7	0	83	17	18	1	0	5	0	41
理工	52	87	205	18	12	0	374	44	85	219	16	8	1	373
合計	217	193	218	24	23	0	675	155	143	230	20	25	1	574
	32.1%	28.6%	32.3%	3.6%	3.4%	0.0%	100.0%	27.0%	24.9%	40.1%	3.5%	4.4%	0.2%	100.0%

Q6 合格した群馬大学の入学試験

	2021年3月卒業生								2020年3月卒業生									
	推薦入試	一般入試前期	一般入試後期	社会入試	帰国生入試	編入学試験	外国人留学生	NA	合計	推薦入試	一般入試前期	一般入試後期	社会入試	帰国生入試	編入学試験	外国人留学生	NA	合計
医学科	8	12	0	0	0	4	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健学科	38	36	15	0	0	0	0	89	13	17	5	0	0	0	0	0	0	35
教育	24	62	19	0	0	0	0	105	19	81	25	0	0	0	0	0	0	125
社会情報	15	38	15	0	0	15	0	83	7	17	3	0	0	12	0	2	41	
理工	136	163	41	0	2	24	6	374	123	180	37	0	1	20	8	4	373	
合計	221	311	90	0	2	43	6	675	162	295	70	0	1	32	8	6	574	
	32.7%	46.1%	13.3%	0.0%	0.3%	6.4%	0.9%	100.0%	28.2%	51.4%	12.2%	0.0%	0.2%	5.6%	1.4%	1.0%	100.0%	

Q7 群馬大学の志望順位

	2021年3月卒業生				2020年3月卒業生				
	第1志望	第2志望	第3志望	NA	第1志望	第2志望	第3志望	NA	
医学科	19	2	3	0	24	0	0	0	0
保健学科	65	15	9	0	89	27	4	4	0
教育	69	18	17	1	105	94	15	16	0
社会情報	58	15	10	0	83	24	7	8	2
理工	232	64	77	1	374	229	64	78	2
合計	443	114	116	2	675	374	90	106	4
	65.6%	16.9%	17.2%	0.3%	100.0%	65.2%	15.7%	18.5%	0.7%

Q8-1 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:興味のある学問分野があること

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	10	0
保健学科	41.7%	0.0%
教育	46	24
社会情報	51.7%	100.0%
理工	53	89
合計	105	125
	50.5%	100.0%
	46	83
	55.4%	100.0%
	210	374
	56.1%	100.0%
	365	675
	54.1%	100.0%

Q8-2 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:資格や免許が取得できること

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	14	0
保健学科	58.3%	0.0%
教育	67	89
社会情報	75.3%	100.0%
理工	81	105
合計	105	125
	77.1%	100.0%
	2	1
	2.4%	100.0%
	27	374
	7.2%	100.0%
	191	675
	28.3%	100.0%

Q8-3 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:将来就きたい職業につながること

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	15	0
保健学科	62.5%	0.0%
教育	56	89
社会情報	63	105
理工	63	72
合計	105	125
	60.0%	100.0%
	19	83
	22.9%	100.0%
	73	374
	19.5%	100.0%
	226	675
	33.5%	100.0%

Q8-4 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:自分の学力と履修値が合っていること

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	9	24
保健学科	37.5%	100.0%
教育	38	89
社会情報	42.7%	100.0%
理工	31	105
合計	105	125
	29.5%	100.0%
	42	83
	50.6%	100.0%
	164	374
	43.9%	100.0%
	284	675
	42.1%	100.0%

Q8-5 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:就職の実績がよいこと

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	0	24
保健学科	0.0%	100.0%
教育	4	89
社会情報	4.5%	100.0%
理工	11	105
合計	105	125
	10.5%	100.0%
	9	83
	10.8%	100.0%
	23	374
	6.1%	100.0%
	47	675
	7.0%	100.0%

Q8-6 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:キャンパスの雰囲気がいよいこと

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	2	24
保健学科	8.3%	100.0%
教育	3	89
社会情報	3.4%	100.0%
理工	7	105
合計	105	125
	6.7%	100.0%
	6	83
	7.2%	100.0%
	13	374
	3.5%	100.0%
	31	675
	4.6%	100.0%

Q8-7 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:難点を克服されること

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	3	24
保健学科	12.5%	100.0%
教育	5	89
社会情報	5.6%	100.0%
理工	7	105
合計	105	125
	6.7%	100.0%
	8	83
	9.6%	100.0%
	28	374
	7.5%	100.0%
	51	675
	7.6%	100.0%

Q8-8 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

	2021年3月卒業生 該当する 合計	2020年3月卒業生 該当する 合計
医学科	11	24
保健学科	45.8%	100.0%
教育	56	89
社会情報	62.9%	100.0%
理工	50	105
合計	105	125
	47.6%	100.0%
	42	83
	50.6%	100.0%
	160	374
	42.8%	100.0%
	319	675
	47.3%	100.0%

Q8-9 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:親や学校の先生にすすめられたこと

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2021年3月卒業生 該当する 4	24	0	0	0	0
16.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2020年3月卒業生 該当する 22	89	9	35	35	151
24.7%	100.0%	25.7%	100.0%	100.0%	100.0%
25.7%	105	29	125	125	484
25.7%	100.0%	23.2%	100.0%	100.0%	100.0%
23	83	3	41	41	151
27.7%	100.0%	7.3%	100.0%	100.0%	100.0%
97	374	78	373	373	1225
25.9%	100.0%	20.9%	100.0%	100.0%	100.0%
173	675	119	574	574	1521
25.6%	100.0%	20.7%	100.0%	100.0%	100.0%

Q8-10 群馬大学に入学(編入)を決めた理由:その他

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2021年3月卒業生 該当する 3	24	0	0	0	0
12.5%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	89	2	35	35	151
4.5%	100.0%	5.7%	100.0%	100.0%	100.0%
6	105	5	125	125	484
5.7%	100.0%	4.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	83	1	41	41	151
2.4%	100.0%	2.4%	100.0%	100.0%	100.0%
31	374	37	373	373	1225
8.3%	100.0%	9.9%	100.0%	100.0%	100.0%
46	675	45	574	574	1521
6.8%	100.0%	7.8%	100.0%	100.0%	100.0%

Q9 入学(編入)際、就活ポスターについて知っていたか

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2021年3月卒業生 知って いた 0	7	9	9	9	24
0.0%	33.3%	29.2%	37.5%	37.5%	100.0%
4	32	12	14	14	66
4.6%	52.8%	30.2%	54.5%	54.5%	100.0%
7	38	29	33	33	137
6.7%	34.3%	27.6%	31.4%	31.4%	100.0%
4	32	22	24	24	83
4.8%	38.6%	26.5%	28.9%	28.9%	100.0%
19	132	133	88	88	374
5.1%	35.3%	35.6%	23.5%	23.5%	100.0%
34	255	218	165	165	675
5.0%	37.8%	32.3%	24.4%	24.4%	100.0%

Q10 入学(編入)際、満足していたか

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2021年3月卒業生 満足して いた 7	13	9	9	9	24
29.2%	54.2%	12.5%	4.2%	4.2%	100.0%
31	47	9	2	2	89
34.8%	52.8%	10.1%	2.2%	2.2%	100.0%
44	41	16	4	4	105
41.9%	39.0%	15.2%	3.8%	3.8%	100.0%
32	44	7	0	0	83
38.6%	53.0%	8.4%	0.0%	0.0%	100.0%
97	210	54	12	12	374
25.9%	56.1%	14.4%	3.2%	3.2%	100.0%
211	355	89	19	19	675
31.3%	52.6%	13.2%	2.8%	2.8%	100.0%

Q11 入学(編入)際、主体性はどうだったか

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2021年3月卒業生 自分で決めた 8	14	2	2	2	24
33.3%	58.3%	8.8%	0.0%	0.0%	100.0%
22	57	8	2	2	89
24.7%	64.0%	9.0%	2.2%	2.2%	100.0%
38	57	3	6	6	105
37.1%	54.3%	2.9%	5.7%	5.7%	100.0%
28	44	8	2	2	83
34.6%	53.0%	9.6%	2.4%	2.4%	100.0%
80	200	63	14	14	374
21.4%	61.5%	14.2%	2.9%	2.9%	100.0%
178	402	74	21	21	675
26.4%	59.6%	11.0%	3.1%	3.1%	100.0%

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2020年3月卒業生 知って いた 0	7	9	9	9	24
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	32	12	14	14	66
0.0%	51.5%	34.3%	14.3%	14.3%	100.0%
7	40	45	34	34	125
4.8%	32.0%	36.0%	27.2%	27.2%	100.0%
5	16	13	6	6	41
12.2%	39.0%	31.7%	14.6%	14.6%	100.0%
25	110	143	91	91	370
6.8%	29.7%	38.6%	24.6%	24.6%	100.0%
36	184	213	136	136	573
6.3%	32.2%	37.3%	23.8%	23.8%	100.0%

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2020年3月卒業生 知って いた 0	9	4	4	4	24
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	21	4	1	1	35
25.7%	60.0%	11.4%	2.9%	2.9%	100.0%
44	70	10	1	1	125
35.2%	56.0%	8.0%	0.8%	0.8%	100.0%
14	19	6	1	1	41
34.1%	46.3%	14.6%	2.4%	2.4%	100.0%
88	206	50	16	16	372
26.3%	55.4%	13.4%	4.3%	4.3%	100.0%
165	316	70	19	19	573
28.8%	55.1%	12.2%	3.3%	3.3%	100.0%

医学科	保健学科	教育	社会情報	理工	合計
2020年3月卒業生 自分で決めた 0	0	0	0	0	0
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	25	2	0	0	35
22.9%	71.4%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
31	76	12	5	5	125
24.8%	60.8%	9.6%	4.0%	4.0%	100.0%
14	19	4	4	4	41
34.6%	46.3%	9.8%	7.3%	7.3%	100.0%
80	200	63	10	10	374
25.3%	59.2%	12.4%	2.7%	2.7%	100.0%
147	340	64	18	18	572
25.7%	59.4%	11.2%	3.1%	3.1%	100.0%

Q12 学習の様子：授業に真面目に参加した

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	6	12	5	0	24	0	0
保健学科	25.0%	50.0%	20.8%	4.2%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	43	45	1	0.0%	89	21	12
社会情報	48.3%	50.6%	1.1%	0.0%	100.0%	34.3%	2.9%
理工	50	44	10.5%	0.0%	105	50	64
合計	47.6%	41.6%	10.5%	0.0%	100.0%	40.1%	7.4%
度	31.3%	60.2%	7.2%	1.2%	374	152	178
%	13.3%	17.1%	2.7%	0.3%	100.0%	40.8%	47.7%
度	298	322	50	0	675	235	274
%	44.1%	47.7%	7.4%	0.7%	100.0%	41.0%	47.8%

Q13 学習の様子：授業の予習や復習をした

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	1	11	7	5	24	0	0
保健学科	4.2%	48.8%	29.2%	20.8%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	45	69	27	2	89	27	16
社会情報	4.5%	69.7%	30.2%	2.6%	100.0%	20.0%	5.7%
理工	50	52	31	10	105	10	83
合計	48.5%	49.5%	29.5%	9.5%	100.0%	8.0%	38.4%
度	5	38	33	7	83	2	20
%	6.0%	46.8%	39.8%	8.4%	100.0%	2.4%	24.0%
度	32	183	132	27	374	33	154
%	8.6%	48.9%	35.3%	7.2%	100.0%	8.8%	41.3%
度	83	340	230	51	675	52	240
%	11.7%	50.4%	34.1%	7.6%	100.0%	9.1%	41.8%

Q14 学習の様子：授業で出された宿題や課題はきちんとやった

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	6	16	1	0	24	0	0
保健学科	25.0%	66.7%	4.2%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	54	33	2	0.0%	89	23	11
社会情報	60.7%	37.1%	2.2%	0.0%	100.0%	65.7%	31.4%
理工	66	35	3	1.0%	105	69	49
合計	62.9%	33.3%	2.9%	1.0%	100.0%	55.2%	39.2%
度	45	35	2	1	83	19	17
%	54.2%	42.2%	2.4%	1.2%	100.0%	46.3%	41.5%
度	219	134	20	1	374	184	158
%	58.6%	35.8%	5.3%	0.3%	100.0%	49.3%	42.4%
度	380	253	28	4	675	295	235
%	57.8%	37.5%	4.1%	0.6%	100.0%	51.4%	40.9%

Q15 学習の様子：グループワークやディスカッションに積極的に参加した

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	6	16	2	0	24	0	0
保健学科	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	28	50	11	0	89	4	27
社会情報	31.5%	56.2%	12.4%	0.0%	100.0%	11.4%	11.4%
理工	44	47	12	2	105	40	76
合計	41.9%	44.8%	11.4%	1.9%	100.0%	32.0%	6.4%
度	24	44	13	2	83	11	25
%	28.8%	53.0%	15.7%	2.4%	100.0%	26.8%	9.8%
度	84	219	66	5	374	71	194
%	22.5%	58.6%	17.6%	1.3%	100.0%	19.0%	52.0%
度	188	376	104	9	675	126	322
%	27.8%	55.7%	15.4%	1.3%	100.0%	22.0%	56.1%

Q16 学習の様子：計画を立てて勉強した

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	3	13	6	2	24	0	0
保健学科	12.0%	54.5%	25.0%	8.3%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	13	45	12	0.5	89	12	0
社会情報	14.6%	50.6%	42.9%	5.6%	100.0%	34.3%	5.7%
理工	17	48	37	3	105	17	51
合計	16.2%	45.7%	35.2%	2.9%	100.0%	13.6%	36.0%
度	11	43	23	6	83	6	13
%	13.3%	51.8%	27.7%	7.2%	100.0%	14.6%	46.3%
度	51	146	153	23	374	50	137
%	13.6%	39.0%	40.9%	6.1%	100.0%	13.4%	36.7%
度	95	295	246	39	675	85	215
%	14.1%	43.7%	36.3%	5.8%	100.0%	14.8%	37.5%

Q17 学習の様子：興味をもったことについて自主的に勉強した

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	1	7	11	5	24	0	0
保健学科	4.2%	29.2%	45.8%	20.8%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	5	12	62	10	89	2	5
社会情報	5.6%	13.5%	69.7%	11.2%	100.0%	5.7%	14.3%
理工	8	25	50	22	105	3	20
合計	7.6%	23.8%	47.6%	21.0%	100.0%	2.4%	18.4%
度	5	14	50	14	83	1	7
%	6.0%	16.9%	60.2%	16.9%	100.0%	2.4%	17.1%
度	25	99	211	37	374	33	100
%	6.7%	26.5%	56.4%	9.9%	100.0%	8.8%	26.8%
度	44	157	384	88	675	39	132
%	6.5%	23.3%	56.9%	13.0%	100.0%	6.8%	23.0%

Q18 学習の様子：進路や将来について積極的に考えた

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	0	2	8	14	24	0	0
保健学科	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	4	8	53	24	89	3	2
社会情報	4.5%	9.0%	59.6%	27.0%	100.0%	8.6%	5.7%
理工	8	16	35	46	105	3	18
合計	7.6%	15.2%	33.3%	43.8%	100.0%	2.4%	14.4%
度	2	17	33	31	83	2	7
%	2.4%	20.5%	39.8%	37.3%	100.0%	4.9%	17.1%
度	18	98	159	97	374	23	96
%	4.8%	26.2%	42.5%	25.9%	100.0%	6.2%	25.7%
度	32	141	288	212	675	31	123
%	4.7%	20.9%	42.7%	31.4%	100.0%	5.4%	21.4%

Q19 力を入れたこと、本業の得意分野

学習の様子	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	合計
	度	%	度	%			
医学科	2	14	8	0	24	0	0
保健学科	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
教育	19.1%	70.8%	9.0%	0.0%	100.0%	1.1%	100.0%
社会情報	27.6%	61.9%	8.6%	1.9%	100.0%	0.0%	100.0%
理工	12	57	13	1	83	4	24
合計	14.5%	68.7%	15.7%	1.2%	100.0%	0.0%	100.0%
度	72	236	158	8	374	63	220
%	19.3%	63.1%	15.5%	2.1%	100.0%	16.8%	59.0%
度	186	362	114	16	675	168	322
%	19.6%	64.4%	14.2%	1.6%	100.0%	16.8%	61.5%

G20 力を入れたこと・ゼミ、研究発表活動

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	1	7	4	11	2	0	0
保健学科	4.2%	29.2%	16.7%	45.8%	0.0%	0.0%	0.0%
教育	32.0%	49.8%	9.0%	60.8%	2.9%	0.0%	0.35
社会情報	49.3%	44.2%	5.7%	57.2%	3.3%	0.0%	0.125
理工	39.8%	50.6%	8.4%	1.2%	0.0%	100.0%	0.0%
合計	20.9%	49.2%	10.2%	0.3%	0.0%	100.0%	0.0%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 0 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 1 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G21 力を入れたこと・卒業論文や卒研研究

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	0	3	1	0	0	0	0
保健学科	0.0%	12.5%	4.2%	0.0%	83.3%	0.0%	100.0%
教育	42.3%	47.2%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
社会情報	50.5%	46.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
理工	47.0%	45.8%	6.0%	1.2%	0.0%	100.0%	0.0%
合計	43.9%	46.8%	7.8%	0.5%	1.1%	0.0%	100.0%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 20 0 24 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G22 力を入れたこと・授業以外の自主的な勉強(資格試験など)

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	3	13	3	3	0	24	0
保健学科	12.5%	54.2%	20.8%	12.5%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	22.5%	42.7%	29.2%	5.6%	28.6%	42.9%	2.9%
社会情報	29.5%	49.5%	16.2%	4.8%	40.0%	28.8%	3.2%
理工	15.7%	47.0%	32.5%	4.8%	0.0%	100.0%	9.5%
合計	13.6%	36.6%	38.8%	10.4%	18.0%	38.6%	10.5%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G23 力を入れたこと・留学、海外研修・経験

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	3	4	2	15	0	24	0
保健学科	12.5%	16.7%	8.3%	62.5%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	11.2%	17.4%	18.9%	59.6%	0.0%	100.0%	14.3%
社会情報	16.2%	10.5%	58.1%	0.0%	100.0%	8.0%	19.2%
理工	10.8%	6.0%	14.5%	68.7%	0.0%	100.0%	7.3%
合計	4.8%	12.6%	16.6%	0.0%	100.0%	9.1%	14.2%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G24 力を入れたこと・サークルや部活動

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	0	11	2	0	24	0	0
保健学科	37.5%	45.1%	8.5%	8.3%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	32.6%	39.3%	10.1%	18.0%	0.0%	100.0%	37.1%
社会情報	45.7%	26.7%	10.5%	17.1%	0.0%	100.0%	35.2%
理工	25.3%	22.9%	16.9%	34.9%	0.0%	100.0%	31.7%
合計	27.5%	24.9%	15.2%	31.6%	0.8%	100.0%	26.8%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G25 力を入れたこと・アルバイト

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	1	10	4	10	24	0	0
保健学科	4.2%	41.7%	29.2%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	29.2%	55.1%	11.2%	4.5%	0.0%	100.0%	34.3%
社会情報	32.4%	50.5%	15.2%	1.9%	0.0%	100.0%	31.2%
理工	37.3%	42.2%	15.7%	4.8%	0.0%	100.0%	36.6%
合計	24.9%	42.0%	20.3%	12.6%	0.3%	100.0%	22.5%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G26 力を入れたこと・社会活動(NPO 活動、ボランティアなど)

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	1	7	4	12	0	24	0
保健学科	4.2%	29.2%	16.7%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	5.6%	23.6%	25.8%	43.8%	1.1%	100.0%	8.6%
社会情報	17.1%	30.5%	29.5%	22.5%	0.0%	100.0%	8.0%
理工	7.2%	13.3%	22.8%	56.6%	0.0%	100.0%	2.4%
合計	4.0%	14.7%	24.9%	56.4%	0.0%	100.0%	5.9%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

G27 力を入れたこと・読書活動

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	6	12	6	0	24	0	0
保健学科	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	24.7%	55.1%	14.6%	5.6%	0.0%	100.0%	37.1%
社会情報	33.3%	33.3%	10.0%	5.7%	0.0%	100.0%	40.8%
理工	67.92	92.72	20.6%	36.1%	1.2%	100.0%	31.7%
合計	25.6%	33.9%	17.3%	22.5%	0.6%	100.0%	23.9%

2021年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと
2020年3月卒業生
NA 合計 0 24 0 0 0 0 0 0
とてもまあ力 あり ました
力を入れた こと

Q28 力を入れたこと、インターンシップ、学外履修

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	2	14	2	6	0	24	0
保健学科	8.3	58.3	8.3	25.0	0	0	0
教育	11.2	34.8	20.0	34.3	17.1	28.6	10
社会情報	31.3	25	17	30	0	105	0
理工	18	16.2	17	28.9	18.4	32	42
合計	67	28.9	89	37.5	33.6	180	73.7
度	21.7%	39.6%	16.9%	22.9%	19.5%	26.8%	29.2%
%	39	91	96	148	2	374	2
度	10.4%	24.3%	39.0%	0.5%	100.0%	0.5%	100.0%
%	102	193	152	226	2	675	2
度	15.1%	28.8%	22.5%	33.5%	12.5%	23.7%	24.2%
%	15.1%	28.8%	22.5%	33.5%	12.5%	23.7%	24.2%

Q29 印象に残る経験：相手の努力をよりとげ感謝を感じたこと

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	4	12	4	4	0	24	0
保健学科	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
教育	28.3	59.9	11.1	0.0	48.6	45.7	0.0
社会情報	33.3	45.7	15.2%	4.8%	32.8%	50.4%	13.6%
理工	28	47	6	2	0	83	12
合計	134	187	44	8	1	374	141
度	35.8%	50.0%	11.8%	2.1%	37.8%	48.5%	10.2%
%	226	342	85	20	2	675	211
度	33.5%	50.7%	12.6%	3.0%	36.8%	48.4%	11.5%
%	33.5%	50.7%	12.6%	3.0%	36.8%	48.4%	11.5%

Q30 印象に残る経験：実社会との接点を感じる事ができた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	3	47	27	6	0	83	5
保健学科	4.2	33.3	41.7%	20.8%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	13	54	19	3	0	89	9
社会情報	30	39	25	10	1	105	24
理工	3	47	27	6	0	83	5
合計	45	143	152	34	0	374	41
度	12.0%	38.2%	40.6%	9.1%	0.0%	100.0%	11.0%
%	92	291	233	58	1	675	79
度	13.6%	43.1%	34.5%	8.6%	0.1%	100.0%	13.8%
%	13.6%	43.1%	34.5%	8.6%	0.1%	100.0%	13.8%

Q31 印象に残る経験：学園生活の悔しさを乗り越え方について

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	24	57	7	1	0	89	14
保健学科	27.0	64.0%	7.9%	1.1%	0.0%	100.0%	40.0%
教育	44	45	10	5	1	105	43
社会情報	26.5	51.8%	15.7%	6.0%	0.0%	100.0%	31.7%
理工	20	48	45	12	2	374	97
合計	204	360	83	25	3	675	167
度	30.2%	53.3%	12.3%	3.7%	0.4%	100.0%	25.2%
%	30.2%	53.3%	12.3%	3.7%	0.4%	100.0%	25.2%

Q32 印象に残る経験：大学の個性や特色をいかした教育を受けた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	8	33	33.8	25.0%	0	24	0
保健学科	8.3	33.8	33.8	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	18.0	51.7%	29.2%	1.1%	0.0%	100.0%	14.3%
社会情報	34.3	48.6%	12.4%	3.8%	1.0%	100.0%	27.2%
理工	15.7	59.0%	18.1%	6.0%	1.2%	100.0%	26.8%
合計	55	189	100	19	1	374	55
度	14.7%	53.2%	26.7%	5.1%	0.3%	100.0%	14.8%
%	122	353	162	35	3	675	105
度	18.1%	52.3%	24.0%	5.2%	0.4%	100.0%	18.3%
%	18.1%	52.3%	24.0%	5.2%	0.4%	100.0%	18.3%

Q33 印象に残る経験：自分の進路や将来への関心を知ることができた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	4	13	3	1	24	0	0
保健学科	16.7	54.2%	16.7%	8.3%	4.2%	100.0%	0.0%
教育	15.7	74.2%	9.0%	1.1%	0.0%	100.0%	45.7%
社会情報	42	48	8	5	2	105	44
理工	17	47	15	4	0	83	14
合計	80	195	81	18	0	374	79
度	21.4%	52.1%	21.7%	4.8%	0.0%	100.0%	21.2%
%	157	369	116	30	3	675	153
度	23.3%	54.7%	17.2%	4.4%	0.4%	100.0%	26.7%
%	23.3%	54.7%	17.2%	4.4%	0.4%	100.0%	26.7%

Q34 印象に残る経験：学習について、相関のたつたり支理して行ける人がいた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	2	5	13	4	0	24	0
保健学科	8.3	20.8%	54.2%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	26	50	12	1	0	89	18
社会情報	39	47	11	7	1	105	42
理工	20	34	21	8	0	83	8
合計	106	152	86	27	3	374	85
度	28.3%	40.6%	23.0%	7.2%	0.8%	100.0%	22.8%
%	193	288	143	47	4	675	153
度	28.6%	42.7%	21.2%	7.0%	0.6%	100.0%	26.7%
%	28.6%	42.7%	21.2%	7.0%	0.6%	100.0%	26.7%

Q35 印象に残る経験：学習以外で、人間関係について、幅広く相関のたつたり支理して行ける人がいた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度	%	度	%	度	%	度	%
医学科	1	8	11	4	0	24	0
保健学科	4.2	33.3%	45.8%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%
教育	28	42	20	2	0	89	12
社会情報	46	34	16	8	1	105	33
理工	15	33	25	9	1	83	9
合計	91	141	107	34	1	374	169
度	24.7%	37.8%	28.6%	9.1%	0.3%	100.0%	20.6%
%	24.7%	37.8%	28.6%	9.1%	0.3%	100.0%	20.6%

Q36 印象に関する総観：教育に特化した教員のある職員がいた

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		2021年3月卒業生		2020年3月卒業生	
度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
医学科	6	12	5	1	0	24	0
保健学科	25	50	20	42	0	100	0
教育	38	50	2	1	89	17	16
社会情報	40	56	2	1	1	0	0
理工	60	36	6	1	105	54	56
合計	57	30	5	1	105	44	11
度数	24	1	6	1	8	5	0
%	41	49	20	6	0	0	0
度数	109	172	76	16	374	103	163
%	29	46	20	4	3	22	7
度数	231	311	106	25	2	675	188
%	34	46	15	7	3	74	20
度数	46	25	8	4	83	27	8
%	55	30	1	1	100	30	4
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25	7	1	1	100	30
%	67	25	5	7	1	100	30
度数	46	25	8	4	0	83	27
%	55	30	1	1	100	65	19
度数	205	120	32	15	2	374	202
%	54	32	8	4	0	5	100
度数	376	215	88	23	3	675	329
%	55	31	9	8	0	4	5
度数	45	33	20	0	0	24	0
%	46	33	20	0	0	100	0
度数	50	39	7	2	2	2	2
%	68	27	6	2	1	105	76
度数	65	25					

Q44 情報の科目は、情報処理能力を身に付ける点で十分か

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計			
度数	%	度数	%	度数	%		
医学科	8.3	33.3	33.3	20.8	0.0	0.0	0.0
保健学科	9.0	59.6	25.8	0.0	100.0	0.0	0.0
教育	8.6	61.0	21.9	7.6	1.0	100.0	0.0
社会情報	19.3	62.0	18.1	1.2	1.0	100.0	0.0
理工	51.1	18.9	91.7	3.7	1.6	37.4	2.4
合計	13.6	50.9	24.3	9.8	1.6	100.0	1.3
	12.7	53.9	23.7	8.3	1.3	100.0	1.0

Q48 大学への進学について、情報処理はしっかり行われていたか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計			
度数	%	度数	%	度数	%		
医学科	0.0	4.2	8.3	79.2	0.0	0.0	
保健学科	11.3	33.3	24.7	10.1	15.7	0.0	100.0
教育	1.0	13.3	31.4	19.0	34.3	1.0	100.0
社会情報	1.2	21.7	16.9	19.3	41.0	0.0	100.0
理工	6.3	17.5	79.1	21.3	34.2	3.74	58.1
合計	11.3	35.7	22.2	10.1	20.3	0.4	100.0

Q45 「キャリアサポート」や「産学連携」などの大学の就業支援は役立つか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0
保健学科	3.4	47.2	31.5	18.0	8.6	28.8
教育	10.5	39.0	30.5	19.0	13.6	36.8
社会情報	13.3	33.3	23.1	14.0	6.3	13.7
理工	44.1	14.0	106.7	7.7	3.74	4.0
合計	71.1	25.9	195.1	142.8	6.6	20.8
	10.5	38.4	28.9	21.0	11.5	36.2

Q49 インターシップ(学外実習を含む)に行ってみて、どのように感じたか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	6.9	37.5	4.2	0.0	33.3	0.0
保健学科	17.3	38.1	1.1	1.1	36.0	0.0
教育	4.5	21.0	0.0	0.0	38.2	1.0
社会情報	1.9	34.8	4.4	1.8	0.0	83.8
理工	5.3	88.7	7.2	1.6	19.6	4.374
合計	14.2	23.5	7.2	1.6	52.4	1.1
	14.0	19.0	3.7	1.1	29.2	5.679
	20.7	28.1	5.5	1.6	45.3	0.7

Q46 「キャリアサポート」を有効利用したか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	0.0	4.2	12.6	83.8	0.0	0.0
保健学科	3.7	19.0	6.1	0.0	89.0	0.0
教育	6.2	22.4	24.5	1.0	100.0	0.0
社会情報	7.7	25.9	29.2	0.0	83.4	0.0
理工	10.6	64.1	21.3	6.374	1.6	57.0
合計	26.1	11.9	155.3	38.8	7.675	1.7
	3.9	17.6	23.0	54.5	1.0	100.0

Q50 検査や調理学などの検査業務に満足したか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	2.1	6.6	5.0	20.8	0.0	0.0
保健学科	9.5	51.3	30.3	2.2	0.0	100.0
教育	2.8	58.1	14.3	2.9	1.9	100.0
社会情報	2.0	38.1	19.6	7.2	0.0	100.0
理工	9.2	21.2	65.5	5.0	3.74	20.2
合計	15.1	37.0	131.1	21.1	2.679	14.0
	22.4	54.8	19.4	3.1	0.3	100.0

Q47 大学が行った「就職ガイダンス」に参加したか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0
保健学科	6.2	21.0	23.6	23.6	0.0	100.0
教育	2.3	34.6	63.8	1.9	32.4	63.8
社会情報	1.6	51.6	19.3	0.0	100.0	19.3
理工	3.6	18.5	14.7	6.374	2.9	18.4
合計	6.0	33.5	27.2	8.675	4.4	25.6
	8.9	46.6	40.3	1.2	1.2	100.0

Q51 授業以外の自主的な学習を通して、知識に満足したか

2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計		
度数	%	度数	%	度数	%	
医学科	2.7	8.3	29.2	33.3	29.2	0.0
保健学科	13.3	55.2	22.0	1.1	0.0	100.0
教育	2.0	57.1	17.1	8.6	1.0	100.0
社会情報	1.7	48.1	15.7	6.0	0.0	100.0
理工	20.8	54.8	19.3	4.3	0.8	100.0
合計	19.3	55.1	19.4	5.6	0.6	100.0

Q52 専門的学識・技能を修得した

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	11	9	3
%	45.8%	37.5%	12.5%
保健学科	36	49	4
%	40.4%	55.1%	4.5%
教育	40	53	9
%	38.1%	50.5%	8.6%
社会情報	19	59	11
%	10.0%	59.0%	10.4%
理工	71	243	65
%	19.0%	65.0%	16.5%
合計	167	403	90
%	24.7%	59.7%	13.3%

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	2	13	8
%	8.3%	54.2%	33.3%
保健学科	25	51	12
%	23.5%	57.8%	41.1%
教育	26	63	12
%	24.8%	60.0%	44.4%
社会情報	16	59	7
%	15.3%	71.1%	25.0%
理工	78	242	47
%	20.9%	64.7%	12.6%
合計	147	428	85
%	21.8%	63.4%	12.6%

Q57 コミュニケーション能力を高める

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	5	12	6
%	20.8%	50.0%	25.0%
保健学科	22	54	12
%	24.7%	60.7%	42.4%
教育	40	53	10
%	38.1%	50.5%	35.7%
社会情報	22	40	17
%	26.5%	48.2%	20.5%
理工	69	212	76
%	18.4%	56.7%	20.3%
合計	158	371	120
%	23.4%	55.0%	17.8%

Q58 社会で生かすための実践的知識・技能を身につける

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	3	10	4
%	12.5%	41.7%	16.7%
保健学科	18	50	19
%	20.2%	56.2%	21.3%
教育	25	65	12
%	23.8%	61.9%	44.4%
社会情報	15	50	16
%	18.1%	60.2%	19.3%
理工	44	208	101
%	11.8%	55.1%	27.0%
合計	105	381	159
%	15.6%	56.4%	23.6%

Q59 自然の共生を基盤とした豊かな人間性・社会性を身に付ける

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	1	15	6
%	4.2%	62.5%	25.0%
保健学科	12	57	19
%	13.5%	64.0%	21.3%
教育	20	63	19
%	19.0%	60.0%	18.1%
社会情報	12	44	25
%	14.5%	53.0%	30.1%
理工	51	209	94
%	13.6%	55.9%	25.1%
合計	96	388	161
%	14.2%	57.5%	24.1%

Q62 専門的学識・技能を修得した

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	11	9	3
%	45.8%	37.5%	12.5%
保健学科	36	49	4
%	40.4%	55.1%	4.5%
教育	40	53	9
%	38.1%	50.5%	8.6%
社会情報	19	59	11
%	10.0%	59.0%	10.4%
理工	71	243	65
%	19.0%	65.0%	16.5%
合計	167	403	90
%	24.7%	59.7%	13.3%

Q63 専門的学識・技能を習得した

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	8	11	5
%	33.3%	45.8%	18.3%
保健学科	24	57	6
%	27.0%	64.0%	22.2%
教育	38	55	9
%	36.2%	50.5%	32.1%
社会情報	21	50	23
%	7.2%	60.2%	27.7%
理工	56	230	75
%	15.0%	61.5%	20.1%
合計	132	403	118
%	19.6%	59.7%	17.5%

Q64 人間社会・歴史・文化・自然等に関する知識・技能を身に付ける

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	1	8	11
%	4.2%	33.3%	45.8%
保健学科	19	45	25
%	21.3%	50.5%	28.1%
教育	23	55	18
%	23.8%	56.2%	17.1%
社会情報	13	56	12
%	15.7%	67.5%	14.5%
理工	52	191	109
%	13.9%	51.1%	29.1%
合計	110	359	175
%	16.3%	53.2%	25.9%

Q65 幅広い職業・学問的な進路に備えて、様々な局面に適切に対応できる者になる

2021年3月卒業生
 2020年3月卒業生
 2019年3月卒業生

度	2021年3月卒業生	2020年3月卒業生	2019年3月卒業生
人数	2	12	3
%	8.3%	50.0%	12.5%
保健学科	23	66	9
%	23.6%	63.4%	20.0%
教育	26	63	14
%	24.8%	60.0%	13.3%
社会情報	11	57	12
%	13.3%	68.7%	14.5%
理工	51	225	89
%	13.6%	60.2%	23.8%
合計	111	405	141
%	16.4%	60.0%	20.9%

Q60 社会から離れたい国内で活躍することができるようになった

	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	あまり 思った くそ う ない 思わ ない	あまり 思った くそ う ない 思わ ない	合計
	度数	%	度数	%					
医学科	3	12.5%	8	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0
保健学科	7	35.0%	32	125.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
教育	15	75.0%	43	164.0%	1	100.0%	12	59.0%	18
社会情報	7	35.0%	32	125.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
理工	8	40.0%	32	125.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	63	315.0%	227	892.5%	1	100.0%	12	59.0%	18

Q61 群馬大学のキャリアを全体としてどう評価するか

	2021年3月卒業生		2020年3月卒業生		合計	NA	十分 である	やや 不十分 である	合計
	度数	%	度数	%					
医学科	4	17.8%	17	70.8%	0	0.0%	0	0.0%	17
保健学科	16	64.0%	65	260.0%	7	28.0%	4	16.0%	82
教育	23	92.0%	71	284.0%	5	19.6%	1	4.0%	80
社会情報	19	76.0%	50	196.0%	12	48.0%	1	4.0%	61
理工	69	276.0%	255	1020.0%	46	184.0%	4	16.0%	315
合計	131	524.0%	462	1848.0%	74	296.0%	6	24.0%	571

群馬大学全学修了時アンケート調査集計表

群馬大学全学修了時アンケート調査(2021年3月修了生、2020年3月修了生)
 【教育学研究科】集計表
 回収数:2021年3月修了生9、2020年3月修了生10
 回収方法:郵送システム

- Q1 研究科等(概)
- Q2 所属(概)
- Q3 入学年度(概)
- Q4 修了後の進路

就職する (群馬県内)	就職する (群馬県外)	群馬大学 に進学する	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
度数	4	2	0	3	10
%	40.0%	20.0%	0.0%	30.0%	100.0%
度数	5	0	0	4	9
%	55.6%	0.0%	0.0%	44.4%	100.0%

Q5-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

該当する	合計
度数	8
%	80.0%
度数	7
%	77.8%

Q5-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

該当する	合計
度数	4
%	40.0%
度数	5
%	55.6%

Q5-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究設備が十分であること

該当する	合計
度数	0
%	0.0%
度数	2
%	22.2%

Q5-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:専修や免許が取得できること

該当する	合計
度数	4
%	40.0%
度数	5
%	55.6%

Q5-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:専攻教員との関わりがよいこと

該当する	合計
度数	4
%	40.0%
度数	3
%	33.3%

Q5-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学の歴史や特色がよいこと

該当する	合計
度数	0
%	0.0%
度数	0
%	0.0%

Q5-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと

該当する	合計
度数	5
%	50.0%
度数	3
%	33.3%

Q5-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

該当する	合計
度数	1
%	10.0%

2021年3月修了生	度数	3	100.0%
	%	33.3%	100.0%

Q6-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

該当する	合計
度数	1
%	10.0%
度数	2
%	22.2%

Q6 入学(編入)時、教育ポリシーについて知っていたか

とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
度数	0	6	4	10
%	0.0%	60.0%	40.0%	100.0%
度数	1	4	2	9
%	11.1%	44.4%	22.2%	100.0%

Q7 入学(編入)時、満足していたか

とても満足して入学していた	まあ満足して入学していた	あまり満足して入学していなかった	まったく満足して入学していなかった	合計
度数	3	7	0	10
%	30.0%	70.0%	0.0%	100.0%
度数	5	4	0	9
%	55.6%	44.4%	0.0%	100.0%

Q8 印象に残る経緯:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげた感じがした

とても覚えてはまる	覚えてはまる	覚えてはまらない	覚えてはまらない	合計
度数	7	3	0	10
%	70.0%	30.0%	0.0%	100.0%
度数	6	2	1	9
%	66.7%	22.2%	11.1%	100.0%

Q9 印象に残る経緯:実社会との接点を感じることで学んだ

とても覚えてはまる	覚えてはまる	覚えてはまらない	覚えてはまらない	合計
度数	5	2	3	10
%	50.0%	20.0%	30.0%	100.0%
度数	2	7	0	9
%	22.2%	77.8%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経緯:学問以外の場の方や者方と触れられた

とても覚えてはまる	覚えてはまる	覚えてはまらない	覚えてはまらない	合計
度数	8	1	1	10
%	80.0%	10.0%	10.0%	100.0%
度数	5	1	3	9
%	55.6%	11.1%	33.3%	100.0%

Q11 印象に残る経緯:大学の歴史や特色を学べた

とても覚えてはまる	覚えてはまる	覚えてはまらない	覚えてはまらない	合計
度数	4	5	1	10
%	40.0%	50.0%	10.0%	100.0%
度数	6	1	2	9
%	66.7%	11.1%	22.2%	100.0%

Q12 印象に残る経緯:自分の進性や将来への関心を知ることができた

とても覚えてはまる	覚えてはまる	覚えてはまらない	覚えてはまらない	合計
度数	6	4	0	10
%	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%
度数	4	3	2	9
%	44.4%	33.3%	22.2%	100.0%

Q13 印象に残る経緯:研究について、相談にのったり支離してくる人がいた

該当する	合計
度数	0
%	0.0%

Q22 満足度: 研究施設・設備・講義	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	10	0	0	0	10
度数	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	6	2	11.1%	0	9
度数	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	100.0%
%					
合計	16	2	11.1%	0	19
度数	84.2%	10.5%	5.8%	0.0%	100.0%
%					

Q23 満足度: 就職支援	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	0	9	1	0	10
度数	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	5	1	0	9
度数	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	100.0%
%					
合計	3	14	2	0	19
度数	15.8%	72.6%	10.5%	0.0%	100.0%
%					

Q24 幅広い量かな学業を身に付けた	とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
2020年3月修了生	5	5	0	0	10
度数	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	4	2	3	0	9
度数	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%	100.0%
%					
合計	9	7	3	0	19
度数	47.4%	36.8%	15.8%	0.0%	100.0%
%					

Q25 専門分野において自立して研究活動を進められる能力を身に付けた	とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
2020年3月修了生	3	6	1	0	10
度数	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	4	1	4	0	9
度数	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%	100.0%
%					
合計	7	7	5	0	19
度数	36.8%	36.8%	26.3%	0.0%	100.0%
%					

Q26 高度な専門性または国際性を必要とする職業を扱う能力を身に付けた	とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
2020年3月修了生	1	7	2	0	10
度数	10.0%	70.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	4	2	0	9
度数	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	100.0%
%					
合計	4	11	4	0	19
度数	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%	100.0%
%					

Q27 研究者・技術者・高度専門職人としての倫理観を身に付けた	とても思う	まあ思う	あまり思う	まったく思う	合計
2020年3月修了生	3	6	1	0	10
度数	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	2	2	0	9
度数	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	100.0%
%					
合計	8	8	3	0	19
度数	42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	100.0%
%					

Q28 群馬大学大学院のキャリアを全体としてどう評価するか	とても満足している	まあ満足している	やや不十分である	不十分である	合計
2020年3月修了生	1	9	0	0	10
度数	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	4	2	0	9
度数	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	100.0%
%					
合計	4	13	2	0	19
度数	21.1%	68.4%	10.5%	0.0%	100.0%
%					

Q14 印象に残る授業: 研究以外の(通産、人間関係など)について、幅広く経験のつちが実習してくる人がいた	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	7	2	1	0	10
度数	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	2	1	1	9
度数	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	100.0%
%					
合計	12	4	2	1	19
度数	63.2%	21.1%	10.5%	5.3%	100.0%
%					

Q15 印象に残る授業: 教員の指導に基づきながらも、自主性を重宝されて研究を進められた	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	8	2	0	0	10
度数	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	4	0	0	9
度数	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
%					
合計	13	6	0	0	19
度数	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	100.0%
%					

Q16 印象に残る授業: 研究の進度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	3	6	1	0	10
度数	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	2	2	3	9
度数	22.2%	22.2%	22.2%	33.3%	100.0%
%					
合計	5	8	3	3	19
度数	26.3%	42.1%	15.8%	15.8%	100.0%
%					

Q17 印象に残る授業: 研究の成果を正當に評価された	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	6	4	0	0	10
度数	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	4	0	0	9
度数	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	100.0%
%					
合計	11	8	0	0	19
度数	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	100.0%
%					

Q18 満足度: 研究テーマ選択の自由度	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	5	4	1	0	10
度数	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	6	2	1	0	9
度数	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	100.0%
%					
合計	11	6	2	0	19
度数	57.9%	31.6%	10.5%	0.0%	100.0%
%					

Q19 満足度: 研究テーマに対する指導	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	7	3	0	0	10
度数	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	2	1	1	9
度数	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%	100.0%
%					
合計	12	5	1	1	19
度数	63.2%	26.3%	5.3%	5.3%	100.0%
%					

Q20 満足度: 指導教員とのコミュニケーション	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	9	1	0	0	10
度数	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	6	2	1	0	9
度数	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	100.0%
%					
合計	15	3	1	0	19
度数	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	100.0%
%					

Q21 満足度: 図書館	とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2020年3月修了生	3	4	1	1	10
度数	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%	100.0%
2021年3月修了生	1	8	0	0	9
度数	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	100.0%
%					
合計	4	12	1	1	19
度数	21.1%	63.2%	5.3%	5.3%	100.0%
%					

群馬大学大学院修士課程アンケート調査(2021年3月修了生、2020年3月修了生対象)

【社会情勢等】集計表
 回収率:2021年3月修了生3、2020年3月修了生9
 回収方法:郵送システム

Q1 研究科等(概)

Q2 満足(概)

Q3 入学年度(概)

Q4 修了後の進路

	修了する (群馬県内)	修了する (群馬県外)	群馬大学本 学院に進学	他の大学の 大学院に進 学する	その他	合計
2020年3月修了生	2	4	0	0	0	6
%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	2	0	0	1	3
%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%

Q5-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

	該当する	合計
2020年3月修了生	5	6
%	83.3%	100.0%
2021年3月修了生	3	3
%	100.0%	100.0%

Q5-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:指導教員の資質・能力がすぐれていること

	該当する	合計
2020年3月修了生	6	6
%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	3
%	100.0%	100.0%

Q5-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究施設が十分であること

	該当する	合計
2020年3月修了生	0	6
%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q5-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること

	該当する	合計
2020年3月修了生	0	6
%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q5-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:将来就きたい職業につながる

	該当する	合計
2020年3月修了生	1	6
%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q5-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の環境がよいこと

	該当する	合計
2020年3月修了生	0	6
%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q5-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学教員からすすめられたこと

	該当する	合計
2020年3月修了生	1	6
%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q5-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

	該当する	合計
2020年3月修了生	4	6
%	66.7%	100.0%
2021年3月修了生	1	3
%	33.3%	100.0%

Q5-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

	該当する	合計
2020年3月修了生	0	6
%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3
%	0.0%	100.0%

Q8 入学(編入)時、教育ポリシーについて知っていたか

	知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
2020年3月修了生	1	4	0	5
%	16.7%	66.7%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	0	3
%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q7 入学(編入)時、満足していたか

	満足していた	あまり満足しなかった	まったく満足しなかった	合計
2020年3月修了生	6	0	0	6
%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	1	0	3
%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%

Q8 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる楽しさがあった

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	5	1	0	6
%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	0	0	3
%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q9 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	1	4	1	6
%	16.7%	66.7%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	0	3
%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触られた

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	3	3	0	6
%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	1	0	3
%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経験:大学の個性や特色をいかした教育が行われた

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	2	3	1	6
%	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	0	2	1	3
%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%

Q12 印象に残る経験:自分の進性や専攻への関心を高めることができた

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	2	3	1	6
%	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
2021年3月修了生	1	1	1	3
%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%

Q13 印象に残る経験:研究について、相談のつらさを感じた

	あった	あまりあつた	ほとんどあつた	合計
2020年3月修了生	6	0	0	6
%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2021年3月修了生	1	2	0	3
%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談のつらさを感じた

2020年3月修了生	度数	5	16.7%	あまりあてはまらない	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	1	33.3%	あまりあてはまらない	3	100.0%
合計	度数	6			6	
Q15 印象に響く経験・教員の指導に基づながらも、自主性を尊重されて研究を進められた						
2020年3月修了生	度数	5	83.3%	とてもあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とてもあてはまる	3	100.0%
合計	度数	7			9	
Q16 印象に残る経験・研究の進捗や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた						
2020年3月修了生	度数	3	50.0%	あまりあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	3	100.0%	あまりあてはまる	3	100.0%
合計	度数	6			9	
Q17 印象に残る経験・研究の進捗を正しく評価された						
2020年3月修了生	度数	4	66.7%	とてもあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とてもあてはまる	3	100.0%
合計	度数	6			9	
Q18 満足度：研究テーマ選択の自由度						
2020年3月修了生	度数	6	100.0%	とても満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とても満足している	3	100.0%
合計	度数	8			9	
Q19 満足度：研究テーマに対する興味						
2020年3月修了生	度数	5	83.3%	とても満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とても満足している	3	100.0%
合計	度数	7			9	
Q20 満足度：指導教員とのコミュニケーション						
2020年3月修了生	度数	5	83.3%	とても満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とても満足している	3	100.0%
合計	度数	7			9	
Q21 満足度：図書館						
2020年3月修了生	度数	1	16.7%	あまり満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	1	33.3%	あまり満足している	3	100.0%
合計	度数	2			9	
Q22 満足度：研究施設・設備・指導教員						
2020年3月修了生	度数	1	16.7%	あまり満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	1	33.3%	あまり満足している	3	100.0%
合計	度数	2			9	
Q23 満足度：就職支援						
2020年3月修了生	度数	1	16.7%	あまり満足している	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	1	33.3%	あまり満足している	3	100.0%
合計	度数	2			9	

2020年3月修了生	度数	4	66.7%	あまりあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	あまりあてはまる	3	100.0%
合計	度数	6			9	
Q24 幅広い豊かな学際を身に付けた						
2020年3月修了生	度数	4	66.7%	とてもあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	3	100.0%	とてもあてはまる	3	100.0%
合計	度数	7			9	
Q25 専門分野において自立して研究活動を果敢でやる能力を身に付けた						
2020年3月修了生	度数	4	66.7%	とてもあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	とてもあてはまる	3	100.0%
合計	度数	6			9	
Q26 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた						
2020年3月修了生	度数	0	0.0%	とてもあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	1	33.3%	とてもあてはまる	3	100.0%
合計	度数	1			9	
Q27 研究者・技術者・高度専門職職人としての修業を身に付けた						
2020年3月修了生	度数	1	16.7%	あまりあてはまる	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	あまりあてはまる	3	100.0%
合計	度数	3			9	
Q28 群馬大学大学院のカリキュラム全体としてどう評価するか						
2020年3月修了生	度数	3	50.0%	十分である	6	100.0%
2021年3月修了生	度数	2	66.7%	十分である	3	100.0%
合計	度数	5			9	

群馬大学大学院修士課程2021年3月修了生(2021年3月修了生、2020年3月修了生)
 【理工学術】集計表
 回収数:2021年3月修了生417(工学研究科修士課程修了生を含む)、2020年3月修了生187
 回収方法:郵送システム

- 01 返答科(修)
- 02 調査(修)
- 03 入学年度(修)
- 04 修了後の進路

2020年3月修了生	就緒する (群馬県内)	就緒する (群馬県外)	群馬大学 大学院に進 学する	他の大学 に進学する	その他	合計	群馬大学大学院に入学を求めた理由:希望する研究分野があること	
							該当する 度数	%
博士前期課程	42	127	2	0	4	175	100.0%	100.0%
博士後期課程	24.0%	72.6%	1.1%	0.0%	2.3%	100.0%	28.0%	100.0%
2021年3月修了生	8.3%	41.7%	8.3%	0.0%	41.7%	100.0%	0.0%	100.0%
博士前期課程	47	142	2	1	193	345	100.0%	100.0%
博士後期課程	24.4%	73.6%	1.0%	0.5%	0.5%	100.0%	33.2%	100.0%
工学研究科	17.4%	4	8	0	11	23	8.7%	100.0%
博士後期課程	0.0%	0	0	0	0	0	0.0%	100.0%
合計	66	203	3	1	175	345	100.0%	100.0%

05-1 群馬大学大学院に入学を求めた理由:希望する研究分野があること

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	94	175
博士後期課程	53.7%	100.0%
2021年3月修了生	83.3%	100.0%
博士前期課程	80	193
博士後期課程	46.6%	100.0%
工学研究科	65.2%	100.0%
博士後期課程	100.0%	100.0%

05-2 群馬大学大学院に入学を求めた理由:希望する進路がすぐれていること

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	57	175
博士後期課程	32.6%	100.0%
2021年3月修了生	33.3%	100.0%
博士前期課程	64	193
博士後期課程	33.6%	100.0%
工学研究科	78.3%	100.0%
博士後期課程	100.0%	100.0%

05-3 群馬大学大学院に入学を求めた理由:研究計画が十分であること

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	21	175
博士後期課程	13.1%	100.0%
2021年3月修了生	0.0%	100.0%
博士前期課程	36	193
博士後期課程	18.7%	100.0%
工学研究科	21.7%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%

05-4 群馬大学大学院に入学を求めた理由:専修や免許が取得できること

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	4	175
博士後期課程	2.3%	100.0%
2021年3月修了生	0.0%	100.0%
博士前期課程	2	193
博士後期課程	1.0%	100.0%
工学研究科	4.3%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%

05-5 群馬大学大学院に入学を求めた理由:特長科目を履修することができること

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	66	175

2021年3月修了生	該当する 度数	%
博士後期課程	1	37.7%
博士前期課程	8.3%	100.0%
博士後期課程	46.1%	100.0%
工学研究科	17.4%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%

05-6 群馬大学大学院に入学を求めた理由:希望の環境が良いこと

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	49	175
博士後期課程	28.0%	100.0%
2021年3月修了生	64	193
博士後期課程	33.2%	100.0%
工学研究科	8.7%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%

05-7 群馬大学大学院に入学を求めた理由:大学職員からすすめられたこと

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	12	175
博士後期課程	6.8%	100.0%
2021年3月修了生	23	193
博士後期課程	11.9%	100.0%
工学研究科	26.1%	100.0%
博士後期課程	100.0%	100.0%

05-8 群馬大学大学院に入学を求めた理由:経済的な負担が少ないこと

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	28	175
博士後期課程	16.0%	100.0%
2021年3月修了生	30	193
博士後期課程	15.5%	100.0%
工学研究科	17.4%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%

05-9 群馬大学大学院に入学を求めた理由:その他

2020年3月修了生	該当する 度数	%
博士前期課程	17	175
博士後期課程	9.7%	100.0%
2021年3月修了生	14	193
博士後期課程	7.3%	100.0%
工学研究科	21.7%	100.0%
博士後期課程	100.0%	100.0%

06 入学(編入)後、教育ポリシーについて知っていたか

2020年3月修了生	知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	NA	合計
博士前期課程	5	60	39	2	175
博士後期課程	2.9%	34.3%	22.3%	1.1%	100.0%
2021年3月修了生	4	70	22	2	193
博士後期課程	2.1%	36.3%	11.4%	1.0%	100.0%
工学研究科	17.4%	34.8%	21.7%	0.0%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

07 入学(編入)後、満足していたか

2020年3月修了生	満足していた	満足していなかった	合計
博士前期課程	66	109	175
博士後期課程	37.7%	62.3%	100.0%
2021年3月修了生	66	127	193
博士後期課程	34.2%	65.8%	100.0%
工学研究科	34.8%	65.2%	100.0%
博士後期課程	0.0%	100.0%	100.0%

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	121	12	3	175
	69.1%	1.7%	0.0%	100.0%
	22.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	69.3%	1.3%	0.5%	100.0%
	68.9%	0.7%	0.0%	100.0%
	23.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	13	0	0	23
	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	43.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経歴: 研究について、相談のついでに質問してくれる人がいた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	83	67	18	175
	47.4%	10.3%	2.9%	100.0%
	7	3	0	12
	58.3%	0.0%	16.7%	100.0%
	1.08	61	16	193
	0.5%	8.3%	3.6%	100.0%
	15	6	1	23
	65.2%	4.3%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経歴: 研究以外(運動、人間関係など)について、幅広く相談のついでに質問してくれる人がいた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	57	27	11	175
	32.6%	45.1%	15.4%	100.0%
	7	3	1	12
	58.3%	25.0%	8.3%	100.0%
	68	82	30	193
	35.2%	42.9%	15.5%	100.0%
	12	7	4	23
	52.2%	30.4%	17.4%	100.0%
	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q15 印象に残る経歴: 教員の指導に基づきながらも、自主性を重んじられて研究を進められた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	88	69	8	175
	50.3%	38.4%	4.6%	100.0%
	7	4	1	12
	58.3%	8.3%	8.3%	100.0%
	108	111	24	193
	54.4%	57.1%	12.4%	100.0%
	2	2	0	23
	8.7%	4.3%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q16 印象に残る経歴: 研究の態度や姿勢が丁寧な場合、教員から指導を受けた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	51	79	28	175
	29.1%	45.1%	16.0%	100.0%
	6	3	2	12
	50.0%	25.0%	16.7%	100.0%
	59	83	37	193
	30.6%	43.0%	19.2%	100.0%
	8	4	2	23
	34.8%	17.4%	8.7%	100.0%
	0	1	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q17 印象に残る経歴: 研究の成果を正しく評価された

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	69	94	10	175
	39.4%	53.7%	5.7%	100.0%
	7	4	1	12
	58.3%	33.3%	8.3%	100.0%
	76	99	12	193
	39.4%	51.3%	6.2%	100.0%
	16	3	3	23
	69.6%	13.0%	13.0%	100.0%
	0	1	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q18 満足度: 研究テーマ選択の自由度

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	68	86	13	175
	38.9%	49.2%	7.4%	100.0%

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	121	12	3	175
	69.1%	1.7%	0.0%	100.0%
	22.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	69.3%	1.3%	0.5%	100.0%
	68.9%	0.7%	0.0%	100.0%
	23.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	13	0	0	23
	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	43.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	1	0	0	1
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q9 印象に残る経歴: 相当の努力をして課題単位取得や論文発表をやり上げる楽しさがあった

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	76	77	16	175
	43.4%	44.0%	9.1%	100.0%
	7	5	0	12
	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%
	84	89	19	193
	43.3%	46.1%	9.8%	100.0%
	22	8	2	23
	95.7%	34.8%	8.7%	100.0%
	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経歴: 学部生時代の先輩の指導を受けた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	32	68	57	175
	18.3%	38.9%	32.6%	100.0%
	5	5	2	12
	41.7%	41.7%	16.7%	100.0%
	27	75	15	193
	14.0%	38.9%	7.8%	100.0%
	22	8	2	23
	95.7%	34.8%	8.7%	100.0%
	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経歴: 大学時代の個性や特色をいかした教育を受けた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	83	83	12	175
	47.4%	47.4%	6.8%	100.0%
	7	0	0	12
	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	83	98	10	193
	43.0%	50.8%	5.2%	100.0%
	14	8	1	23
	60.9%	34.8%	4.3%	100.0%
	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q12 印象に残る経歴: 自分の進捗や将来への関心を伝えることができた

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	45	82	34	175
	25.7%	46.9%	19.4%	100.0%
	3	3	6	12
	33.3%	58.3%	33.3%	100.0%
	50	94	43	193
	25.9%	48.7%	22.3%	100.0%
	14	7	1	23
	60.9%	30.4%	4.3%	100.0%
	0	1	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経歴: 博士課程の生活や研究の自由度

2020年3月修了生	博士前期課程 度数	博士後期課程 度数	工学研究科 度数	合計
	67	85	14	175
	38.3%	48.6%	8.0%	100.0%
	4	6	2	12
	33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
	73	101	17	193
	37.8%	52.3%	8.8%	100.0%

Q24 幅広い豊かな学業を身に付けた		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	49.1%	2	7.4%	0	0.0%	2	100.0%
博士後期課程	75.0%	16.7%	0.0%	0	0.0%	16.7%	100.0%
博士前期課程	41.5%	86	11.9%	23	0.5%	109	100.0%
博士後期課程	65.2%	15	0.0%	0	0.0%	15	100.0%
工学研究科	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	38.9%	9	49.1%	1	4.6%	10	100.0%
博士後期課程	75.0%	16.7%	0.0%	0	0.0%	16.7%	100.0%
博士前期課程	41.5%	86	11.9%	23	0.5%	109	100.0%
博士後期課程	65.2%	15	0.0%	0	0.0%	15	100.0%
工学研究科	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%
博士後期課程							
合計							

Q19 満足度：研究者に与える影響		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	43.4%	72	97.7%	5	1.1%	77	100.0%
博士後期課程	58.3%	41.7%	0.0%	0	0.0%	41.7%	100.0%
博士前期課程	45.6%	88	8.4%	16	5	104	100.0%
博士後期課程	65.2%	15	8	0	0.0%	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	44.0%	77	72	16	10	93	100.0%
博士後期課程	50.0%	6	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
博士前期課程	48.1%	87	87	14	5	101	100.0%
博士後期課程	69.6%	16	6	1	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							

Q20 満足度：研究者とコミュニケーション		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	44.0%	77	9.1%	10	3.7%	87	100.0%
博士後期課程	50.0%	6	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
博士前期課程	48.1%	87	87	14	5	101	100.0%
博士後期課程	69.6%	16	6	1	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	44.0%	77	9.1%	10	3.7%	87	100.0%
博士後期課程	50.0%	6	0.0%	0	0.0%	6	100.0%
博士前期課程	48.1%	87	87	14	5	101	100.0%
博士後期課程	69.6%	16	6	1	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							

Q21 満足度：設備		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	28.6%	50	54.3%	23	4.0%	73	100.0%
博士後期課程	58.3%	7	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
博士前期課程	22.8%	44	108	34	5	178	100.0%
博士後期課程	21.7%	5	14	4	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	28.6%	50	54.3%	23	4.0%	73	100.0%
博士後期課程	58.3%	7	0.0%	0	0.0%	7	100.0%
博士前期課程	22.8%	44	108	34	5	178	100.0%
博士後期課程	21.7%	5	14	4	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							

Q22 満足度：設備・構築等		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	27.4%	48	91	27	9	75	100.0%
博士後期課程	41.7%	5	6	1	0	6	100.0%
博士前期課程	25.9%	70	52.3%	17	4.7%	87	100.0%
博士後期課程	30.4%	14	4.3%	4.3%	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	27.4%	48	91	27	9	75	100.0%
博士後期課程	41.7%	5	6	1	0	6	100.0%
博士前期課程	25.9%	70	52.3%	17	4.7%	87	100.0%
博士後期課程	30.4%	14	4.3%	4.3%	0	23	100.0%
工学研究科	100.0%	1	0	0	0.0%	1	100.0%
博士後期課程							
合計							

Q23 満足度：就職支援		2020年3月修了生		2021年3月修了生		合計	
度	%	度	%	度	%	度	%
博士前期課程	16.6%	29	94	42	10	71	100.0%
博士後期課程	33.3%	34	108	39	12	173	100.0%
博士前期課程	17.0%	34	56	13	6.2%	47	100.0%
博士後期課程	30.4%	0	56.5%	1	8.7%	1	100.0%
工学研究科	0.0%	0	100.0%	0	0.0%	0	100.0%
博士後期課程							
合計							
博士前期課程	16.6%	29	94	42	10	71	100.0%
博士後期課程	33.3%	34	108	39	12	173	100.0%
博士前期課程	17.0%	34	56	13	6.2%	47	100.0%
博士後期課程	30.4%	0	56.5%	1	8.7%	1	100.0%
工学研究科	0.0%	0	100.0%	0	0.0%	0	100.0%
博士後期課程							
合計							

群馬大学大学院全学修了者アンケート調査(2021年3月修了生、2020年3月修了生)
 【調査時期区分】 集計表
 調査年:2021年3月修了生28、2020年3月修了生37
 回答方式:複数回答方式

Q1 研究科(専攻)
 Q2 所属(院)
 Q3 入学年度(期)
 Q4 修了後の進路

修了後の進路	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	7	24.0%	5	25
博士後期課程	2020年3月修了生	2	6.3%	9	12
博士前期課程	2021年3月修了生	5	16.7%	0	5
博士後期課程	2021年3月修了生	3	9.0%	5	8
合計		15	45.0%	19	34

Q5-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する専攻分野があること

専攻分野	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	4	12.0%	0	4
博士後期課程	2020年3月修了生	12	32.0%	0	12
博士前期課程	2021年3月修了生	14	41.2%	0	14
博士後期課程	2021年3月修了生	4	11.8%	0	4
合計		34	100.0%	0	34

Q5-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する専攻分野が与えられていること

専攻分野	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	17	45.0%	0	17
博士後期課程	2020年3月修了生	9	23.7%	0	9
博士前期課程	2021年3月修了生	14	36.8%	0	14
博士後期課程	2021年3月修了生	4	10.5%	0	4
合計		44	100.0%	0	44

Q5-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:研究業績が十分であること

研究業績	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	2	5.0%	0	2
博士後期課程	2020年3月修了生	3	7.7%	0	3
博士前期課程	2021年3月修了生	3	7.5%	0	3
博士後期課程	2021年3月修了生	1	2.5%	0	1
合計		9	22.7%	0	9

Q5-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:資格や免許が取得できること

資格/免許	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	2	5.0%	0	2
博士後期課程	2020年3月修了生	8	20.0%	0	8
博士前期課程	2021年3月修了生	5	12.5%	0	5
博士後期課程	2021年3月修了生	0	0.0%	0	0
合計		15	37.5%	0	15

Q5-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:特許取得したい職業につなげること

職業	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	5	12.5%	0	5
博士後期課程	2020年3月修了生	3	7.5%	0	3
博士前期課程	2021年3月修了生	8	20.0%	0	8
博士後期課程	2021年3月修了生	2	5.0%	0	2
合計		18	45.0%	0	18

Q5-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:特許取得したい職業がよいこと

職業	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	0	0.0%	0	0
博士後期課程	2020年3月修了生	0	0.0%	0	0
博士前期課程	2021年3月修了生	0	0.0%	0	0
博士後期課程	2021年3月修了生	0	0.0%	0	0
合計		0	0.0%	0	0

Q6-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由:大学職員からすすめられたこと

職种	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	2	5.0%	0	2
博士後期課程	2020年3月修了生	12	30.0%	0	12
博士前期課程	2021年3月修了生	4	10.0%	0	4
博士後期課程	2021年3月修了生	4	10.0%	0	4
合計		22	55.0%	0	22

Q6-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由:経済的な負担が少ないこと

経済的負担	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	7	17.5%	0	7
博士後期課程	2020年3月修了生	20	50.0%	0	20
博士前期課程	2021年3月修了生	5	12.5%	0	5
博士後期課程	2021年3月修了生	4	10.0%	0	4
合計		26	65.0%	0	26

Q6-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

その他	修了年度	人数	割合	NA	合計
博士前期課程	2020年3月修了生	2	5.0%	0	2
博士後期課程	2020年3月修了生	0	0.0%	0	0
博士前期課程	2021年3月修了生	0	0.0%	0	0
博士後期課程	2021年3月修了生	0	0.0%	0	0
合計		2	5.0%	0	2

Q6-10 入学(編入)時、教育リソースについて知っていたか

知っていたか	修了年度	人数	割合	NA	合計
知っていた	2020年3月修了生	3	7.5%	0	3
知らなかった	2020年3月修了生	8	20.0%	0	8
知っていた	2021年3月修了生	11	27.5%	0	11
知らなかった	2021年3月修了生	1	2.5%	0	1
合計		23	57.5%	0	23

Q7-10 入学(編入)時、満足していたか

満足していたか	修了年度	人数	割合	NA	合計
満足していた	2020年3月修了生	9	22.5%	0	9
満足しなかった	2020年3月修了生	16	40.0%	0	16
満足していた	2021年3月修了生	4	10.0%	0	4
満足しなかった	2021年3月修了生	6	15.0%	0	6
合計		29	72.5%	0	29

Q8-10 印象に残る経験:担当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる楽しさがあったこと

印象に残る経験	修了年度	人数	割合	NA	合計
印象に残る経験	2020年3月修了生	12	30.0%	0	12
印象に残る経験	2021年3月修了生	4	10.0%	0	4
印象に残る経験	2021年3月修了生	8	20.0%	0	8
印象に残る経験	2021年3月修了生	14	35.0%	0	14
印象に残る経験	2021年3月修了生	2	5.0%	0	2
合計		40	100.0%	0	40

Q8-10 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができたこと

印象に残る経験	修了年度	人数	割合	NA	合計
印象に残る経験	2020年3月修了生	12	30.0%	0	12
印象に残る経験	2021年3月修了生	8	20.0%	0	8
印象に残る経験	2021年3月修了生	33.3%	83.3%	0	33.3
印象に残る経験	2021年3月修了生	14	35.0%	0	14
印象に残る経験	2021年3月修了生	2	5.0%	0	2
合計		40	100.0%	0	40

Q10 印象に残る経験:学園生活の面白さや考え方に触れられたこと

印象に残る経験	修了年度	人数	割合	NA	合計
印象に残る経験	2020年3月修了生	6	15.0%	0	6
印象に残る経験	2021年3月修了生	5	12.5%	0	5
印象に残る経験	2021年3月修了生	33.3%	83.3%	0	33.3
印象に残る経験	2021年3月修了生	6	15.0%	0	6
印象に残る経験	2021年3月修了生	2	5.0%	0	2
合計		40	100.0%	0	40

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	12	48.0%	1	0	25
博士前期課程 度数	12	48.0%	1	0	100.0%
博士後期課程 度数	12	48.0%	1	0	100.0%
2021年3月修了生	12	58.3%	0	0	22
博士前期課程 度数	12	58.3%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	12	58.3%	0	0	100.0%
2022年3月修了生	4	50.0%	0	0	8
博士前期課程 度数	4	50.0%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	4	50.0%	0	0	100.0%

Q11 印刷に際する印刷・大規模印刷の業務を委託したか

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	9	36.0%	11	20.0%	25
博士前期課程 度数	9	36.0%	11	20.0%	100.0%
博士後期課程 度数	9	36.0%	11	20.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	16.7%	8.3%	0	12
博士前期課程 度数	2	16.7%	8.3%	0	100.0%
博士後期課程 度数	2	16.7%	8.3%	0	100.0%
2022年3月修了生	50.1%	40.8%	9.1%	0	22
博士前期課程 度数	50.1%	40.8%	9.1%	0	100.0%
博士後期課程 度数	50.1%	40.8%	9.1%	0	100.0%

Q12 印刷に際する印刷・自分の個性や将来への関心を高めることができた

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	12	40.0%	10	3	25
博士前期課程 度数	12	40.0%	10	3	100.0%
博士後期課程 度数	12	40.0%	10	3	100.0%
2021年3月修了生	33.4%	58.3%	8.3%	0	12
博士前期課程 度数	33.4%	58.3%	8.3%	0	100.0%
博士後期課程 度数	33.4%	58.3%	8.3%	0	100.0%
2022年3月修了生	10	45.5%	50.0%	4.5%	22
博士前期課程 度数	10	45.5%	50.0%	4.5%	100.0%
博士後期課程 度数	10	45.5%	50.0%	4.5%	100.0%

Q13 印刷に際する印刷・研究について、幅広い知識を身に付けている人がいる

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	19	76.0%	3	12.0%	25
博士前期課程 度数	19	76.0%	3	12.0%	100.0%
博士後期課程 度数	19	76.0%	3	12.0%	100.0%
2021年3月修了生	10	83.3%	16.7%	0	12
博士前期課程 度数	10	83.3%	16.7%	0	100.0%
博士後期課程 度数	10	83.3%	16.7%	0	100.0%
2022年3月修了生	68.2%	31.8%	0	0	22
博士前期課程 度数	68.2%	31.8%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	68.2%	31.8%	0	0	100.0%

Q14 印刷に際する印刷・研究以外の活動、人間関係の構築に積極的に取り組んでいる人がいる

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	11	44.0%	8	32.0%	25
博士前期課程 度数	11	44.0%	8	32.0%	100.0%
博士後期課程 度数	11	44.0%	8	32.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	41.7%	5	8.3%	12
博士前期課程 度数	5	41.7%	5	8.3%	100.0%
博士後期課程 度数	5	41.7%	5	8.3%	100.0%
2022年3月修了生	31.8%	50.0%	13.0%	4.5%	22
博士前期課程 度数	31.8%	50.0%	13.0%	4.5%	100.0%
博士後期課程 度数	31.8%	50.0%	13.0%	4.5%	100.0%

Q15 印刷に際する印刷・自身の得意分野や強み、得意分野を伸ばすことができた

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	14	56.0%	9	36.0%	25
博士前期課程 度数	14	56.0%	9	36.0%	100.0%
博士後期課程 度数	14	56.0%	9	36.0%	100.0%
2021年3月修了生	13	75.0%	16.7%	8.3%	22
博士前期課程 度数	13	75.0%	16.7%	8.3%	100.0%
博士後期課程 度数	13	75.0%	16.7%	8.3%	100.0%
2022年3月修了生	4	50.0%	0	0	8
博士前期課程 度数	4	50.0%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	4	50.0%	0	0	100.0%

Q16 印刷に際する印刷・研究の成果や活動が、学内外に発表された

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	7	28.0%	10	28.0%	25
博士前期課程 度数	7	28.0%	10	28.0%	100.0%
博士後期課程 度数	7	28.0%	10	28.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	41.7%	16.7%	0	12
博士前期課程 度数	5	41.7%	16.7%	0	100.0%
博士後期課程 度数	5	41.7%	16.7%	0	100.0%
2022年3月修了生	22.7%	45.5%	22.7%	9.1%	22
博士前期課程 度数	22.7%	45.5%	22.7%	9.1%	100.0%
博士後期課程 度数	22.7%	45.5%	22.7%	9.1%	100.0%

Q17 印刷に際する印刷・研究の成果を正式に発表された

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	25.0%	25.0%	50.0%	0	25
博士前期課程 度数	25.0%	25.0%	50.0%	0	100.0%
博士後期課程 度数	25.0%	25.0%	50.0%	0	100.0%

Q18 満足度: 研究テーマ選択の自由度

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	9	36.0%	12	48.0%	25
博士前期課程 度数	9	36.0%	12	48.0%	100.0%
博士後期課程 度数	9	36.0%	12	48.0%	100.0%
2021年3月修了生	9	75.0%	0	0	12
博士前期課程 度数	9	75.0%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	9	75.0%	0	0	100.0%
2022年3月修了生	2	50.0%	0	0	4
博士前期課程 度数	2	50.0%	0	0	100.0%
博士後期課程 度数	2	50.0%	0	0	100.0%

Q19 満足度: 指導教員のコミュニケーション

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	11	44.0%	13	52.0%	25
博士前期課程 度数	11	44.0%	13	52.0%	100.0%
博士後期課程 度数	11	44.0%	13	52.0%	100.0%
2021年3月修了生	9	75.0%	3	0	12
博士前期課程 度数	9	75.0%	3	0	100.0%
博士後期課程 度数	9	75.0%	3	0	100.0%
2022年3月修了生	59.1%	38.4%	4.5%	0	22
博士前期課程 度数	59.1%	38.4%	4.5%	0	100.0%
博士後期課程 度数	59.1%	38.4%	4.5%	0	100.0%

Q20 満足度: 指導教員のコミュニケーション

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	14	56.0%	9	36.0%	25
博士前期課程 度数	14	56.0%	9	36.0%	100.0%
博士後期課程 度数	14	56.0%	9	36.0%	100.0%
2021年3月修了生	8	66.7%	3	25.0%	12
博士前期課程 度数	8	66.7%	3	25.0%	100.0%
博士後期課程 度数	8	66.7%	3	25.0%	100.0%
2022年3月修了生	68.2%	27.3%	4.5%	0	22
博士前期課程 度数	68.2%	27.3%	4.5%	0	100.0%
博士後期課程 度数	68.2%	27.3%	4.5%	0	100.0%

Q21 満足度: 図書館

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	7	28.0%	9	36.0%	25
博士前期課程 度数	7	28.0%	9	36.0%	100.0%
博士後期課程 度数	7	28.0%	9	36.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	16.7%	9	8.3%	12
博士前期課程 度数	2	16.7%	9	8.3%	100.0%
博士後期課程 度数	2	16.7%	9	8.3%	100.0%
2022年3月修了生	18.2%	36.4%	22.7%	18.2%	22
博士前期課程 度数	18.2%	36.4%	22.7%	18.2%	100.0%
博士後期課程 度数	18.2%	36.4%	22.7%	18.2%	100.0%

Q22 満足度: 研究施設・設備・機器等

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	5	20.0%	16	64.0%	25
博士前期課程 度数	5	20.0%	16	64.0%	100.0%
博士後期課程 度数	5	20.0%	16	64.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	16.7%	9	8.3%	12
博士前期課程 度数	2	16.7%	9	8.3%	100.0%
博士後期課程 度数	2	16.7%	9	8.3%	100.0%
2022年3月修了生	13.6%	63.6%	18.2%	4.5%	22
博士前期課程 度数	13.6%	63.6%	18.2%	4.5%	100.0%
博士後期課程 度数	13.6%	63.6%	18.2%	4.5%	100.0%

Q23 満足度: 教職支援

とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	
2020年3月修了生	3	12.0%	11	44.0%	25
博士前期課程 度数	3	12.0%	11	44.0%	100.0%
博士後期課程 度数	3	12.0%	11	44.0%	100.0%
2021年3月修了生	8.3%	75.0%	8.3%	8.3%	12
博士前期課程 度数	8.3%	75.0%	8.3%	8.3%	100.0%
博士後期課程 度数	8.3%	75.0%	8.3%	8.3%	100.0%
2022年3月修了生	13.6%	45.5%	22.7%	13.6%	22
博士前期課程 度数	13.6%	45.5%	22.7%	13.6%	100.0%
博士後期課程 度数	13.6%	45.5%	22.7%	13.6%	100.0%

Q24 幅広く豊かな学業生活を付けた

群馬大学大学院各学修了生アンケート調査(2021年3月修了生、2020年3月修了生対象)
 【医学系研究科】集計表
 回収数:2021年3月修了25、2020年3月修了7
 回収方法:郵送システム

Q1 研究科等(職)
 Q2 課程(職)
 Q3 入学年度(職)

Q4 修了後の進路

	就職する (群馬県 内)	群馬大学 (群馬県 外)	他の大学 に進学する	その他	合計
2020年3月修了生	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100.0%
2021年3月修了生	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%

Q5-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野があること

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	3 75.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	3 100.0%	100.0%	3

Q5-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する職種の異なりが大きいこと

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	0 0.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	1 33.3%	100.0%	3

Q5-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する研究分野が十分であること

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	3 75.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	1 33.3%	100.0%	3

Q5-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する職種の異なりが大きいこと

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	0 0.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	0 0.0%	100.0%	3

Q5-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由:希望する職種の異なりが大きいこと

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	2 50.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	3 100.0%	100.0%	3

Q5-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由:就職の実績がよいこと

	該当する 人数	該当する %	合計
2020年3月修了生	0 0.0%	100.0%	4
2021年3月修了生	0 0.0%	100.0%	3

	とても思う 人数	思う %	まあ思う 人数	まあ思う %	あまりそう 思わない 人数	あまりそう 思わない %	まったく 思わない 人数	まったく 思わない %	合計
2020年3月修了生	7 28.0%	70.0%	15 60.0%	12.0%	3 12.0%	12.0%	0 0.0%	0.0%	25 100.0%
2021年3月修了生	10 45.5%	45.5%	10 45.5%	45.5%	2 9.1%	9.1%	0 0.0%	0.0%	22 100.0%

Q25 専門分野において自立して研究開発活動でも能力を身に付けた

	とても思う 人数	思う %	まあ思う 人数	まあ思う %	あまりそう 思わない 人数	あまりそう 思わない %	まったく 思わない 人数	まったく 思わない %	合計
2020年3月修了生	5 20.0%	80.0%	15 60.0%	20.0%	5 20.0%	20.0%	0 0.0%	0.0%	25 100.0%
2021年3月修了生	4 33.3%	33.3%	14 106.7%	106.7%	4 30.0%	30.0%	0 0.0%	0.0%	22 100.0%

Q26 高度な専門性または国際性をめざす研究開発活動に付けた

	とても思う 人数	思う %	まあ思う 人数	まあ思う %	あまりそう 思わない 人数	あまりそう 思わない %	まったく 思わない 人数	まったく 思わない %	合計
2020年3月修了生	5 20.0%	80.0%	11 44.0%	32.0%	8 32.0%	32.0%	1 4.0%	4.0%	25 100.0%
2021年3月修了生	2 16.7%	16.7%	16 127.7%	100.0%	2 15.4%	15.4%	2 15.4%	15.4%	22 100.0%

Q27 研究者・技術者・高度専門職職人としての価値観を身に付けた

	とても思う 人数	思う %	まあ思う 人数	まあ思う %	あまりそう 思わない 人数	あまりそう 思わない %	まったく 思わない 人数	まったく 思わない %	合計
2020年3月修了生	9 36.0%	36.0%	14 56.0%	56.0%	2 8.0%	8.0%	0 0.0%	0.0%	25 100.0%
2021年3月修了生	8 36.4%	36.4%	14 58.3%	58.3%	0 0.0%	0.0%	0 0.0%	0.0%	22 100.0%

Q28 群馬大学大学院のカリキュラムを全体として評価する

	十分である 人数	十分である %	やや不十分 である 人数	やや不十分 である %	NA	合計
2020年3月修了生	6 24.0%	60.0%	15 60.0%	60.0%	0 0.0%	25 100.0%
2021年3月修了生	3 25.0%	66.7%	8 66.7%	66.7%	0 0.0%	12 100.0%

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	0	4	4
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	23	23
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	22	22
	0.0%	100.0%	100.0%

Q5-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由：大学推薦からすすめられたこと

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	2	4	6
	50.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	1	3	4
	43.8%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	3	6
	33.3%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	22	27
	22.7%	100.0%	100.0%

Q5-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由：経済的な負担が少ないこと

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	0	4	4
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	3	23	26
	13.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	22	24
	9.1%	100.0%	100.0%

Q5-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由：その他

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	0	4	4
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	23	28
	21.7%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	22	24
	9.1%	100.0%	100.0%

Q6 入学(編入)時、進学理由について知っていたか

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	0	4	4
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	23	23
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	2	22	24
	9.1%	100.0%	100.0%

Q7 入学(編入)時、満足していたか

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	2	1	3
	50.0%	25.0%	33.3%
2021年3月修了生	4	15	19
	18.2%	45.5%	50.0%
2021年3月修了生	1	2	3
	33.3%	66.7%	100.0%
2021年3月修了生	8	11	19
	36.4%	50.0%	63.2%

Q8 印象に残る経験：相当の努力を払って課題(単位取得や論文作成)を乗り越えられたことがあった

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	2	2	4
	50.0%	50.0%	100.0%
2021年3月修了生	11	12	23
	47.8%	52.2%	100.0%
2021年3月修了生	2	1	3
	66.7%	33.3%	100.0%
2021年3月修了生	10	12	22
	45.5%	54.5%	100.0%

Q9 印象に残る経験：実社会との接点を感じることであった

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	1	2	3
	25.0%	50.0%	75.0%
2021年3月修了生	3	13	16
	13.0%	56.3%	79.3%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	33.3%	100.0%
2021年3月修了生	3	15	18
	13.6%	68.2%	81.8%

Q10 印象に残る経験：学問圏外の物の方や考え方に触れた

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	3	1	4
	75.0%	25.0%	100.0%
2021年3月修了生	7	14	21
	30.4%	60.9%	91.3%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	8	13	21
	38.4%	58.1%	86.5%

Q11 印象に残る経験：大学院の個性や特色をいかした教育を受けた

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	3	0	3
	75.0%	0.0%	75.0%
2021年3月修了生	5	13	18
	21.7%	56.5%	78.2%
2021年3月修了生	0	3	3
	0.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	4	14	18
	18.2%	63.6%	81.8%

Q12 印象に残る経験：自分の個性や将来への関心を知ることであった

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	2	1	3
	50.0%	25.0%	62.5%
2021年3月修了生	6	15	21
	26.1%	68.2%	94.3%
2021年3月修了生	2	2	4
	66.7%	33.3%	100.0%
2021年3月修了生	10	10	20
	45.5%	45.5%	91.0%

Q13 印象に残る経験：研究員(准)について、相談にのってもらった人がいた

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	3	1	4
	75.0%	25.0%	100.0%
2021年3月修了生	10	9	19
	43.3%	38.1%	81.4%
2021年3月修了生	3	3	6
	100.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	10	9	19
	45.5%	40.9%	86.4%

Q14 印象に残る経験：研究員(准)について、幅広く相談にのってもらった人がいた

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	1	3	4
	25.0%	75.0%	100.0%
2021年3月修了生	5	8	13
	21.7%	34.8%	56.5%
2021年3月修了生	2	2	4
	66.7%	33.3%	100.0%
2021年3月修了生	5	8	13
	22.7%	36.4%	59.1%

Q15 印象に残る経験：教員の指導に基づいたながらも、自主性を重んじられてきた

年度	修士課程	博士課程	合計
2020年3月修了生	2	2	4
	50.0%	50.0%	100.0%
2021年3月修了生	10	8	18
	43.3%	34.8%	78.1%
2021年3月修了生	4	4	8
	100.0%	100.0%	100.0%
2021年3月修了生	10	12	22
	45.5%	54.5%	100.0%

博士課程	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	7	31.8%	11	50.0%	3	13.6%	1	4.5%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	22	100.0%	22	100.0%	22	100.0%	22	100.0%

群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査集計表

学習ふりかえりアンケート

【全学(医学科4年生、5年生を除く)】

2020年度末実施

設問01 学部学科(論理エラー修正済み)

学年	共同教 育学部 教育学 部	社会情 報学部	医学部 医学科	医学部 保健学 科	理工学 部	合計	n
1年生	15.7%	8.3%	9.3%	18.2%	48.6%	100.0%	797
2年生	16.2%	11.5%	7.8%	20.0%	44.5%	100.0%	425
3年生	13.0%	14.4%	7.3%	17.5%	47.9%	100.0%	355
合計	15.2%	10.5%	8.4%	18.5%	47.3%	100.0%	1577

(省略)設問02 学科・専攻・コース

(省略)設問03 入学年度(または編入年度)

(省略)設問04 学年

設問05 授業や勉強の様子 A授業に真面目に出席した

学年	とても はまる	まあ はまる	あまり はまらない	まったく あては まらない	合計	n
1年生	63.0%	33.2%	3.3%	0.5%	100.0%	808
2年生	56.5%	38.1%	4.2%	1.2%	100.0%	425
3年生	59.7%	37.7%	2.5%	0.0%	100.0%	355
合計	60.5%	35.5%	3.4%	0.6%	100.0%	1588

設問06 授業や勉強の様子 B授業の予習や復習をした

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.1%	59.7%	21.6%	1.6%	100.0%	806
2年生	21.5%	56.9%	19.7%	1.9%	100.0%	427
3年生	18.3%	60.3%	19.2%	2.3%	100.0%	355
合計	18.6%	59.1%	20.5%	1.8%	100.0%	1588

設問07 授業や勉強の様子C 授業で出された宿題や課題はきちんとやった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	70.4%	26.1%	3.0%	0.5%	100.0%	808
2年生	73.5%	23.7%	1.9%	0.9%	100.0%	426
3年生	74.6%	22.8%	2.5%	0.0%	100.0%	355
合計	72.2%	24.7%	2.6%	0.5%	100.0%	1589

設問08 授業や勉強の様子 Dグループワークやディスカッションに、積極的に参加した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	36.6%	54.4%	8.2%	0.9%	100.0%	807
2年生	41.8%	47.2%	9.6%	1.4%	100.0%	426
3年生	35.8%	54.9%	8.2%	1.1%	100.0%	355
合計	37.8%	52.6%	8.6%	1.1%	100.0%	1588

設問09 授業や勉強の様子 E計画を立てて勉強した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.4%	52.0%	28.3%	3.2%	100.0%	805
2年生	18.8%	47.9%	28.4%	4.9%	100.0%	426
3年生	19.1%	52.8%	25.6%	2.5%	100.0%	356
合計	17.6%	51.1%	27.7%	3.5%	100.0%	1587

設問10 授業や勉強の様子 F興味をもったことについて自主的に勉強した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	14.9%	62.8%	20.8%	1.5%	100.0%	806
2年生	19.7%	58.5%	19.9%	1.9%	100.0%	427
3年生	20.8%	58.4%	19.9%	0.8%	100.0%	356
合計	17.5%	60.7%	20.4%	1.4%	100.0%	1589

設問11 授業や勉強の様子G 進路や将来について積極的に考えた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.8%	49.1%	18.1%	2.0%	100.0%	806
2年生	38.0%	44.6%	15.3%	2.1%	100.0%	426 p<0.001
3年生	51.3%	40.0%	7.9%	0.8%	100.0%	355
合計	37.3%	45.9%	15.1%	1.8%	100.0%	1587

設問12 どの程度身についたか A人と協力しながらものごとを進める

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.1%	51.0%	20.0%	3.0%	100.0%	806
2年生	30.0%	46.6%	19.0%	4.4%	100.0%	427
3年生	30.3%	45.2%	19.4%	5.1%	100.0%	356
合計	28.1%	48.5%	19.6%	3.8%	100.0%	1589

設問13 どの程度身についたか B自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	10.4%	38.1%	43.9%	7.5%	100.0%	808
2年生	13.3%	40.7%	37.9%	8.0%	100.0%	427 p<0.05
3年生	13.8%	43.3%	39.0%	3.9%	100.0%	356

2019年度末実施

学年	教育学 部	社会情 報学部	医学部 医学科	医学部 保健学 科	理工学 部	合計	n
1年生	18.4%	8.4%	7.8%	17.1%	48.2%	100.0%	701
2年生	14.2%	7.4%	12.0%	15.8%	50.6%	100.0%	443
3年生	19.4%	7.3%	11.9%	21.0%	40.4%	100.0%	371
合計	17.4%	7.9%	10.0%	17.7%	47.0%	100.0%	1515

学年	とても はまる	まあ はまる	あまり はまらない	まったく あては まらない	合計	n
1年生	57.0%	39.8%	2.8%	0.3%	100.0%	703
2年生	52.4%	41.1%	5.4%	1.1%	100.0%	443 p<0.01
3年生	59.8%	38.5%	1.8%	0.0%	100.0%	371
合計	56.4%	39.9%	3.3%	0.5%	100.0%	1517

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	14.7%	52.3%	29.0%	4.0%	100.0%	703
2年生	11.3%	50.3%	32.7%	5.6%	100.0%	443
3年生	16.7%	52.8%	25.6%	4.9%	100.0%	371
合計	14.2%	51.9%	29.3%	4.7%	100.0%	1517

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	65.0%	32.5%	2.3%	0.3%	100.0%	702
2年生	58.6%	37.3%	3.9%	0.2%	100.0%	440
3年生	66.9%	30.9%	1.9%	0.3%	100.0%	369
合計	63.6%	33.5%	2.6%	0.3%	100.0%	1511

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	37.6%	54.8%	7.0%	0.6%	100.0%	704
2年生	33.3%	57.4%	8.2%	1.1%	100.0%	441
3年生	32.9%	57.1%	8.4%	1.6%	100.0%	371
合計	35.2%	56.1%	7.7%	1.0%	100.0%	1516

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	15.2%	48.0%	31.4%	5.4%	100.0%	704
2年生	14.4%	46.3%	31.6%	7.7%	100.0%	443
3年生	17.5%	49.6%	27.5%	5.4%	100.0%	371
合計	15.5%	47.9%	30.5%	6.1%	100.0%	1518

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.4%	20.9%	55.9%	11.8%	100.0%	703
2年生	7.0%	28.0%	52.4%	12.6%	100.0%	443 p<0.05
3年生	7.0%	22.6%	56.3%	14.0%	100.0%	371
合計	9.0%	23.4%	55.0%	12.6%	100.0%	1517

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.8%	19.9%	50.3%	21.9%	100.0%	702
2年生	6.8%	20.1%	46.6%	26.5%	100.0%	442 p<0.001
3年生	5.7%	12.1%	41.2%	41.0%	100.0%	371
合計	7.0%	18.1%	47.0%	27.9%	100.0%	1515

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	39.0%	52.1%	8.3%	0.7%	100.0%	703
2年生	29.8%	60.0%	8.1%	2.0%	100.0%	443 p<0.05
3年生	38.8%	50.7%	9.7%	0.8%	100.0%	371
合計	36.3%	54.1%	8.6%	1.1%	100.0%	1517

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.7%	42.4%	37.8%	6.1%	100.0%	703
2年生	11.5%	44.2%	37.5%	6.8%	100.0%	443
3年生	15.1%	43.4%	35.0%	6.5%	100.0%	371

合計	11.9%	40.0%	41.2%	6.9%	100.0%	1591
----	-------	-------	-------	------	--------	------

設問14 どの程度身についたか C異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.7%	60.7%	16.7%	1.9%	100.0%	806
2年生	23.7%	56.6%	15.5%	4.2%	100.0%	426
3年生	20.3%	57.1%	20.3%	2.3%	100.0%	354
合計	21.4%	58.8%	17.2%	2.6%	100.0%	1586

設問15 どの程度身についたか D自分の知識や考えを文章で論理的に書く

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	27.4%	61.2%	10.2%	1.2%	100.0%	806
2年生	28.8%	56.4%	12.6%	2.1%	100.0%	427
3年生	29.0%	56.3%	13.8%	0.8%	100.0%	355
合計	28.1%	58.8%	11.6%	1.4%	100.0%	1588

設問16 どの程度身についたか E自分で目標を設定し、計画的に行動する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.8%	57.6%	22.0%	2.6%	100.0%	805
2年生	22.0%	51.5%	22.0%	4.4%	100.0%	427
3年生	23.0%	57.9%	18.0%	1.1%	100.0%	356
合計	20.1%	56.0%	21.1%	2.8%	100.0%	1588

設問17 どの程度身についたか Fものごとを批判的・多面的に考える

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	23.9%	62.1%	13.3%	0.7%	100.0%	805
2年生	21.4%	62.9%	14.3%	1.4%	100.0%	426
3年生	25.7%	57.9%	16.1%	0.3%	100.0%	354
合計	23.6%	61.4%	14.2%	0.8%	100.0%	1585

設問18 どの程度身についたか G現状を分析し、問題点や課題を発見する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	22.2%	65.3%	11.8%	0.6%	100.0%	805
2年生	25.6%	60.1%	12.7%	1.6%	100.0%	426
3年生	27.1%	61.0%	11.7%	0.3%	100.0%	351
合計	24.2%	63.0%	12.0%	0.8%	100.0%	1582

設問19 どの程度身についたか H筋道を立てて論理的に問題を解決する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.1%	65.0%	14.9%	1.0%	100.0%	806
2年生	22.7%	61.4%	14.1%	1.9%	100.1%	427

3年生	24.5%	61.1%	14.4%	0.0%	100.0%	355
合計	21.3%	63.2%	14.5%	1.0%	100.0%	1588

設問20 どの程度身についたか I国際的な視野を身につける

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.1%	40.5%	38.9%	7.5%	100.0%	808
2年生	10.1%	28.7%	43.3%	17.9%	100.0%	425
3年生	11.3%	32.5%	44.4%	11.9%	100.0%	354
合計	11.9%	35.5%	41.3%	11.3%	100.0%	1587

設問21 どの程度身についたか Jなにごとにも粘り強く取り組み姿勢をもつ

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	23.1%	56.9%	17.5%	2.5%	100.0%	806
2年生	26.1%	55.1%	15.8%	3.1%	100.0%	425
3年生	28.7%	56.7%	14.0%	0.6%	100.0%	356
合計	25.1%	56.4%	16.3%	2.2%	100.0%	1587

設問22 どの程度身についたか K自分の考えを相手に伝えるように話す

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	27.1%	61.6%	9.8%	1.5%	100.0%	808
2年生	30.8%	57.2%	9.4%	2.6%	100.0%	425
3年生	27.4%	63.6%	8.5%	0.6%	100.0%	354
合計	28.2%	60.9%	9.4%	1.6%	100.0%	1587

設問23 どの程度身についたか L図や数表を用いて問題を理解し、表現することができる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.2%	57.9%	22.6%	2.2%	100.0%	806
2年生	23.0%	53.9%	18.3%	4.9%	100.0%	427
3年生	19.3%	54.3%	23.6%	2.8%	100.0%	352
合計	19.2%	56.0%	21.6%	3.1%	100.0%	1585

設問24 どの程度身についたか M外国語でコミュニケーションする

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	10.3%	46.0%	37.8%	5.9%	100.0%	807
2年生	10.5%	41.2%	35.6%	12.6%	100.0%	427
3年生	6.2%	23.7%	43.2%	26.8%	100.0%	354
合計	9.4%	39.7%	38.4%	12.4%	100.0%	1588

設問25 授業期間中1日あたり生活時間 A授業時間以外の大学での学習(図書館、空き教室など)

合計	13.4%	43.2%	37.0%	6.4%	100.0%	1517
----	-------	-------	-------	------	--------	------

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	28.1%	57.5%	13.1%	1.3%	100.0%	702
2年生	20.4%	59.5%	17.9%	2.3%	100.0%	442
3年生	26.5%	56.2%	15.9%	1.4%	100.0%	370
合計	25.4%	57.8%	15.2%	1.6%	100.0%	1514

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.7%	56.6%	12.9%	0.7%	100.0%	703
2年生	21.0%	57.6%	18.7%	2.7%	100.0%	443
3年生	26.9%	54.1%	17.4%	1.6%	100.0%	368
合計	26.5%	56.3%	15.7%	1.5%	100.0%	1514

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.1%	53.4%	23.3%	2.3%	100.0%	701
2年生	19.0%	53.5%	22.6%	5.0%	100.0%	443
3年生	21.3%	56.1%	20.2%	2.4%	100.0%	371
合計	20.5%	54.1%	22.3%	3.1%	100.0%	1515

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	28.2%	56.8%	14.3%	0.7%	100.0%	701
2年生	20.1%	58.2%	20.8%	0.9%	100.0%	443
3年生	24.6%	58.1%	17.3%	0.0%	100.0%	370
合計	25.0%	57.5%	16.9%	0.6%	100.0%	1514

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.9%	60.9%	11.9%	0.3%	100.0%	703
2年生	20.8%	61.3%	16.7%	1.1%	100.0%	442
3年生	27.0%	60.9%	11.3%	0.8%	100.0%	371
合計	25.1%	61.0%	13.2%	0.7%	100.0%	1516

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.0%	59.2%	13.5%	1.3%	100.0%	703
2年生	19.9%	58.6%	19.7%	1.8%	100.0%	442

3年生	25.1%	58.6%	15.7%	0.5%	100.0%	370
合計	24.0%	58.9%	15.8%	1.3%	100.0%	1515

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.2%	39.0%	34.7%	9.1%	100.0%	703
2年生	13.5%	35.7%	38.1%	12.6%	100.0%	443
3年生	13.2%	35.7%	37.0%	14.1%	100.0%	370
合計	15.2%	37.2%	36.3%	11.3%	100.0%	1516

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.0%	53.5%	15.4%	2.1%	100.0%	703
2年生	25.7%	55.5%	16.9%	1.8%	100.0%	443
3年生	35.3%	49.3%	13.7%	1.6%	100.0%	371
合計	29.6%	53.1%	15.4%	1.9%	100.0%	1517

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	31.2%	60.5%	7.7%	0.6%	100.0%	701
2年生	26.1%	61.1%	11.4%	1.4%	100.0%	440
3年生	31.3%	57.1%	10.5%	1.1%	100.0%	371
合計	29.8%	59.9%	9.5%	0.9%	100.0%	1512

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	23.8%	53.6%	19.5%	3.1%	100.0%	702
2年生	16.8%	56.2%	23.4%	3.6%	100.0%	441
3年生	19.5%	54.2%	23.6%	2.7%	100.0%	369
合計	20.7%	54.5%	21.6%	3.2%	100.0%	1512

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	14.2%	36.9%	35.5%	13.4%	100.0%	702
2年生	10.2%	33.4%	41.1%	15.2%	100.0%	440
3年生	9.2%	25.1%	36.7%	29.1%	100.0%	371
合計	11.8%	33.0%	37.4%	17.8%	100.0%	1513

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	80.3%	15.5%	3.4%	0.5%	0.4%	100.0%	802
2年生	81.5%	10.6%	4.7%	1.2%	2.1%	100.0%	426
3年生	79.2%	12.1%	5.3%	1.1%	2.2%	100.0%	356
合計	80.4%	13.4%	4.2%	0.8%	1.3%	100.0%	1584

設問26 授業期間中1日あたり生活時間 B自宅での学習

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	13.9%	48.2%	26.0%	7.7%	4.2%	100.0%	805
2年生	12.4%	35.9%	33.3%	7.7%	10.6%	100.0%	426
3年生	16.6%	36.0%	23.3%	11.8%	12.4%	100.0%	356
合計	14.1%	42.2%	27.3%	8.6%	7.8%	100.0%	1587

設問27 授業期間中1日あたり生活時間 Cクラブ・サークル活動

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	73.3%	13.0%	9.9%	3.5%	0.3%	100.0%	795
2年生	78.4%	10.8%	7.3%	2.1%	1.4%	100.0%	426
3年生	80.6%	10.7%	3.1%	3.7%	2.0%	100.0%	355
合計	76.3%	11.9%	7.7%	3.2%	1.0%	100.0%	1576

設問28 授業期間中1日あたり生活時間 Dアルバイト

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	41.0%	10.2%	17.7%	15.7%	15.4%	100.0%	803
2年生	32.9%	15.0%	15.7%	15.7%	20.7%	100.0%	426
3年生	34.8%	13.5%	16.3%	17.7%	17.7%	100.0%	356
合計	37.4%	12.2%	16.8%	16.2%	17.4%	100.0%	1585

設問29 普段の生活 Aひんぱんに話したり一緒に遊んだりする友だちがいた

学年	とてもあ てはま る	まああ てはま る	あまりあ てはま らない	まったく あては まらない	合計	n
1年生	19.6%	30.7%	26.2%	23.5%	100.0%	805
2年生	35.1%	33.5%	21.5%	9.8%	100.0%	427
3年生	27.5%	36.5%	24.2%	11.8%	100.0%	356
合計	25.6%	32.7%	24.5%	17.2%	100.0%	1588

設問30 普段の生活 B勉強について相談できる友だちや先輩がいた

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	25.4%	33.5%	21.6%	19.5%	100.0%	806
2年生	44.7%	36.1%	12.2%	7.0%	100.0%	427
3年生	38.8%	41.3%	13.8%	6.2%	100.0%	356
合計	33.6%	35.9%	17.3%	13.2%	100.0%	1589

設問31 普段の生活 C気軽に相談できる教員がいた

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	4.1%	18.6%	40.4%	36.9%	100.0%	807
2年生	8.0%	27.8%	38.4%	25.9%	100.0%	425
3年生	10.2%	29.9%	39.3%	20.6%	100.0%	354
合計	6.5%	23.6%	39.6%	30.3%	100.0%	1586

設問32 普段の生活 D授業に興味・関心がもてなかった

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	7.5%	28.2%	51.2%	13.0%	100.0%	808
2年生	8.2%	32.3%	45.2%	14.3%	100.0%	427
3年生	4.2%	32.4%	48.2%	15.2%	100.0%	355
合計	7.0%	30.3%	48.9%	13.8%	100.0%	1590

設問33 普段の生活E 授業が難しくてついていけないと感じた

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	6.2%	36.9%	51.1%	5.8%	100.0%	808
2年生	7.0%	38.7%	45.8%	8.5%	100.0%	426
3年生	4.2%	27.8%	54.2%	13.8%	100.0%	356
合計	6.0%	35.3%	50.4%	8.3%	100.0%	1590

設問34 普段の生活 F大学の中に自分の居場所がないように感じた

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	9.2%	27.2%	45.8%	17.8%	100.0%	805
2年生	4.9%	13.3%	49.6%	32.1%	100.0%	427

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	37.0%	44.2%	11.5%	1.8%	5.4%	100.0%	703
2年生	36.1%	36.7%	16.1%	5.4%	5.7%	100.0%	441
3年生	39.0%	35.8%	14.6%	4.1%	6.5%	100.0%	369
合計	37.2%	40.0%	13.6%	3.4%	5.8%	100.0%	1513

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	40.7%	42.0%	12.1%	2.1%	3.0%	100.0%	700
2年生	43.1%	36.2%	11.8%	4.8%	4.1%	100.0%	439
3年生	35.0%	39.6%	15.4%	3.8%	6.2%	100.0%	369
合計	40.0%	39.7%	12.9%	3.3%	4.1%	100.0%	1508

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	48.1%	22.5%	19.1%	6.7%	3.6%	100.0%	701
2年生	49.8%	22.1%	16.4%	6.8%	4.8%	100.0%	438
3年生	53.9%	18.7%	15.4%	7.0%	4.9%	100.0%	369
合計	50.0%	21.5%	17.4%	6.8%	4.2%	100.0%	1508

学年	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	34.9%	13.9%	18.0%	14.4%	18.8%	100.0%	696
2年生	28.1%	15.4%	22.4%	15.2%	18.8%	100.0%	441
3年生	28.1%	15.7%	16.2%	14.3%	25.7%	100.0%	370
合計	31.3%	14.8%	18.8%	14.6%	20.5%	100.0%	1507

学年	とてもあ てはま る	まああ てはま る	あまりあ てはま らない	まったく あては まらない	合計	n
1年生	63.0%	26.5%	7.1%	3.4%	100.0%	702
2年生	53.6%	33.0%	9.8%	3.6%	100.0%	440
3年生	51.8%	34.7%	8.9%	4.6%	100.0%	369
合計	57.5%	30.4%	8.3%	3.8%	100.0%	1511

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	59.3%	29.6%	8.3%	2.8%	100.0%	703
2年生	54.3%	33.4%	8.6%	3.6%	100.0%	440
3年生	51.9%	34.2%	9.5%	4.3%	100.0%	368
合計	56.1%	31.8%	8.7%	3.4%	100.0%	1511

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	15.4%	26.9%	38.3%	19.4%	100.0%	702
2年生	10.9%	27.4%	38.1%	23.6%	100.0%	441
3年生	17.0%	35.1%	33.8%	14.1%	100.0%	370
合計	14.5%	29.1%	37.1%	19.3%	100.0%	1513

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	9.0%	28.2%	49.6%	13.2%	100.0%	702
2年生	10.4%	31.3%	46.0%	12.2%	100.0%	441
3年生	7.6%	22.7%	51.9%	17.8%	100.0%	370
合計	9.1%	27.8%	49.1%	14.1%	100.0%	1513

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	7.0%	33.3%	48.0%	11.7%	100.0%	700
2年生	8.8%	37.2%	41.7%	12.2%	100.0%	441
3年生	4.9%	24.9%	50.8%	19.5%	100.0%	370
合計	7.0%	32.4%	46.9%	13.8%	100.0%	1511

学年	とても まあ あまり まったく	まあ あまり まったく	あまり まったく	まったく	合計	n
1年生	3.8%	10.2%	46.2%	39.7%	100.0%	703
2年生	4.5%	17.2%	44.7%	33.6%	100.0%	441

3年生	4.2%	14.1%	45.9%	35.8%	100.0%	355
合計	6.9%	20.5%	46.9%	25.6%	100.0%	1587

3年生	3.5%	17.1%	41.5%	37.9%	100.0%	369
合計	4.0%	13.9%	44.6%	37.5%	100.0%	1513

設問35 普段の生活 G友だちとの関係で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.8%	20.3%	37.1%	34.7%	100.0%	806
2年生	1.4%	11.7%	36.6%	50.2%	100.0%	426 p<0.001
3年生	2.5%	8.7%	43.5%	45.2%	100.0%	356
合計	4.9%	15.4%	38.4%	41.2%	100.0%	1588

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	5.0%	17.1%	41.5%	36.5%	100.0%	702
2年生	7.5%	18.9%	40.3%	33.3%	100.0%	439
3年生	4.3%	18.9%	38.9%	37.8%	100.0%	370
合計	5.6%	18.1%	40.5%	35.9%	100.0%	1511

設問36 普段の生活 H教員との関係で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.3%	10.0%	43.2%	42.4%	100.0%	806
2年生	2.1%	7.7%	33.6%	56.6%	100.0%	426 p<0.001
3年生	3.4%	7.6%	38.5%	50.6%	100.0%	356
合計	3.5%	8.9%	39.5%	48.0%	100.0%	1588

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.0%	5.8%	40.0%	50.2%	100.0%	703
2年生	2.7%	10.5%	43.0%	43.9%	100.0%	440 p<0.001
3年生	1.6%	13.3%	41.7%	43.4%	100.0%	369
合計	3.0%	9.0%	41.3%	46.7%	100.0%	1512

設問37 普段の生活 Iアルバイトで困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.0%	13.5%	29.9%	52.6%	100.0%	806
2年生	3.0%	14.3%	28.8%	53.9%	100.0%	427
3年生	3.9%	12.4%	32.7%	51.0%	100.0%	355
合計	3.7%	13.5%	30.2%	52.6%	100.0%	1588

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.4%	15.2%	29.9%	50.5%	100.0%	699
2年生	5.7%	16.3%	31.3%	46.7%	100.0%	441
3年生	1.6%	13.6%	33.3%	51.5%	100.0%	369
合計	4.1%	15.1%	31.1%	49.6%	100.0%	1509

設問38 普段の生活 J体調が悪く困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.8%	18.6%	33.6%	42.9%	100.0%	806
2年生	5.6%	15.5%	34.4%	44.5%	100.0%	427
3年生	3.7%	20.8%	36.9%	38.6%	100.0%	355
合計	4.8%	18.3%	34.6%	42.4%	100.0%	1588

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	6.3%	20.5%	36.0%	37.2%	100.0%	702
2年生	9.3%	21.1%	38.3%	31.3%	100.0%	441 p<0.05
3年生	4.3%	24.1%	32.5%	39.0%	100.0%	369
合計	6.7%	21.6%	35.8%	35.9%	100.0%	1512

設問39 普段の生活 K生活習慣が崩れて困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.6%	38.4%	29.6%	18.4%	100.0%	808
2年生	17.2%	32.1%	32.8%	17.9%	100.0%	424
3年生	14.3%	34.3%	30.9%	20.5%	100.0%	356
合計	14.7%	35.8%	30.7%	18.8%	100.0%	1588

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.7%	29.7%	35.8%	22.8%	100.0%	703
2年生	12.9%	38.5%	27.4%	21.1%	100.0%	441 p<0.05
3年生	10.5%	34.9%	32.4%	22.2%	100.0%	370
合計	11.8%	33.6%	32.6%	22.1%	100.0%	1514

設問40 大学での学び方について考えに近いものA

1. あまり興味がなくても、単位を楽にとれる授業がよい
2. 単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい

学年	1	2	合計	n
1年生	49.5%	50.5%	100.0%	808
2年生	44.5%	55.5%	100.0%	425
3年生	46.3%	53.7%	100.0%	356
合計	47.5%	52.5%	100.0%	1589

学年	1	2	合計	n
1年生	50.8%	49.2%	100.0%	703
2年生	49.2%	50.8%	100.0%	439 p<0.001
3年生	37.8%	62.2%	100.0%	370
合計	47.2%	52.8%	100.0%	1512

設問41 大学での学び方について考えに近いものB

1. 授業の意義や必要性を教えてください
2. 授業の意義や必要性は自分で見出したい

学年	1	2	合計	n
1年生	51.5%	48.5%	100.0%	806
2年生	60.4%	39.6%	100.0%	427 p<0.05
3年生	56.1%	43.9%	100.0%	355
合計	54.9%	45.1%	100.0%	1588

学年	1	2	合計	n
1年生	52.0%	48.0%	100.0%	702
2年生	54.9%	45.1%	100.0%	441
3年生	51.5%	48.5%	100.0%	369
合計	52.7%	47.3%	100.0%	1512

設問42 大学での学び方について考えに近いものC

1. 授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい
2. 授業はきっかけて後は自分で学びたい

学年	1	2	合計	n
1年生	79.9%	20.1%	100.0%	807
2年生	83.3%	16.7%	100.0%	426
3年生	80.2%	19.8%	100.0%	353
合計	80.9%	19.1%	100.0%	1586

学年	1	2	合計	n
1年生	80.4%	19.6%	100.0%	703
2年生	81.4%	18.6%	100.0%	441
3年生	82.7%	17.3%	100.0%	370
合計	81.2%	18.8%	100.0%	1514

設問43 大学での学び方について考えに近いものD

1. 自分のレベルに合った授業をしてほしい
2. 授業は難しくてもチャレンジなほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	84.6%	15.4%	100.0%	807
2年生	84.7%	15.3%	100.0%	425 p<0.05
3年生	79.2%	20.8%	100.0%	355
合計	83.4%	16.6%	100.0%	1587

学年	1	2	合計	n
1年生	78.6%	21.4%	100.0%	701
2年生	80.0%	20.0%	100.0%	440 p<0.05
3年生	72.4%	27.6%	100.0%	370
合計	77.5%	22.5%	100.0%	1511

設問44 大学での学び方について考えに近いものE

1. 教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい
2. 学生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	84.4%	15.6%	100.0%	806
2年生	83.8%	16.2%	100.0%	427
3年生	83.4%	16.6%	100.0%	356
合計	84.0%	16.0%	100.0%	1589

学年	1	2	合計	n
1年生	81.6%	18.4%	100.0%	700
2年生	79.5%	20.5%	100.0%	439
3年生	78.0%	22.0%	100.0%	369
合計	80.1%	19.9%	100.0%	1508

学年	1	2	合計	n
1年生	49.5%	50.5%	100.0%	808
2年生	44.5%	55.5%	100.0%	425
3年生	46.3%	53.7%	100.0%	356
合計	47.5%	52.5%	100.0%	1589

設問41 大学での学び方について考えに近いものB

1. 授業の意義や必要性を教えてください
2. 授業の意義や必要性は自分で見出した

学年	1	2	合計	n
1年生	51.5%	48.5%	100.0%	806
2年生	60.4%	39.6%	100.0%	427
3年生	56.1%	43.9%	100.0%	355
合計	54.9%	45.1%	100.0%	1588

設問42 大学での学び方について考えに近いものC

1. 授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい
2. 授業はきっかけで後は自分で学びたい

学年	1	2	合計	n
1年生	79.9%	20.1%	100.0%	807
2年生	83.3%	16.7%	100.0%	426
3年生	80.2%	19.8%	100.0%	353
合計	80.9%	19.1%	100.0%	1586

設問43 大学での学び方について考えに近いものD

1. 自分のレベルに合った授業をしてほしい
2. 授業は難しくてもチャレンジなほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	84.6%	15.4%	100.0%	807
2年生	84.7%	15.3%	100.0%	425
3年生	79.2%	20.8%	100.0%	355
合計	83.4%	16.6%	100.0%	1587

設問44 大学での学び方について考えに近いものE

1. 教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい
2. 学生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	84.4%	15.6%	100.0%	806
2年生	83.8%	16.2%	100.0%	427
3年生	83.4%	16.6%	100.0%	356
合計	84.0%	16.0%	100.0%	1589

設問45 大学での学び方について考えに近いものF

1. 大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるほうがよい
2. 大学での学習の方法は、学生が自分で工夫するのがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	50.6%	49.4%	100.0%	806
2年生	47.3%	52.7%	100.0%	425
3年生	53.4%	46.6%	100.0%	354
合計	50.3%	49.7%	100.0%	1585

設問46 大学での学び方について考えに近いものG

1. 学生生活については、大学の教員が指導・支援するほうがよい
2. 学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	26.1%	73.9%	100.0%	805
2年生	23.6%	76.4%	100.0%	424
3年生	29.3%	70.7%	100.0%	355
合計	26.1%	73.9%	100.0%	1584

(省略)設問47 今年学習したことの中で、最も有意義だったこととその理由(自由記述)

(省略)設問48 今年学習している中で、直面した問題とその解決策(自由記述)

(省略)設問49 今年の学習を初めからやり直すとしたら、次回はどのように変えるか(自由記述)

(省略)設問50 今年履修しなかった授業科目や、以前履修したけれども再び履修したかった授業科目(自由記述)

設問51 身につけることにつながる経験 A専門的学識・技能の修得

学年	とでも		あまりで		合計	n
	きた	きた	ま	ま		
1年生	13.0%	68.4%	16.4%	2.2%	100.0%	801
2年生	22.7%	62.2%	12.8%	2.4%	100.0%	423
3年生	25.1%	61.7%	12.0%	1.1%	100.0%	350
合計	18.3%	65.2%	14.4%	2.0%	100.0%	1574

学年	1	2	合計	n
1年生	50.8%	49.2%	100.0%	703
2年生	49.2%	50.8%	100.0%	439
3年生	37.8%	62.2%	100.0%	370
合計	47.2%	52.8%	100.0%	1512

学年	1	2	合計	n
1年生	52.0%	48.0%	100.0%	702
2年生	54.9%	45.1%	100.0%	441
3年生	51.5%	48.5%	100.0%	369
合計	52.7%	47.3%	100.0%	1512

学年	1	2	合計	n
1年生	80.4%	19.6%	100.0%	703
2年生	81.4%	18.6%	100.0%	441
3年生	82.7%	17.3%	100.0%	370
合計	81.2%	18.8%	100.0%	1514

学年	1	2	合計	n
1年生	78.6%	21.4%	100.0%	701
2年生	80.0%	20.0%	100.0%	440
3年生	72.4%	27.6%	100.0%	370
合計	77.5%	22.5%	100.0%	1511

学年	1	2	合計	n
1年生	81.6%	18.4%	100.0%	700
2年生	79.5%	20.5%	100.0%	439
3年生	78.0%	22.0%	100.0%	369
合計	80.1%	19.9%	100.0%	1508

学年	1	2	合計	n
1年生	47.4%	52.6%	100.0%	699
2年生	46.9%	53.1%	100.0%	441
3年生	47.7%	52.3%	100.0%	369
合計	47.3%	52.7%	100.0%	1509

学年	1	2	合計	n
1年生	21.8%	78.2%	100.0%	697
2年生	27.2%	72.8%	100.0%	441
3年生	24.7%	75.3%	100.0%	369
合計	24.1%	75.9%	100.0%	1507

設問52 身につけることにつながる経験 B専門的学識・技能を現実の諸課題に対する活用

学年	とでも		あまり		合計	n
	ま	ま	ま	ま		
1年生	7.2%	52.0%	36.3%	4.5%	100.0%	802
2年生	12.0%	56.5%	27.5%	4.1%	100.0%	418
3年生	15.4%	59.3%	23.6%	1.7%	100.0%	351
合計	10.3%	54.8%	31.1%	3.8%	100.0%	1571

学年	とでも		あまり		合計	n
	ま	ま	ま	ま		
1年生	20.4%	60.3%	17.6%	1.7%	100.0%	692
2年生	22.8%	61.4%	14.9%	0.9%	100.0%	430
3年生	30.4%	60.0%	9.0%	0.5%	100.0%	365
合計	23.5%	60.5%	14.7%	1.2%	100.0%	1487

学年	とでも		あまり		合計	n
	ま	ま	ま	ま		
1年生	13.5%	54.2%	28.6%	3.6%	100.0%	695
2年生	13.9%	54.5%	28.8%	2.8%	100.0%	431
3年生	18.9%	59.8%	19.4%	1.9%	100.0%	366
合計	14.9%	55.7%	26.4%	2.9%	100.0%	1492

設問53 身につけることにつながる経験 C幅広い教養

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	18.7%	65.6%	13.8%	1.9%	100.0%	803
2年生	10.6%	49.2%	32.9%	7.3%	100.0%	423 p<0.001
3年生	12.3%	48.9%	33.7%	5.1%	100.0%	350
合計	15.1%	57.5%	23.4%	4.1%	100.0%	1576

設問54 身につけることにつながる経験 D多面的・総合的な判断

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.1%	65.8%	19.2%	2.0%	100.0%	804
2年生	9.2%	59.2%	28.1%	3.5%	100.0%	424 p<0.01
3年生	12.3%	58.4%	25.9%	3.4%	100.0%	351
合計	11.8%	62.4%	23.1%	2.7%	100.0%	1579

設問55 身につけることにつながる経験 E論理的思考力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	14.8%	69.0%	14.4%	1.7%	100.0%	804
2年生	17.3%	65.4%	15.9%	1.4%	100.0%	422
3年生	17.7%	66.4%	13.4%	2.6%	100.0%	351
合計	16.1%	67.5%	14.6%	1.8%	100.0%	1577

設問56 身につけることにつながる経験 Fコミュニケーション能力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.9%	48.1%	31.1%	7.0%	100.0%	801
2年生	14.4%	46.2%	29.7%	9.7%	100.0%	424
3年生	20.2%	43.3%	28.5%	8.0%	100.0%	351
合計	15.4%	46.5%	30.1%	7.9%	100.0%	1576

設問57 身につけることにつながる経験 G社会で生起する問題に対して取り組む意欲

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.8%	56.5%	28.1%	3.6%	100.0%	802
2年生	11.4%	53.3%	30.8%	4.5%	100.0%	422
3年生	13.1%	54.3%	29.7%	2.9%	100.0%	350
合計	12.0%	55.1%	29.2%	3.7%	100.0%	1574

設問58 身につけることにつながる経験 H豊かな人間性・広い視野・社会的倫理観

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	10.6%	57.6%	28.1%	3.7%	100.0%	805
2年生	8.5%	53.0%	30.7%	7.8%	100.0%	423 p<0.05
3年生	9.5%	51.1%	32.8%	6.6%	100.0%	348
合計	9.8%	54.9%	29.8%	5.5%	100.0%	1576

設問59 身につけることにつながる経験 I国内外での活躍

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.1%	19.8%	48.4%	27.7%	100.0%	805
2年生	2.8%	25.9%	40.1%	31.1%	100.0%	424 p<0.01
3年生	6.3%	28.0%	39.7%	26.0%	100.0%	350
合計	4.2%	23.2%	44.3%	28.2%	100.0%	1579

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.1%	57.4%	15.6%	1.9%	100.0%	693
2年生	11.4%	50.5%	33.5%	4.7%	100.0%	430 p<0.001
3年生	15.0%	50.1%	29.4%	5.4%	100.0%	367
合計	18.7%	53.6%	24.2%	3.6%	100.0%	1490

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.3%	61.6%	17.1%	1.0%	100.0%	695
2年生	12.3%	54.9%	30.3%	2.5%	100.0%	432 p<0.001
3年生	14.7%	58.6%	24.0%	2.7%	100.0%	367
合計	16.6%	58.9%	22.6%	1.9%	100.0%	1494

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.7%	65.2%	14.2%	0.9%	100.0%	695
2年生	18.5%	61.1%	19.2%	1.2%	100.0%	432
3年生	19.5%	64.0%	15.1%	1.4%	100.0%	364
合計	19.3%	63.7%	15.9%	1.1%	100.0%	1491

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.1%	53.2%	19.5%	2.2%	100.0%	697
2年生	19.9%	55.3%	20.6%	4.2%	100.0%	432 p<0.05
3年生	30.1%	50.8%	15.8%	3.3%	100.0%	366
合計	24.8%	53.2%	18.9%	3.0%	100.0%	1495

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	18.2%	57.2%	21.8%	2.9%	100.0%	694
2年生	12.8%	55.6%	28.1%	3.5%	100.0%	430
3年生	16.6%	55.6%	23.2%	4.6%	100.0%	367
合計	16.2%	56.3%	23.9%	3.5%	100.0%	1491

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.0%	57.8%	22.7%	2.4%	100.0%	695
2年生	10.9%	55.0%	29.7%	4.4%	100.0%	431 p<0.001
3年生	13.9%	56.0%	23.0%	7.1%	100.0%	366
合計	14.5%	56.6%	24.8%	4.2%	100.0%	1492

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.8%	36.2%	34.7%	20.4%	100.0%	697
2年生	5.8%	32.7%	39.2%	22.3%	100.0%	431
3年生	9.3%	35.1%	37.9%	17.7%	100.0%	367
合計	8.0%	34.9%	36.8%	20.3%	100.0%	1495

第12回全学FD連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内

第 12 回 全学 F D 連続講演会

「大学教育のグランドデザイン」

～ 後期に向けた オンライン授業 改善のために ～

日 時：令和2年9月11日（金） 14時～16時10分（終了予定）

実施方法：Zoomによるオンライン開催

【概要】

全学 FD 講演会は、平成 21 年度から毎年、学外から大学教育の専門家をお招きして実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学内の教員を講演者として、オンラインで開催します。

今年度は、後期も継続が決定となりました「オンライン授業」改善のためのノウハウを共有することを目的として、令和 2 年度前期の「オンライン授業」に関して、工夫した点、困った点、今後の課題等について、各学部等から推薦された教員が、リレー形式による講演及びフリーディスカッションを行います。

【日程】

14：00 開会・挨拶 理事（教育・企画担当） 峯岸 敬
 14：05～15：50 各学部等の教員による講演
 15：50～16：10 フリーディスカッション
 16：10 閉会 （司会：教育改革推進室 二宮 祐）

【講演者】

※1人15分程度（質疑応答を含む）

講演順	所属・氏名	推薦学部等
1	数理データ科学教育研究センター 井上 仁 准教授	
2	共同教育学部 中尾 敏朗 教授	共同教育学部
3	社会情報学部 永野 清仁 准教授	社会情報学部
4	医学系研究科 岸 美紀子 准教授	医学部 医学科
5	保健学研究科 久田 剛志 教授	医学部 保健学科
6	理工学府 浅川 直紀 教授	理工学府
7	医学系研究科 和田 直樹 教授	教養教育
8	大学教育・学生支援機構 飯田 敦史 准教授	教養教育（語学）
9	共同教育学部 中雄 勇人 准教授	教養教育（実技）